

犯罪被害者支援に関する調査
分析結果報告書

平成 22 年 3 月

犯罪被害者支援に関する調査研究
分析評価会議

目 次

1 . 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 分析評価議会について	1
(3) 調査手法及び対象者	1
(4) 調査分析の視点	2
(5) 調査結果概要	3

2 . 回答者情報及び施策別単純集計結果

(1) 回答者情報	1 3
(2) 施策別 単純集計結果	1 7

3 . 施策別 利用状況等の分析

(1) 現状における支援施策の普及度	6 9
(2) 警察の施策への満足度	9 1
(3) 警察による支援へのニーズ	1 1 5

4 . 自由意見

	1 2 1
--	-------

別添 1 使用調査票

	1 4 3
--	-------

別添 2 単純集計結果 (数表)

	1 6 5
--	-------



1. 調査概要

(1) 調査目的

犯罪被害の実態等について継続的に調査研究を実施することにより、警察による犯罪被害者支援の効果等を検証し、警察が行う被害者支援の更なる充実に活用することを目的として実施する。

(2) 分析評価会議について

本調査の実施に当たっては、分析は、分析評価会議（座長：常磐大学大学院 被害者学研究科教授 富田信穂）を設置し、アンケートの内容や分析視点等のあり方を審議する。

分析評価会議構成員（順不同）

- < 有識者構成員 >
- 富田 信穂（常磐大学大学院被害者学研究科教授）（座長）
 - 奥村 正雄（同志社大学大学院司法研究科教授）
 - 中島 聡美（国立精神・神経センター精神保健研究所
成人精神保健部犯罪被害者等支援研究室長）
- < 警察庁構成員 >
- 杉本 孝（警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室長）
 - 久米 一郎（警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室課長補佐）
 - 藤田 悟郎（科学警察研究所交通科学部交通科学第二研究室長）
- < 調査会社構成員 >
- 鶴見 英次（株式会社都市交流プランニング 取締役技術部長）
 - 新見 朱里（株式会社都市交流プランニング ）

(3) 調査手法及び対象者

< 対象者 >

犯罪被害者等給付金裁定が行われた方（下表参照）

表 1 - 1 犯罪被害者等給付金の種類

種類	支給対象
遺族給付金	亡くなられた被害者の第一順位の遺族
重傷病給付金	犯罪行為によって、重傷病(加療1月以上かつ入院3日以上を要する負傷又は疾病(PTSD等の精神疾患については、加療1月以上かつその症状の程度が3日以上労務に服することができない程度の疾病))を負った被害者本人
障害給付金	障害が残った被害者本人

< 配布及び回収方法 >

上記対象者に、各都道府県警察本部被害者支援担当課を通じて、給付金の裁定の結果を通知する際に、あわせて本調査票を交付する。調査は無記名で行い、調査票の返送をもって調査同意とする。

平成 20 年 1 月から平成 21 年 12 月まで随時、配布を行い、平成 22 年 1 月まで回収を行った。

< 回収結果 >

配布数（調査票受領者数）	881
回収数	395
回収率	44.8%

(4) 調査分析の視点

本調査では、警察による犯罪被害者支援の効果等を検証するために、14 の支援施策について、警察の施策評価の要素として「 1 . 現状における支援施策の普及度」、被害者の支援ニーズ把握の要素として「 2 . 警察の施策への満足度」及び「 3 . 警察による支援へのニーズ」を調査構成における 3 つの柱とし、それぞれの要素から調査票項目を構成する。

1) 現状における支援施策の普及度

警察による支援施策の普及度について、認知度、認知経路及び支援施策の利用実績等を把握する。個々の支援施策ごとに、認知度や認知経路、施策利用に至らなかった理由等について調査する。

2) 警察の施策への満足度

警察の施策への満足度について、個々の支援施策の満足度及び支援による心情の変化を調査する。

3) 警察による支援へのニーズ

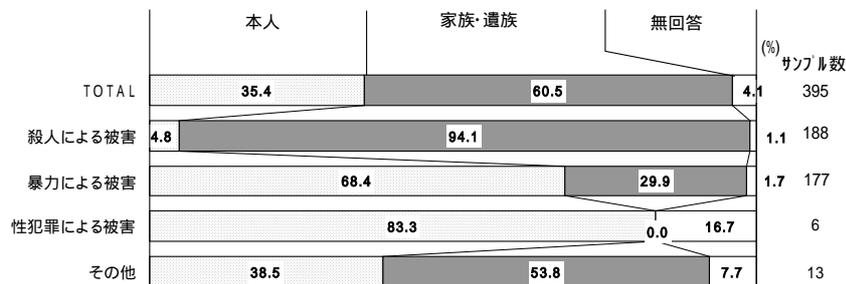
警察による支援へのニーズについて、自分自身の経験から同じような被害者が被害から回復するために必要な支援を問うことで、被害者の全体的な支援へのニーズを把握する。

表 1 - 2 本調査検討対象の支援施策

<p>施策 1 情報提供（被害者の手引）</p> <p>刑事手続（事件の捜査、裁判など）がどう進められていくのか、どのような支援を受けられるのかなど、犯罪被害に遭った被害者や遺族の方が必要とする情報をパンフレット（被害者の手引）にまとめています。</p>	<p>施策 8 被害者支援用車両の活用</p> <p>現場では、外から中の様子が分からないようにしたワゴン車を活用するなどして、被害者の方のプライバシーに配慮した事情聴取等を行うよう努めています。</p>
<p>施策 2 情報提供（被害者連絡制度）</p> <p>事件の捜査の進み具合や加害者を逮捕したか、裁判にかかるか、などについて、警察職員が被害者や遺族の方へ説明、連絡しています。</p>	<p>施策 9 被害者が望む性別の警察官の対応</p> <p>性犯罪の被害に遭われた方に対して、被害者の方が望む性別の警察官が、事情聴取や被害者の方への連絡などを行っています。</p>
<p>施策 3 犯罪被害給付制度</p> <p>殺人等の故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた方の遺族や、障害が残った被害者の方、重大な傷病を受けた方に対し、一定の場合に、国から給付金が支給されます。</p>	<p>施策 10 指定被害者支援要員</p> <p>捜査の担当とは別の警察職員が、事件発生直後から、身の回りの世話や病院、実況見分等への付添いなどを行っています。</p>
<p>施策 4 病気やケガに対する診断書料等の公費負担</p> <p>犯罪に遭われて病気やケガをされた方に対して、診断書料や初診料などを公費で負担する制度を進めています。</p>	<p>施策 11 専門的知識のある警察職員のカウンセリング</p> <p>大きな精神的被害を受け、専門的なカウンセリングが必要なときに、専門的知識のある警察職員がカウンセリングを行っています。</p>
<p>施策 5 性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担</p> <p>性犯罪の被害に遭われた方に対して、緊急に避妊する費用等を公費で負担する制度を進めています。</p>	<p>施策 12 精神科医や心理カウンセラーとの連携</p> <p>専門的な精神療法や心理カウンセリングの必要があると思われる場合、警察が精神科医や心理カウンセラーを、紹介しています。</p>
<p>施策 6 遺体搬送等に関する公費負担</p> <p>犯罪被害に遭われて亡くなられた方の遺族に対して、司法解剖後のご遺体を搬送する費用や司法解剖の傷跡を目立たないようにする費用を公費で負担する制度を進めています。</p>	<p>施策 13 民間被害者支援団体との連携</p> <p>電話や面接による相談、病院や裁判所等への付き添いといった支援を行う民間被害者支援団体を、警察は紹介しています。</p>
<p>施策 7 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）</p> <p>被害者の方が安心できるような内装の部屋で、事情聴取などを行うよう努めています。</p>	<p>施策 14 情報提供（ホームページ）</p> <p>警察のホームページで情報提供を行っています。具体的には、犯罪被害に遭われたときに、被害者や遺族の方がどのような支援を受けることができるかなどを、広く知らせています。</p>

(5) 調査結果概要

平成 22 年 1 月末までに回収できた調査票は、395 票である。被害種別ごとの回答者数は、殺人による被害（殺人、傷害致死等）が 188 人、暴力による被害（強盗、傷害等）177 人、性犯罪による被害（強姦、強制わいせつ等）6 人、その他（放火、強盗傷害、嫌がらせ等）13 人、無回答 11 人である。また、施策の調査結果においては支援施策の受け手としての被害者別（被害者本人 / 被害者の家族・遺族）での分析を行う。以下、調査結果の概要を示す（なお性犯罪の被害者の回答数が 6 と少ないことから、これに関連する「施策 5 性犯罪被害者に対する緊急避妊等の公費負担」と「施策 9 被害者が望む性別の警察官の対応」については参考として記載する。）。



注) 被害種別はアンケートによる「遭われた被害」であり正式な罪種とは一致しない

図 1 - 1 回答者と被害者との関係（本人または家族等）

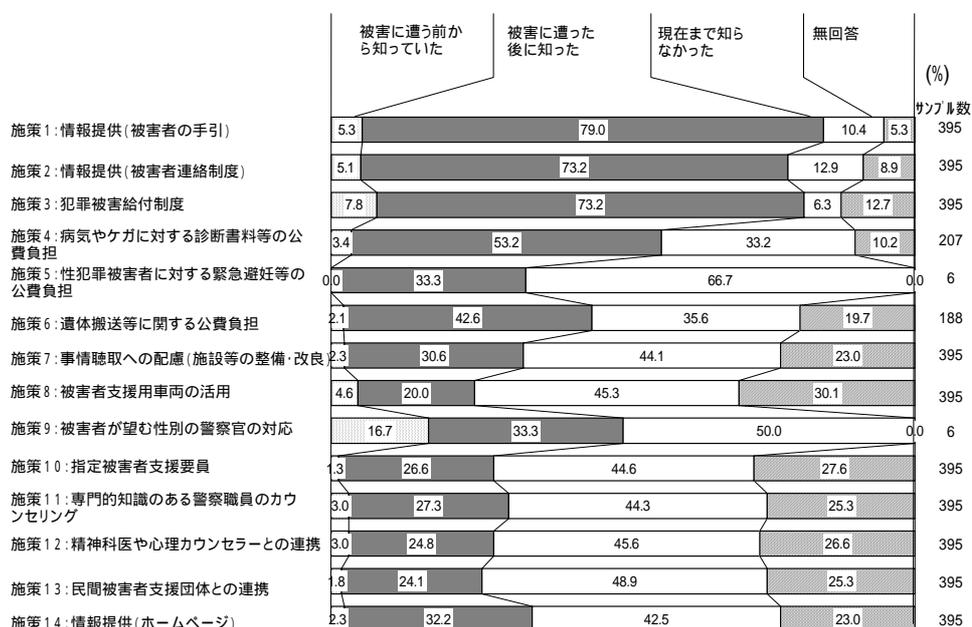
ア) 現状における支援施策の普及度

施策の認知度

施策について「被害に遭う前から知っていた」と回答した人は「被害者が望む性別の警察官の対応」で16.7%となったが、その他の施策については1割に満たない。

施策について、「被害に遭う前から知っていた」又は「被害に遭った後に知った」と回答した人は「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」は7割を超え、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」は5割、その他は3割程度である。

施策について、「現在まで知らなかった」と回答した割合が4割を超えるものが9施策ある。



(各施策のサンプル数は、想定される支援対象とした 全サンプル: n=395 病気やケガに対する診断書料等の公費負担: 殺人を除く n=207、遺体搬送等に関する公費負担: 殺人による被害 n=188、性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担・被害者が望む性別の警察官の対応: 性犯罪による被害 n=6)

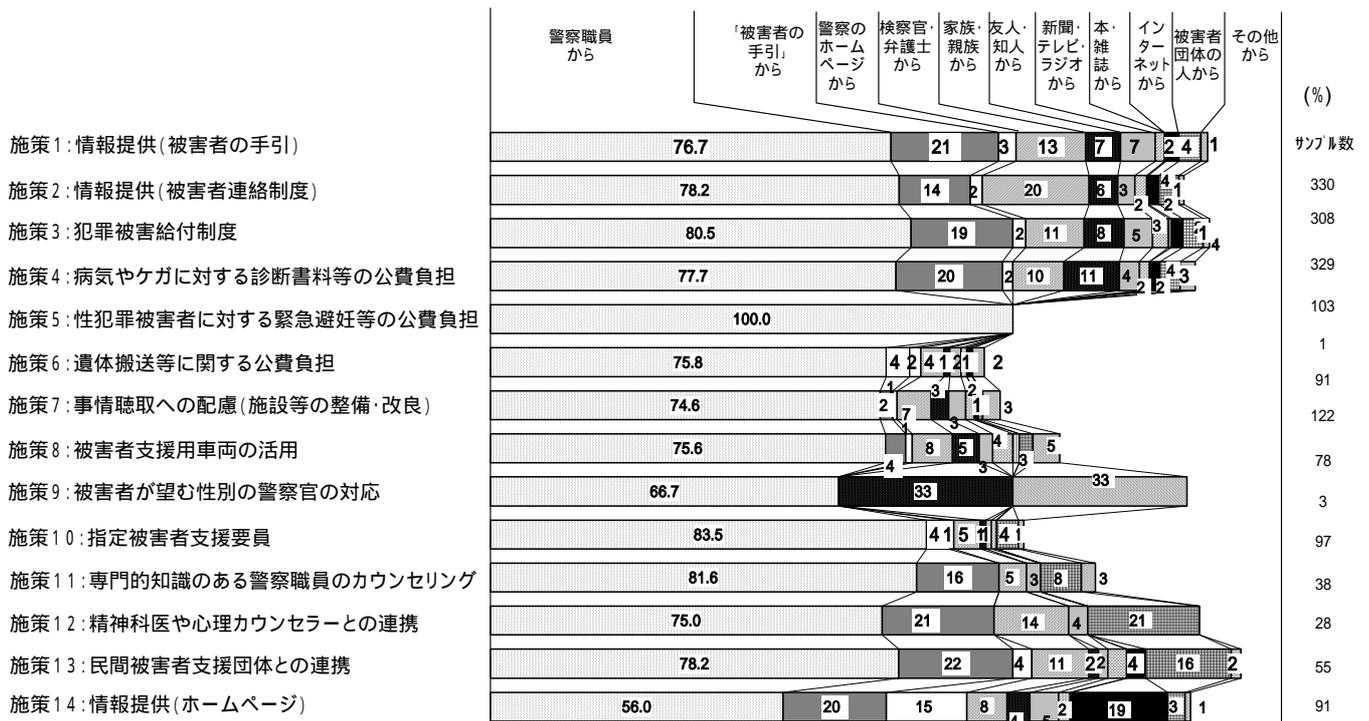
図1 - 2 施策の認知度

施策の認知媒体

施策を利用した人が、誰から(何から)知ったかについては、警察職員からが8割前後を占めており、他の認知媒体を大きく上回っている。

「情報提供(被害者連絡制度)」については、検察官・弁護士からが2割程度を占め、「犯罪被害者給付制度」、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」は、被害者の手引きから知った方の割合が1~2割となっている。

「精神科医や心理カウンセラーとの連携」、「民間被害者支援団体との連携」については、被害者の手引きに加え、検察官・弁護士、被害者支援団体から、約1~2割程度の割合で情報を得ている。



(複数回答 n: 各施策を利用した人)

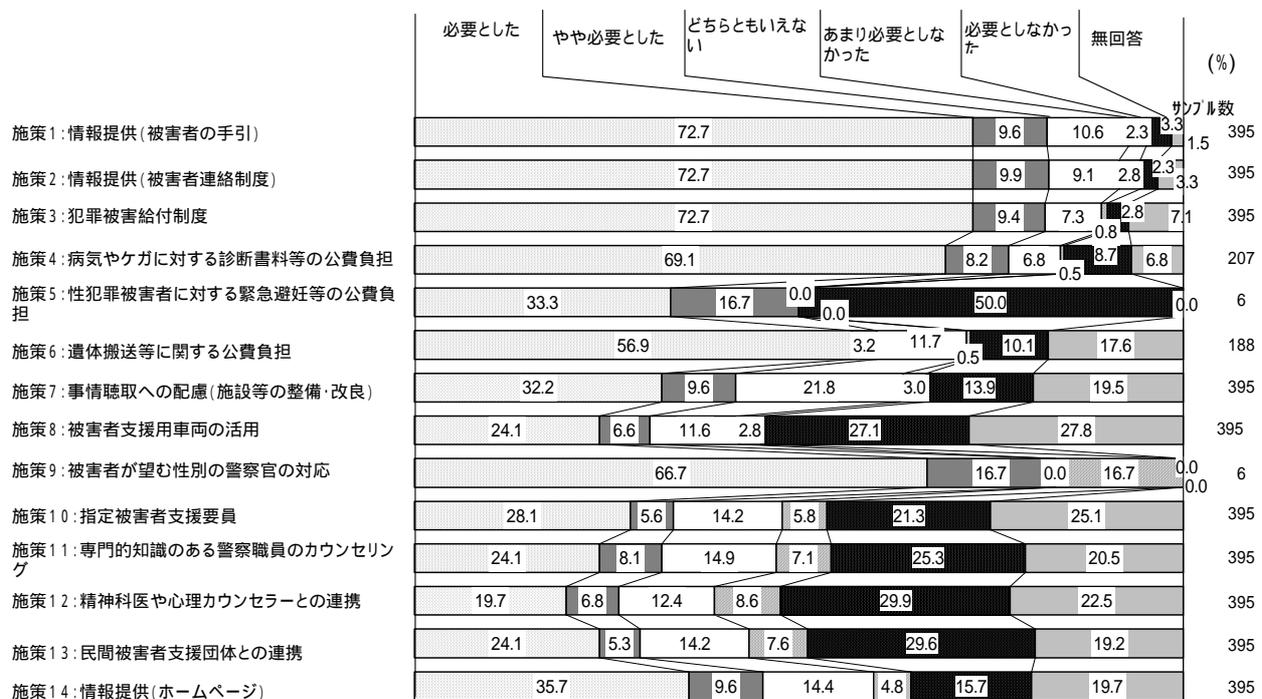
複数回答のため、それぞれの合計は100%にならない。

図1-3 施策の認知媒体

施策の必要度

施策の中では「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」の3施策を「必要とした」又は「やや必要とした」の割合は8割を超えている。

「病気やケガに関する診断書料等の公費負担」、「遺体搬送等に関する公費負担」と公費負担の施策についても「必要とした」又は「やや必要とした」と回答した人が半数を超えている。



(各施策のサンプル数は、想定される支援対象とした 全サンプル n=395 殺人を除く n=207、殺人による被害 n=188、性犯罪による被害 n=6)

図1 - 4 施策の必要性

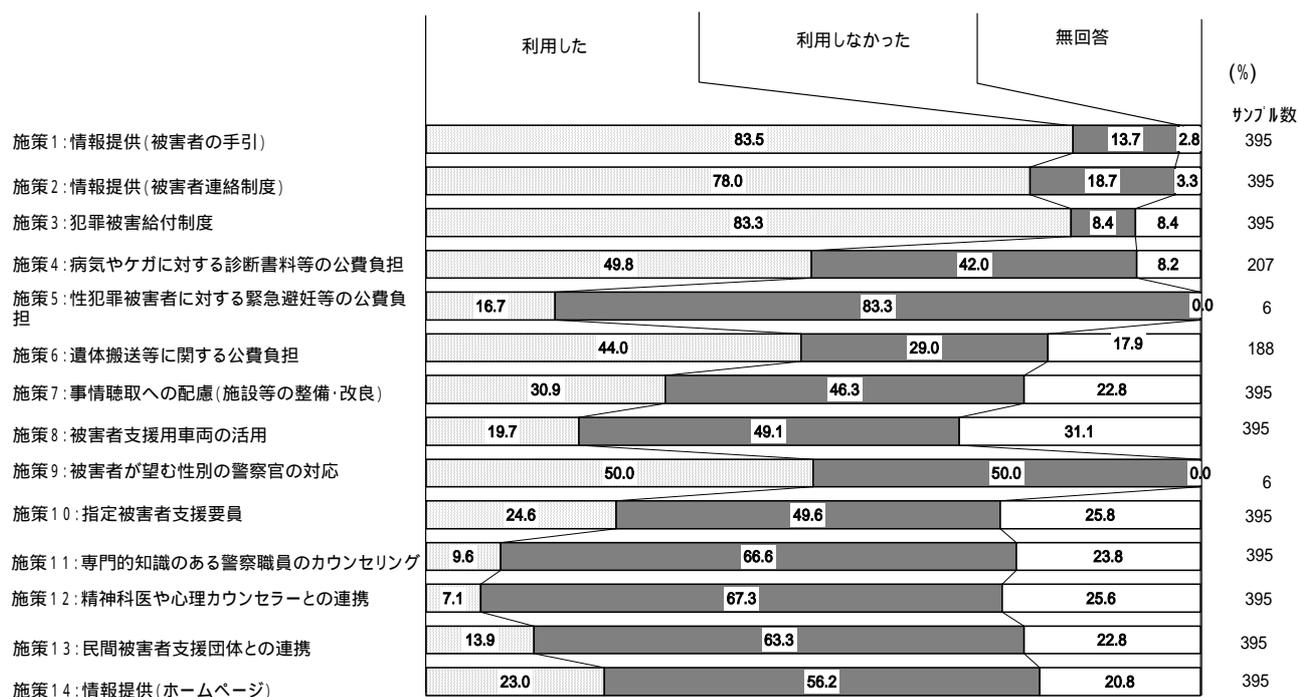
利用した施策内容

14 施策のうち、現在までの実際の利用施策数は平均して 4.4 施策である。特に、殺人による被害者では平均 4.8 施策と、暴力による被害者の平均約 3.9 施策よりも多く利用している傾向にある。

必要とした人の割合が高い施策については、実際に利用した人の割合も高い傾向にある。特に、「必要とした」又は「やや必要とした」が 8 割を超えた「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」の 3 施策については約 8 割の人が「利用した」と回答している。

「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」、「遺体搬送等に関する公費負担」については、「必要とした」又は「やや必要とした」と回答した人が約 6～8 割あったが、利用者は 5 割程度となっている。

「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」、「精神科医や心理カウンセラーとの連携」、「民間被害者支援団体との連携」については、「必要とした」又は「やや必要とした」と回答した人が約 3 割あったが、利用者が約 1 割にとどまっている。



(各施策のサンプル数は、想定される支援対象とした 全サンプル n=395 殺人を除く n=207、殺人による被害 n=188、犯罪による被害 n=6)

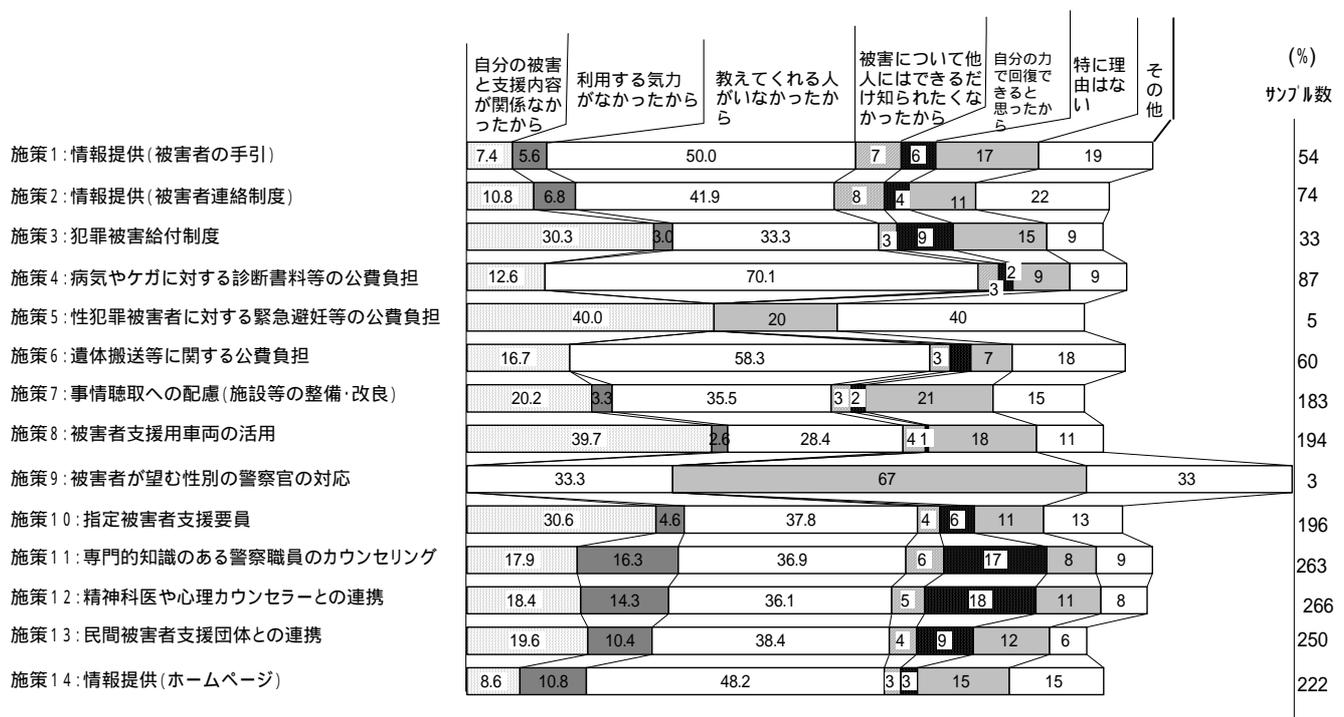
図 1 - 5 利用した施策内容

施策を利用しなかった理由

どの施策においても「教えてくれる人がいなかった」が最も多く、特に「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」では7割を超えている。「情報提供（被害者の手引）」、「遺体搬送等に関する公費負担」、「情報提供（ホームページ）」についても約5割となっている。

「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」、「精神科医や心理カウンセラーとの連携」では、約2割が、「自分の力で回復できると思ったから」利用しなかったとしている。これらの施策では「利用する気力がなかったから」も、1割を超えている。

「他人にはできるだけ知られたくなかったから」という、プライバシーに係わる理由では「情報提供（被害者連絡制度）」、「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」の施策で約1割ある。



(複数回答 n: 各施策を利用しなかった人 複数回答のため、それぞれの合計は100%にならない)

図1-6 施策を利用しなかった理由

イ) 警察の施策への満足度

(1) 施策への満足度

施策全体

全ての施策について、「満足した」又は「やや満足した」と回答した人を合わせると6割を超えている。

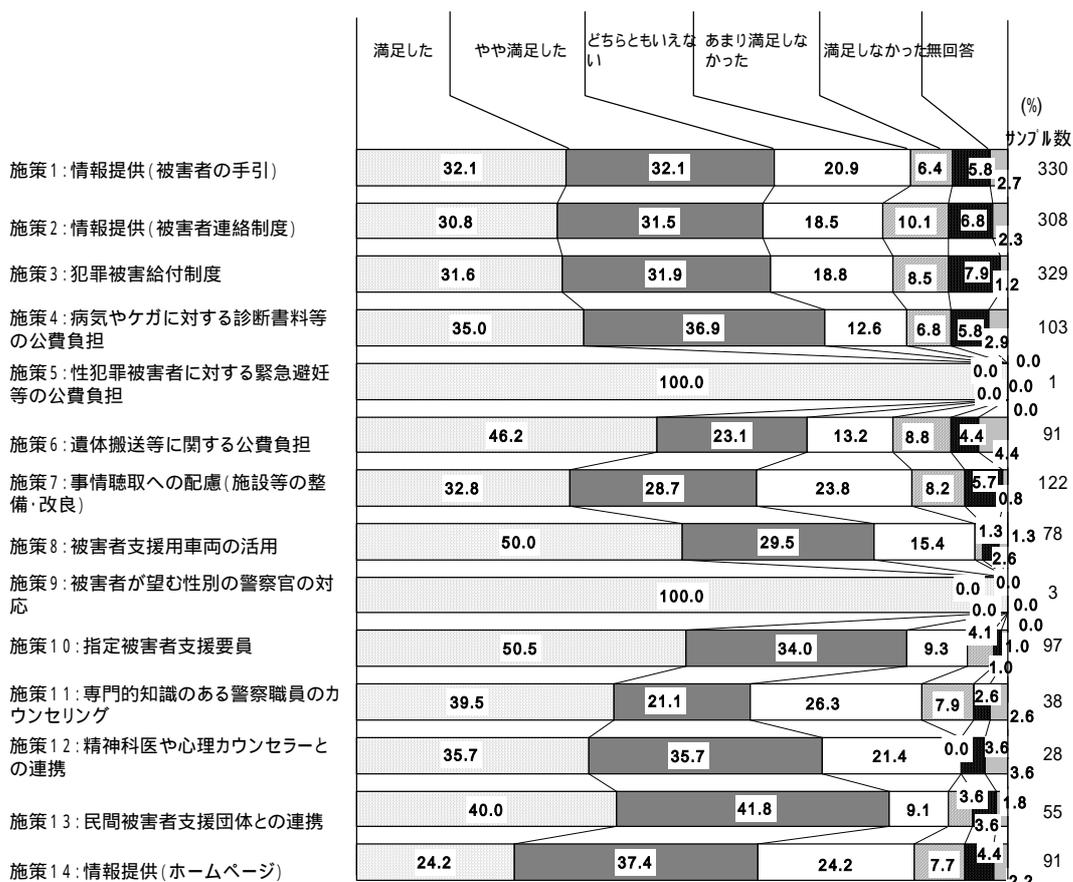
利用度の高い施策の満足度

施策の利用については、利用率が高かった「情報提供（被害者の手引き）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」の満足度については「満足した」又は「やや満足した」と回答した人は6割を超えている。

利用率が約5割の「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」、「遺体搬送等に関する公費負担」については、「満足した」又は「やや満足した」と回答した人は7割程度となっている。

利用度の低い施策の満足度

利用率が1~2割程度と低い場合においても、「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」、「精神科医や心理カウンセラーとの連携」については6割を超える人が、「被害者支援用車両の活用」、「民間被害者支援団体との連携」については約8割の人が、それぞれ「満足した」又は「やや満足した」としている。



(サンプル数 n: 各施策を利用した人)

図1 - 7 施策の満足度

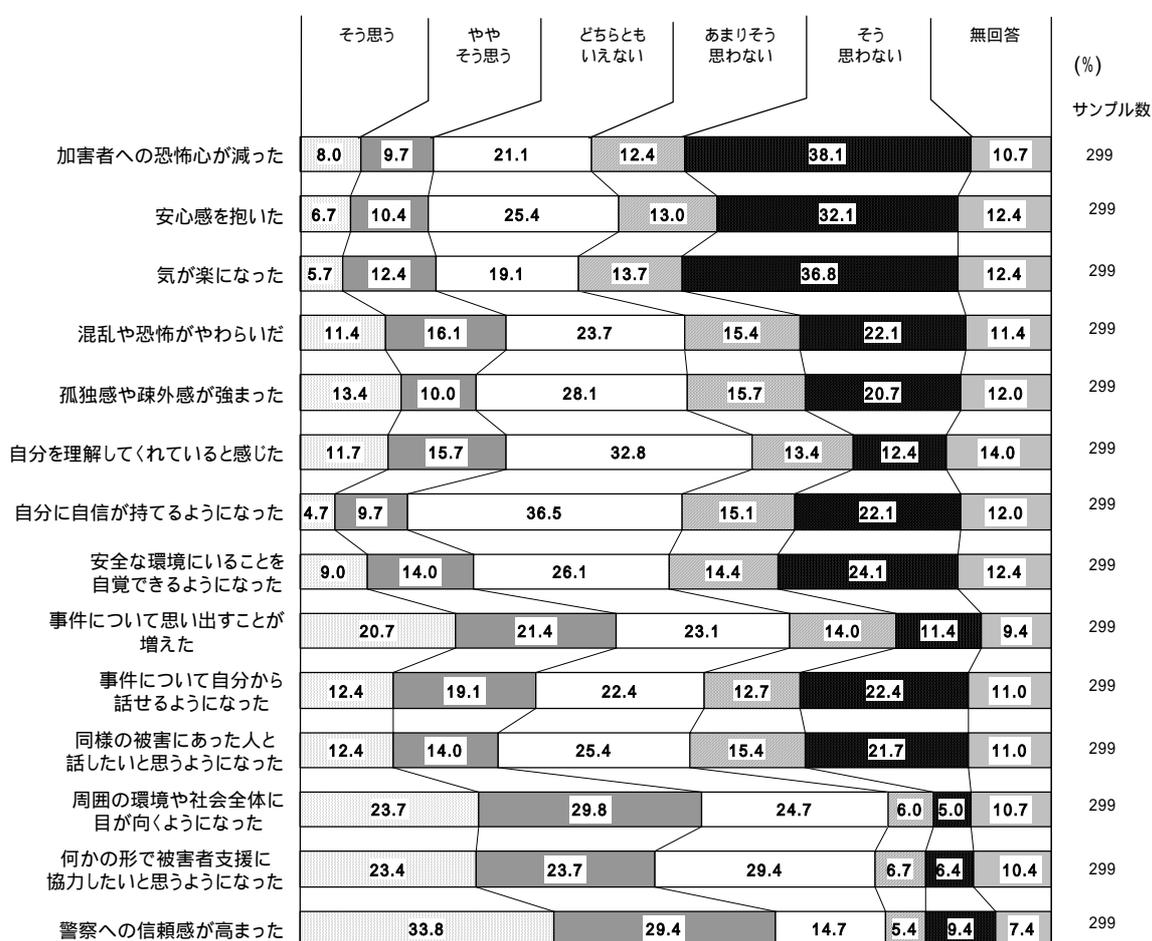
(2) 施策への満足度と被害後の心境変化

いずれかの施策で「満足した」又は「やや満足した」人と、いずれの施策も「あまり満足しなかった」又は「満足しなかった」とした人の心境の変化を比較する。

いずれの施策も「あまり満足しなかった」又は「満足しなかった」人と比較して、「満足した」又は「やや満足した」人は心境の変化が見られる。

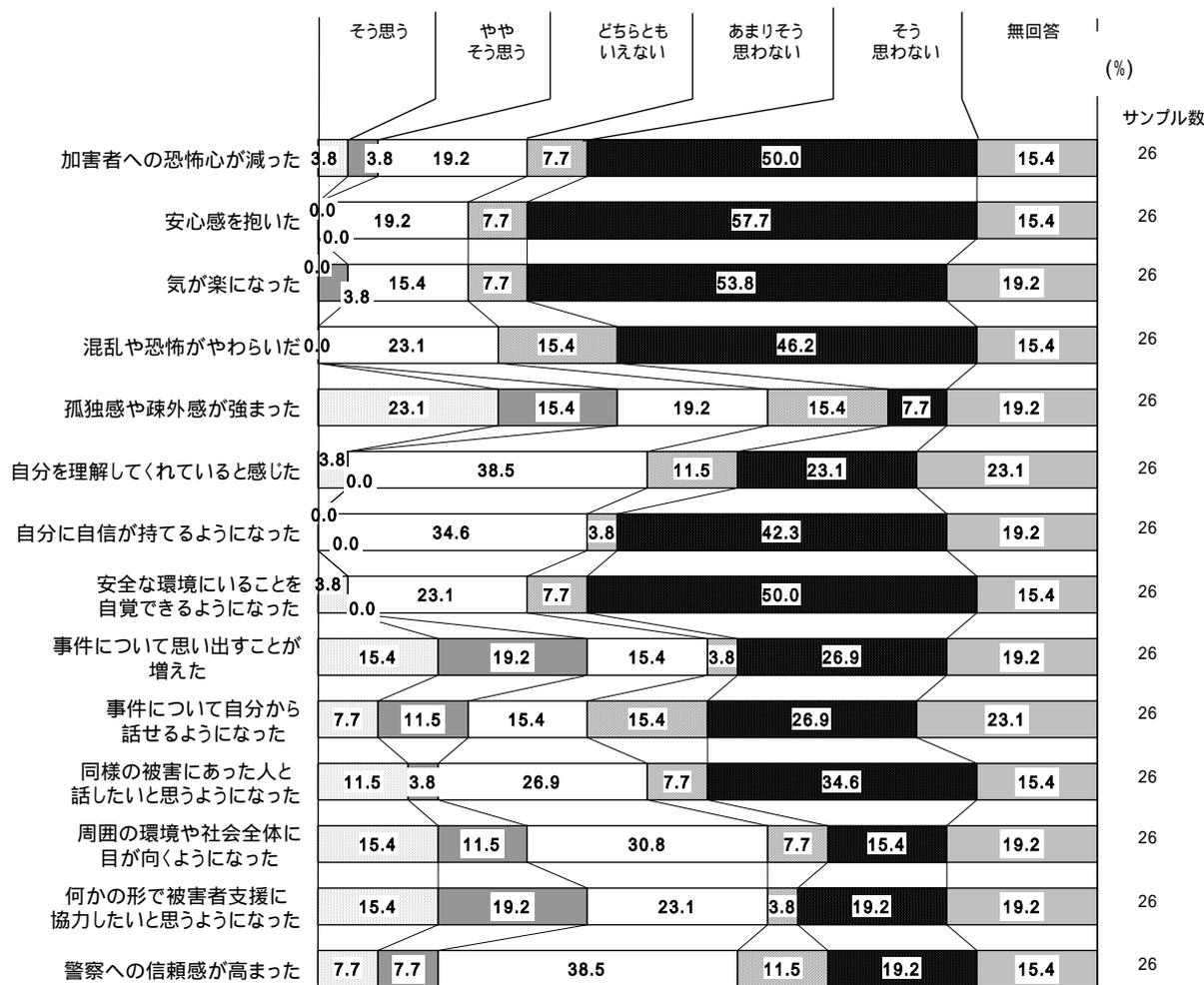
「混乱や恐怖心がやわらいだ」や「自分を理解してくれていると感じた」では、「あまり満足しなかった」又は「満足しなかった」人では「そう思う」又は「ややそう思う」がなかったのに対して、「満足した」又は「やや満足した」人では約3割が「そう思う」又は「ややそう思う」と変化している。

「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」、「何らかの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」、「警察への信頼感が高まった」では、「満足した」又は「やや満足した」人の約5~6割が「そう思う」、「ややそう思う」に変化しており、「あまり満足しなかった」又は「満足しなかった」人のそれより相当高くなっている。



(複数回答 n=299 いずれかの施策で「満足した」又は「やや満足した」人)

図1 - 8 被害後の心境変化(施策に満足)



(複数回答 n=26 いずれの施策も「あまり満足しなかった」又は「満足しなかった」とした人)

図1 - 9 被害後の心境変化(施策に満足しない)

ウ) 警察による支援へのニーズ

警察による支援へのニーズ

自分と同じような被害者が被害から回復するために必要とする支援としては、施策必要度の結果同様、「支援内容についての情報提供」、「捜査や検挙状況についての情報提供」や「給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和」へのニーズが高い。

「捜査中の被害者のプライバシーの保護」、殺人による被害では「マスコミなど報道機関への対応の支援」へのニーズが高い。

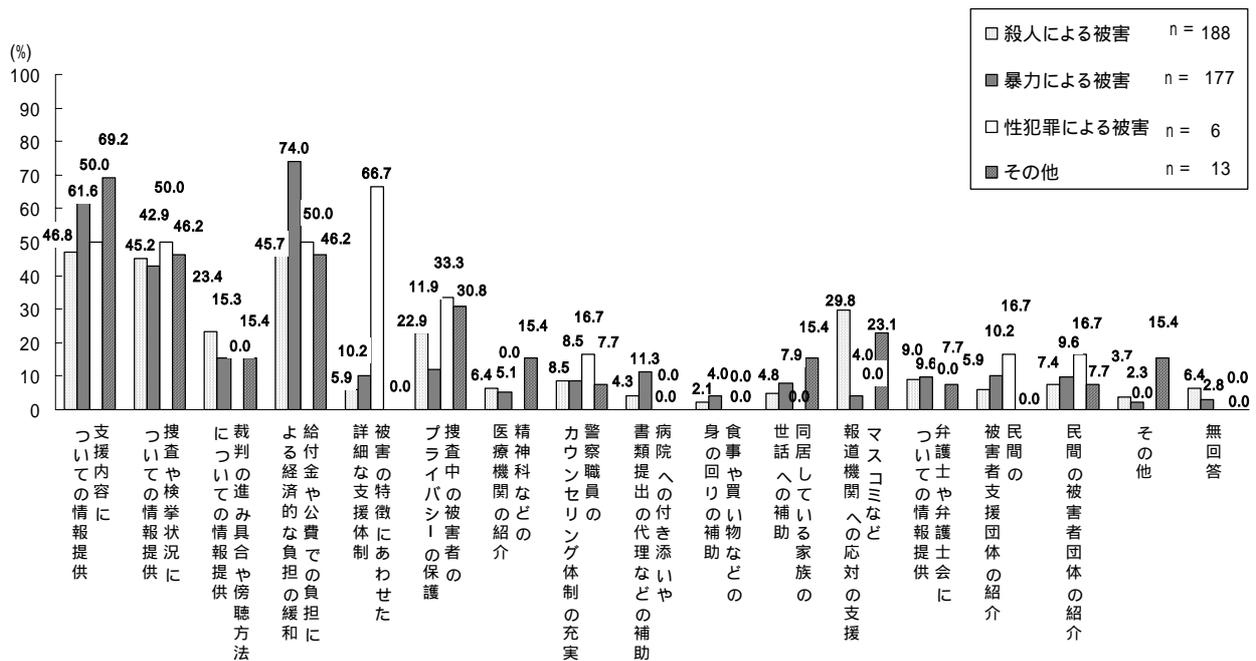


図1 - 10 警察による支援へのニーズ【被害種別】

2. 回答者情報及び施策別単純集計結果

(1) 回答者情報

1) 被害内容 (F 1 ~ F 6)

《 F 1 被害の種類》

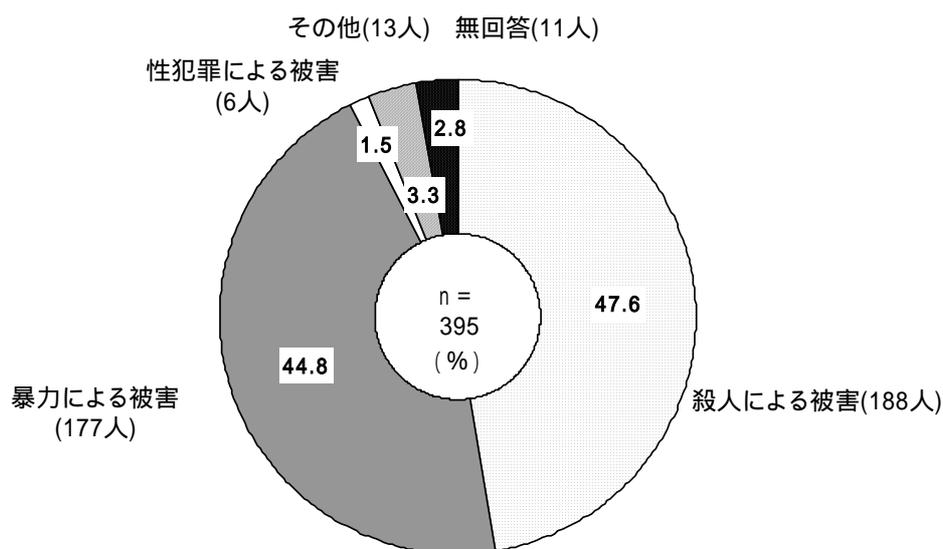
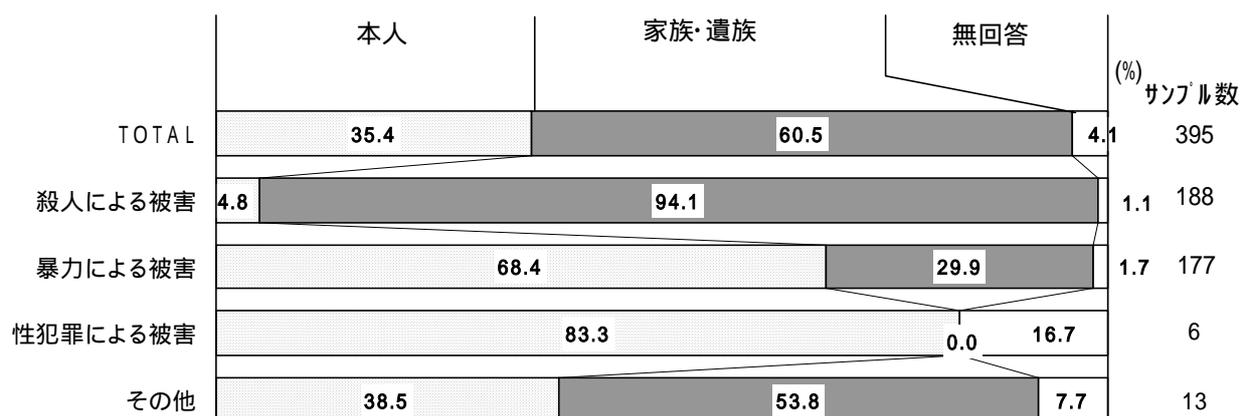


図 2 - 1 本人または家族が遭った被害の種類 (問 F 1)

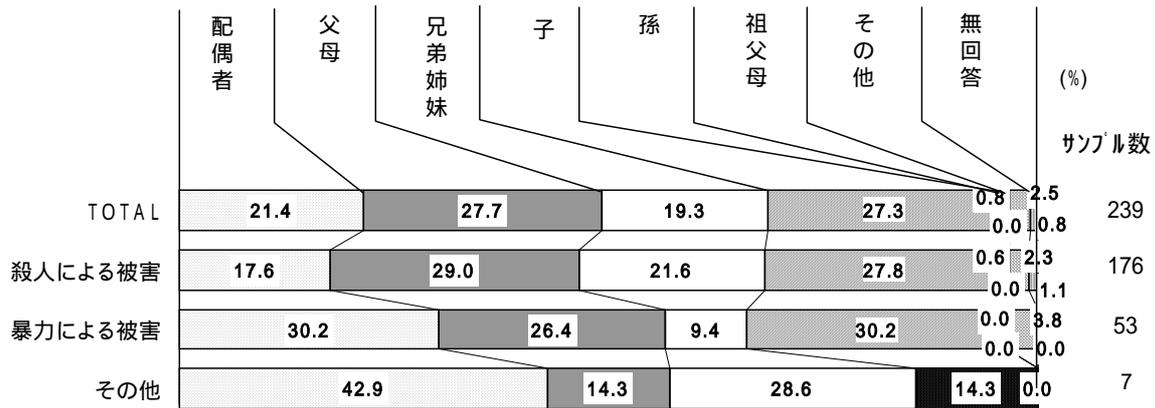
《 F 2 被害者との関係 (本人または家族・遺族)》



TOTAL n=395 : 被害の種類が無回答 (11人) を含むため、罪種別サンプル数合計と一致しない
被害種別はアンケートによる「遭われた被害」であり正式な罪種とは一致しない

図 2 - 2 被害者との関係 (本人または家族・遺族) (問 F 2)

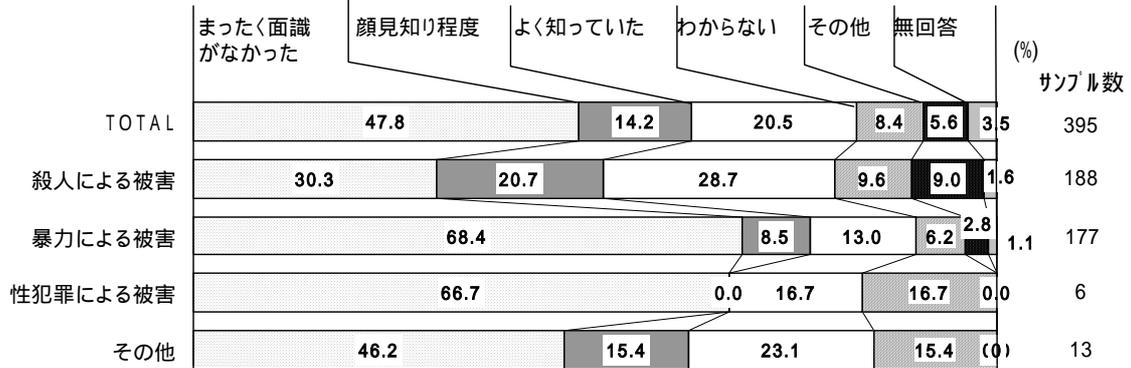
《 F 3 被害者との関係（家族が被害）》



(被害者との関係 家族・遺族 n=239)
TOTAL n=395 には被害の種類が無回答(11人)を含む

図 2 - 3 被害者との関係（家族が被害）（問 F 3）

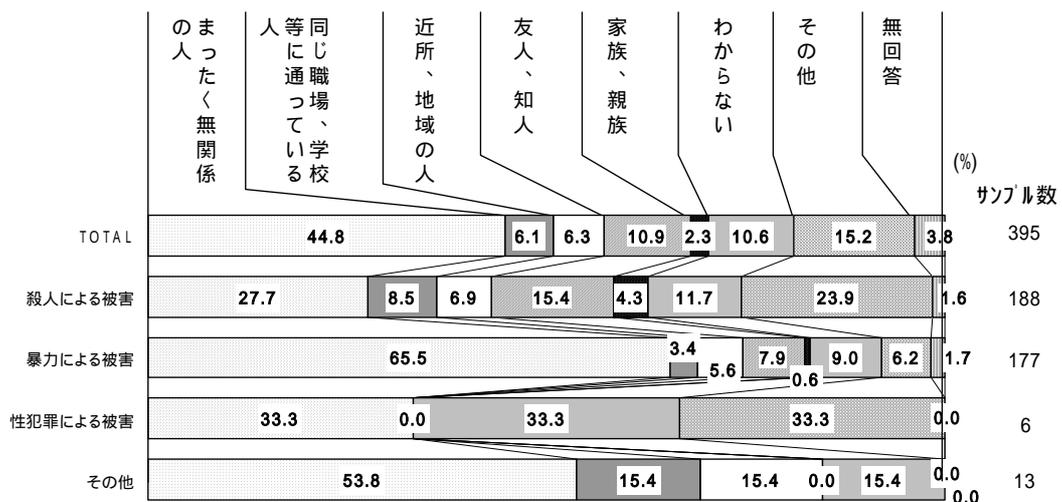
《 F 4 加害者との面識》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答(11人)を含む

図 2 - 4 加害者との面識（問 F 4）

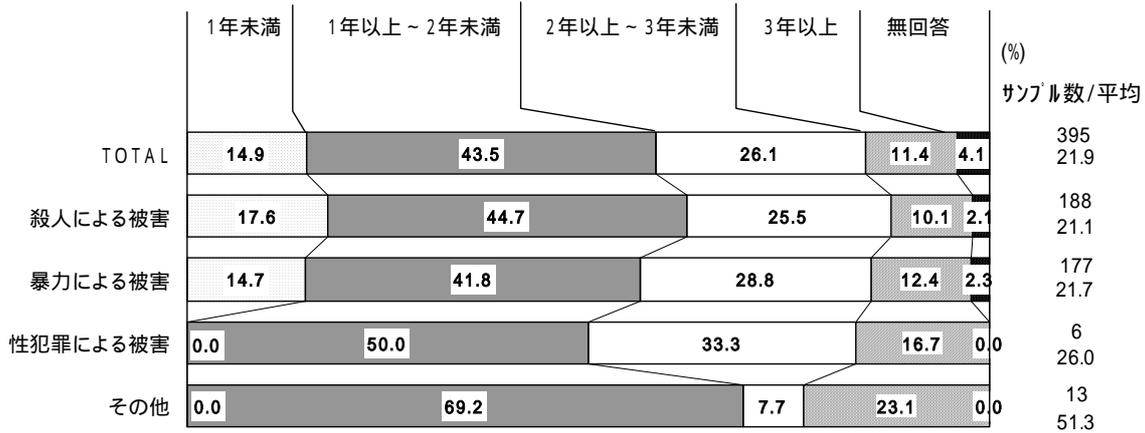
《 F 5 加害者との関係》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答(11人)を含む

図 2 - 5 加害者との関係（問 F 5）

《 F 6 被害に遭ってからの経過年数 》



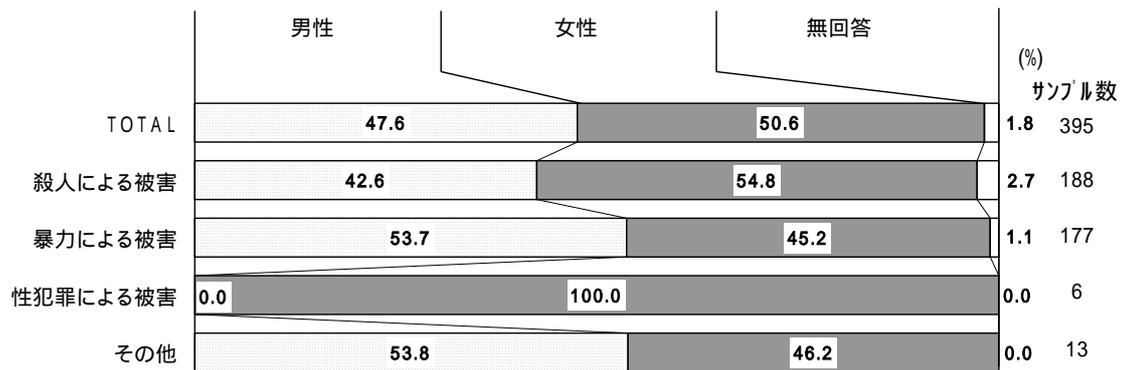
平均値は月数表記

TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 6 被害に遭ってからの経過年数 (問 F 6)

2) 回答者基本属性 (F 8 ~ F 11)

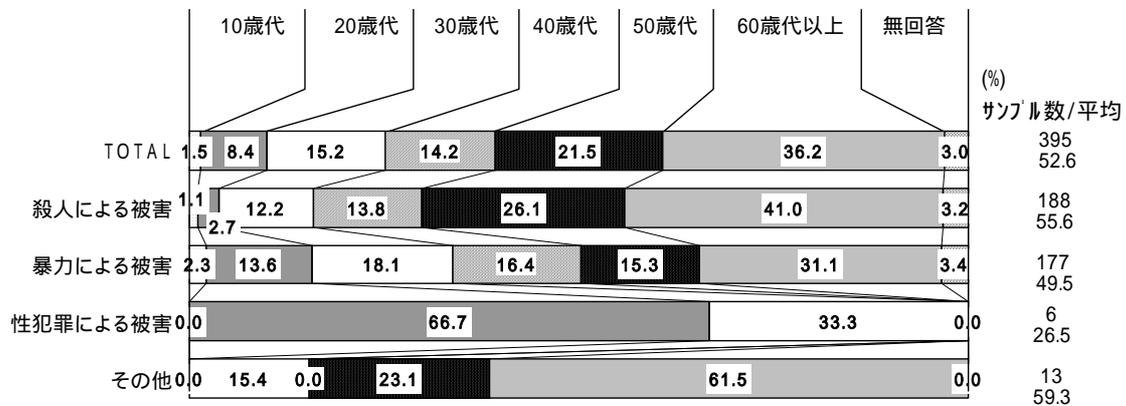
《 F 8 性別 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 7 性別 (問 F 8)

《 F 9 年代 》

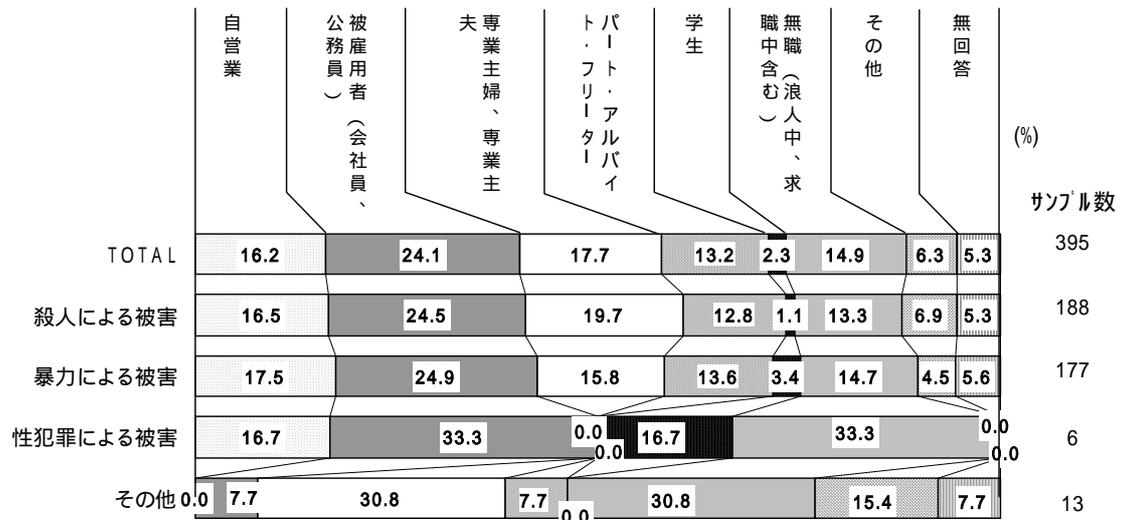


平均値は月数表記

TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 8 年代 (問 F 9)

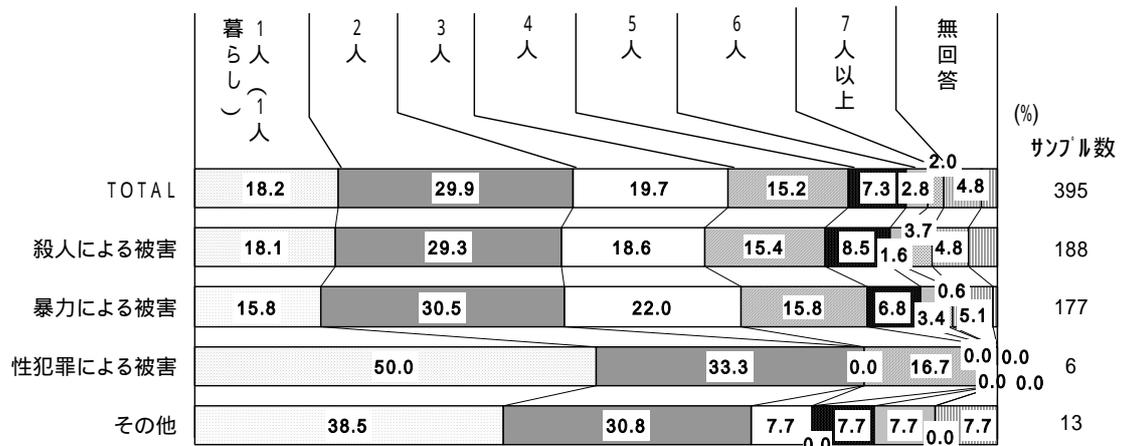
《 F 1 0 職業 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 9 職業 (問 F 1 0)

《 F 1 1 同居人数 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 1 0 同居人数 (問 F 1 1)

(2) 施策別 単純集計結果

具体的な支援施策（問 1～14 施策番号と問番号は対応している）に関して、施策ごとにまとめて記載している。施策ごとに想定される支援対象者が異なるため、集計は想定支援対象者を母数として行う。

施策と想定支援対象者（表「 」印）の対応は表 2 - 1 のとおりである。

表 2 - 1 施策別想定支援対象者

被害種別 被害に遭われた方 (本=本人、家=家族、遺=遺族を示す)		殺人による被害 遺	暴力による被害		性犯罪による被害		その他被害 被害種不明		
			本	家	本	家	本	家	
施策 1	問 1	情報提供（被害者の手引）							
施策 2	問 2	情報提供（被害者連絡制度）							
施策 3	問 3	犯罪被害給付制度							
施策 4	問 4	病気やケガに対する診断書料等の公費負担							
施策 5	問 5	性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担							
施策 6	問 6	遺体搬送等に関する公費負担							
施策 7	問 7	事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）							
施策 8	問 8	被害者支援用車両の活用							
施策 9	問 9	被害者が望む性別の警察官の対応							
施策 10	問 10	指定被害者支援要員							
施策 11	問 11	専門的知識のある警察職員のカウンセリング							
施策 12	問 12	精神科医や心理カウンセラーとの連携							
施策 13	問 13	民間被害者支援団体との連携							
施策 14	問 14	情報提供（ホームページ）							

問1 情報提供（被害者の手引）

< 支援施策 >

刑事手続（事件の捜査、裁判など）がどう進められていくのか、どのような支援を受けられるのかなど、犯罪被害に遭った被害者や遺族の方が必要とする情報をパンフレット（被害者の手引）にまとめています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「情報提供（被害者の手引）」については、82.3%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

利用の有無については83.5%の人が「利用した」と回答している。

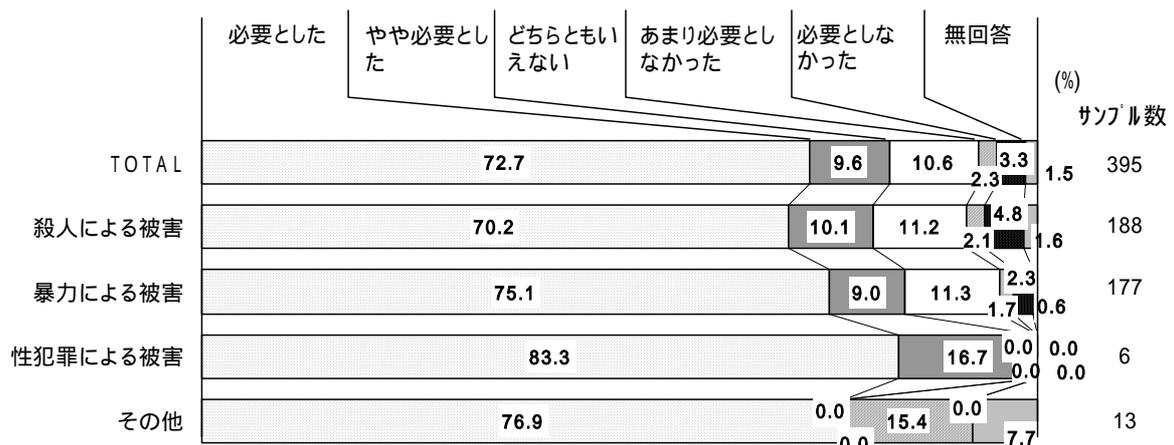
「利用した」と回答した人のうち64.2%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については「警察職員から」が76.7%、「情報提供（被害者の手引）」が20.6%となっている。

利用しなかった理由として50.0%の人が「教えてくれる人がいなかったから」と回答している。

認知状況については、79.0%の人が「被害に遭った後に知った」と回答している。

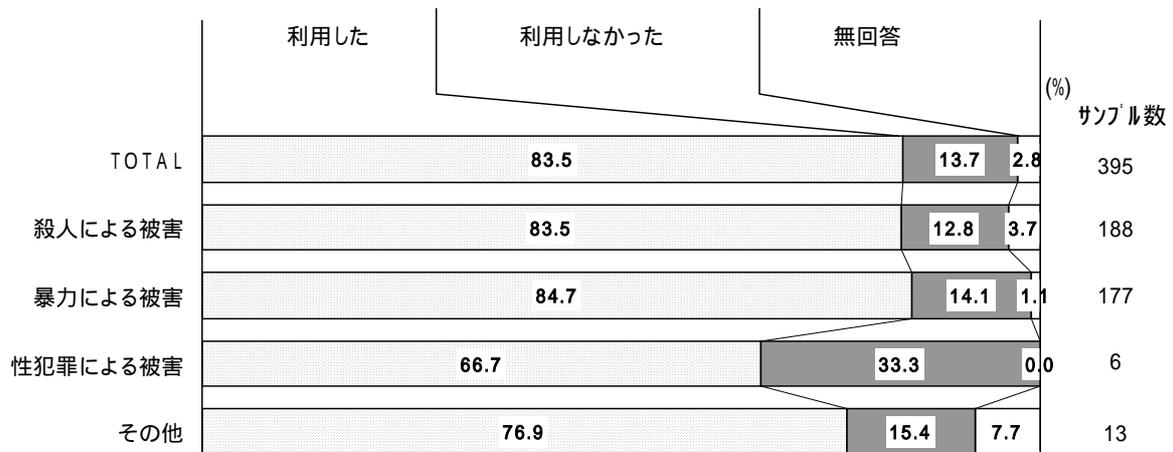
《 問1 - 1 『被害者の手引』の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2 - 1 1 『被害者の手引』の必要度（問1 - 1）

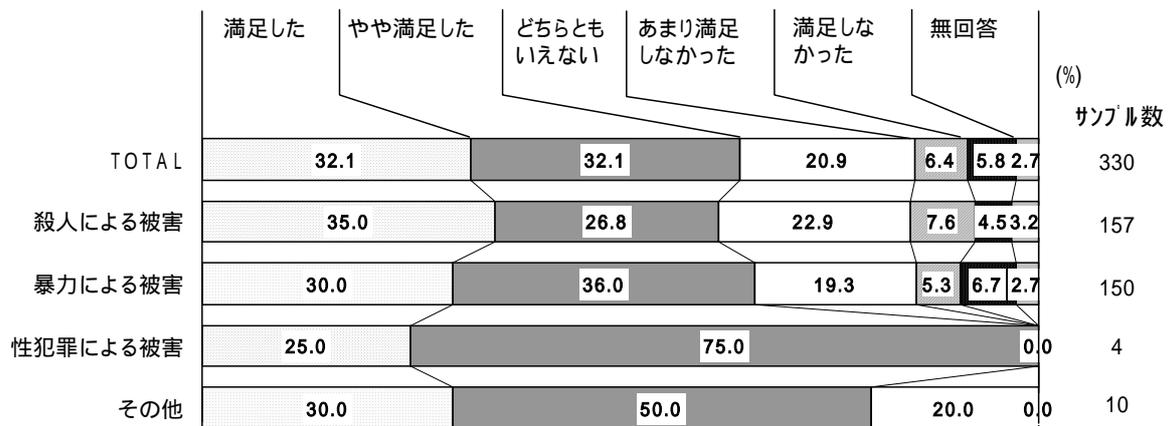
《 問 1 - 2 『被害者の手引』の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 1 2 『被害者の手引』の利用有無 (問 1 - 2)

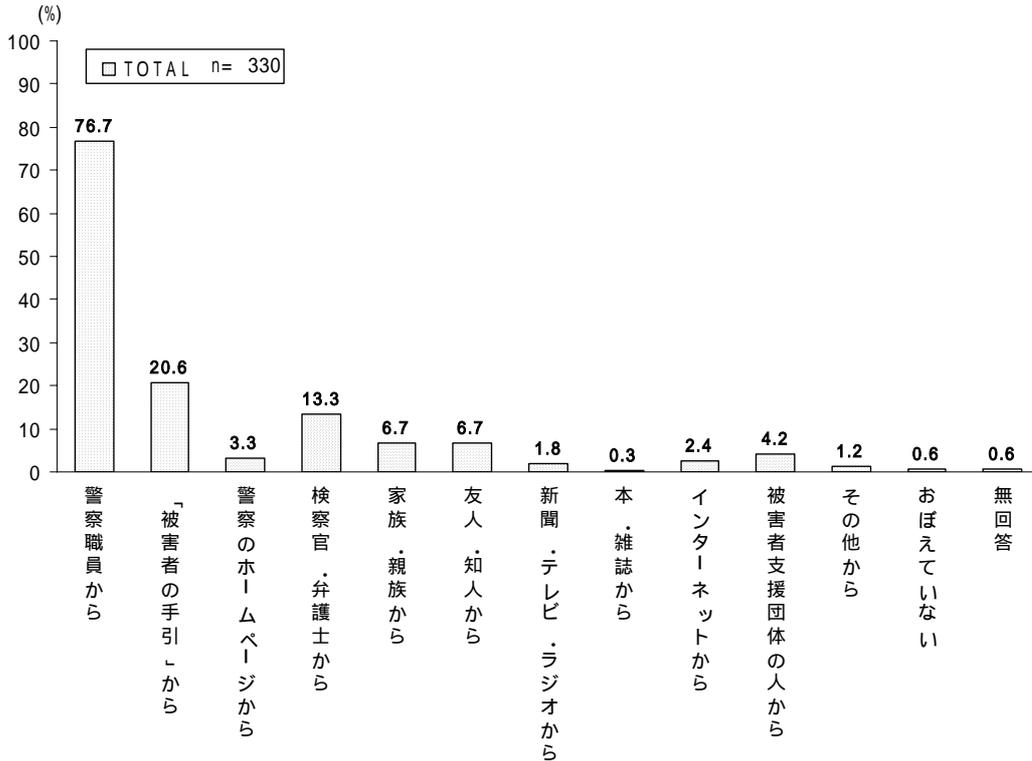
《 問 1 - 3 『被害者の手引』の満足度 》



『被害者の手引』を利用した n=330

図 2 - 1 3 『被害者の手引』の満足度 (問 1 - 3)

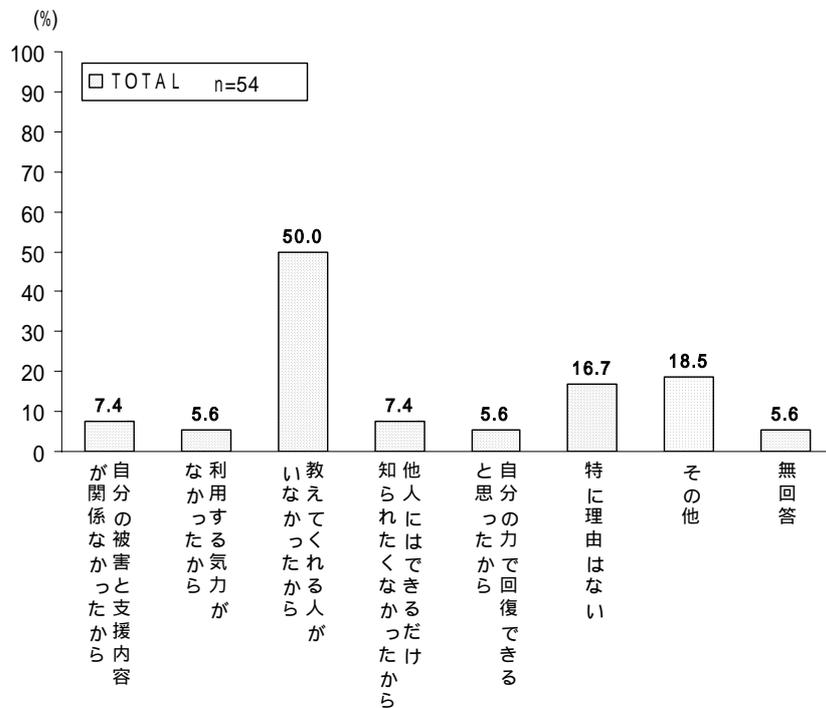
《 問 1 - 4 『被害者の手引』の認知媒体 》



複数回答のため、合算しても 100%とは一致しない
『被害者の手引』を利用した n=330

図 2 - 1 4 『被害者の手引』の認知媒体 (問 1 - 4)

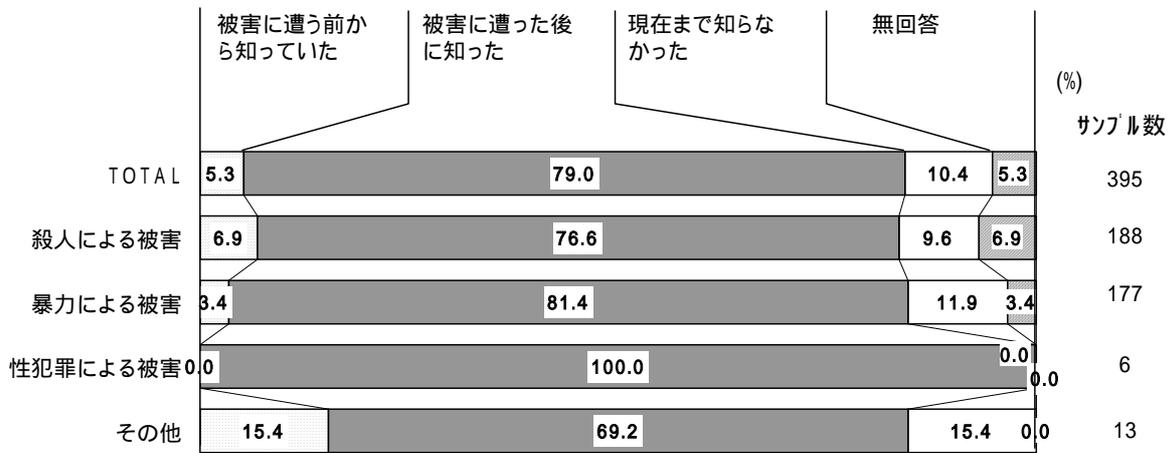
《 問 1 - 5 『被害者の手引』を利用しなかった理由 》



複数回答のため、合算しても 100%とは一致しない
『被害者の手引』を利用しなかった n=54

図 2 - 1 5 『被害者の手引』を利用しなかった理由 (問 1 - 5)

《 問 1 - 6 『被害者の手引』の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 1 6 『被害者の手引』の認知状況（問 1 - 6）

問2 情報提供（被害者連絡制度）

< 支援施策 >

事件捜査の進み具合や加害者を逮捕したか、裁判にかかるか、などについて、警察職員が被害者や遺族の方へ説明、連絡しています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「情報提供（被害者連絡制度）」については、82.6%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

利用の有無については78.0%の人が「利用した」と回答している。

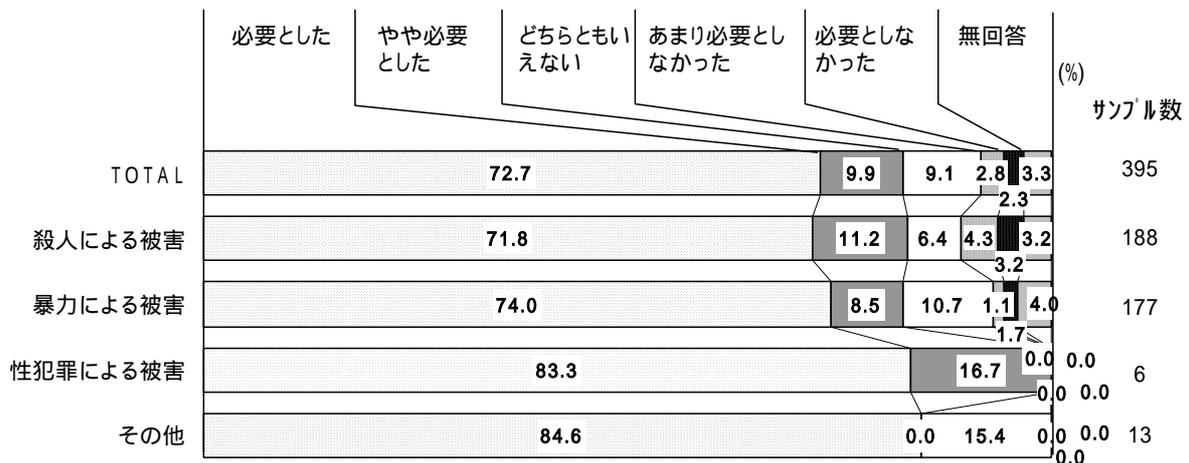
「利用した」と回答した人のうち、62.3%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については、78.2%の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由としては、41.9%の人が「教えてくれる人がいなかったから」と回答しており割合が高くなっている。

認知状況については、73.2%の人が「被害に遭った後に知った」と回答している。

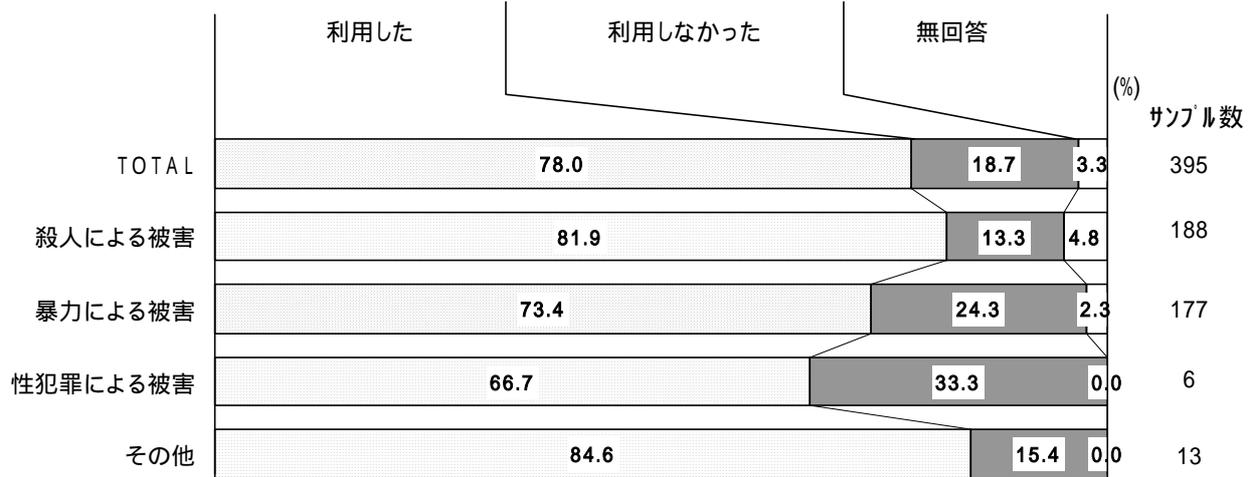
《 問2 - 1 被害者連絡制度の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2 - 17 被害者連絡制度の必要度（問2 - 1）

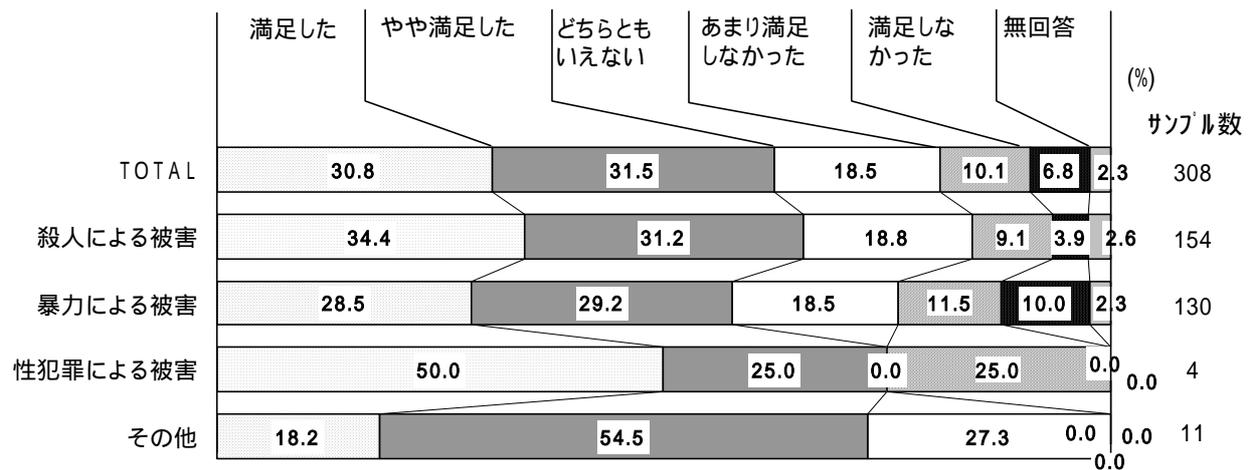
《 問 2 - 2 利被害者連絡制度の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11 人) を含む

図 2 - 1 8 被害者連絡制度の必要度 (問 2 - 2)

《 問 2 - 3 被害者連絡制度の満足度 》



被害者連絡制度を利用した n=308

図 2 - 1 9 被害者連絡制度の満足度 (問 2 - 3)

《 問 2 - 4 被害者連絡制度の認知媒体 》

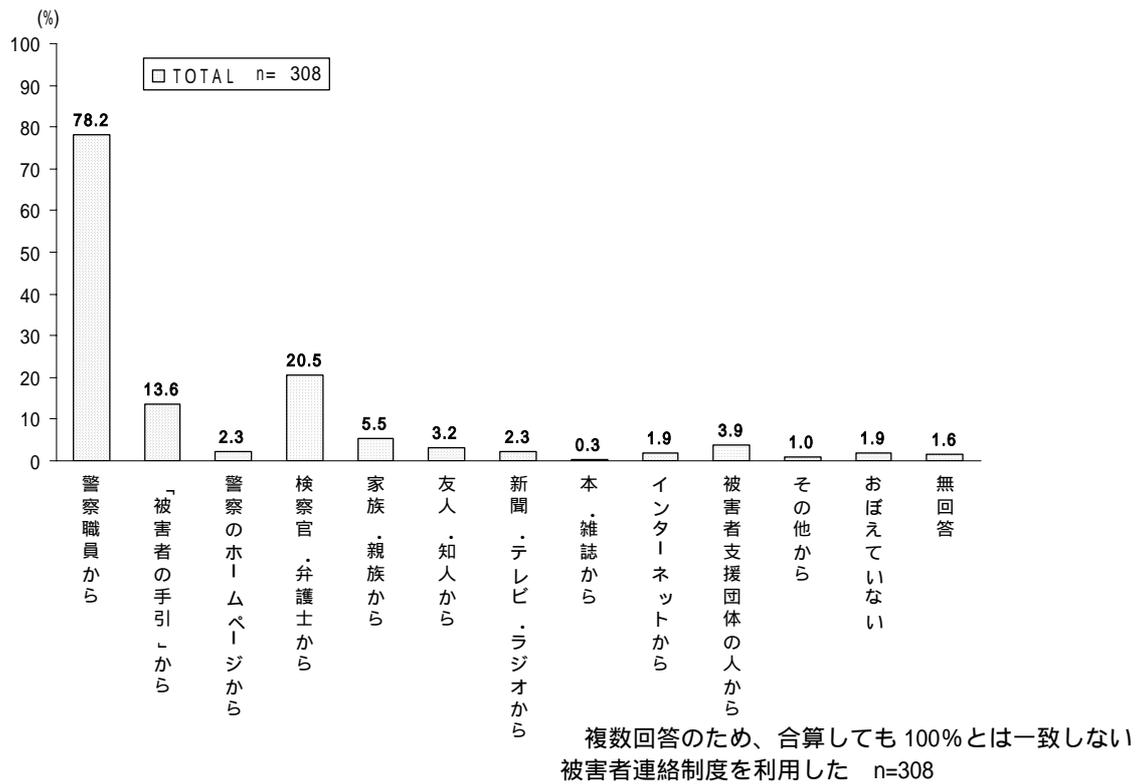


図 2 - 2 0 被害者連絡制度の認知媒体 (問 2 - 4)

《 問 2 - 5 被害者連絡制度を利用しなかった理由 》

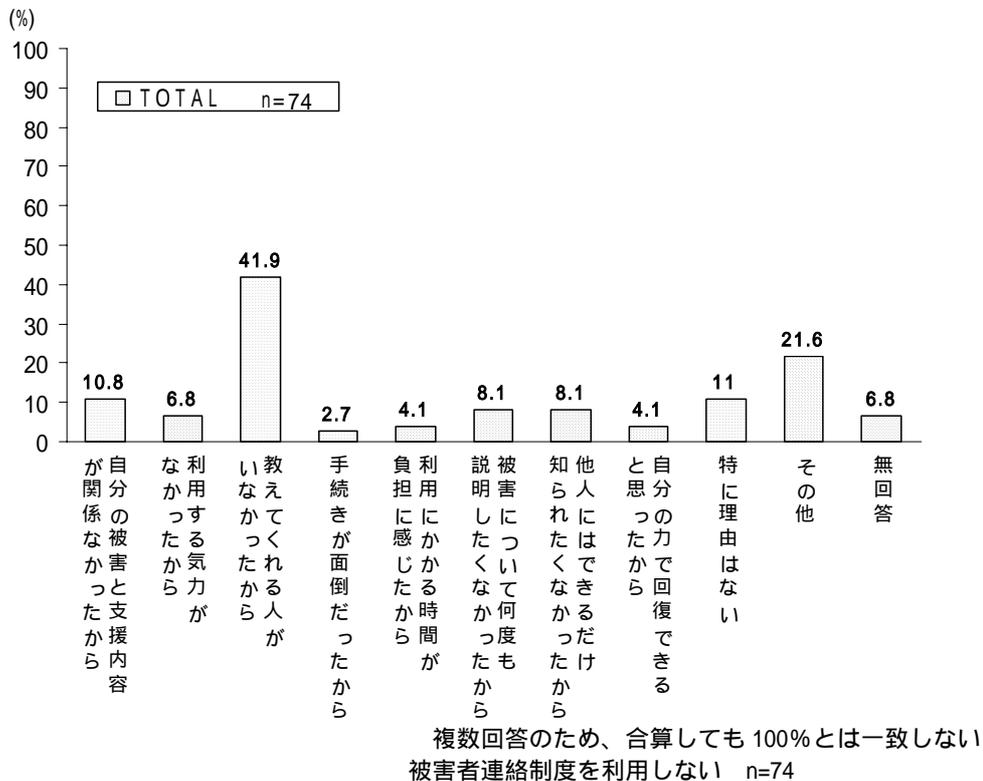
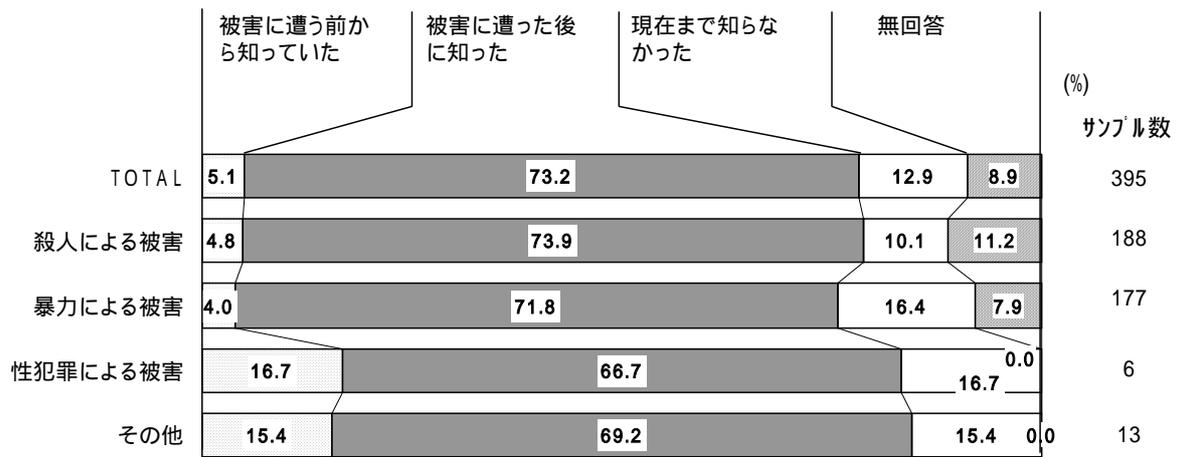


図 2 - 2 1 被害者連絡制度の利用しなかった理由 (問 2 - 5)

《 問 2 - 6 被害者連絡制度の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 2 2 被害者連絡制度の認知状況（問 2 - 6）

問3 犯罪被害給付制度

< 支援施策 >

殺人等の故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた方の遺族や、障害が残った被害者の方、重大な傷病を受けた方に対し、一定の場合に、国から給付金が支給されます。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

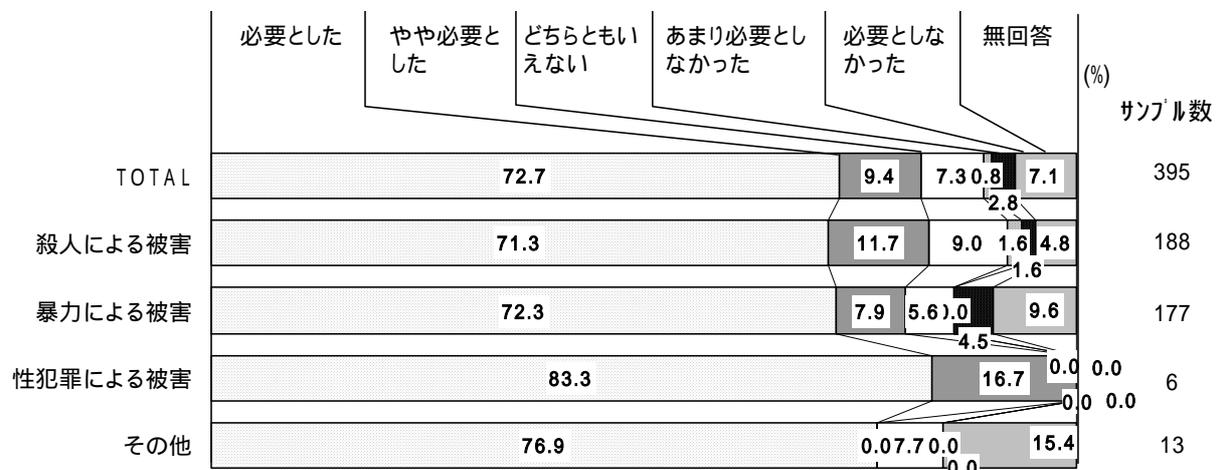
「犯罪被害給付制度」については、82.1%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

「満足した」または「やや満足した」と回答した人は63.5%となっている。

認知媒体については、80.5%の人が「警察職員から」と回答している。

認知状況については、73.2%の人が「被害に遭った後に知った」と回答している。

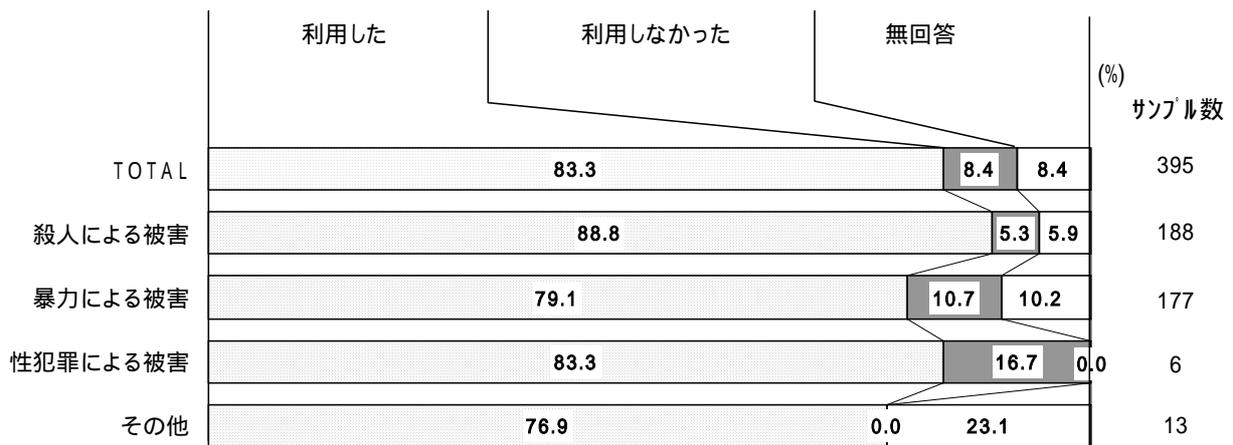
《 問3 - 1 犯罪被害給付制度の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図2 - 2 3 犯罪被害給付制度の必要度 (問3 - 1)

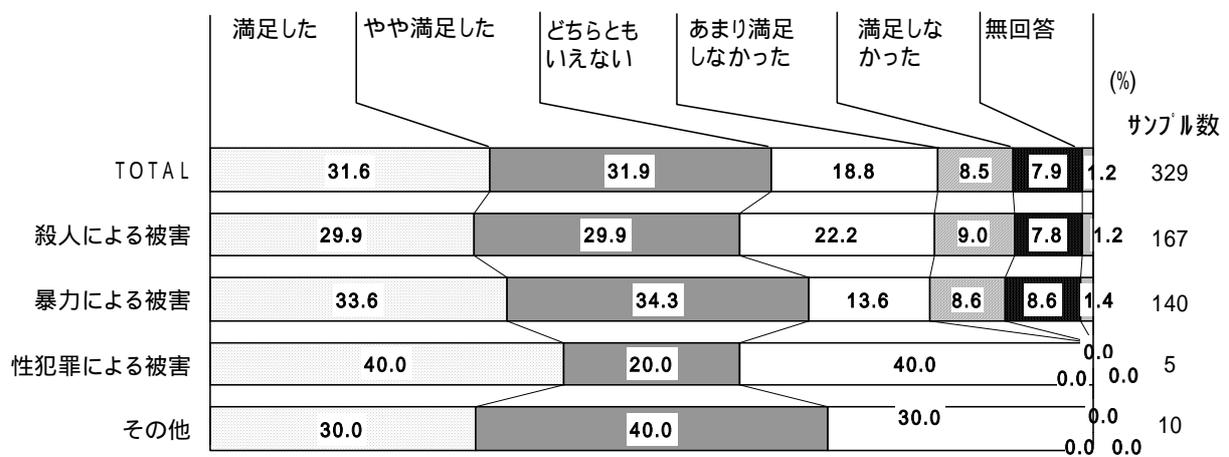
《 問3 - 2 犯罪被害給付制度の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2 - 2 4 被害者連絡制度の利用有無（問3 - 2）

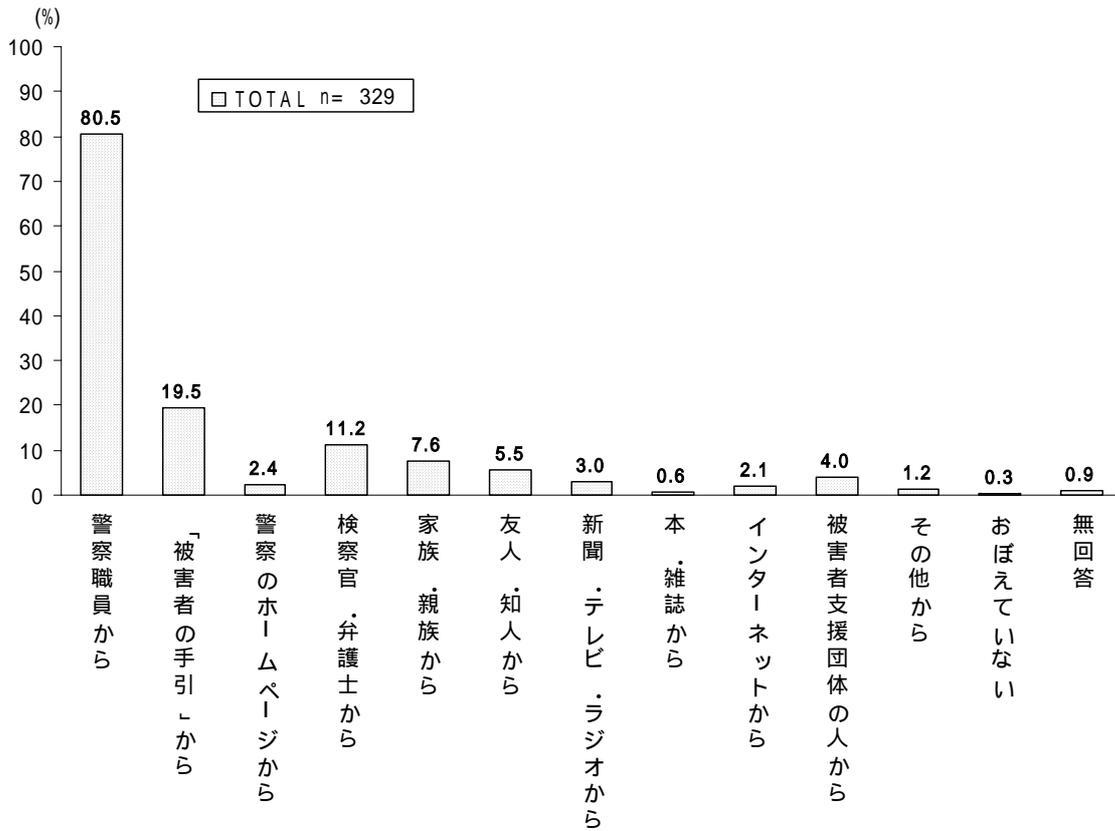
《 問3 - 3 犯罪被害給付制度の満足度 》



犯罪被害給付制度を利用した n=329

図2 - 2 5 犯罪被害給付制度の満足度（問3 - 3）

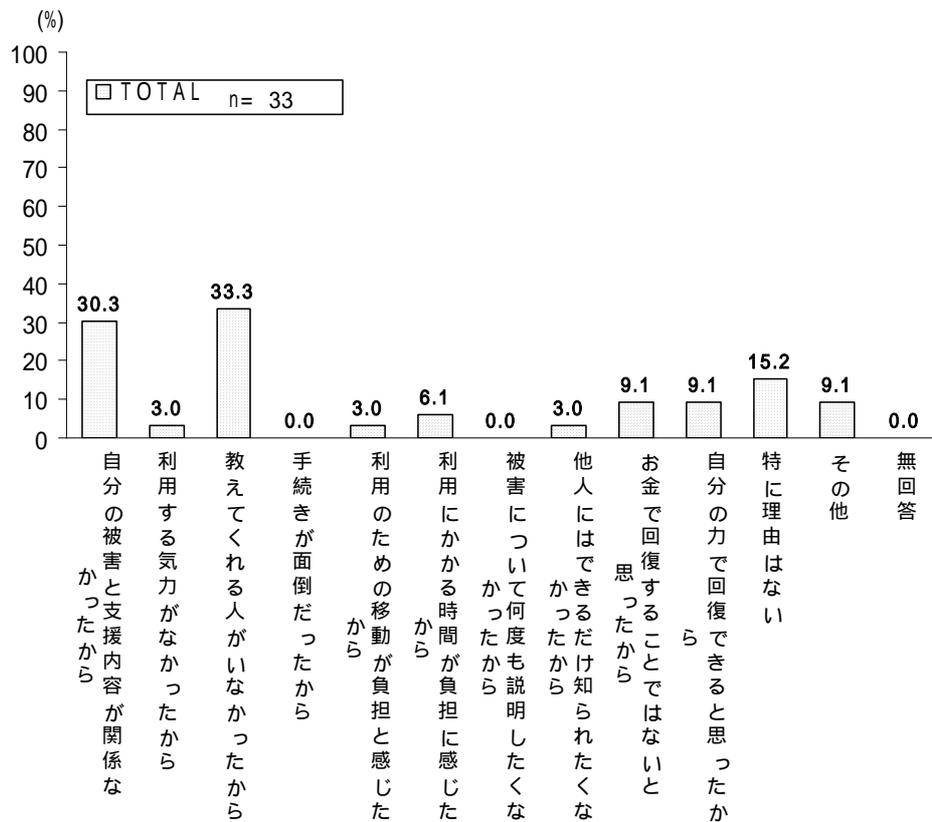
《 問3 - 4 犯罪被害給付制度の認知媒体 》



複数回答のため、合算しても100%とは一致しない
 犯罪被害給付制度を利用した n=329

図2 - 2 6 犯罪被害給付制度の認知媒体 (問3 - 4)

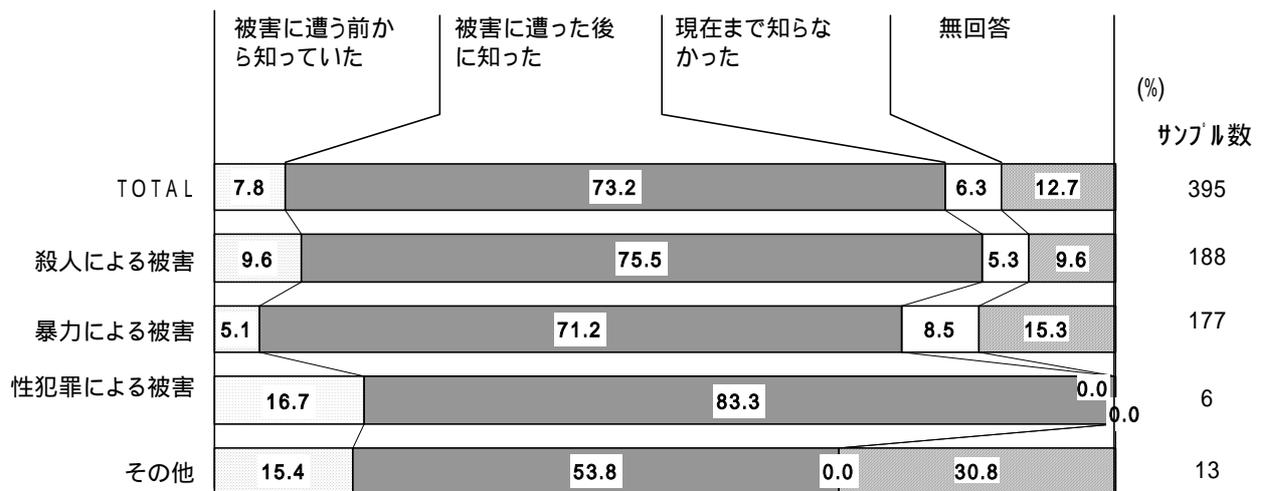
《 問3 - 5 犯罪被害給付制度を利用しなかった理由 》



複数回答のため、合算しても100%とは一致しない
 被害者連絡制度を利用しない n=33

図2 - 27 犯罪被害給付制度の利用しなかった理由 (問3 - 5)

《 問3 - 6 犯罪被害給付制度の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図2 - 28 犯罪被害給付制度の認知状況 (問3 - 6)

問4 病気やケガに対する診断書料等の公費負担

< 支援施策 >

犯罪に遭われて病気やケガをされた方に対して、診断書料や初診料などを公費で負担する制度を進めています。

< 想定される支援対象者 >

暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」については、77.3%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

利用の有無については、「利用した」と回答した人が49.8%である一方、「利用しなかった」が42.0%と割合も高くなっている。

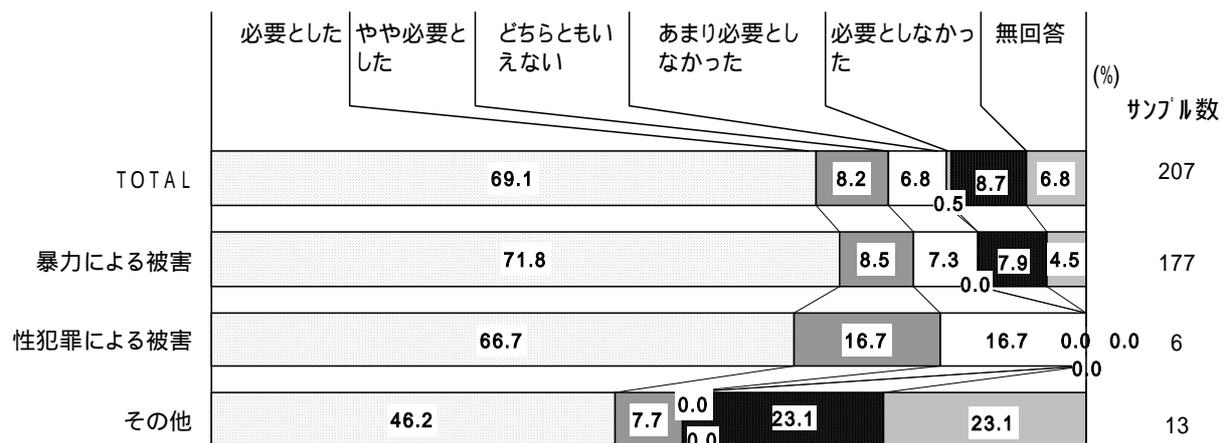
「利用した」と回答した人のうち、71.9%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については77.7%の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として70.1%の人が「教えてくれる人がいなかったから」と回答している。

認知状況については、53.1%の人が「被害に遭った後に知った」と回答している。

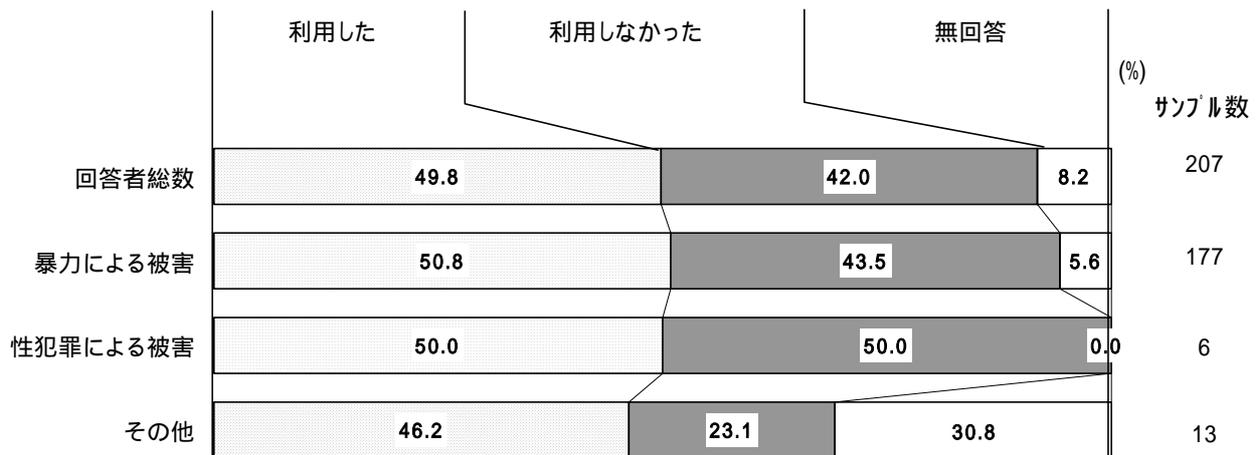
《 問4 - 1 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の必要度 》



病気やケガに対する診断書料等の公費負担に想定される支援対象 殺人を除く被害者等 n=207

図2 - 29 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の必要度 (問4 - 1)

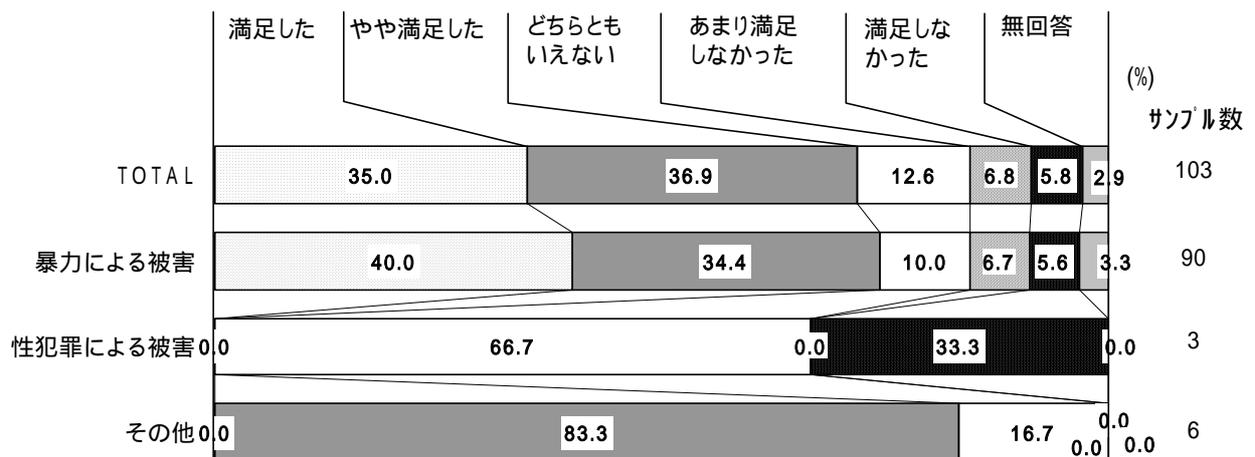
《 問 4 - 2 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の利用有無 》



病気やケガに対する診断書料等の公費負担に想定される支援対象 殺人を除く被害者等 n=207

図 2 - 3 0 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の利用有無 (問 4 - 2)

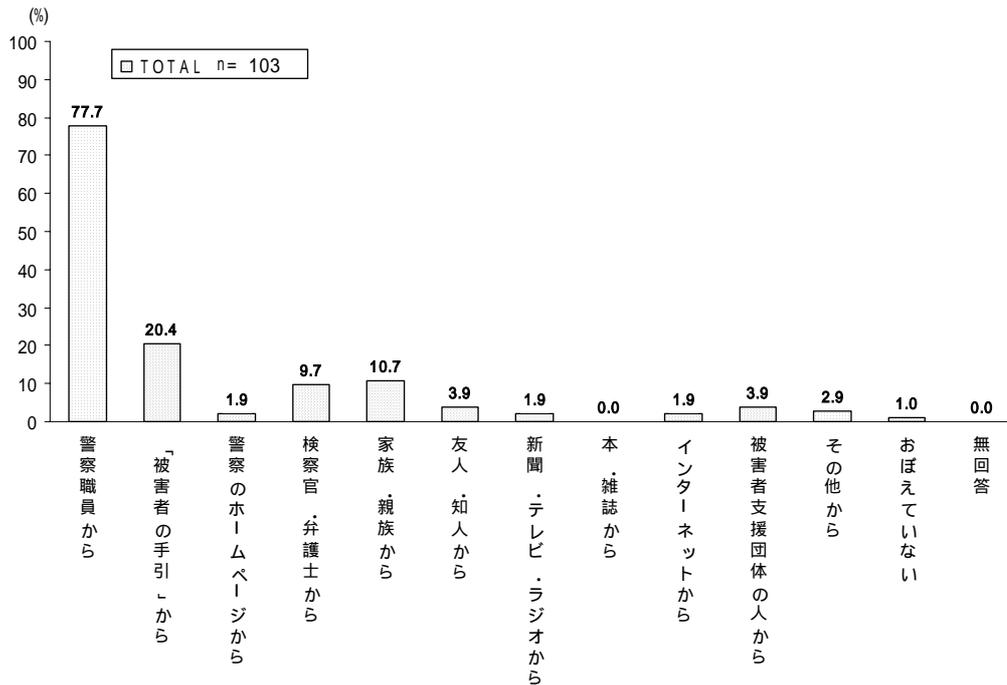
《 問 4 - 3 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の満足度 》



病気やケガに対する診断書料等の公費負担を利用した n=103

図 2 - 3 1 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の満足度 (問 4 - 3)

《 問 4 - 4 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の認知媒体 》

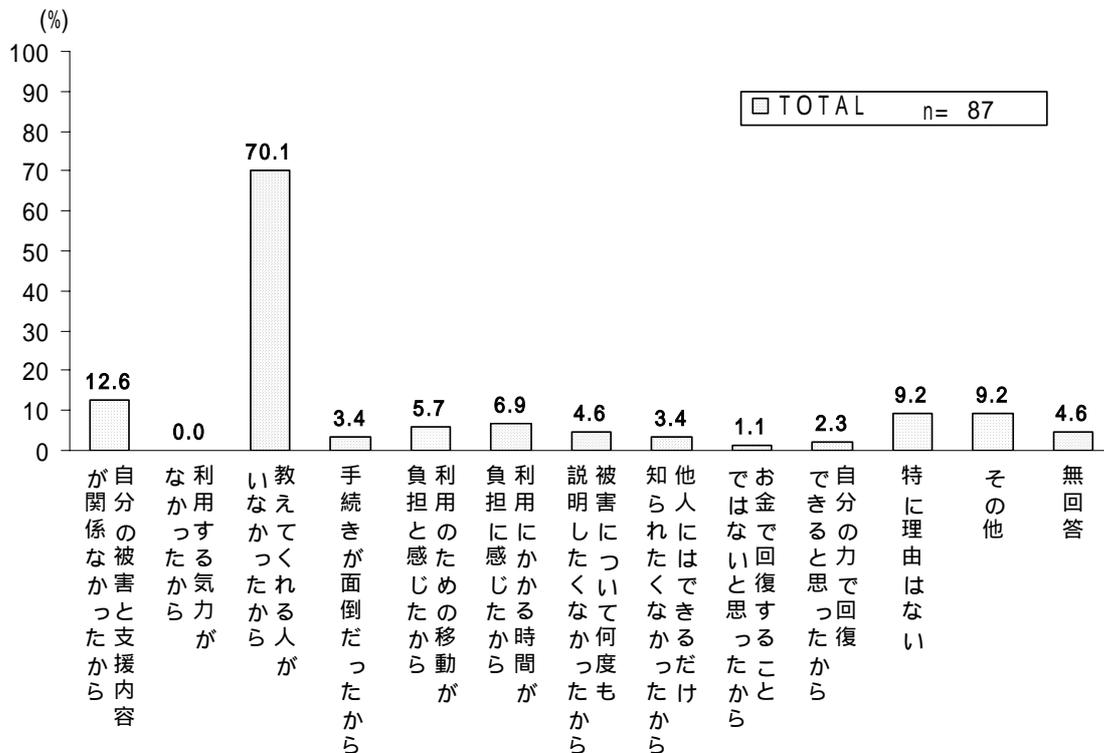


複数回答のため、合算しても 100%とは一致しない

病気やケガに対する診断書料等の公費負担を利用した n=103

図 2 - 3 2 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の認知媒体 (問 4 - 4)

《 問 4 - 5 病気やケガに対する診断書料等の公費負担を利用しなかった理由 》

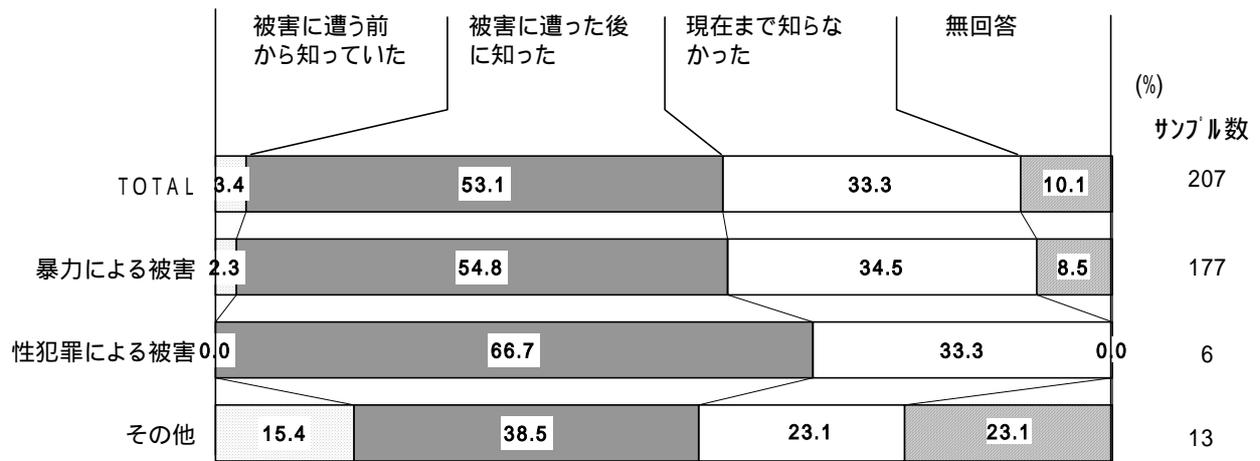


複数回答のため、合算しても 100%とは一致しない

病気やケガに対する診断書料等の公費負担を利用しない n=87

図 2 - 3 3 病気やケガに対する診断書料等の公費負担を利用しなかった理由 (問 4 - 5)

《 問 4 - 6 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の認知状況 》



病気やケガに対する診断書料等の公費負担に想定される支援対象 殺人を除く被害者等 n=207

図 2 - 3 4 病気やケガに対する診断書料等の公費負担の認知状況 (問 4 - 6)

問5 性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担

< 支援施策 >

性犯罪の被害に遭われた方に対して、緊急に避妊する費用等を公費で負担する制度を進めています。

< 想定される支援対象者 >

性犯罪による被害の本人、家族

< 調査結果 >

「性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担」についての回答者は6名である。

6名中3名が「必要とした」、「やや必要とした」と回答しているが、「利用した」と回答した人は1名である。

利用した1名は「満足した」と回答しており、認知媒体は「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として「自分の支援内容が関係なかったから」が挙げられている。認知状況については6名のうち2名が「被害に遭った後に知った」、4名が「現在まで知らなかった」と回答している。

問6 遺体搬送等に関する公費負担

< 支援施策 >

犯罪被害に遭われて亡くなられた方の遺族に対して、司法解剖後のご遺体を搬送する費用や司法解剖の傷跡を目立たないようにする費用を公費で負担する制度を進めています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害の遺族

< 調査結果 >

「遺体搬送等に関する公費負担」については、「必要とした」または「やや必要とした」と回答した人が60.1%となっている。

利用の有無については48.4%の人が「利用した」と回答している。

「利用した」と回答した人のうち、69.3%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については、75.8%の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として、58.3%の人が「教えてくれる人がいなかったから」と回答している。

認知状況については42.6%の人が「被害に遭った後に知った」と回答している。

《 問6 - 1 遺体搬送等に関する公費負担の必要度 》

	必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	56.9		3.2	11.7	0.5	10.1	17.6	188
殺人による被害	56.9		3.2	11.7	0.5	10.1	17.6	188

遺体搬送等に関する公費負担に想定される支援対象 殺人による被害者等 n=188

図2 - 3 5 遺体搬送等の公費負担の必要度 (問6 - 1)

《 問 6 - 2 遺体搬送等に関する公費負担の利用有無 》

	利用した	利用しなかった	無回答	(%) サンプル数
TOTAL	48.4	31.9	19.7	188
殺人による被害	48.4	31.9	19.7	188

遺体搬送等に関する公費負担に想定される支援対象 殺人による被害者等 n=188

図 2 - 3 6 遺体搬送等の公費負担の利用有無 (問 6 - 2)

《 問 6 - 3 遺体搬送等に関する公費負担の満足度 》

	満足した	やや満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	満足しな かった	無回答	(%) サンプル数
TOTAL	46.2	23.1	13.2	8.8	4.4	4.4	91
殺人による被害	46.2	23.1	13.2	8.8	4.4	4.4	91

遺体搬送等に関する公費負担を利用した n=91

図 2 - 3 7 遺体搬送等の公費負担の満足度 (問 6 - 3)

《 問6 - 4 遺体搬送等に関する公費負担の認知媒体 》

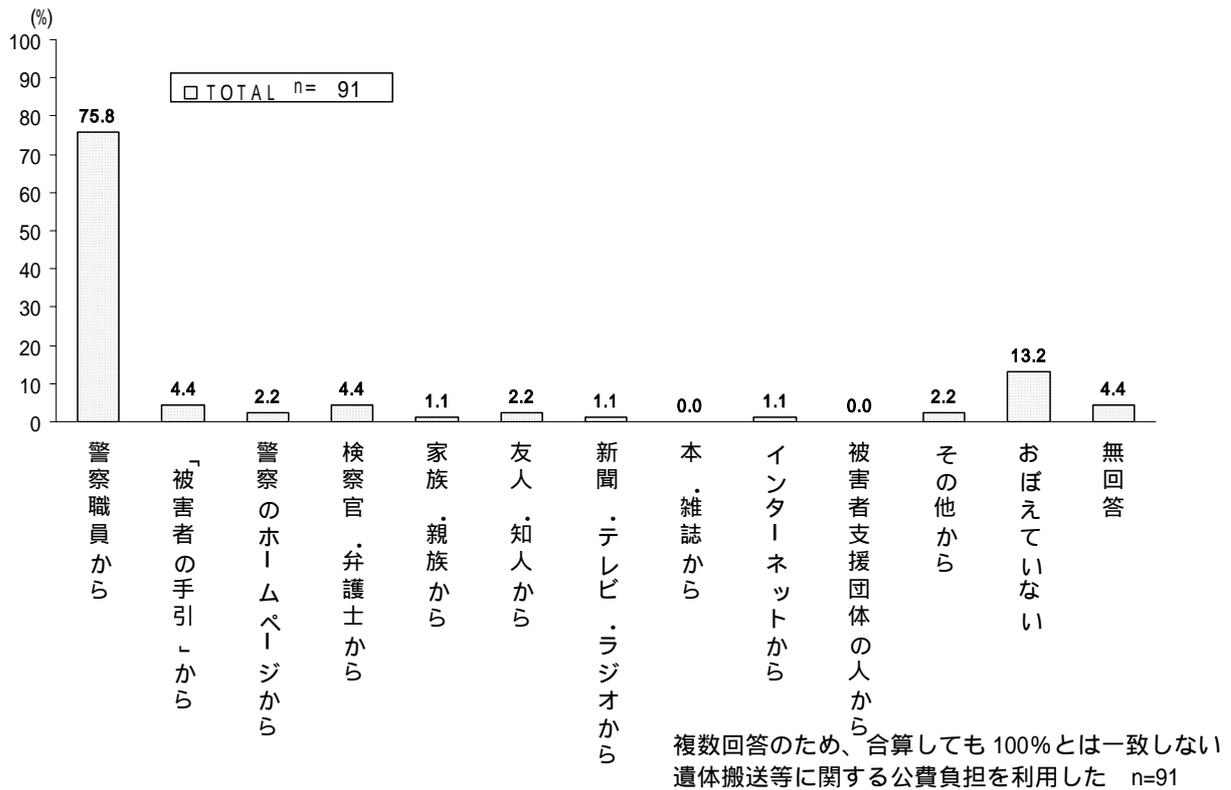


図2 - 38 遺体搬送等の公費負担の認知媒体 (問6 - 4)

《 問6 - 5 遺体搬送等に関する公費負担を利用しなかった理由 》

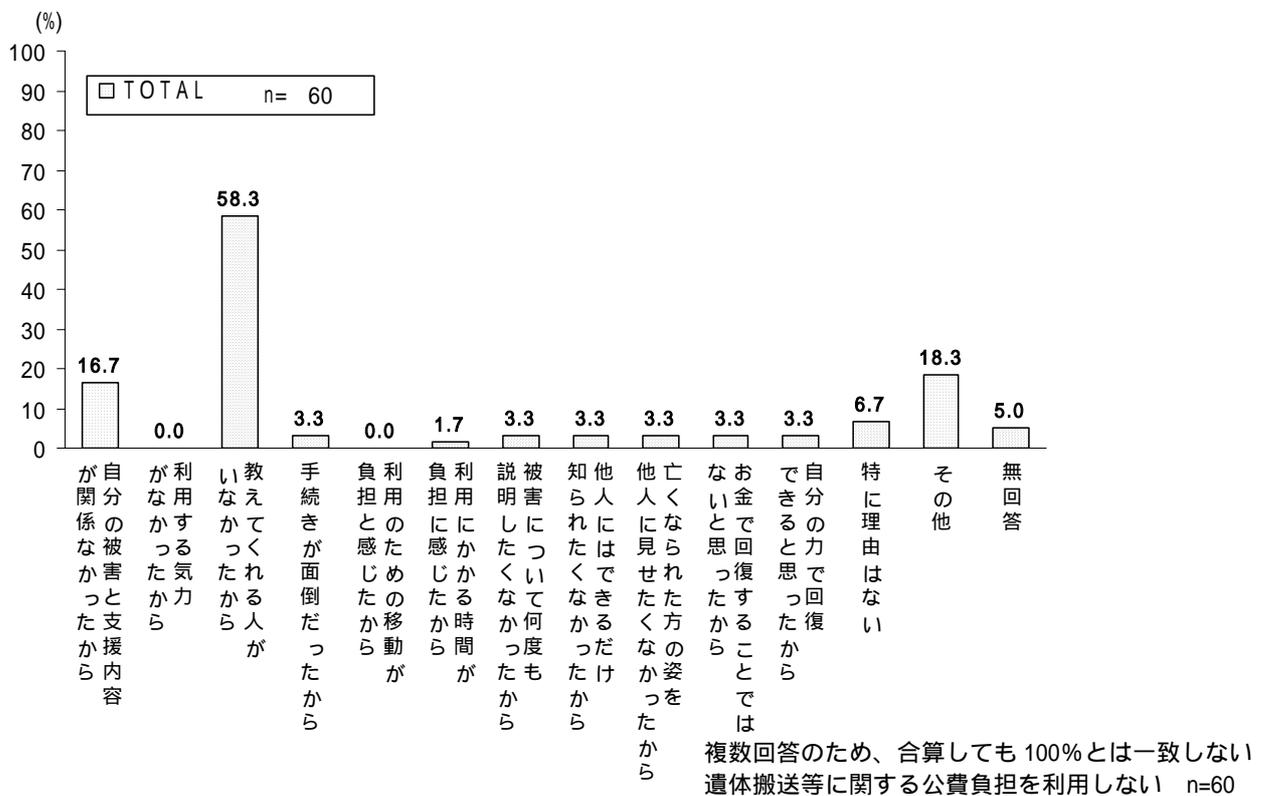


図2 - 39 遺体搬送等の公費負担を利用しなかった理由 (問6 - 5)

《 問 6 - 6 遺体搬送等に関する公費負担の認知状況 》

	被害に遭う前か ら知っていた	被害に遭った後 に知った	現在まで知らな かった	無回答	(%) サンプル数
TOTAL	2.1	42.6	35.6	19.7	188
殺人による被害	2.1	42.6	35.6	19.7	188

遺体搬送等に関する公費負担に想定される支援対象 殺人による被害者等 n=188

図 2 - 4 0 遺体搬送等の公費負担の認知状況 (問 6 - 6)

問7 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）

< 支援施策 >

被害者の方が安心できるような内装の部屋で、事情聴取などを行うよう努めています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）」については、41.8%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

利用の有無については全体として、46.3%の人が「利用しなかった」と回答し、「利用した」30.9%を上回った。被害種別でみると、暴力による被害者では「利用しなかった」と回答した人が58.2%と割合が高くなっている。

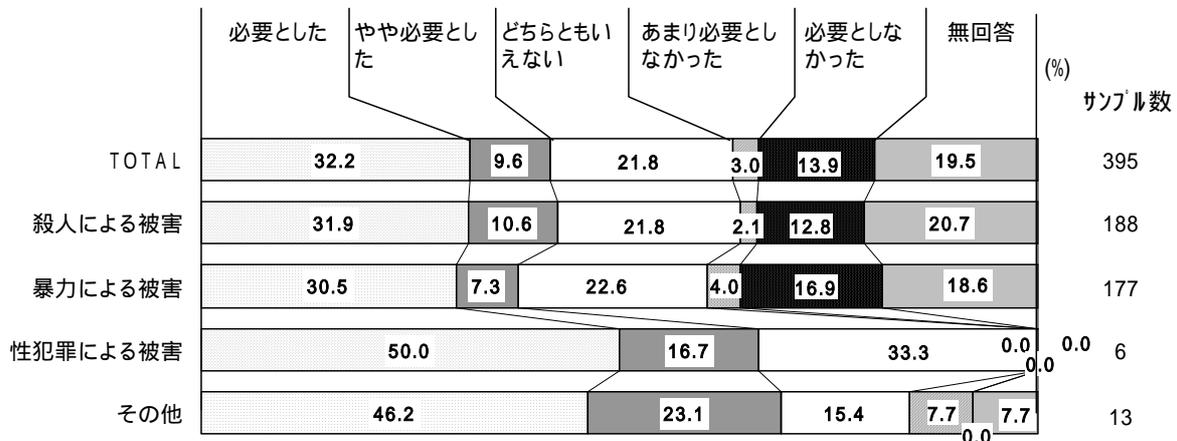
「利用した」と回答した人のうち、61.5%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については、74.6%の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として、35.5%の人が「教えてくれる人がいなかったから」と回答している。

認知状況は、全体として「現在まで知らなかった」と回答した人が44.1%と割合が高くなっているが、被害種別にみると、殺人による被害では「被害に遭った後に知った」と回答した人が39.4%と高い。一方で、暴力による被害では「現在まで知らなかった」と回答した人が56.5%と割合が高くなっている。

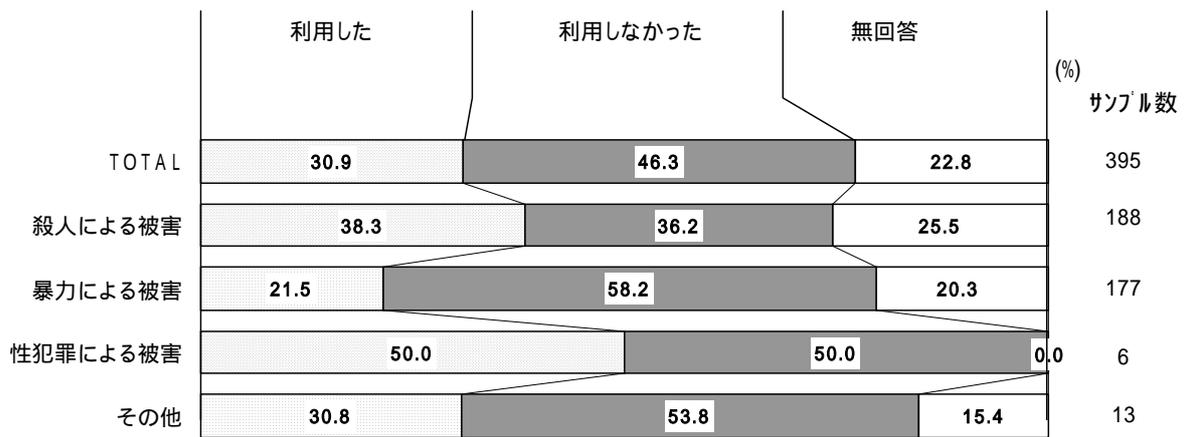
《 問7 - 1 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2 - 41 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の必要度（問7 - 1）

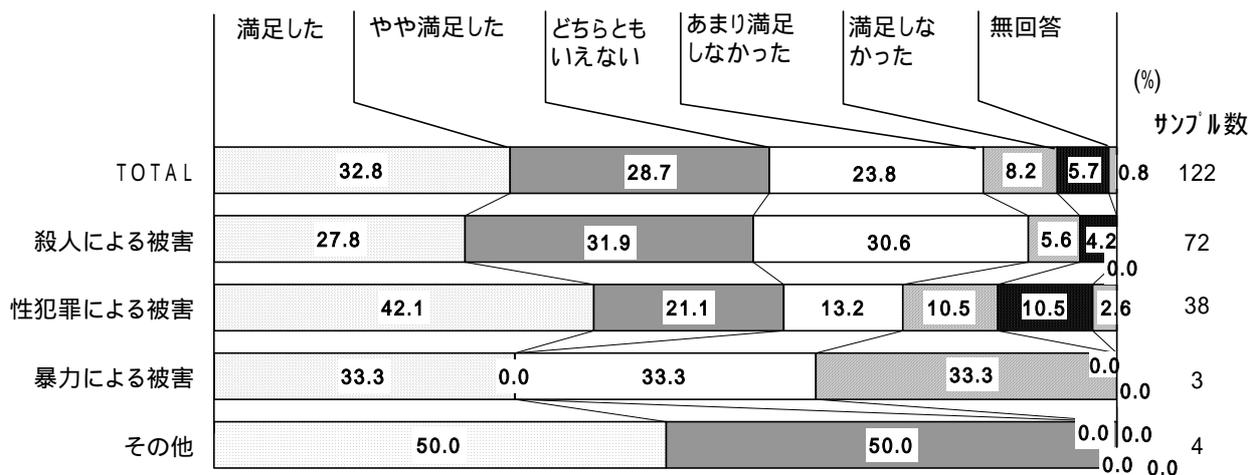
《 問 7 - 2 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 4 2 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の利用（問 7 - 2）

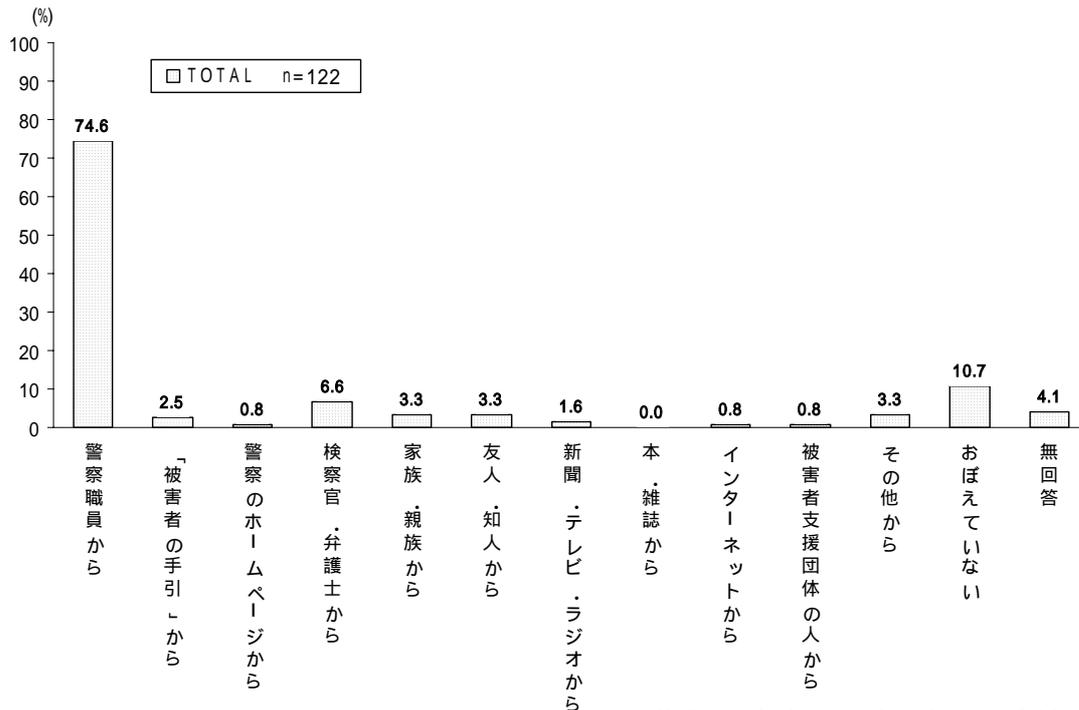
《 問 7 - 3 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の満足度 》



事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）を利用した n=122

図 2 - 4 3 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の満足度（問 7 - 3）

《 問7 - 4 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の認知媒体 》

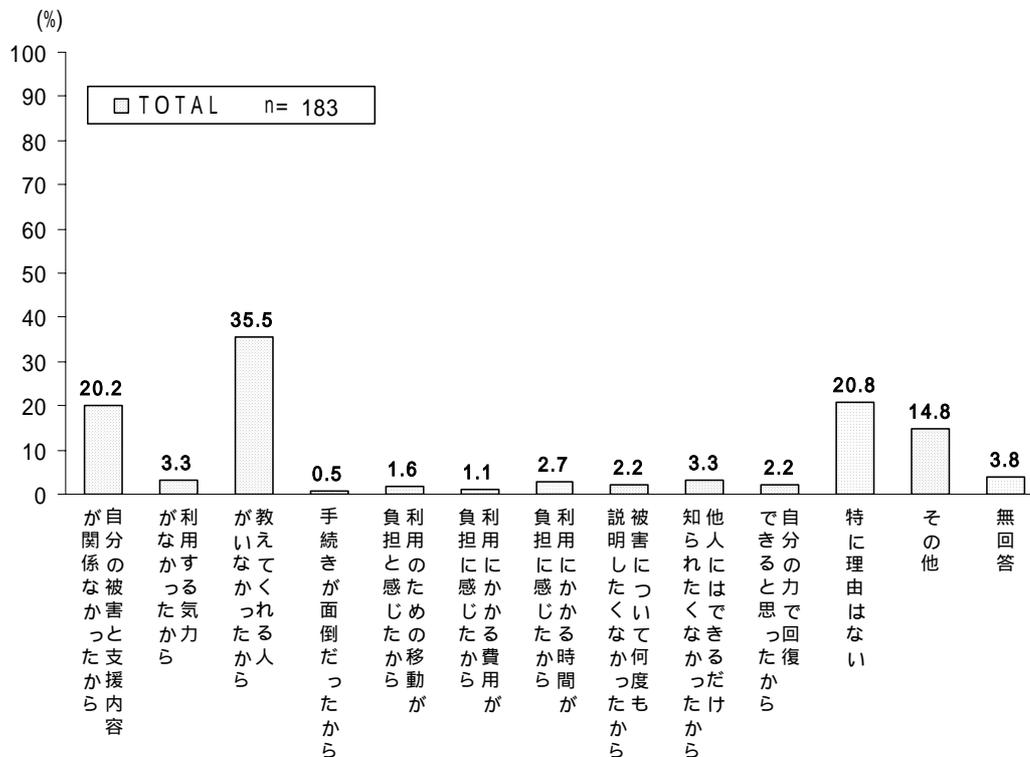


複数回答のため、合算しても100%とは一致しない

事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）を利用した n=122

図2 - 4 4 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の認知媒体（問7 - 4）

《 問7 - 5 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）を利用しなかった理由 》

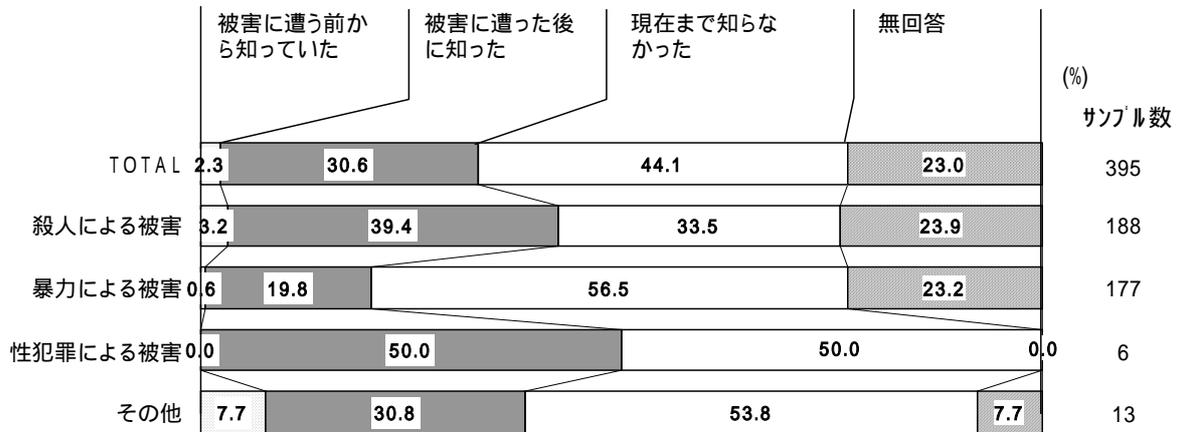


複数回答のため、合算しても100%とは一致しない

事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）を利用しない n=183

図2 - 4 5 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）を利用しなかった理由（問7 - 5）

《 問 7 - 6 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 4 6 事情聴取への配慮（施設等の整備・改善）の認知状況（問 7 - 6）

問8 被害者支援用車両の活用

< 支援施策 >

現場では、外から中の様子が分からないようにしたワゴン車を活用するなどして、被害者の方のプライバシーに配慮した事情聴取等を行うよう努めています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「被害者支援用車両の活用」については、「必要とした」または「やや必要とした」と回答した人が30.7%となっている。また、「あまり必要としなかった」または「必要としなかった」と回答した人は29.9%で「必要とした」または「やや必要とした」とほぼ同じ割合である。

利用の有無については全体で49.1%の人が「利用しなかった」と回答している。被害種別で見ると、暴力による被害者では「利用しなかった」と回答した人が59.9%と割合が高くなっている。

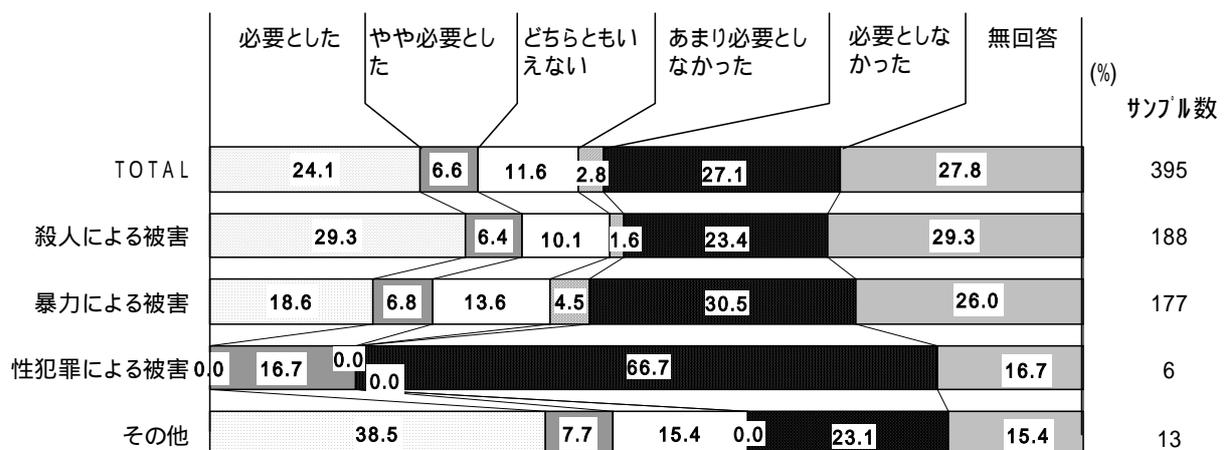
「利用した」と回答した人のうち、79.5%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については「警察職員から」と回答した人が75.6%となっている。

利用しなかった理由として「自分の被害と支援内容が関係なかったから」が39.7%、「教えてくれる人がいなかったから」が28.4%と割合が高くなっている。

認知状況については全体で45.3%の人が「現在まで知らなかった」としており割合が高く、暴力による被害では54.2%となっている。

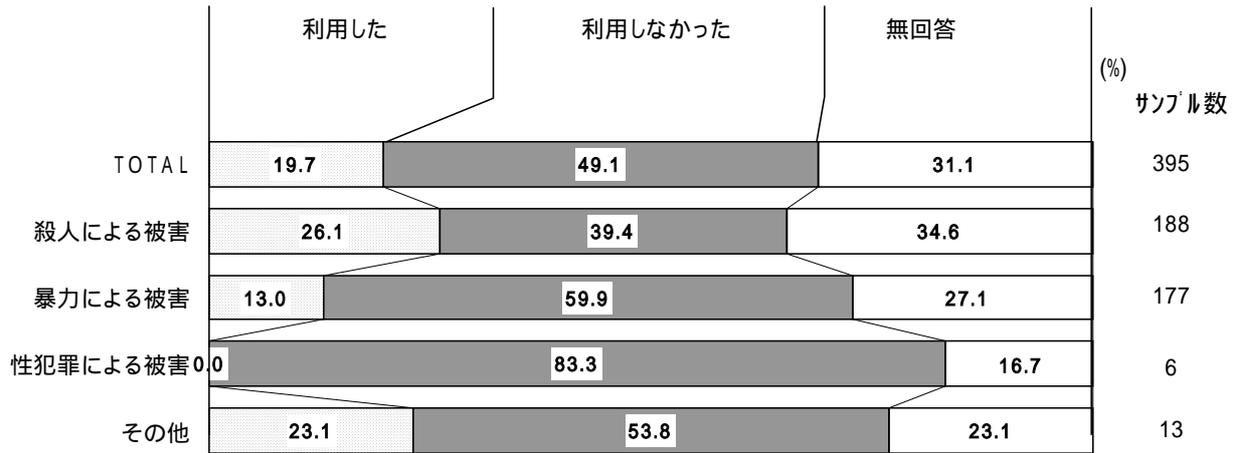
《 問8 - 1 被害者支援車両の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2 - 47 被害者支援車両の必要度（問8 - 1）

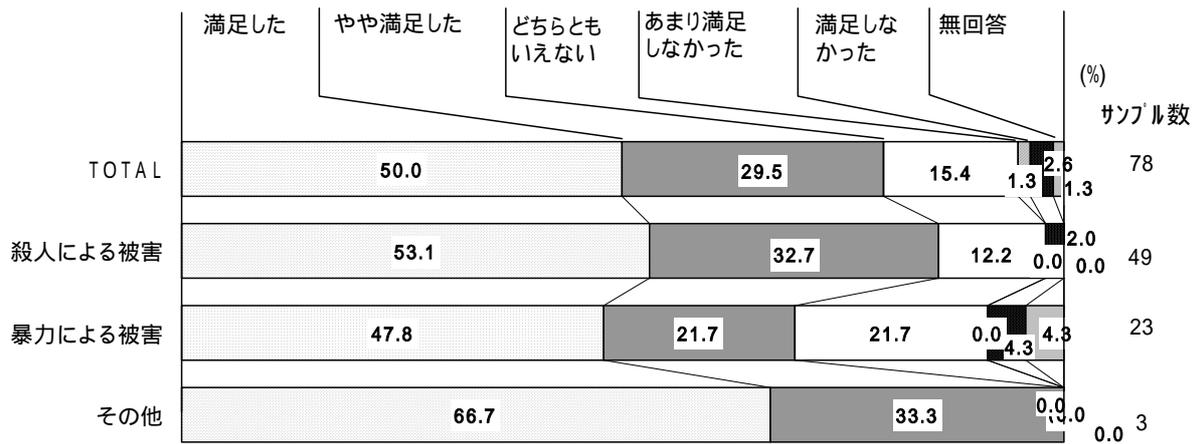
《 問 8 - 2 被害者支援車両の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 4 8 被害者支援車両の利用有無 (問 8 - 2)

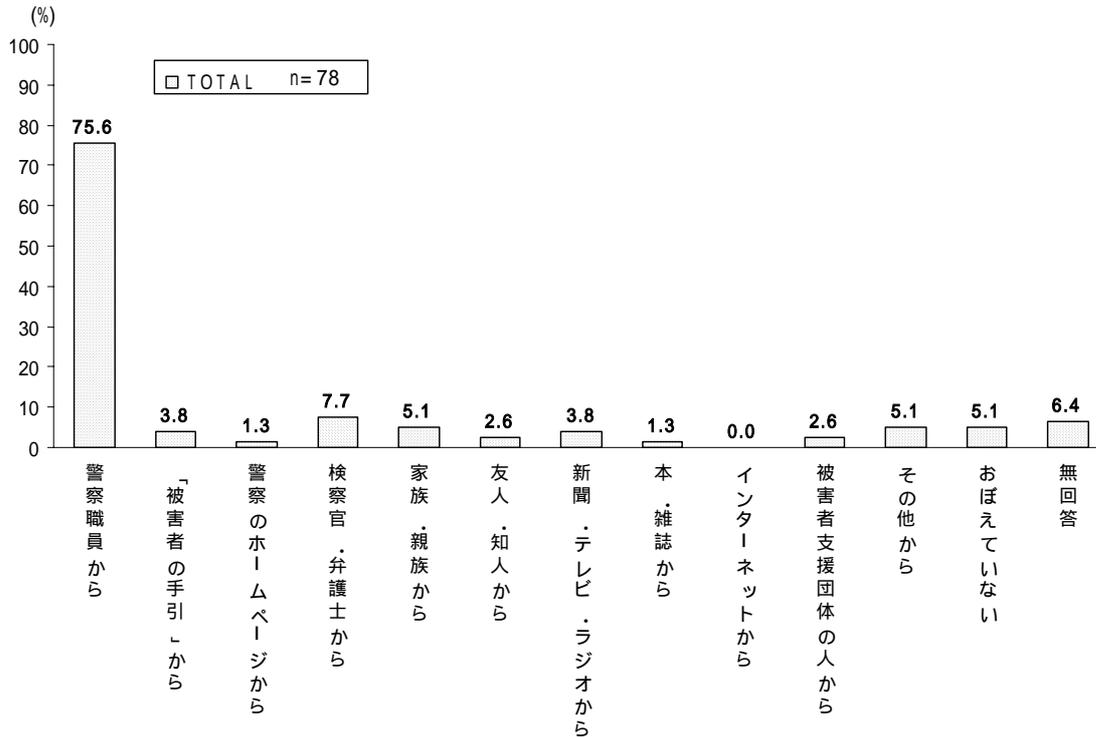
《 問 8 - 3 被害者支援車両の満足度 》



被害者支援車両を利用した n=78

図 2 - 4 9 被害者支援車両の満足度 (問 8 - 3)

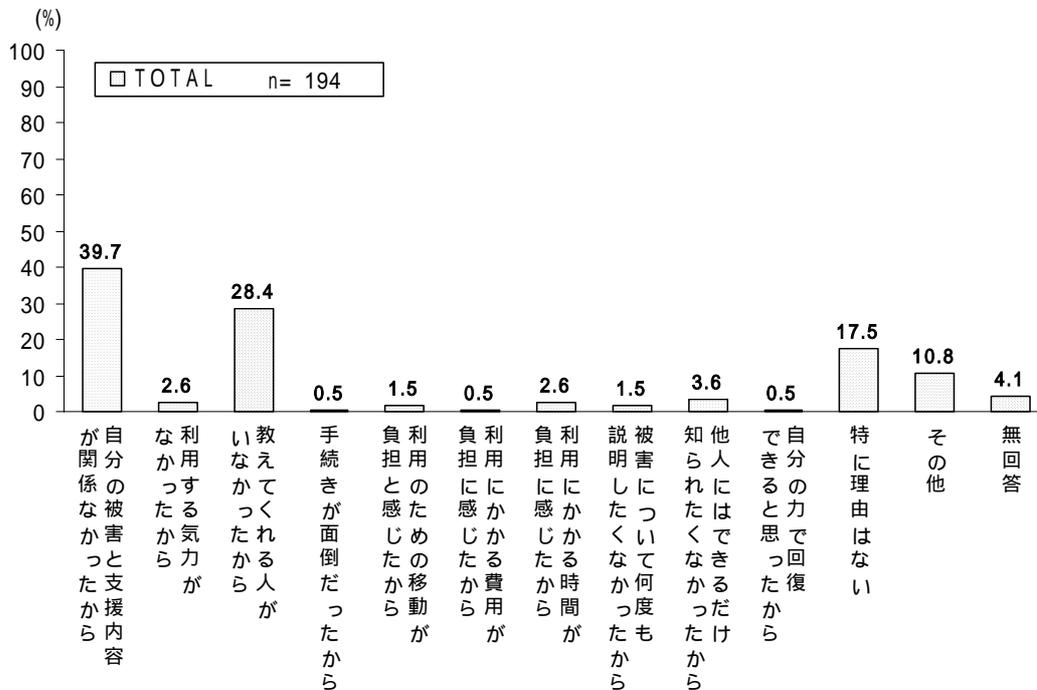
《 問 8 - 4 被害者支援車両の認知媒体 》



複数回答のため、合算しても100%とは一致しない
被害者支援車両を利用した n=78

図 2 - 5 0 被害者支援車両の認知媒体 (問 8 - 4)

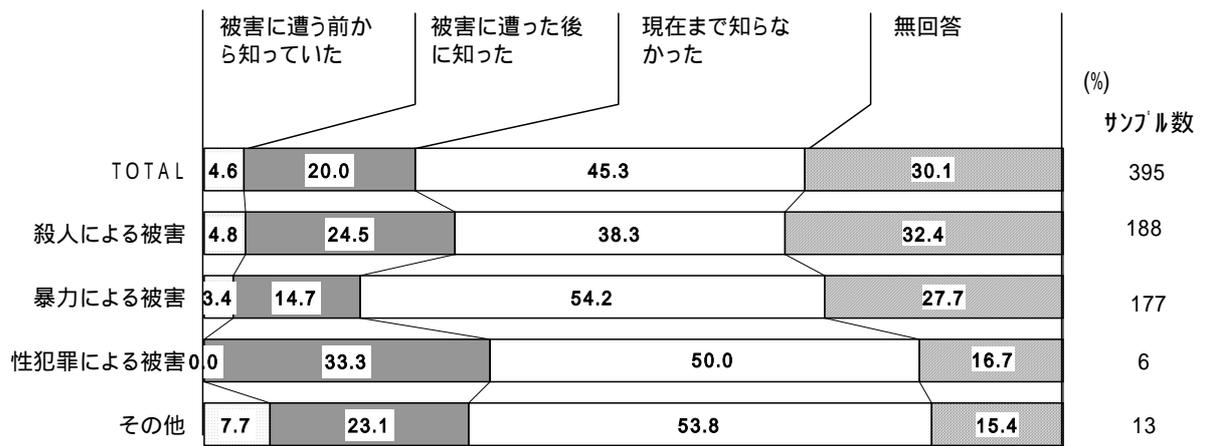
《 問 8 - 5 被害者支援車両を利用しなかった理由 》



複数回答のため、合算しても100%とは一致しない
被害者支援車両を利用しない n=194

図 2 - 5 1 被害者支援車両を利用しなかった理由 (問 8 - 5)

《 問 8 - 6 被害者支援車両の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 5 2 被害者支援車両の認知状況 (問 8 - 6)

問9 被害者の望む性別の警察官の対応

< 支援施策 >

性犯罪の被害に遭われた方に対して、被害者の方が望む性別の警察官が、事情聴取や被害者の方への連絡などを行っています。

< 想定される支援対象者 >

性犯罪による被害の本人、家族

< 調査結果 >

「被害者の望む性別の警察官の対応」についての回答者は6名である。

6名のうち5名が「必要とした」、「やや必要とした」と回答し、3名が「利用した」と回答している。

利用した3名全員が「満足した」と回答している。

認知媒体は2名が「警察職員から」、1名が「家族・親族から」と回答している。

認知状況は6名のうち1名が「被害に遭う前から知っていた」、2名が「被害に遭った後に知った」、3名が「現在まで知らなかった」と回答している。

注) 今回のサンプルは全て女性である。なお望む性別は女性に限らない。

問10 指定被害者支援要員

< 支援施策 >

捜査の担当とは別の警察職員が、事件発生直後から、身の回りの世話や病院、実況見分等への付添いなどを行っています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「指定被害者支援要員」については、33.7%が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

利用の有無については、全体として49.6%の人が「利用しなかった」と回答している。被害種別で見ると暴力による被害では「利用しなかった」と回答した人が60.5%と割合が高くなっている。

「利用した」と回答した人のうち、84.5%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

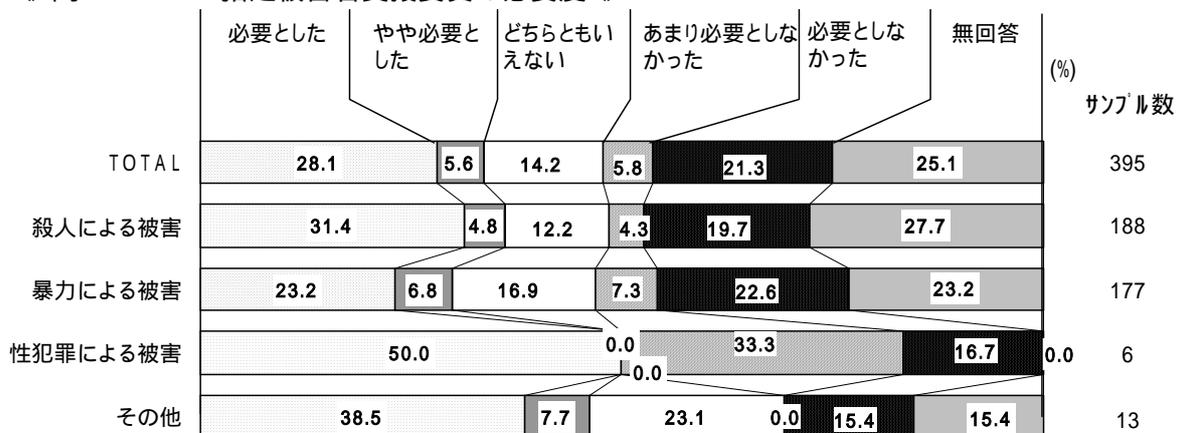
認知媒体については、83.5%の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として「教えてくれる人がいなかったから」が37.8%と割合が高くなっている。また、「自分の被害と支援内容が関係なかったから」が30.6%となっている。

認知状況については、全体としては「現在まで知らなかった」が44.6%と、割合が高くなっている。

被害種別にみると、殺人による被害では「被害に遭った後に知った」と回答した人が35.1%と「現在まで知らなかった」の31.4%よりやや割合高く、暴力による被害では「現在まで知らなかった」と回答した人が60.5%を占め、最も割合が高くなっている。

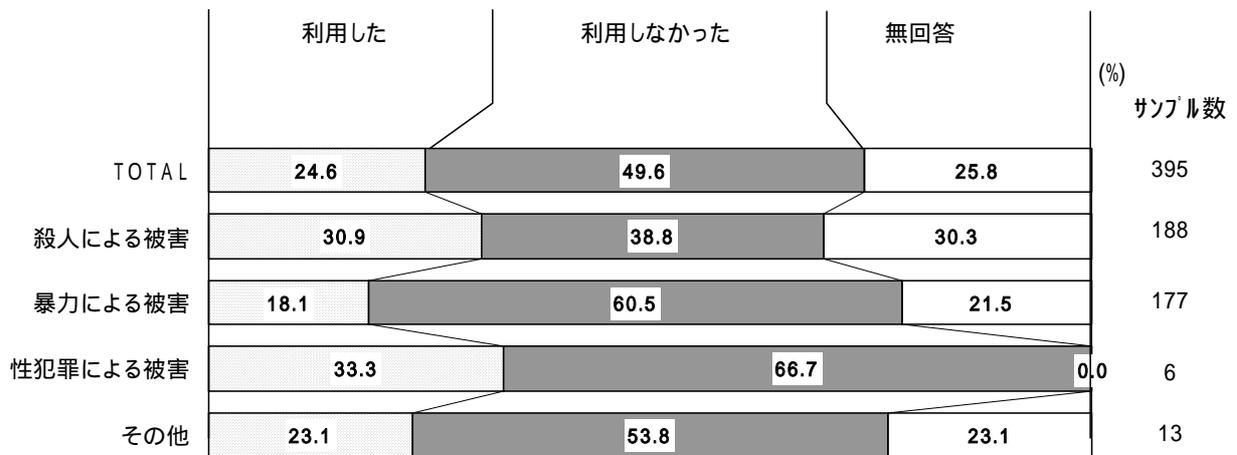
《 問10 - 1 指定被害者支援要員の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答(11人)を含む

図2 - 53 指定被害者支援要員の必要度(問10 - 1)

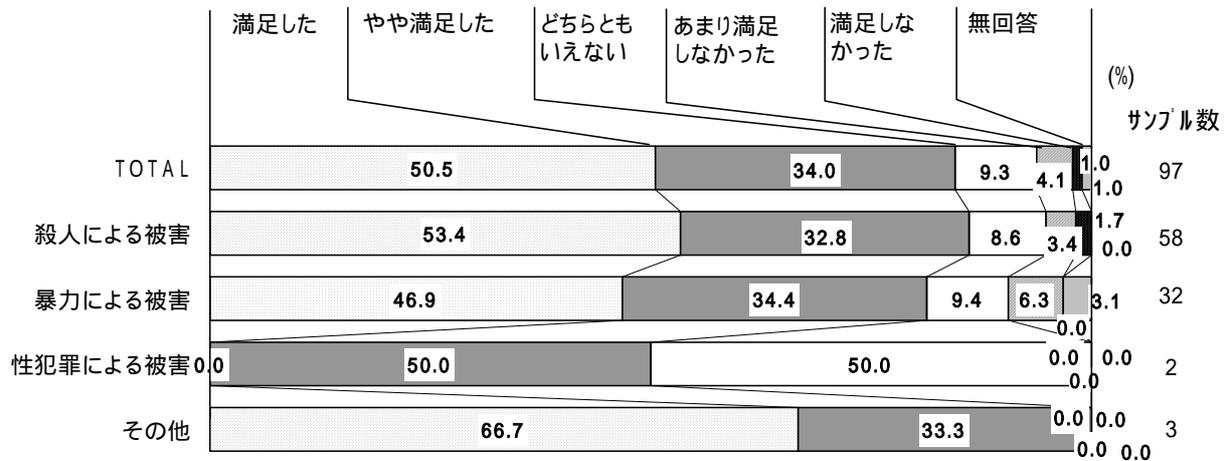
《 問 1 0 - 2 指定被害者支援要員の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 5 4 指定被害者支援要員の利用有無（問 1 0 - 2）

《 問 1 0 - 3 指定被害者支援要員の満足度 》



指定被害者支援要員を利用した n=97

図 2 - 5 5 指定被害者支援要員の満足度（問 1 0 - 3）

《 問 1 0 - 4 指定被害者支援要員の認知媒体 》

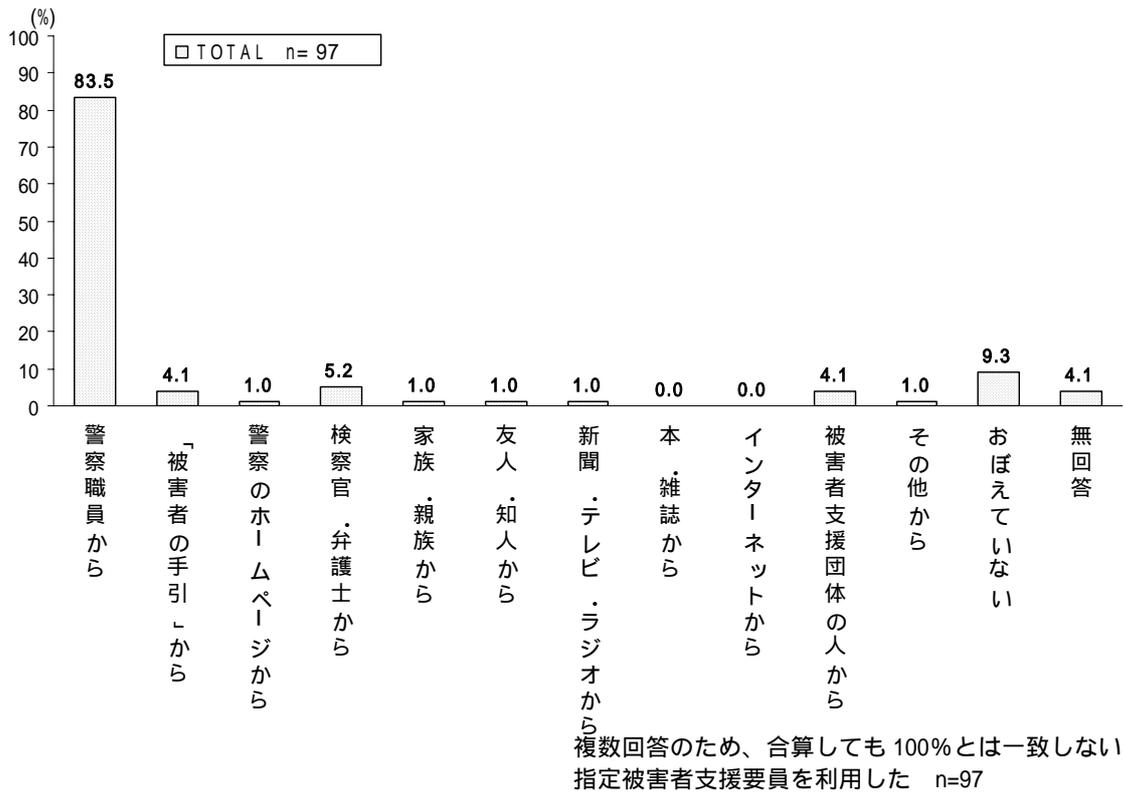


図 2 - 5 6 指定被害者支援要員の認知媒体 (問 1 0 - 4)

《 問 1 0 - 5 指定被害者支援要員を利用しなかった理由 》

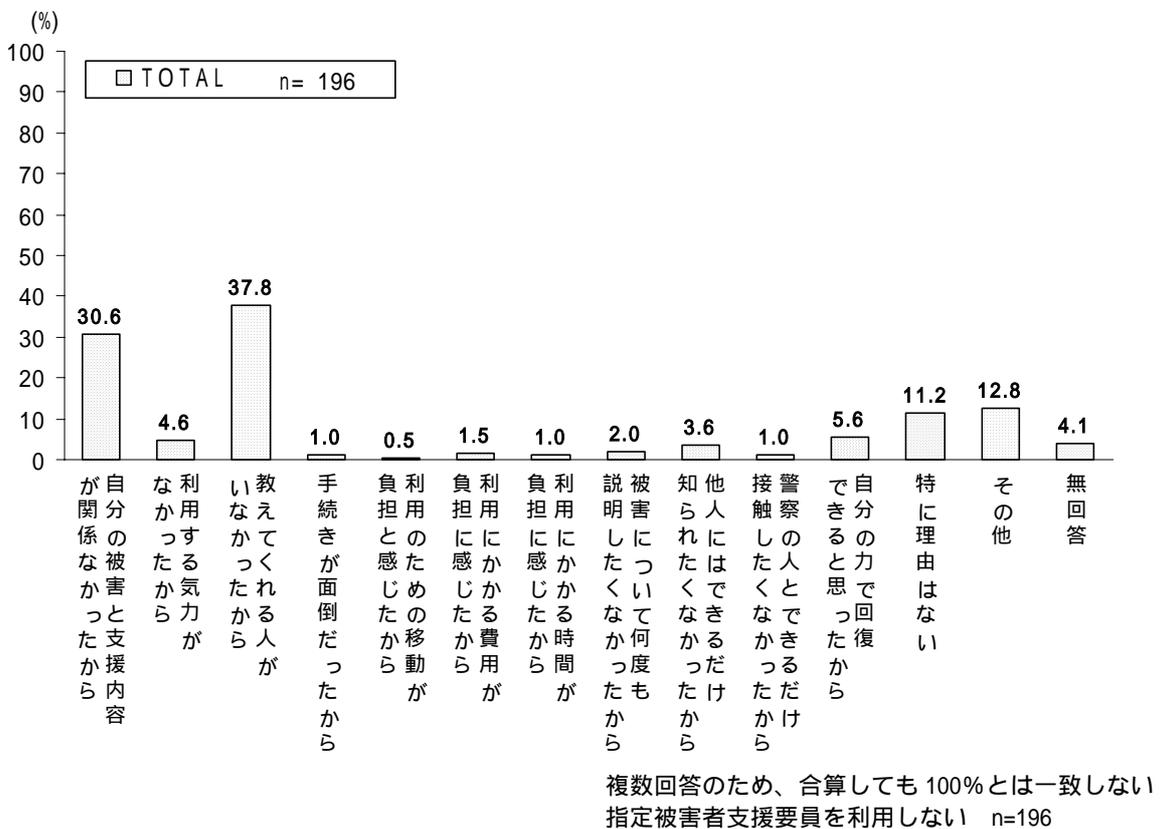
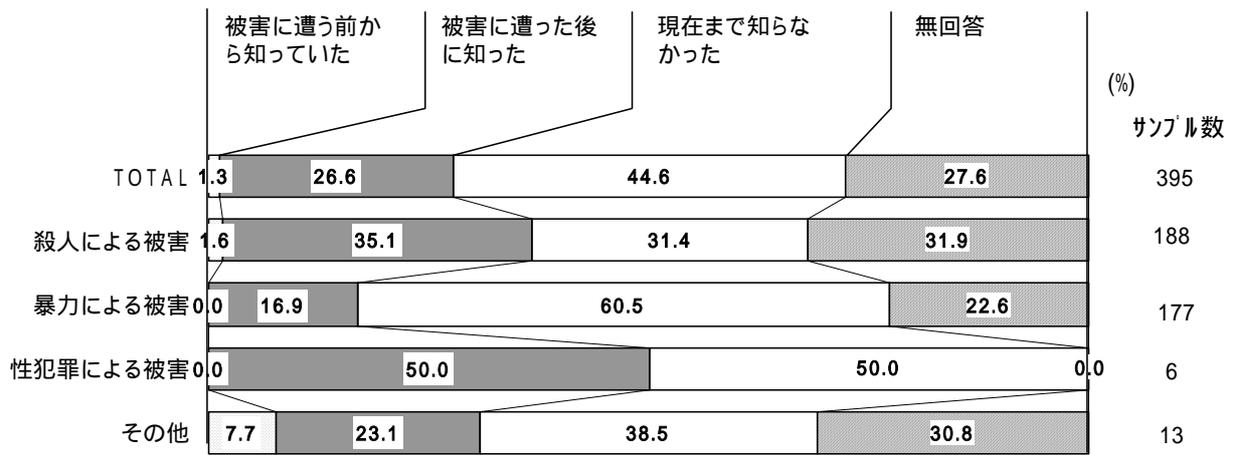


図 2 - 5 7 指定被害者支援要員を利用しなかった理由 (問 1 0 - 5)

《 問 1 0 - 6 指定被害者支援要員の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 5 8 指定被害者支援要員の認知状況 (問 1 0 - 6)

問 1 1 専門的知識のある警察職員のカウンセリング

< 支援施策 >

大きな精神的被害を受けて、専門的なカウンセリングが必要なときに、専門的知識のある警察職員がカウンセリングを行っています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「専門知識のある警察職員のカウンセリング」について、32.2%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。また、32.4%の人が「あまり必要としなかった」、または「必要としなかった」と回答しており、ほぼ同じ割合である。

利用の有無については、66.6%の人が「利用しなかった」と回答している。

「利用した」と回答した人のうち、60.6%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

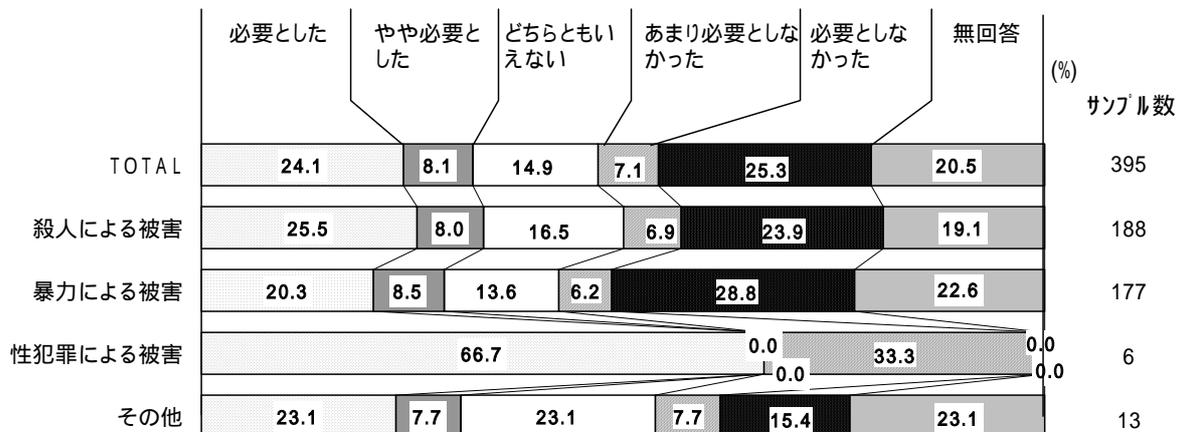
認知媒体については81.6%の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として「教えてくれる人がいなかったから」が36.9%と最も割合が高い。

認知状況については、全体としては44.3%の人が「現在まで知らなかった」と回答している。

認知状況については、被害種別にみると、殺人による被害では「被害に遭った後に知った」と回答した人が36.2%と割合がやや高く、暴力による被害では56.5%の人が「現在まで知らなかった」と回答している。

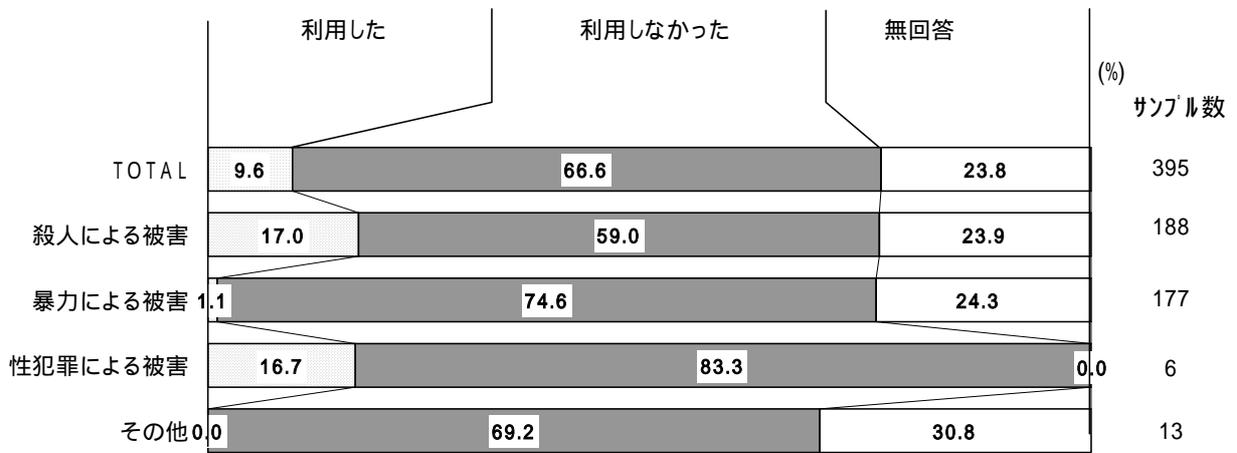
《 問 1 1 - 1 警察職員のカウンセリングの必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11人) を含む

図 2 - 5 9 警察職員のカウンセリングの必要度 (問 1 1 - 1)

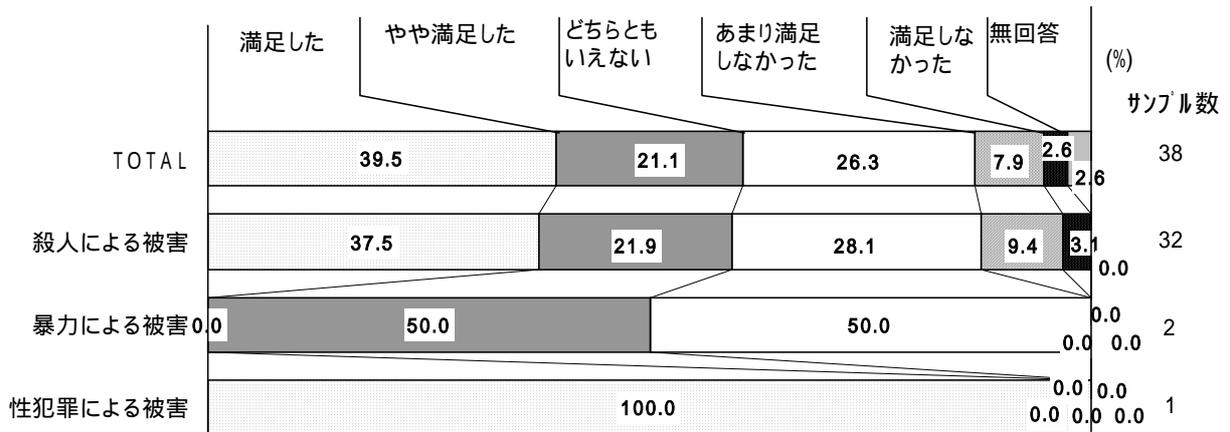
《 問 1 1 - 2 警察職員のカウンセリングの利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 6 0 警察職員のカウンセリングの利用有無（問 1 1 - 2）

《 問 1 1 - 3 警察職員のカウンセリングの満足度 》



警察職員のカウンセリングを利用した n=38

図 2 - 6 1 警察職員のカウンセリングの満足度（問 1 1 - 3）

《 問 1 1 - 4 警察職員のカウンセリングの認知媒体 》

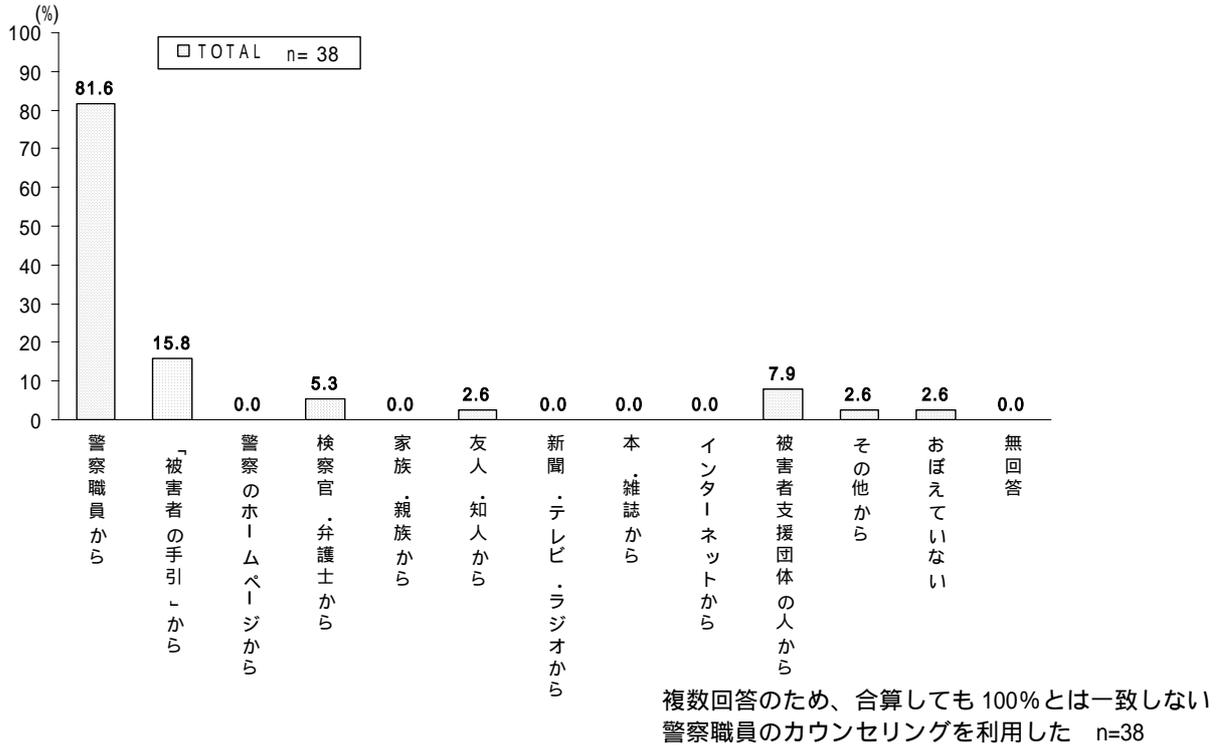


図 2 - 6 2 警察職員のカウンセリングの認知媒体 (問 1 1 - 4)

《 問 1 1 - 5 警察職員のカウンセリングを利用しなかった理由 》

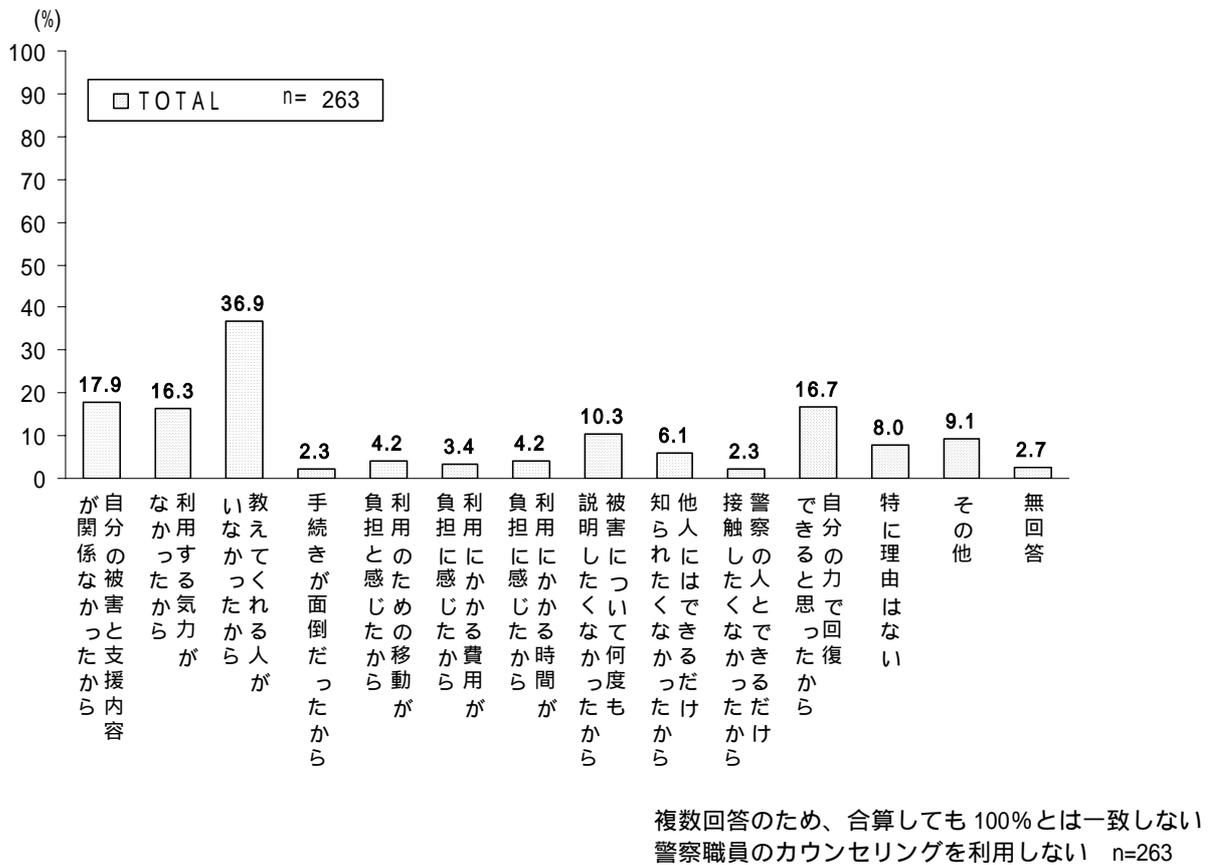
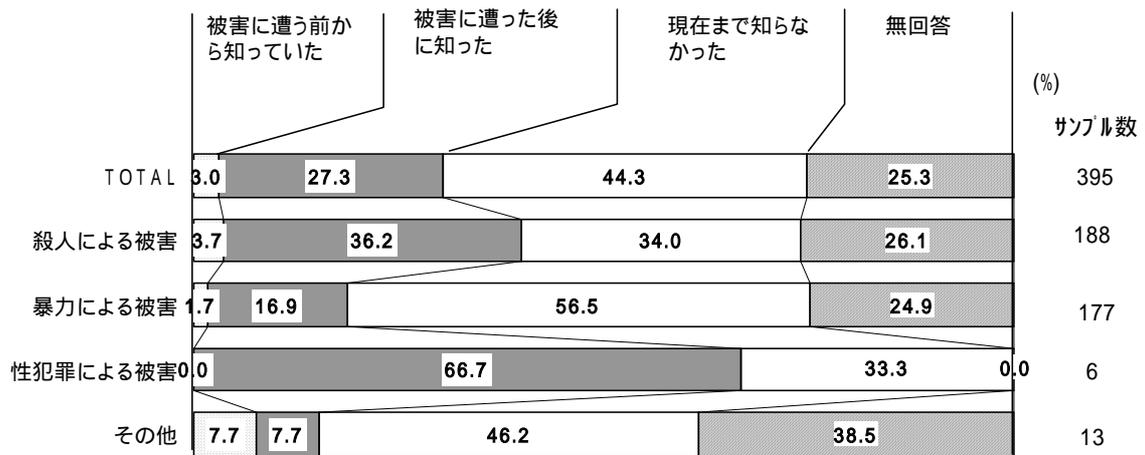


図 2 - 6 3 警察職員のカウンセリングを利用しなかった理由 (問 1 1 - 5)

《 問 1 1 - 6 警察職員のカウンセリングの認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 6 4 警察職員のカウンセリングの認知状況（問 1 1 - 6）

問 1 2 精神科医や心理カウンセラーとの連携

< 支援施策 >

専門的な精神療法や心理カウンセリングの必要があると思われる場合に、警察が精神科医や心理カウンセラーを紹介しています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「精神科医や心理カウンセラーとの連携」について、「必要とした」または「やや必要とした」と回答した人が 26.5% となっている。一方で、38.5% の人が「あまり必要としなかった」または「必要としなかった」と回答している。

利用の有無については、全体で 67.3% の人が「利用しなかった」と回答しており、被害種別では暴力による被害の割合が 74.6% となっている。

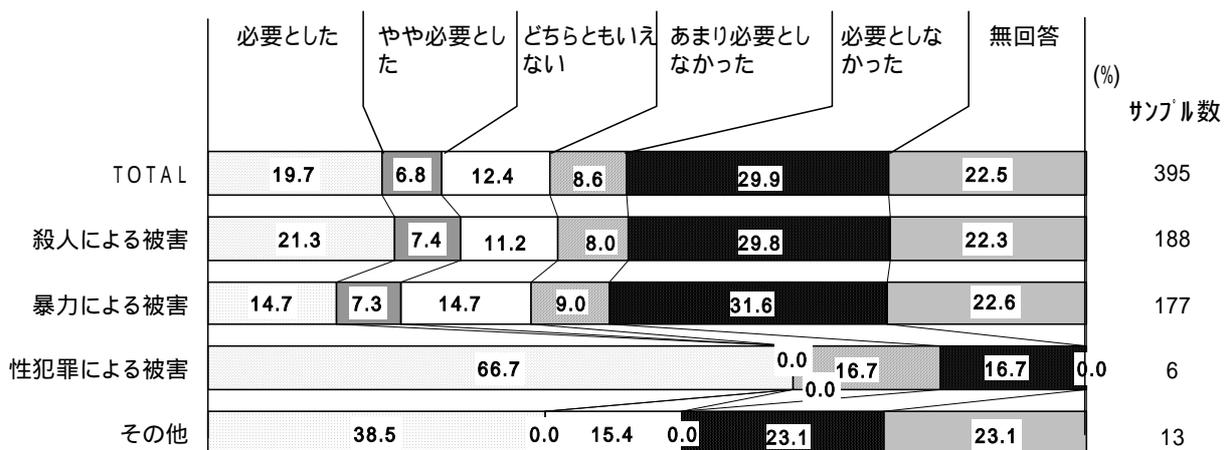
「利用した」と回答した人のうち、71.4% の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については「警察職員から」と回答した人の割合が 75.0% となっている。

利用しなかった理由として 36.1% の人が「教えてくれる人がいなかったから」と割合が高くなっている。

認知状況は全体としては 45.6% の人が「現在まで知らなかった」と回答しており、特に暴力による被害では 58.2% と割合が高くなっている。

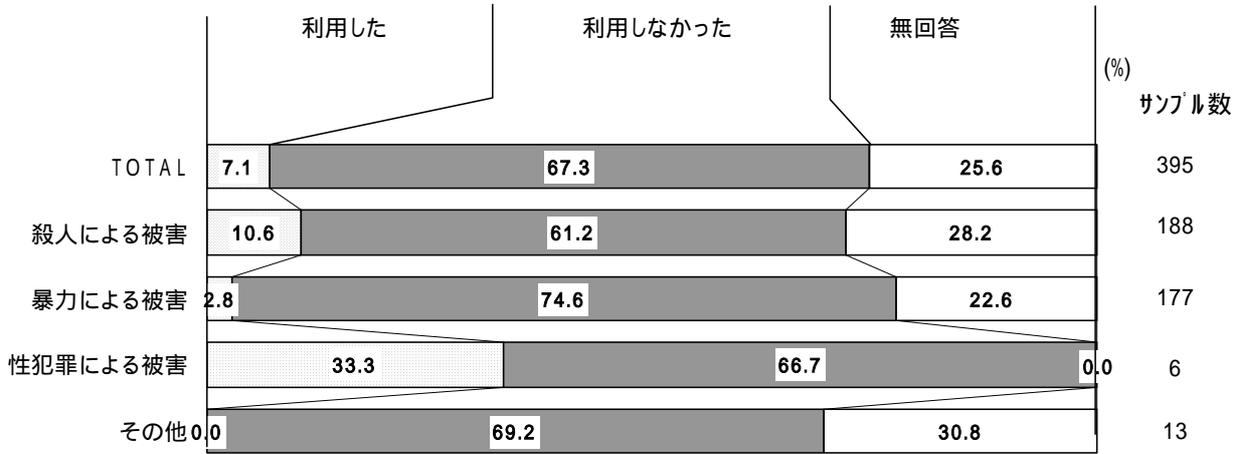
《 問 1 2 - 1 心理カウンセラー等との連携の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11 人) を含む

図 2 - 6 5 心理カウンセラー等との連携の必要度 (問 1 2 - 1)

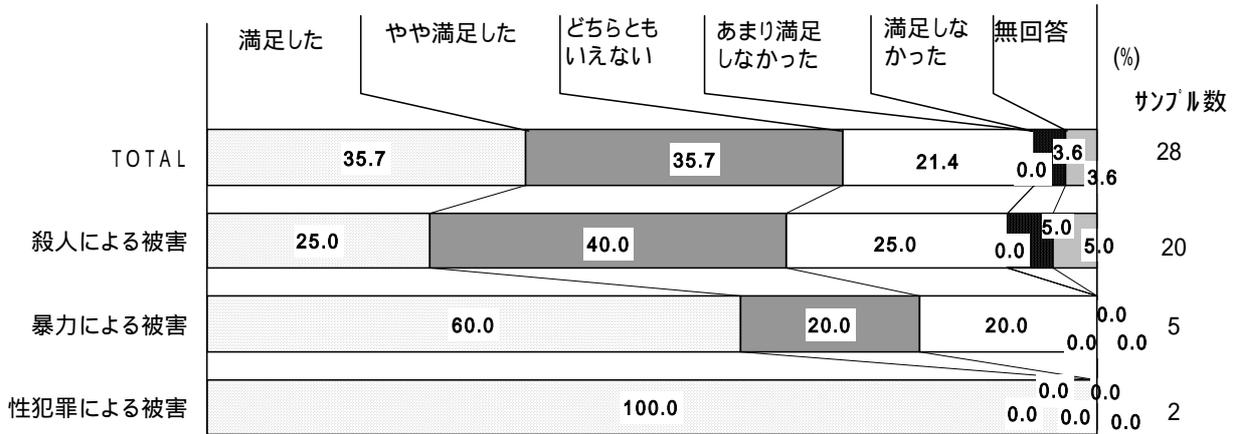
《 問 1 2 - 2 心理カウンセラー等との連携の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 6 6 心理カウンセラー等との連携の利用有無（問 1 2 - 2）

《 問 1 2 - 3 心理カウンセラー等との連携の満足度 》



心理カウンセラー等との連携を利用した n=28

図 2 - 6 7 心理カウンセラー等との連携の満足度（問 1 2 - 3）

《 問 1 2 - 4 心理カウンセラー等との連携の認知媒体 》

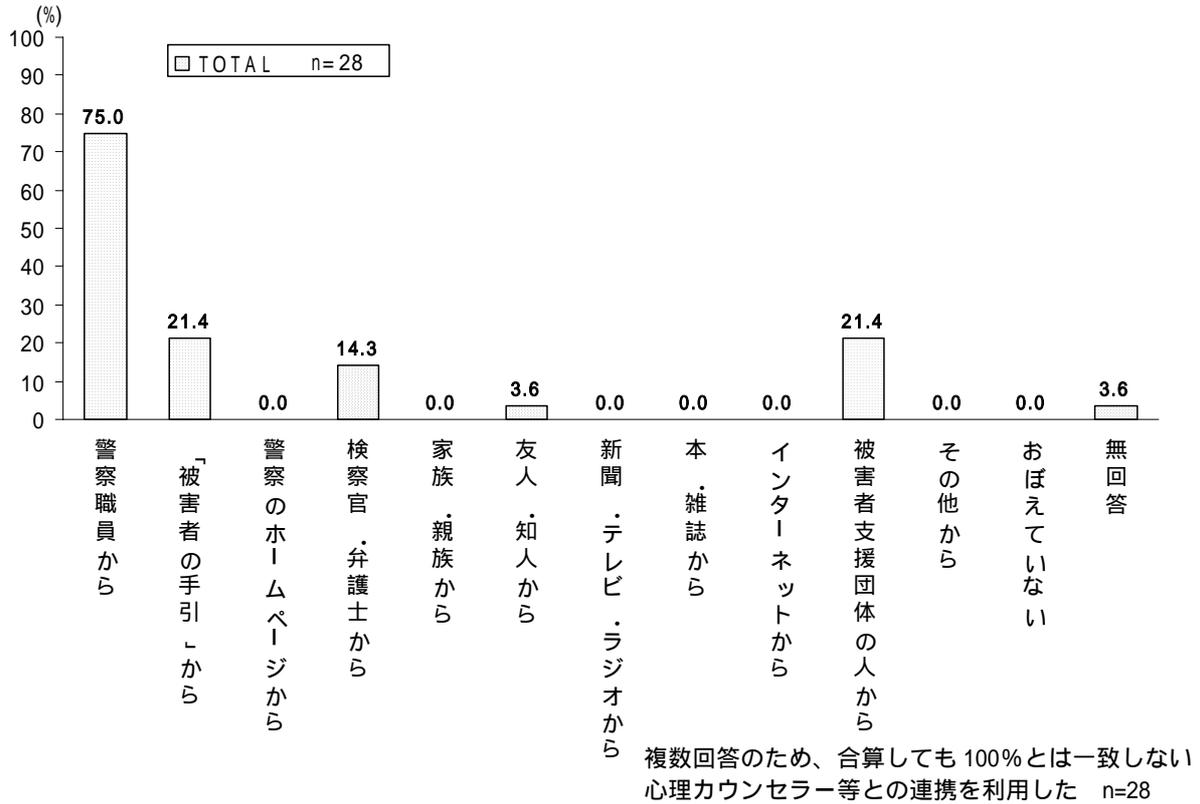


図 2 - 6 8 心理カウンセラー等との連携の認知媒体 (問 1 2 - 4)

《問 1 2 - 5 心理カウンセラー等との連携を利用しなかった理由》

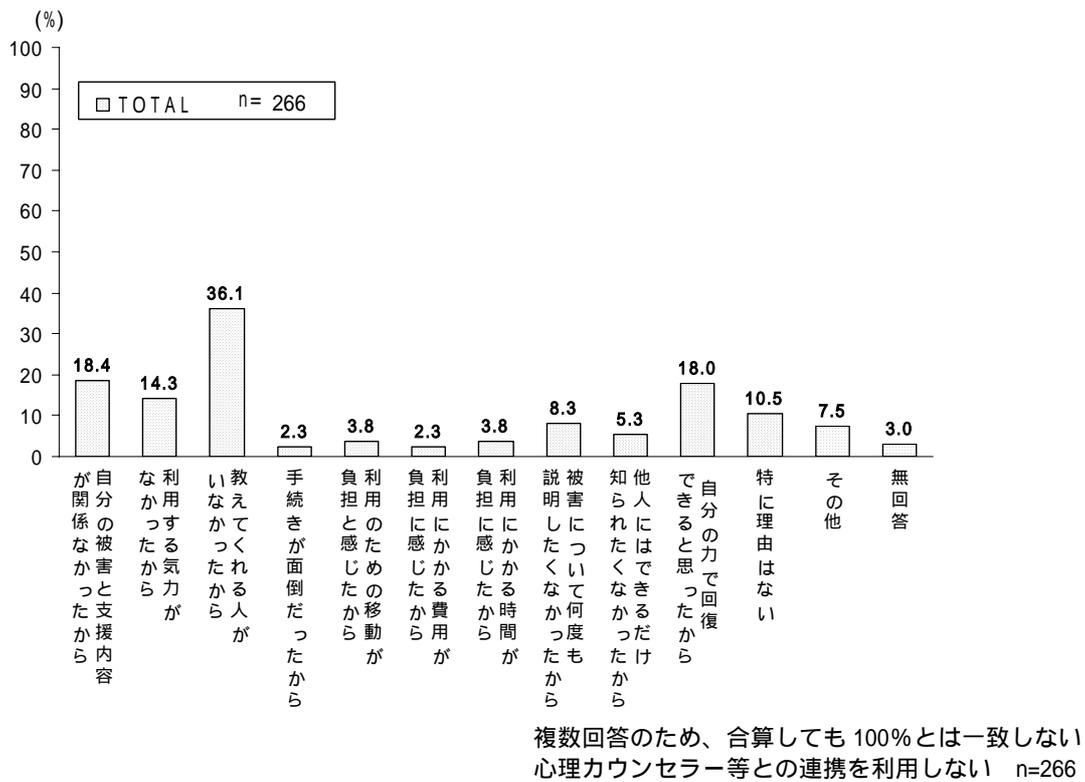
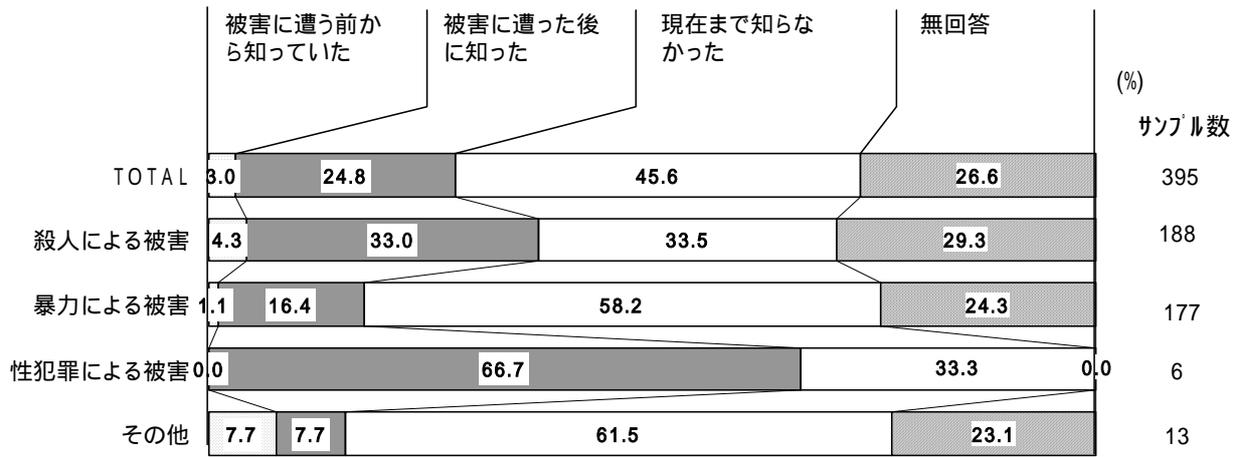


図 2 - 6 9 心理カウンセラー等との連携を利用しなかった理由 (問 1 2 - 5)

《問12-6 心理カウンセラー等との連携の認知状況》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2-70 心理カウンセラー等との連携の認知状況（問12-6）

問 1 3 民間被害者支援団体との連携

< 支援施策 >

電話や面接による相談、病院や裁判所等への付き添いといった支援を行う民間被害者支援団体を警察は紹介しています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「民間被害者支援団体との連携」について、「必要とした」または「やや必要とした」と回答した人は 29.4% となっている。一方、「あまり必要としなかった」または「必要としなかった」と回答した人は 37.2% とやや割合が高くなっている。

利用の有無については、全体で 63.3% の人が「利用しなかった」と回答しており、被害種別では暴力による被害の割合が 71.2% となっている。

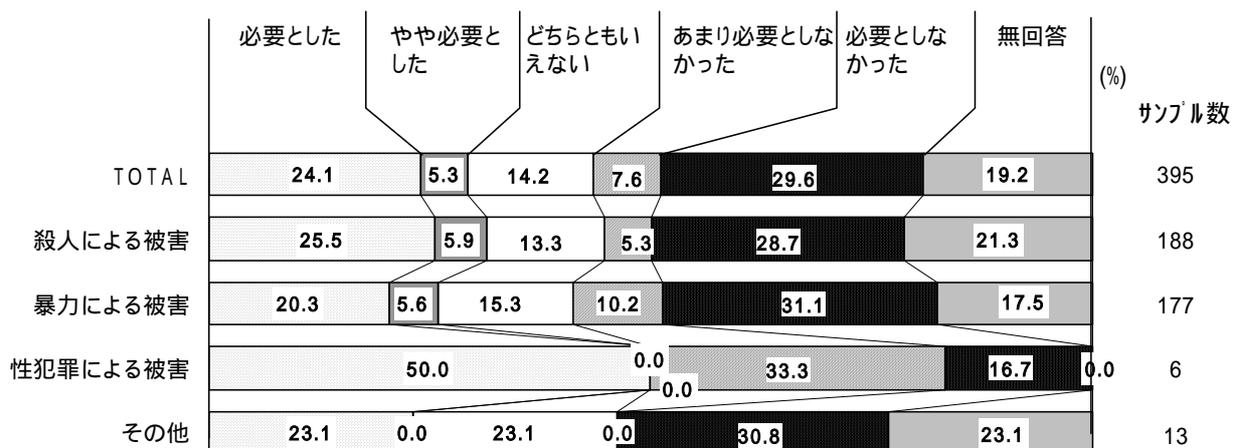
「利用した」と回答した人のうち、81.8% の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については 78.2% の人が「警察職員から」と回答している。

利用しなかった理由として「教えてくれる人がいなかったから」と回答した人が 38.4% と割合が高くなっている。

認知状況は 48.9% の人が「現在まで知らなかった」と回答しており、特に暴力による被害では 58.8% と割合が高くなっている。

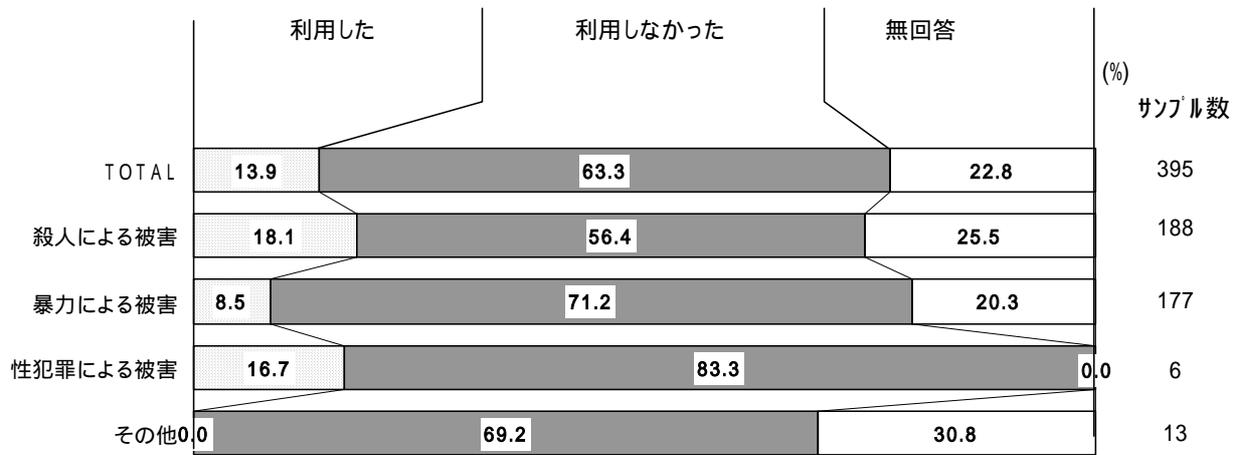
《 問 1 3 - 1 民間被害者支援団体との連携の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 7 1 民間被害者支援団体との連携の必要度（問 1 3 - 1）

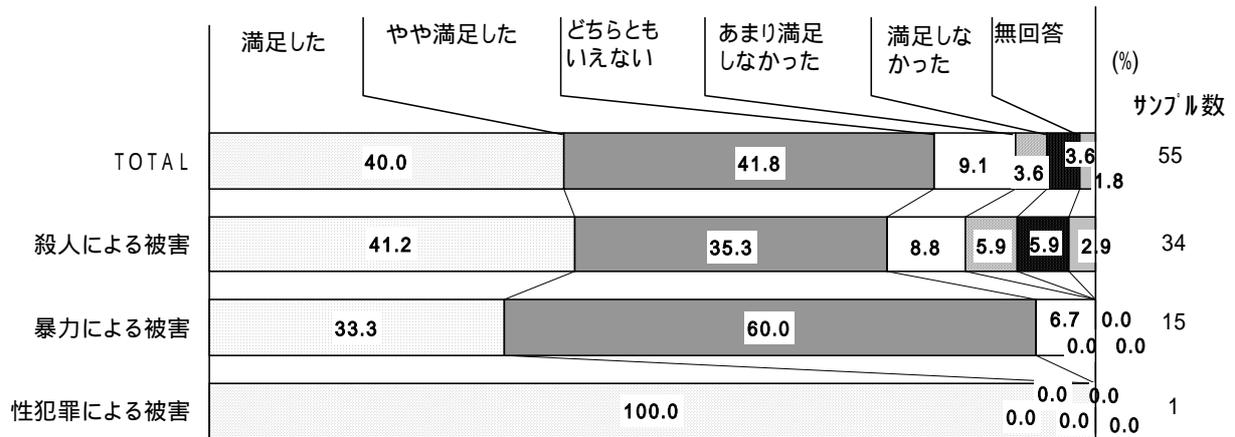
《 問 1 3 - 2 民間被害者支援団体との連携の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答 (11 人) を含む

図 2 - 7 2 民間被害者支援団体との連携の利用有無 (問 1 3 - 2)

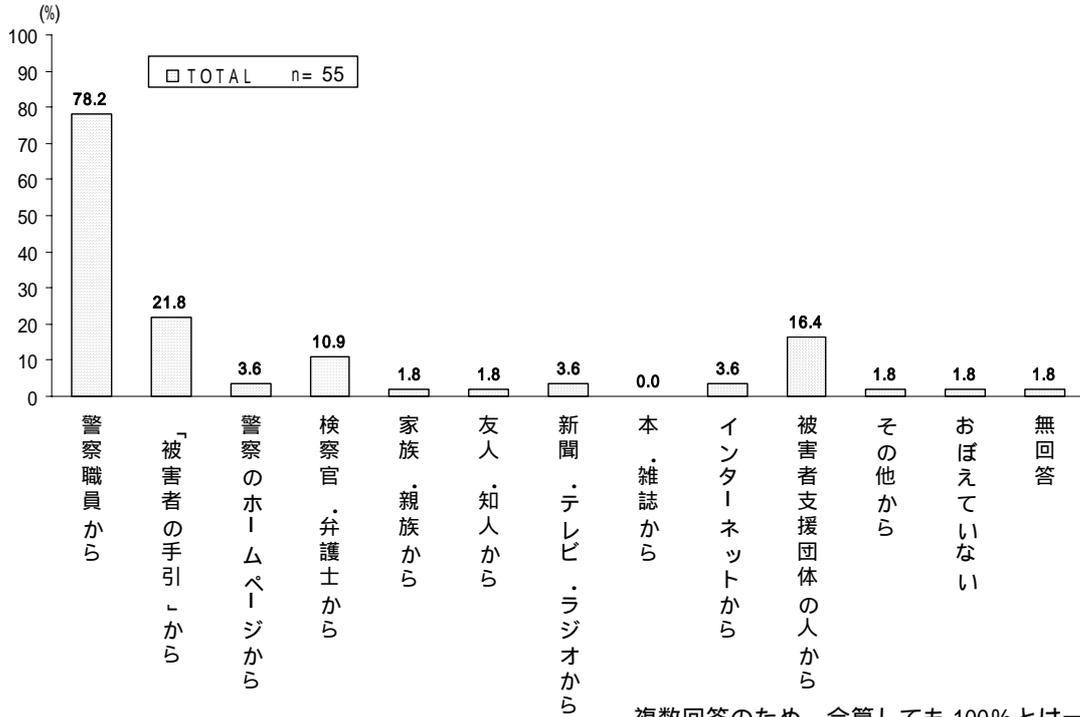
《 問 1 3 - 3 民間被害者支援団体との連携の満足度 》



民間被害者支援団体との連携を利用した n=55

図 2 - 7 3 民間被害者支援団体との連携の満足度 (問 1 3 - 3)

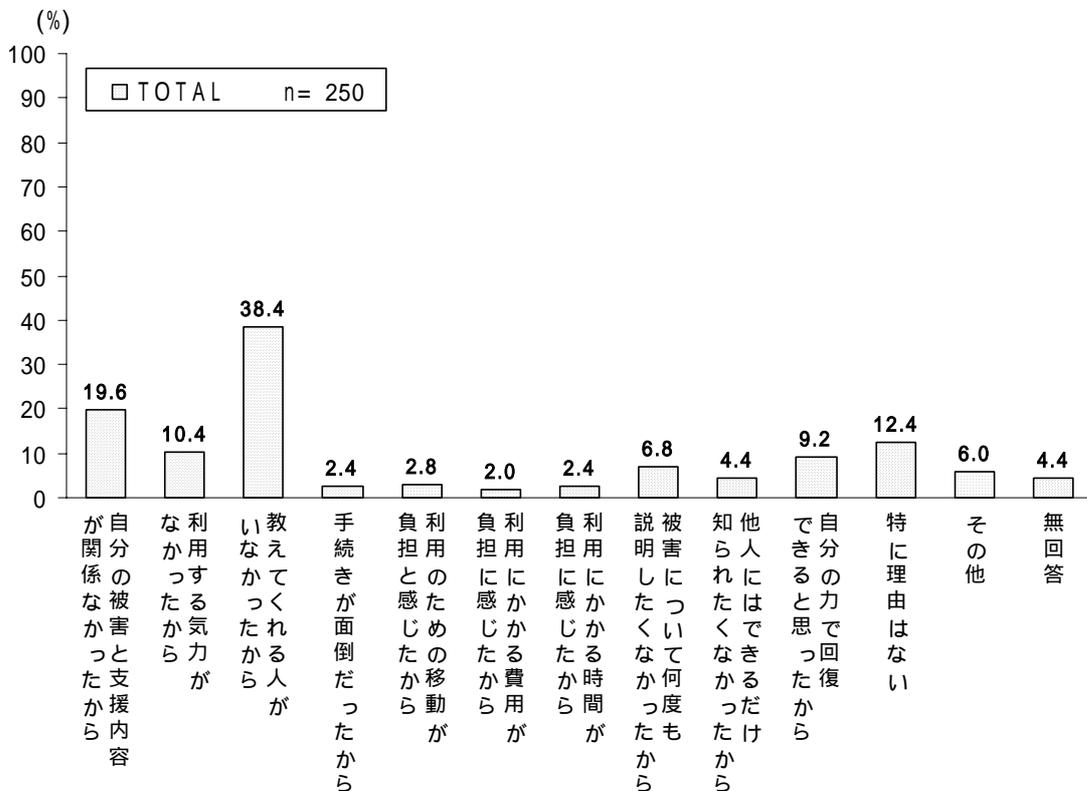
《 問 1 3 - 4 民間被害者支援団体との連携の認知媒体 》



複数回答のため、合算しても 100%とは一致しない
民間被害者支援団体との連携を利用した n=55

図 2 - 7 4 民間被害者支援団体との連携の認知媒体 (問 1 3 - 4)

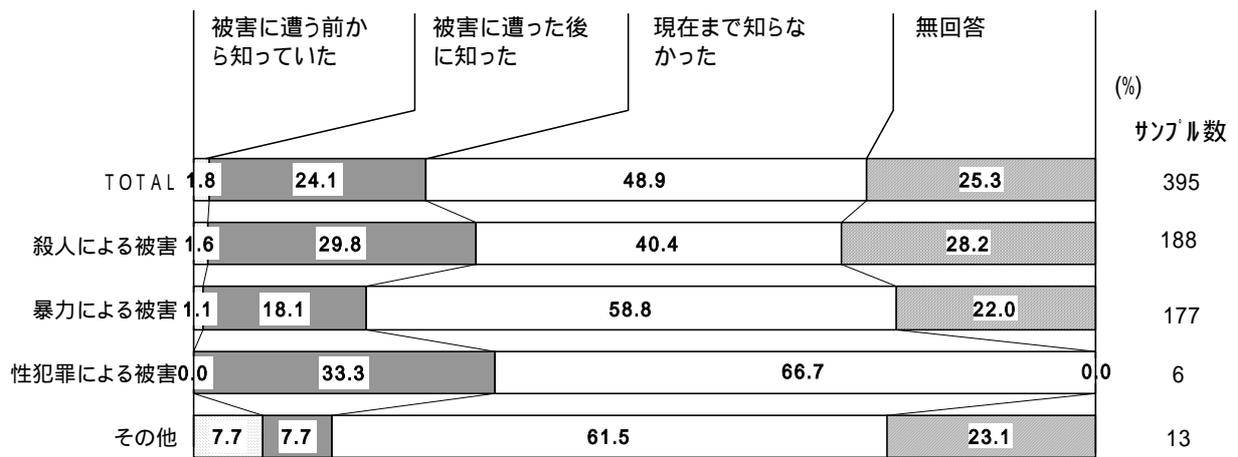
《 問 1 3 - 5 民間被害者支援団体との連携を利用しなかった理由 》



複数回答のため、合算しても 100%とは一致しない
民間被害者支援団体との連携を利用しない n=250

図 2 - 7 5 民間被害者支援団体との連携を利用しなかった理由(問 1 3 - 5)

《 問 1 3 - 6 民間被害者支援団体との連携の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 7 6 民間被害者支援団体との連携の認知状況（問 1 3 - 6）

問14 情報提供（ホームページ）

< 施策内容 >

警察のホームページで情報提供を行っています。具体的には、犯罪被害に遭われたときに、被害者や遺族の方がどのような支援を受けることができるかなどを、広く知らせています。

< 想定される支援対象者 >

殺人による被害、暴力による被害、性犯罪による被害のそれぞれ本人、家族・遺族

< 調査結果 >

「情報提供（ホームページ）」について、45.3%の人が「必要とした」または「やや必要とした」と回答している。

利用の有無については、全体で56.2%の人が「利用しなかった」と回答している。

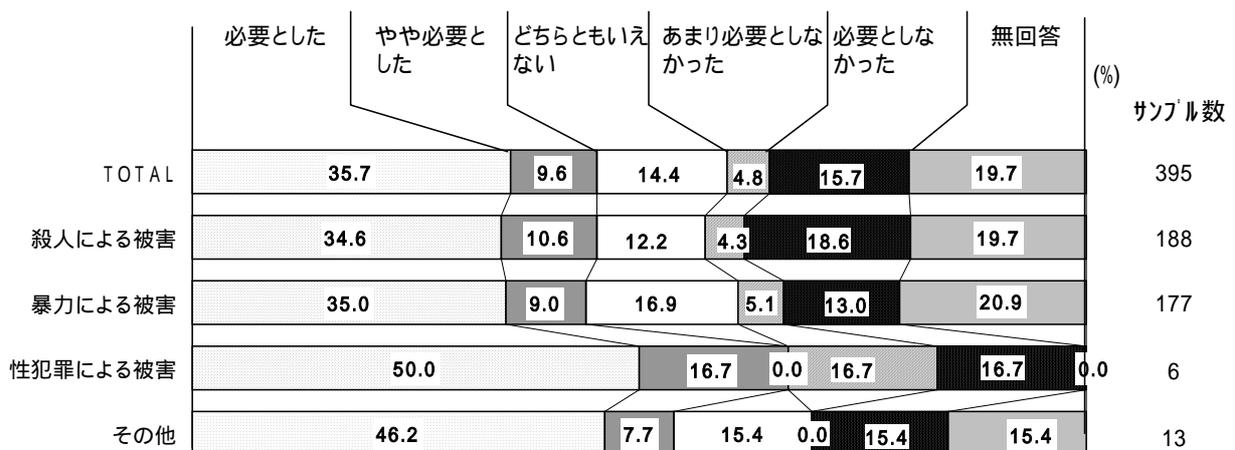
「利用した」と回答した人のうち、61.6%の人が「満足した」または「やや満足した」と回答している。

認知媒体については「警察職員から」と回答した人が56.0%となっている。また、「被害者の手引」から」が19.8%、次いで、「インターネットから」と回答した人が18.7%となっている。

利用しなかった理由として48.2%の人が「教えてくれる人がいなかったから」と回答している。

認知状況は「現在まで知らなかった」と回答した人が42.5%と割合が高くなっており、特に暴力による被害では50.8%を占めている。

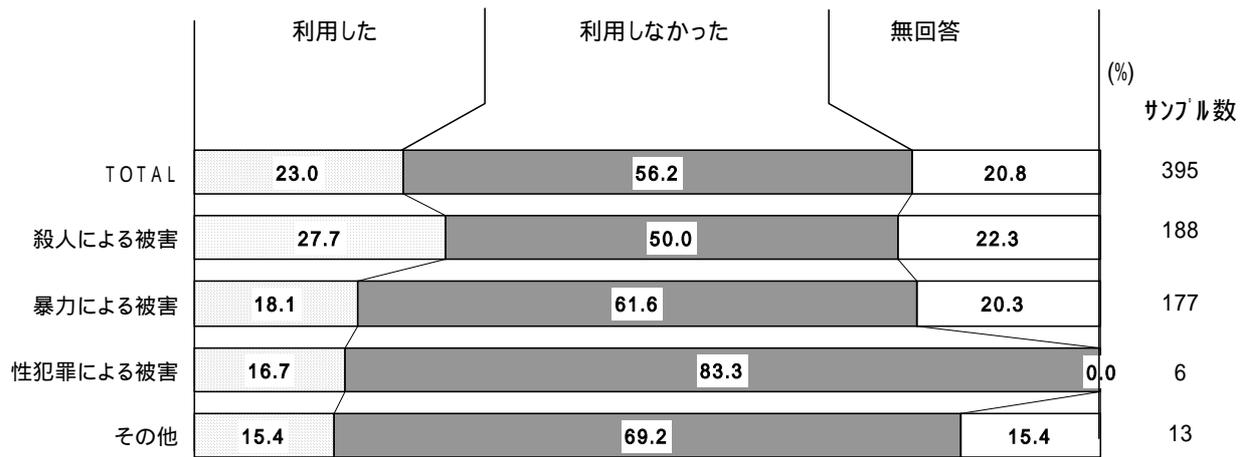
《 問14 - 1 情報提供（ホームページ）の必要度 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図2 - 77 情報提供（ホームページ）の必要度（問14 - 1）

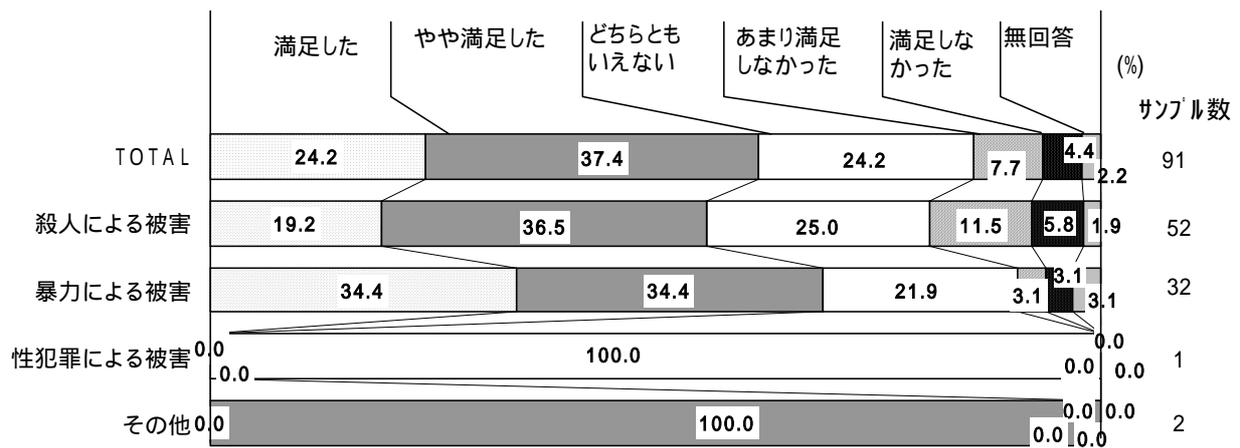
《 問 1 4 - 2 情報提供（ホームページ）の利用有無 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 7 8 情報提供（ホームページ）の利用有無（問 1 4 - 2）

《 問 1 4 - 3 情報提供（ホームページ）の満足度 》



情報提供（ホームページ）を利用した n=91

図 2 - 7 9 情報提供（ホームページ）の満足度（問 1 4 - 3）

《 問 1 4 - 4 情報提供（ホームページ）の認知媒体 》

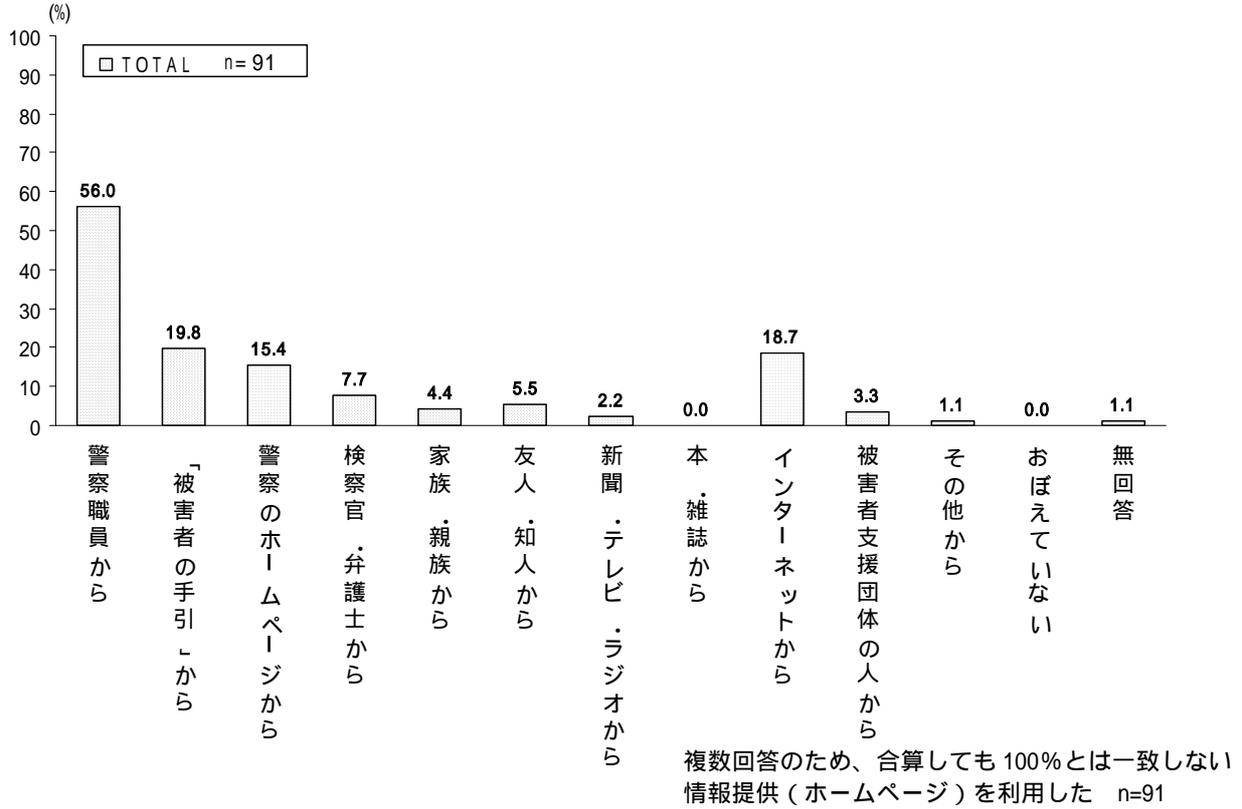


図 2 - 8 0 情報提供（ホームページ）の認知媒体（問 1 4 - 4）

《 問 1 4 - 5 情報提供（ホームページ）を利用しなかった理由 》

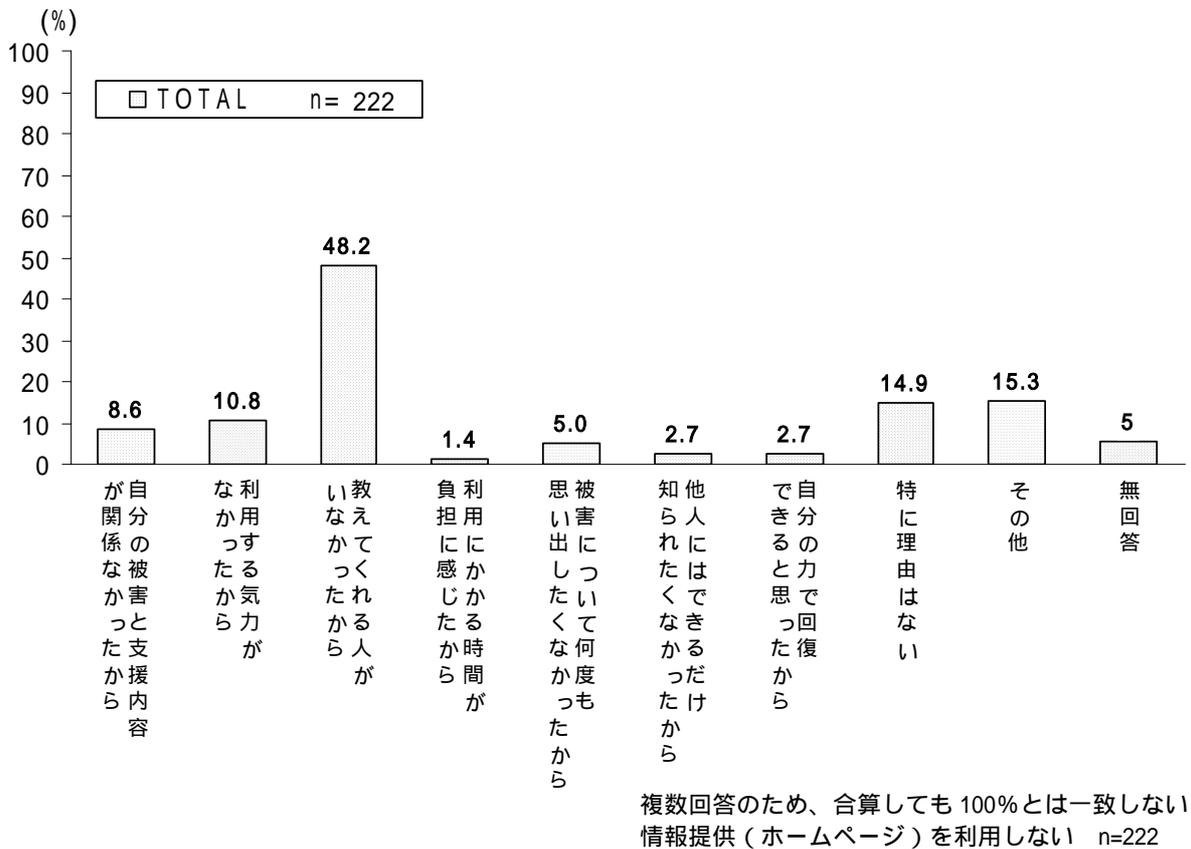
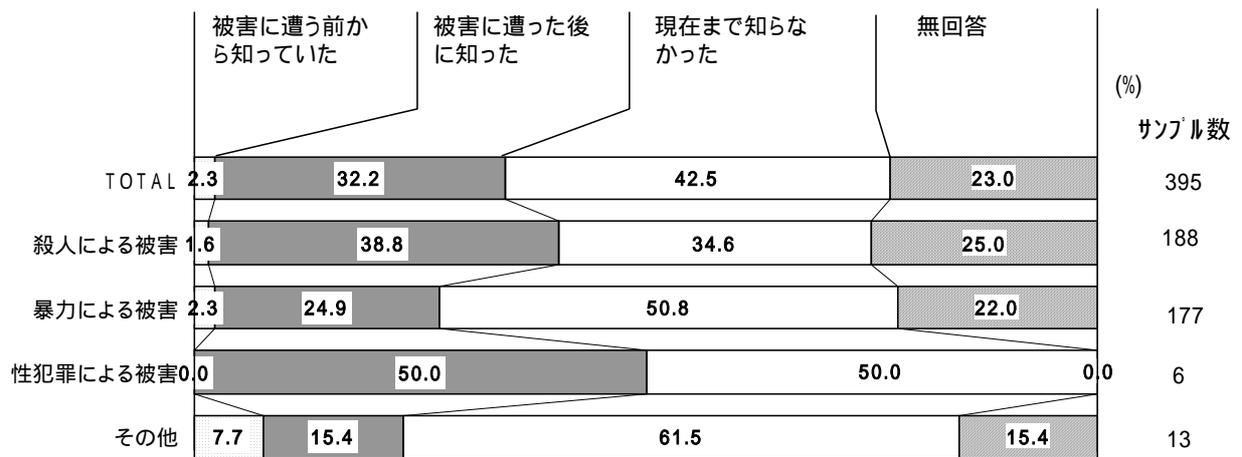


図 2 - 8 1 情報提供（ホームページ）を利用しなかった理由（問 1 4 - 5）

《 問 1 4 - 6 情報提供（ホームページ）の認知状況 》



TOTAL n=395 には被害の種類が無回答（11人）を含む

図 2 - 8 2 情報提供（ホームページ）の認知状況（問 1 4 - 6）

問 15 今後必要とする支援

< 調査結果 >

給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和」が 58.7%、「支援内容についての情報提供」が 54.2%、「捜査や検挙状況についての情報提供」が 44.1%と、施策として今後必要なものとして回答者の大きな意見を占めている。

《 問 15 今後必要とする支援 》

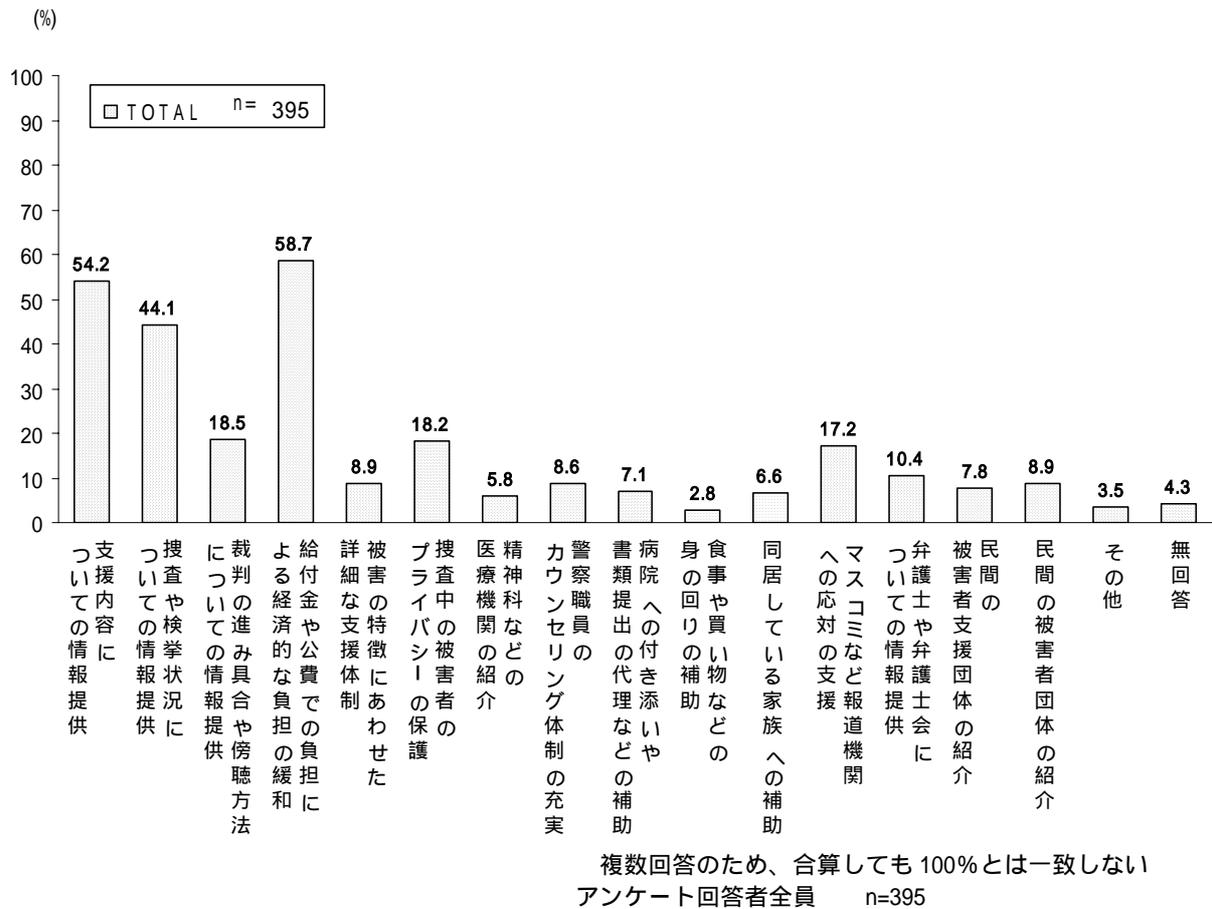


図 2 - 8 3 今後必要とする支援 (問 15)

3 . 施策別 利用状況等の分析

この項では以下の視点で分析を行った。

- 1) 現状における支援施策の普及度
- 2) 警察の施策への満足度
- 3) 警察による支援へのニーズ

分析では、以下の軸を設定し、アンケート集計・図化を行っている。

被害種別

被害者との関係別（本人 / 家族・遺族）

被害から経過した時間別（1年未満 / 1～2年 / 2～3年 / 3年以上）

利用した施策数別（利用施策数4以下 / 利用施策数5以上）

14の施策について、認知度、必要度、利用有無、満足度、事件後の心境の変化について各項目に関して施策別の比較分析を行う。

分析軸と項目のクロスに関しては、下表のとおり。例えば施策の認知度を被害種別で分析した結果を見る場合は、図3 - 6及び図3 - 7を参照のこと。

表3 - 1 本項で行った分析一覧（表の数字は図番号）

		認知度	必要度	利用有無	満足度	事件後の心境の変化
分析軸	被害種別	図3 - 6 図3 - 7	図3 - 9 図3 - 10	図3 - 16 図3 - 17	図3 - 25 図3 - 26	図3 - 30 図3 - 31
	被害者との関係別		図3 - 11 図3 - 12	図3 - 18 図3 - 19	図3 - 27 図3 - 28	図3 - 32 図3 - 33
	被害から経過した時間別					図3 - 48 図3 - 49 図3 - 50 図3 - 51
	施策利用数別					図3 - 52 図3 - 53

(1) 現状における支援施策の普及度

1) 施策の利用数

14の施策について回答者ごとの利用した施策数を算出したところ、以下のとおりとなる。平均利用施策数は4.4で中央値は4.0である。5施策以上利用したと回答した人は38.5%を占める。

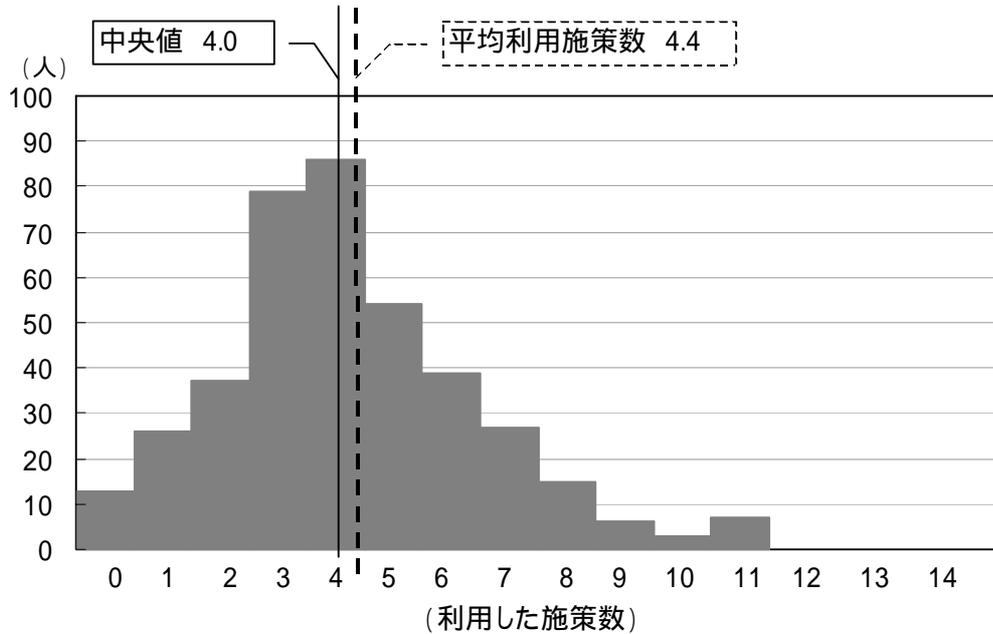
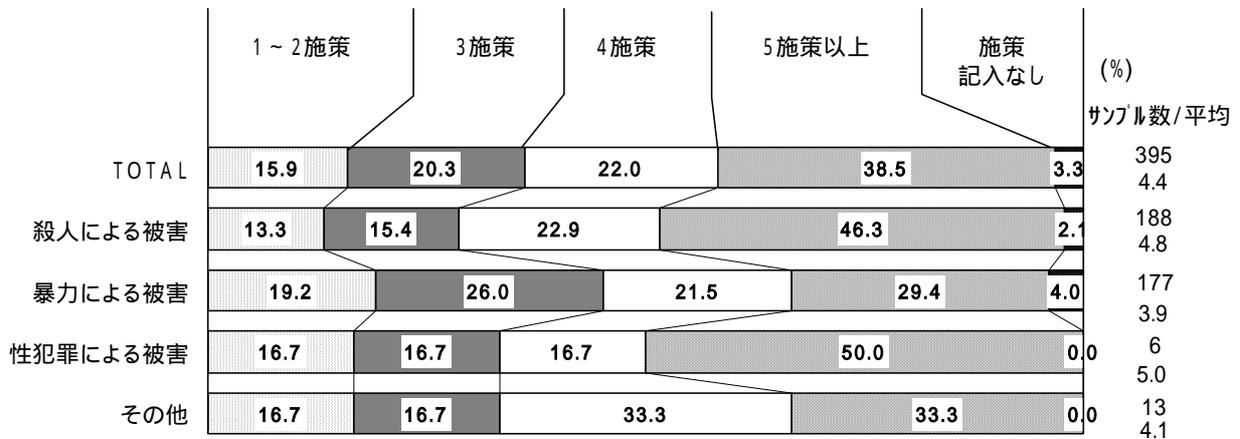


図3 - 1 利用した施策数【平均利用数と中央値】

施策利用数【被害種別】

被害種別でみると、殺人による被害(平均4.8施策)の方が暴力による被害(平均3.9施策)よりも利用している施策の数が多い。



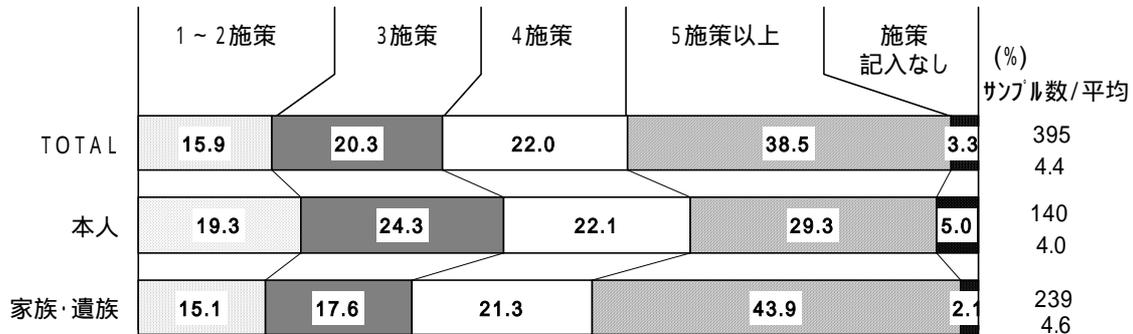
殺人による被害 n=188 暴力による被害 n=177 性犯罪による被害 n=6
TOTAL n=395 には被害の種類が無回答(11人)を含む

図3 - 2 施策の利用数【被害種別】

施策利用数【被害者との関係別】

被害者との関係別でみると、被害者本人では利用施策数が4施策以上の人が60.5%と半数以上を占める。

また、本人に比べて家族・遺族の方が施策の利用数が多く、4施策以上の人が65.2%となっている。



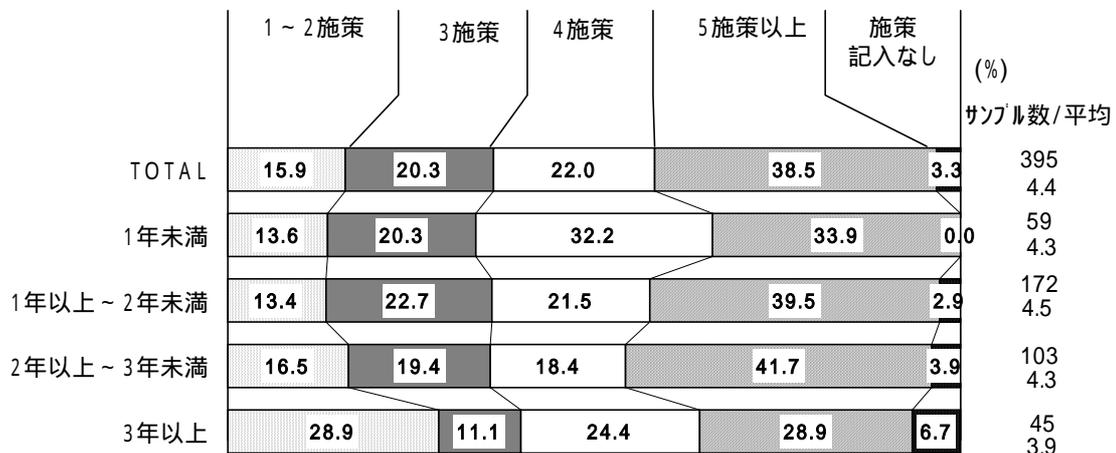
TOTAL n=395 には被害者との関係無回答(16人)を含む

図3 - 3 施策の利用数【被害者との関係別】

被害からの経過時間別の施策利用数

被害から経過した時間別にみると、経過時間による施策利用数平均値は4.4前後で1年未満から3年未満までは差は見られないが、その構成比は経過時間によって差が見られる。

被害からの経過時間が長くなるにつれて、4施策以上利用したと回答した人の割合が減る傾向にある一方で、1~2施策利用と回答した人の割合は増える傾向にある。



TOTAL n=395 には被害からの経過時間無回答(16人)を含む

図3 - 4 施策の利用数【被害からの経過時間別】

2) 施策の認知度

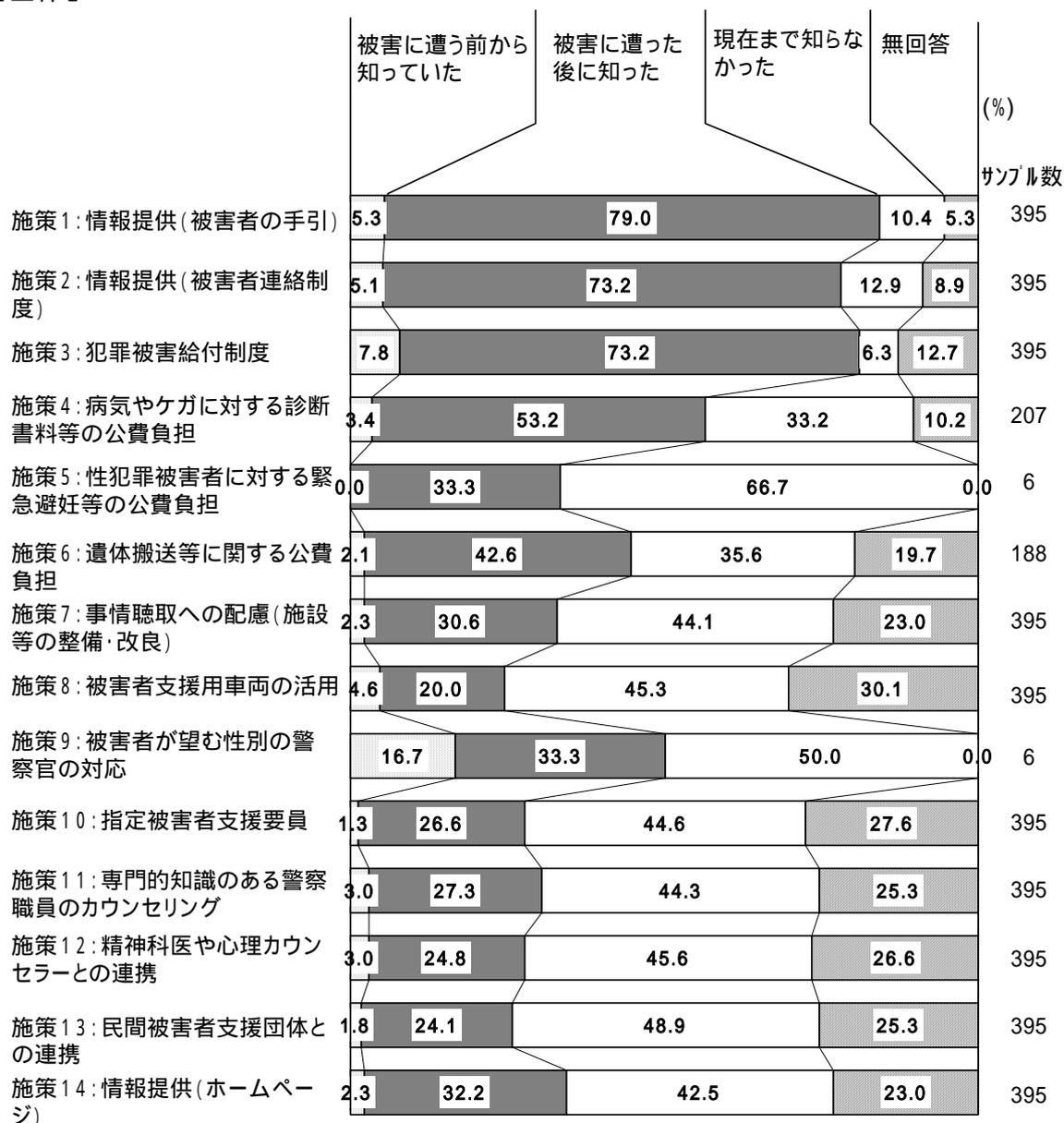
施策の認知度【全体】

施策について「被害に遭う前から知っていた」と回答した人は「被害者が望む性別の警官の対応」で16.7%となったが、その他の施策については1割に満たない。

「被害に遭った後に知った」と回答した割合が高かった施策は、順に「情報提供（被害者の手引）」79.0%、「情報提供（被害者連絡制度）」73.2%、「犯罪被害給付制度」73.2%となっている。

上記3つの施策以外の施策については、「現在まで知らなかった」と回答した人の割合が4割を超える施策が9つとなっている。

【全体】



(各施策のサンプル数は、想定される支援対象とした。全サンプル：n=395 病気やケガに対する診断書料等の公費負担：殺人を除く n=207、遺体搬送等に関する公費負担：殺人による被害 n=188、性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担・被害者が望む性別の警察官の対応：性犯罪による被害 n=6)

図3 - 5 施策の認知度【全体】

施策の認知度【被害種別】

全ての施策で「被害に遭う前から知っていた」と回答した人は1割に満たない。

「被害に遭った後に知った」と回答した割合が高い施策は、「殺人による被害」、「暴力による被害」で共に、「情報提供（被害者の手引）」、「犯罪被害給付制度」、「情報提供（被害者連絡制度）」となっている。

【殺人による被害】

「被害に遭った後に知った」と回答した割合が高い施策は、順に「情報提供（被害者の手引）」76.6%、「犯罪被害給付制度」75.5%、「情報提供（被害者連絡制度）」73.9%、となっている。

上記3施策以外については、「現在まで知らなかった」と回答した人の割合が3割から4割を占めている。

「被害に遭う前から知っていた」と回答した人は、「情報提供（被害者の手引）」6.9%、「犯罪被害者給付制度」9.6%を除いては5%に満たない。

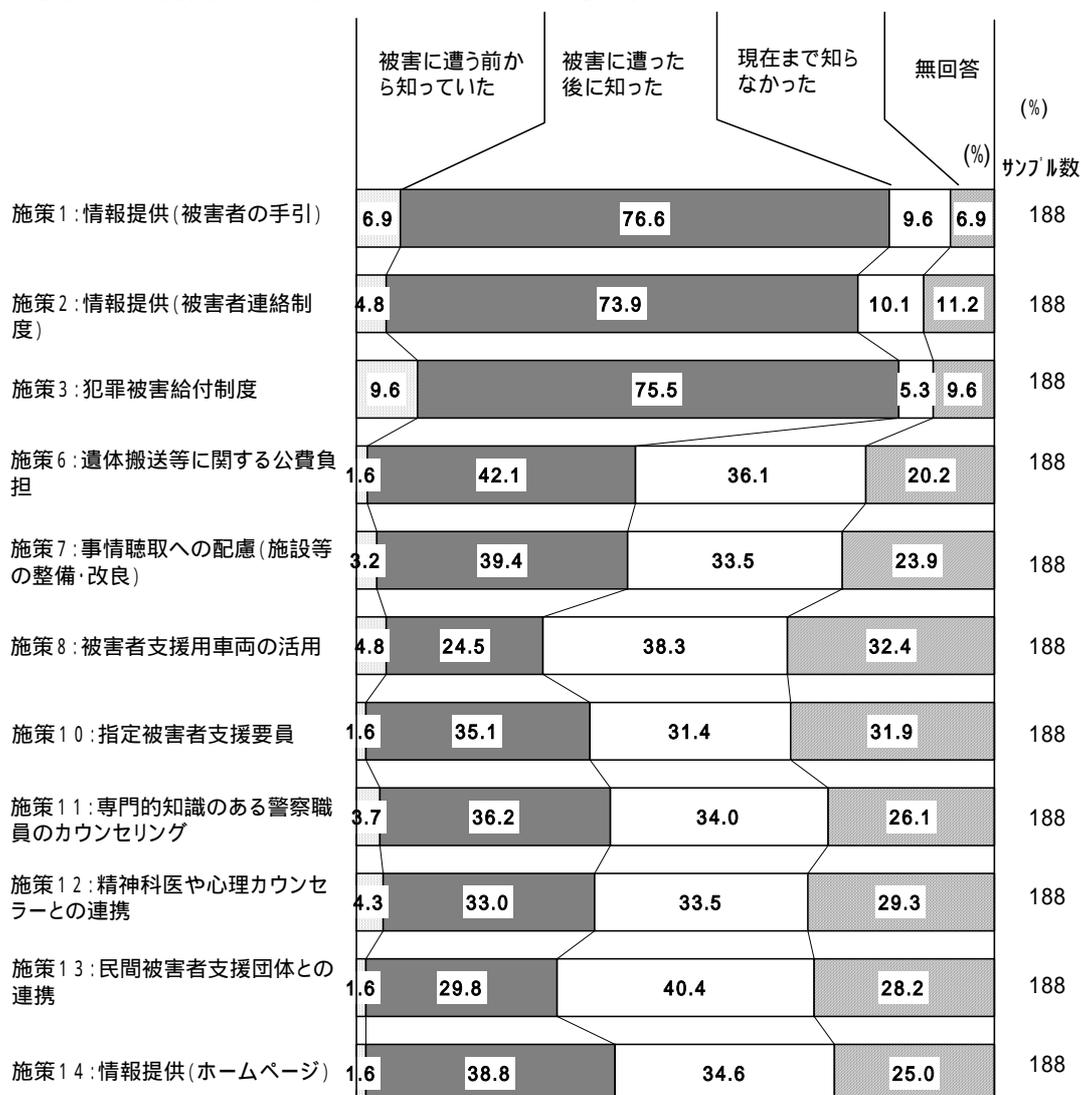


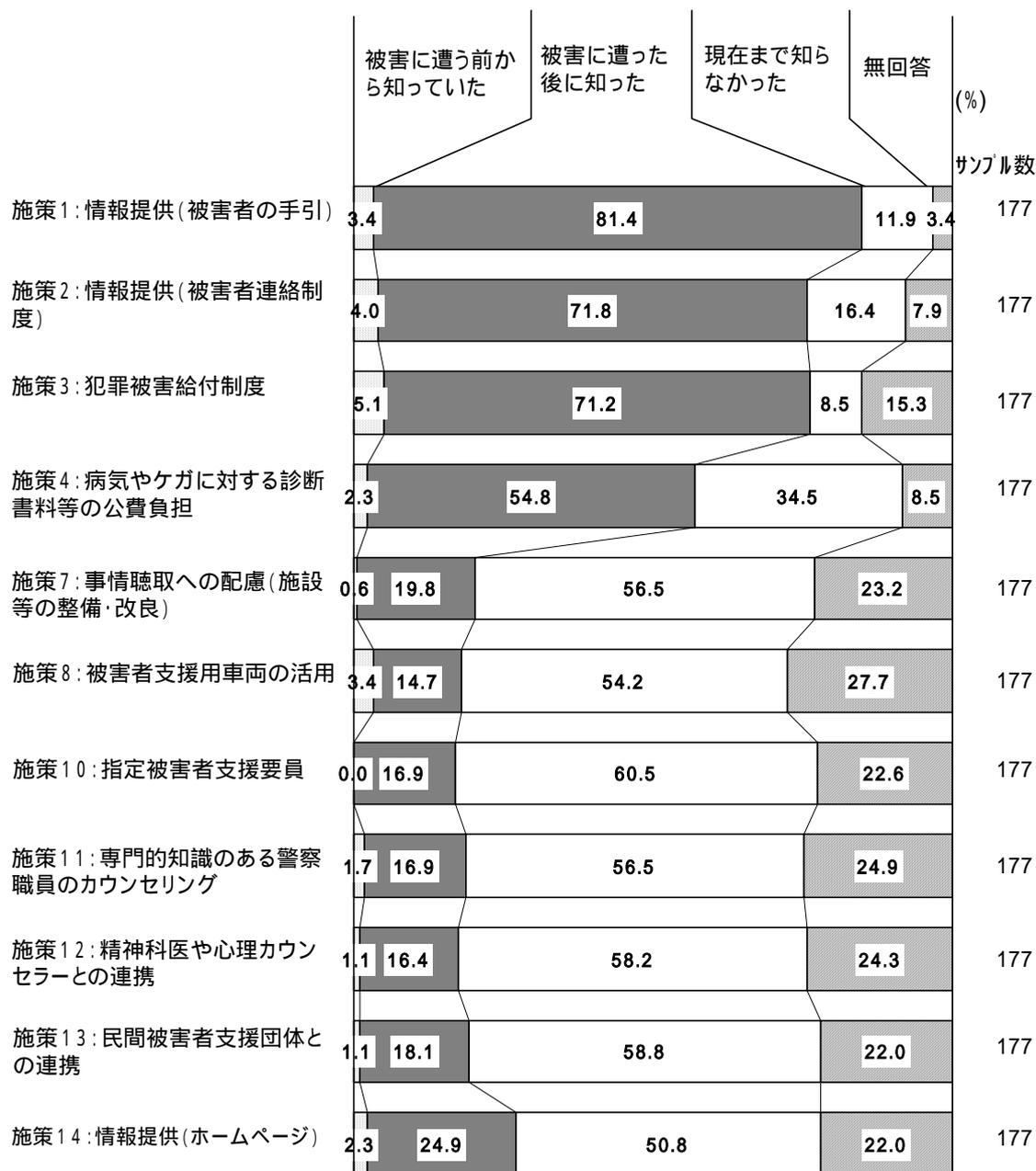
図3 - 6 施策の認知度【殺人による被害】

殺人による被害 n=188

【暴力による被害】

「被害に遭った後に知った」と回答した割合が高い施策は、順に「情報提供(被害者の手引)」81.4%、「情報提供(被害者連絡制度)」71.8%、「犯罪被害給付制度」71.2%となっている。また、「病気やケガに対する診断書等の公費負担」についても54.8%と半数以上を占める。

上記4施策以外の施策については、「現在まで知らなかった」と回答した人が5割から6割と半数以上を占めている。



暴力による被害 n=177

図3-7 施策の認知度【暴力による被害】

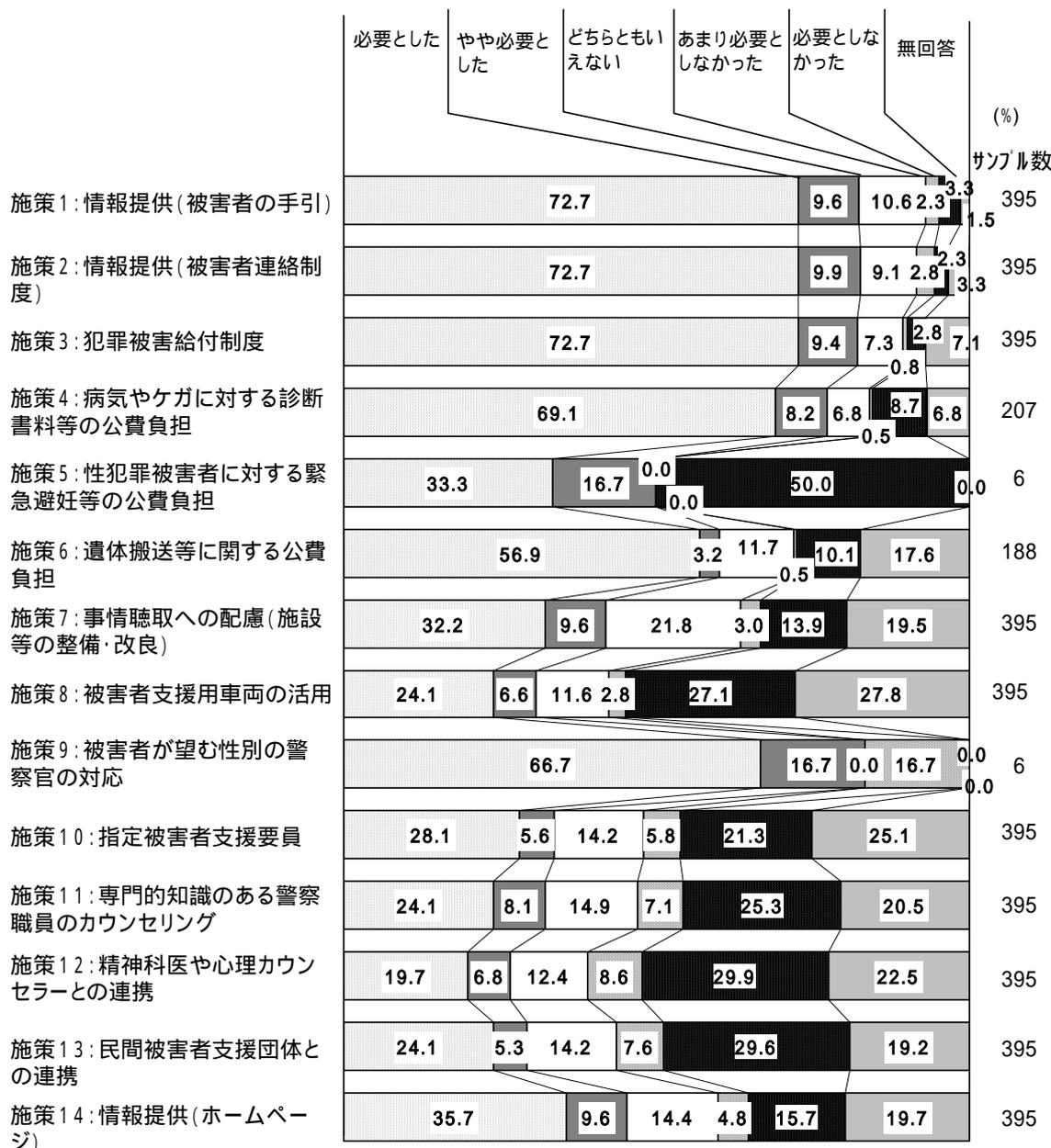
3) 施策の必要度

施策の必要度【全体】

「必要とした」の回答が多い施策については、「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」がともに72.7%を占め、「やや必要とした」と回答した人と合わせると8割を超える。

また、「情報提供（ホームページ）」についても「必要とした」または「やや必要とした」と回答した人を合わせると45.3%となっており、情報提供についての必要性が高くなっている。

【全体】



(各施策のサンプル数は、想定される支援対象とした 全サンプル：n=395 病気やケガに対する診断書料等の公費負担：殺人を除く n=207、遺体搬送等に関する公費負担：殺人による被害 n=188、性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担・被害者が望む性別の警察官の対応：性犯罪による被害 n=6)

図3-8 施策の必要度【全体】

施策の必要度【被害種別】

「必要とした」と回答した人が多い施策は、「殺人による被害」と「暴力による被害」で共に、「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」が7割以上を占め、ついで「公費負担」（施策4及び6）の割合が高くなっている。

【殺人による被害】

「必要とした」と回答した人が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」70.2%、「情報提供（被害者連絡制度）」71.8%、「犯罪被害給付制度」71.3%、で7割以上を占める。

また、「遺体搬送等に関する公費負担」を「必要とした」と回答した人は56.9%となっている。

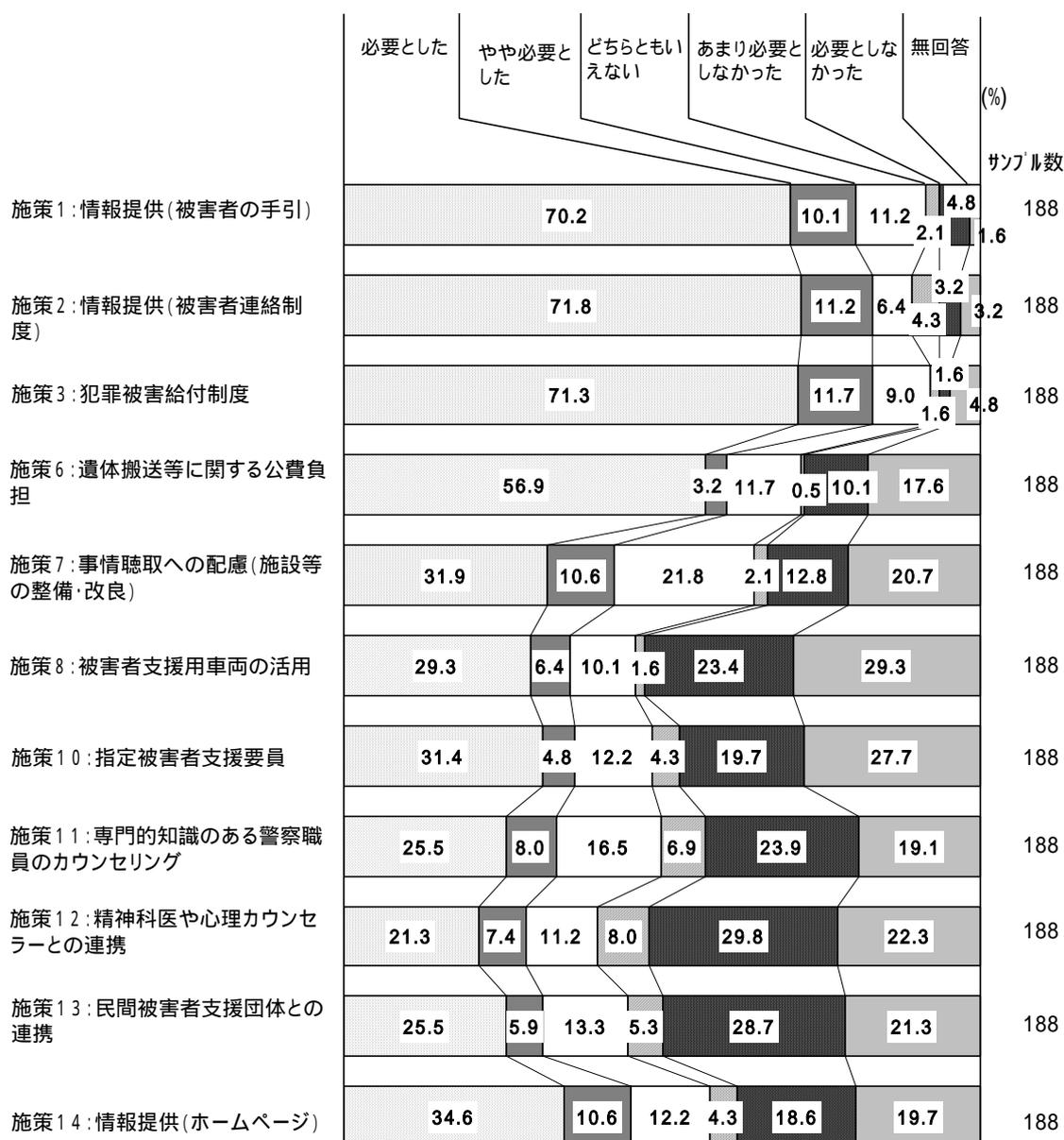
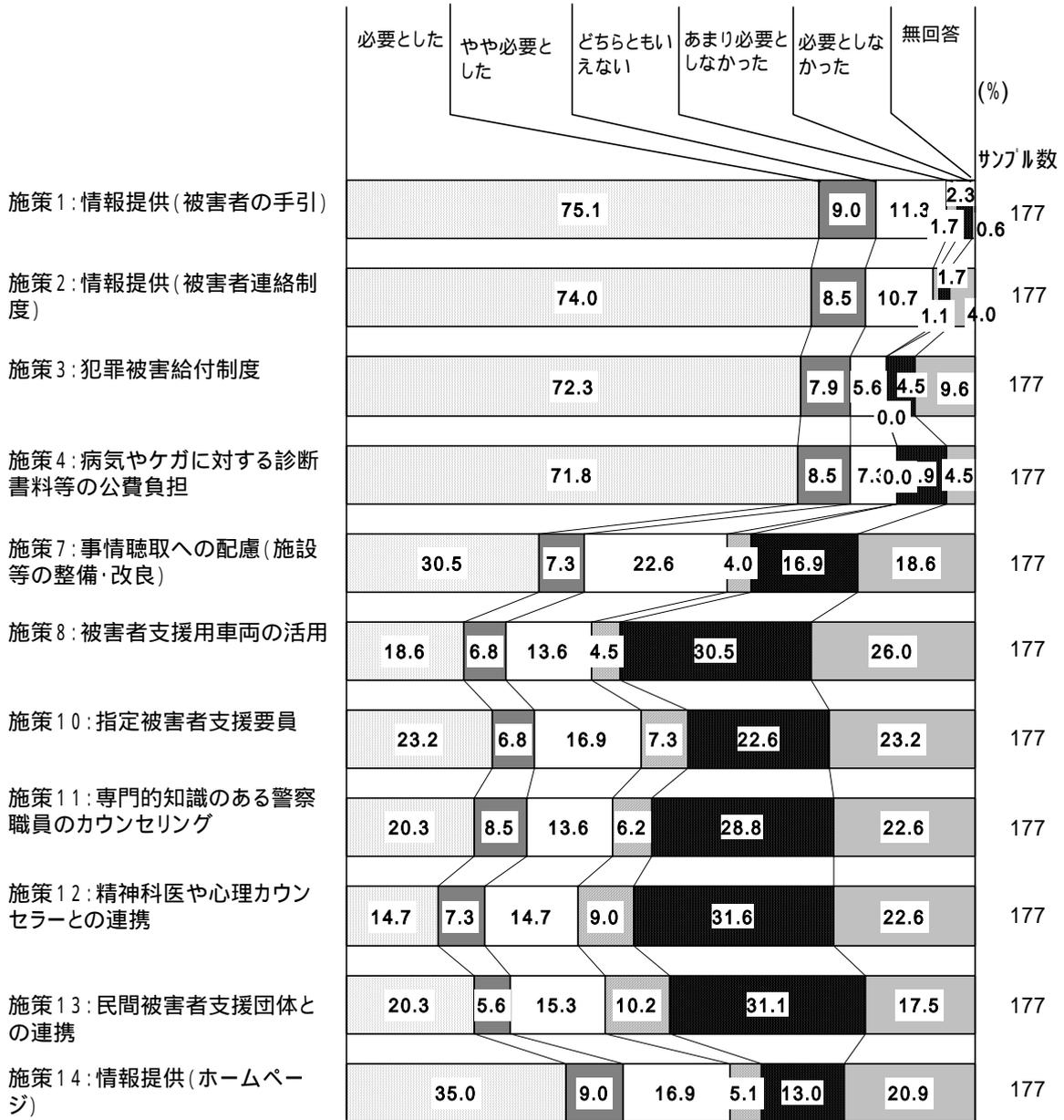


図3-9 施策の必要度【殺人による被害】 殺人による被害者等 n=188

【暴力による被害】

「必要とした」と回答した人が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」75.1%、「情報提供（被害者連絡制度）」74.0%、「犯罪被害給付制度」72.3%、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」71.8%で7割以上を占める。



暴力による被害 n=177

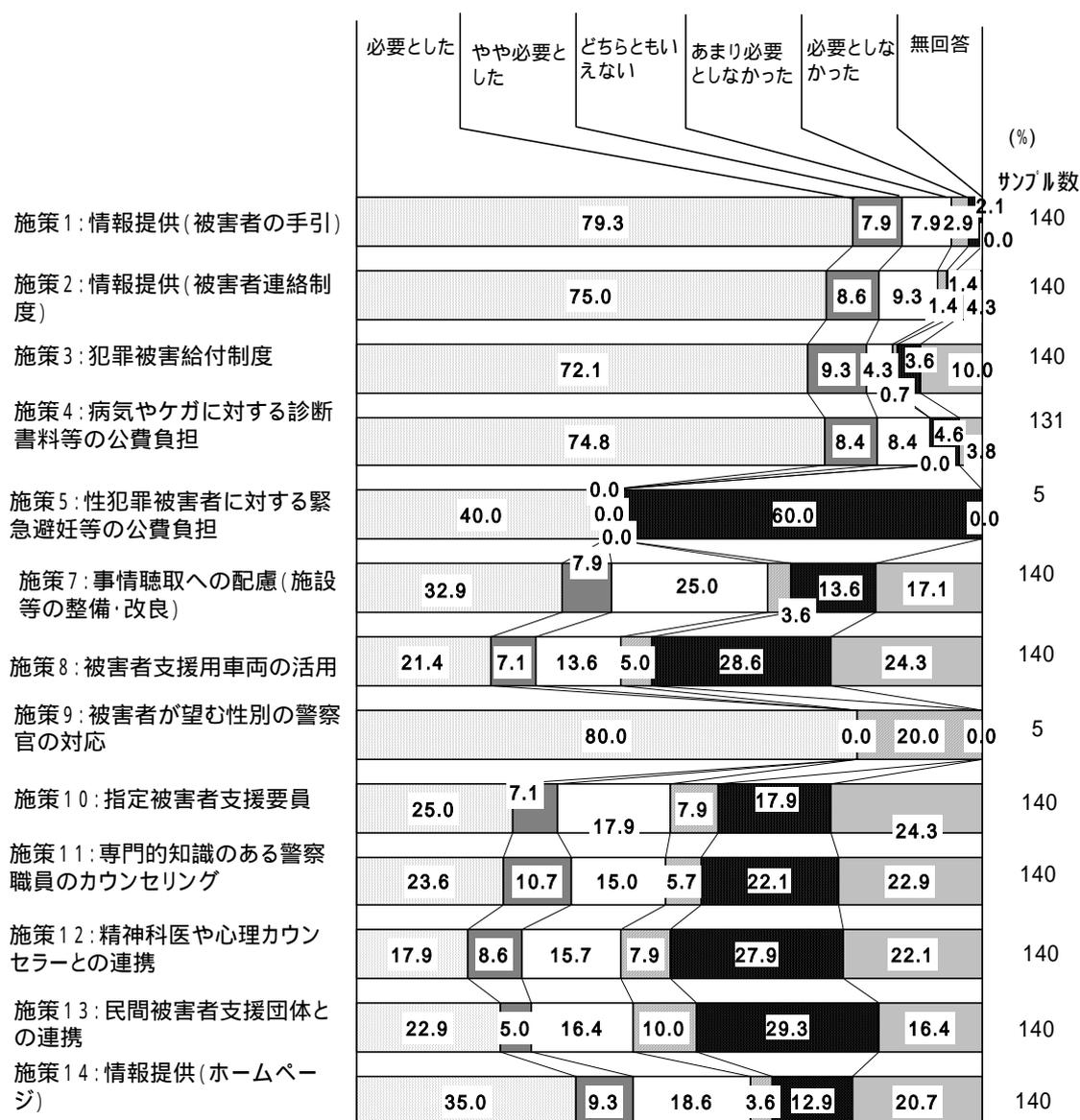
図3 - 10 施策の必要度【暴力による被害】

施策の必要度【被害者との関係別】

「必要とした」と回答した人が多い施策は、「被害者本人」、「被害者の家族・遺族」で共に、「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」が約7割から8割を占めている。

【被害者本人】

「必要とした」と回答した人が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」79.3%、「情報提供（被害者連絡制度）」75.0%、「犯罪被害給付制度」72.1%、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」74.8%、で7割以上を占める。



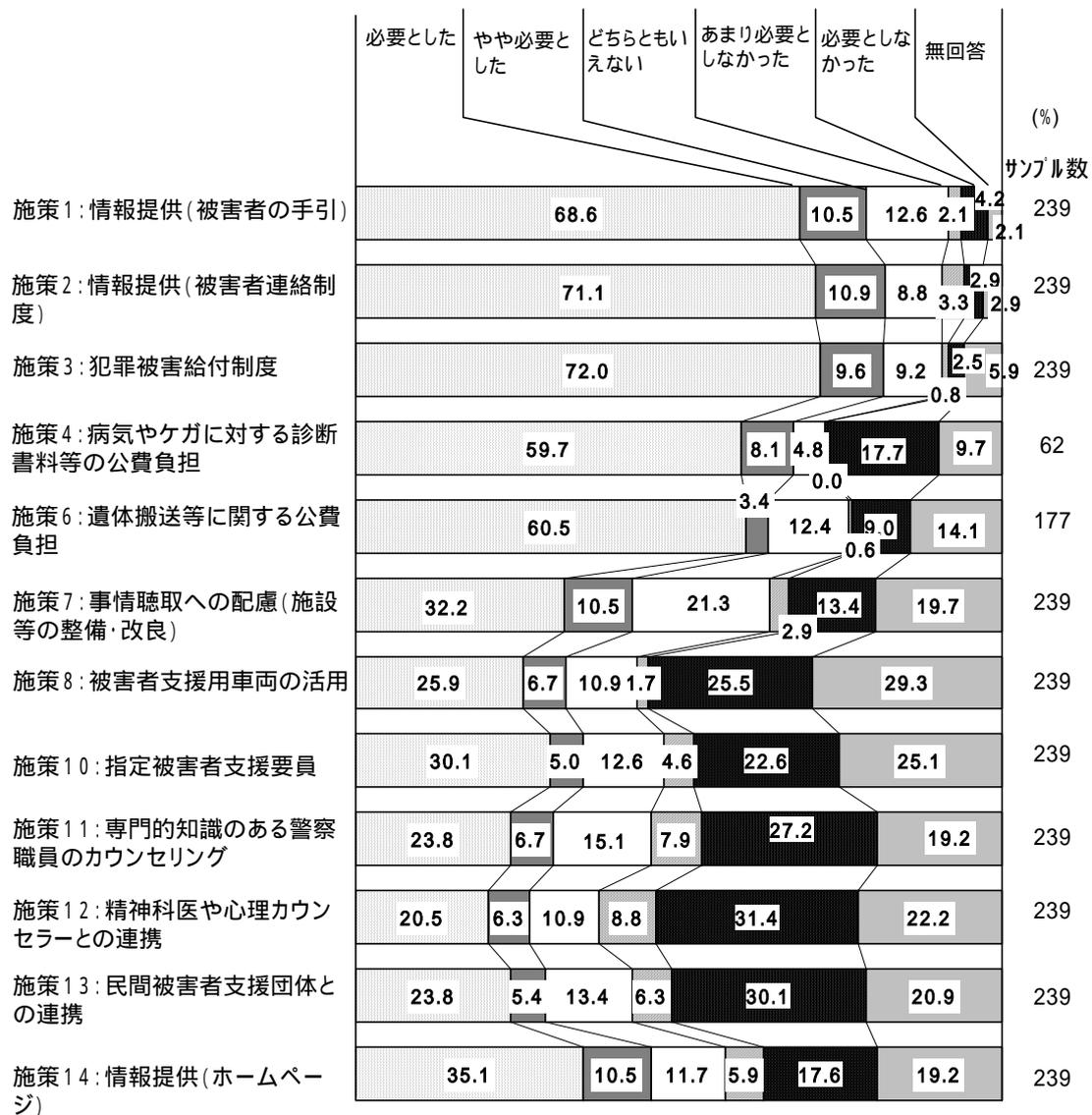
各サンプルは 被害者本人の人数

図3 - 1 1 施策の必要度【被害者本人】

【被害者の家族・遺族】

「必要とした」と回答した人が多かった施策は、「犯罪被害給付制度」72.0%、「情報提供（被害者連絡制度）」71.1%、「情報提供（被害者の手引）」68.6%、と約7割を占めている。

次いで、「遺体搬送等に関する公費負担」60.5%、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」59.7%と公費負担について「必要とした」と回答する人の割合が高い。



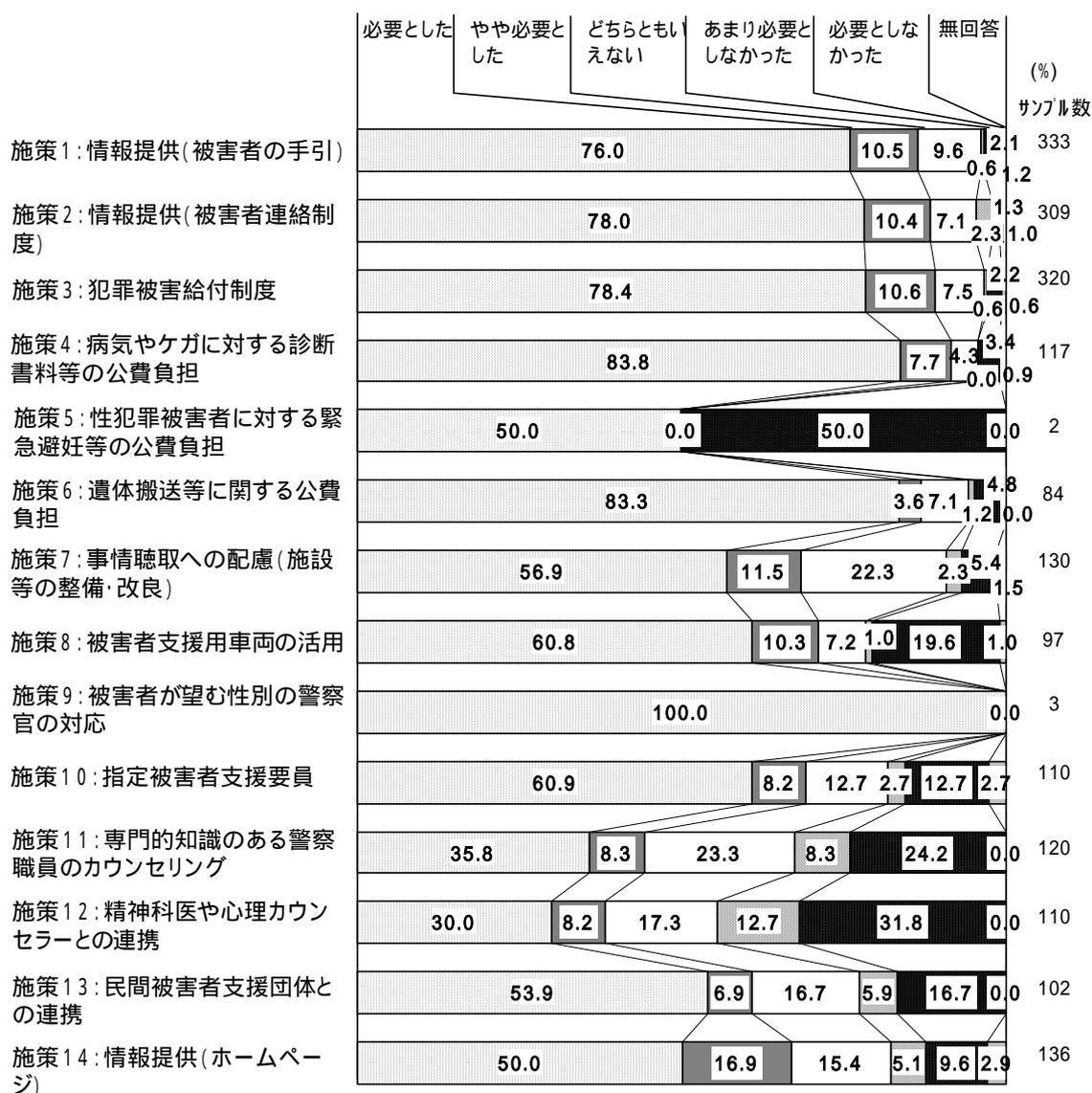
各サンプルは 被害者の家族・遺族の人数

図3 - 12 施策の必要度【被害者の家族・遺族】

施策の認知度と必要性

【施策を認知していた】

各施策について「被害に遭う前から知っていた」又は「被害に遭った後に知った」と回答した人のうち、「必要とした」又は「やや必要とした」と回答した人の割合が5割を超えた施策が12施策あり、特に「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」83.8%、「遺体搬送等に関する公費負担」83.3%、「犯罪被害給付制度」78.4%と高い割合となっている。

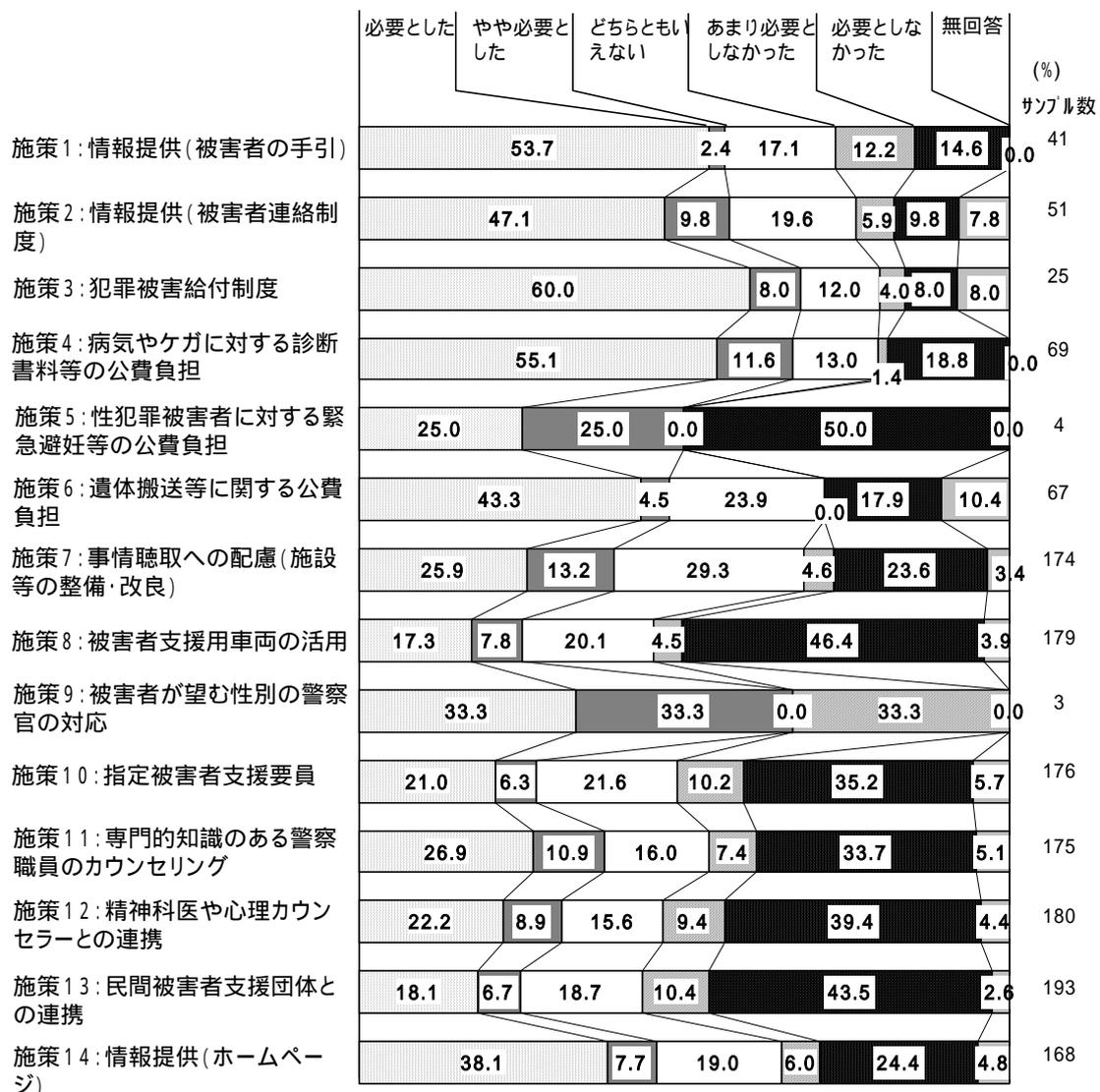


各サンプルは「被害に遭う前から知っていた」又は「被害に遭った後に知った」と回答した人

図3 1.3 施策を認知していた人の必要度

【施策を認知していなかった】

各施策について「現在まで知らなかった」と回答した人のうち、「必要とした」又は「やや必要とした」と回答した人が多い施策は、順に「犯罪被害給付制度」68.0%、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」66.7%、「情報提供（被害者連絡制度）」56.9%、と5割を超えている。



各サンプルは支援を「現在まで知らなかった」と回答した人

図3 - 14 施策を認知していなかった人の必要度

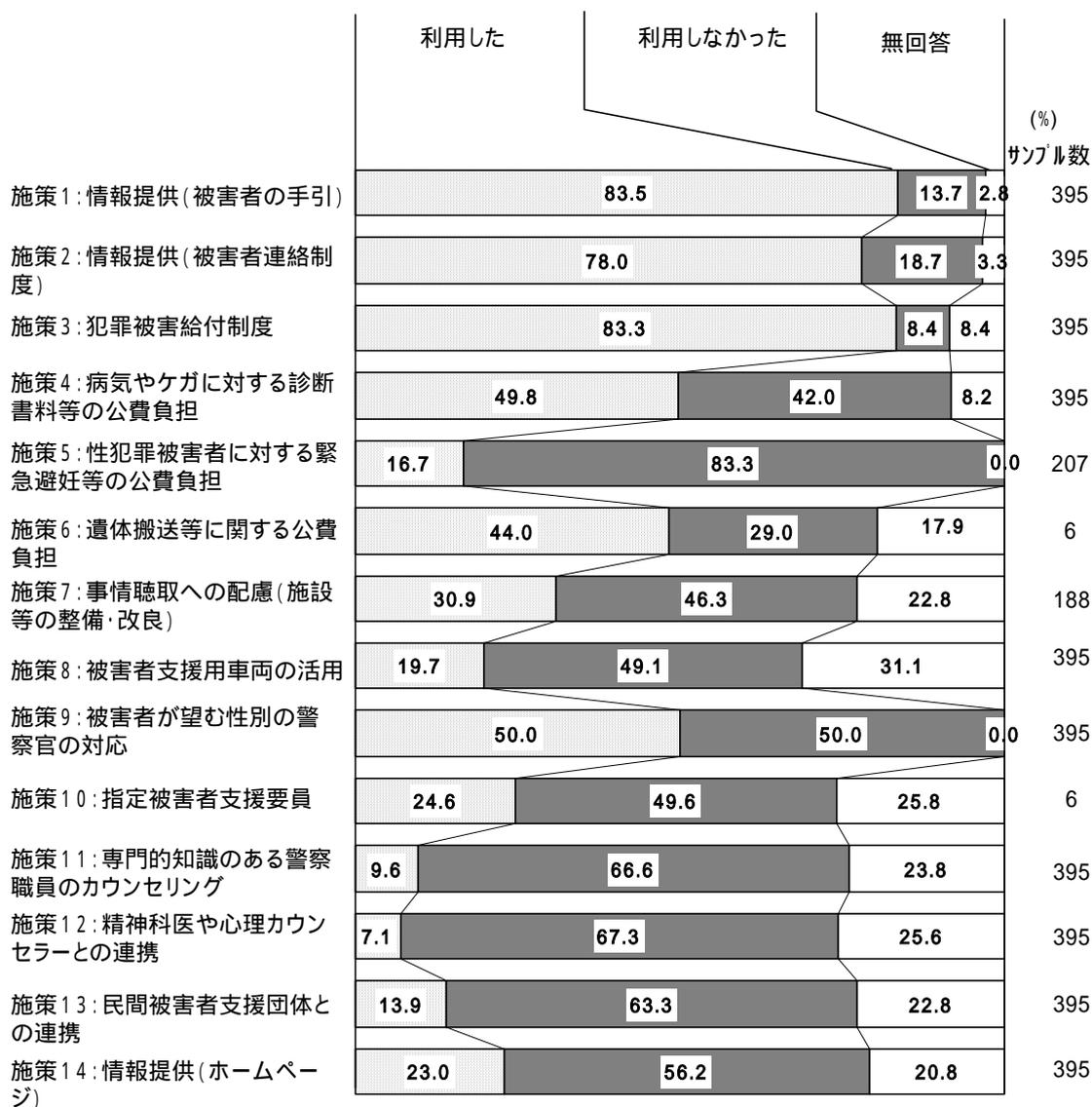
4) 施策の利用有無

施策の利用有無【全体】

「利用した」という回答が多い施策は、順に「情報提供（被害者の手引）」83.5%、「犯罪被害給付制度」83.3%、「情報提供（被害者連絡制度）」78.0%となっており、いずれも利用率は全体の7割を超える。これは被害種や被害者との関係に関わらず、利用率の高い施策であった。

一方で、「精神科医や心理カウンセラーとの連携」が7.1%、「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」が9.6%、「民間被害者支援団体との連携」が13.9%と「利用した」人が2割に満たない施策も見受けられる。

【全体】



(各施策のサンプル数は、想定される支援対象とした 全サンプル：n=395 病気やケガに対する診断書料等の公費負担：殺人を除く n=207、遺体搬送等に関する公費負担：殺人による被害者 n=188、性犯罪被害に対する緊急避妊等の公費負担・被害者が望む性別の警察官の対応：性犯罪による被害者 n=6)

図3 - 15 施策の利用有無【全体】

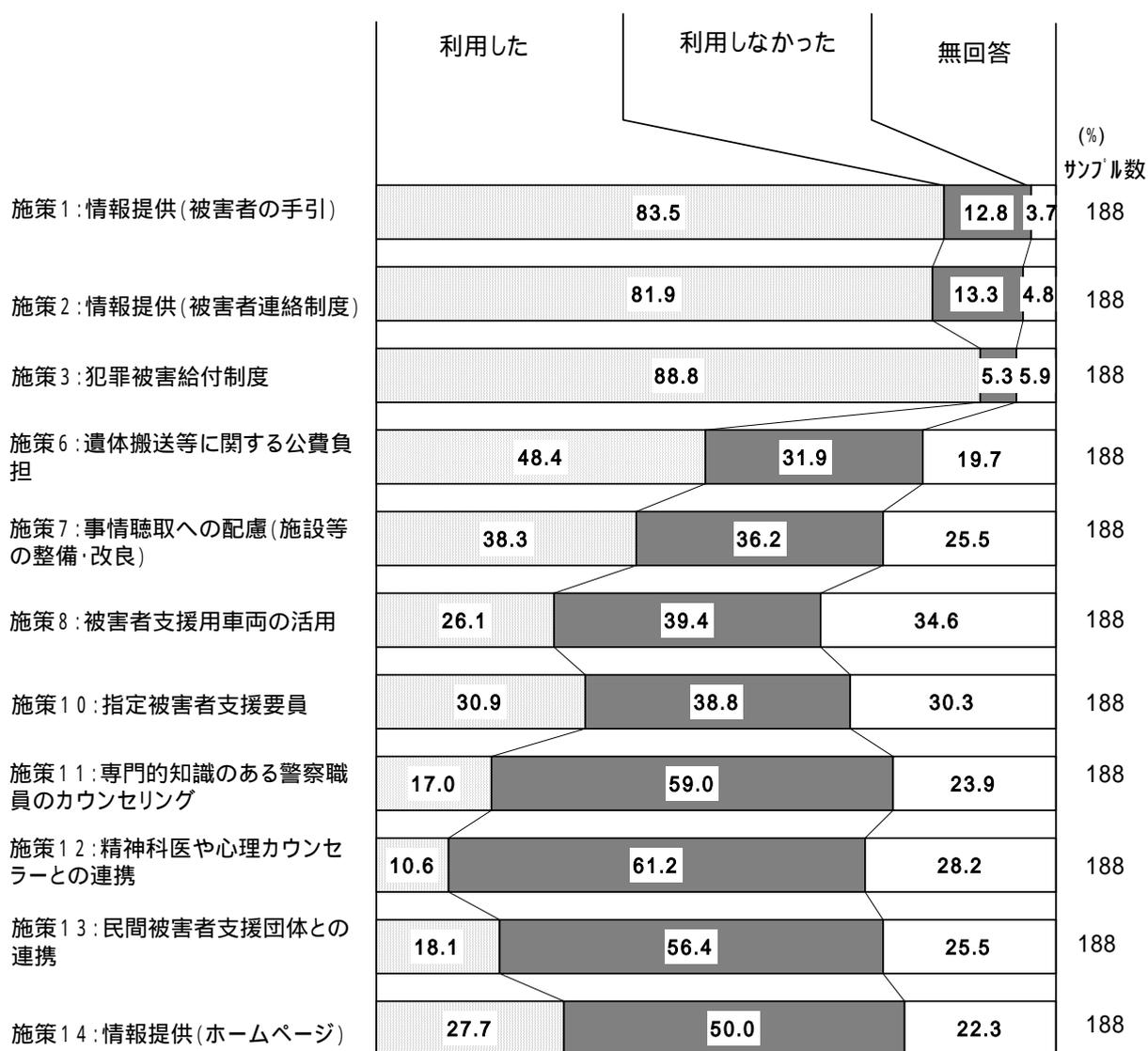
施策の利用有無【被害種別】

「利用した」と回答した人が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」で7割から8割を占めている。

次いで、「公費負担」（施策4及び6）についての利用が高くなっている。

【殺人による被害】

「利用した」と回答した人が多い施策は、「犯罪被害給付制度」88.8%、「情報提供（被害者の手引）」83.5%、「情報提供（被害者連絡制度）」81.9%といずれも8割以上を占めている。また、「遺体搬送等に関する公費負担」の利用が48.4%と高くなっている。



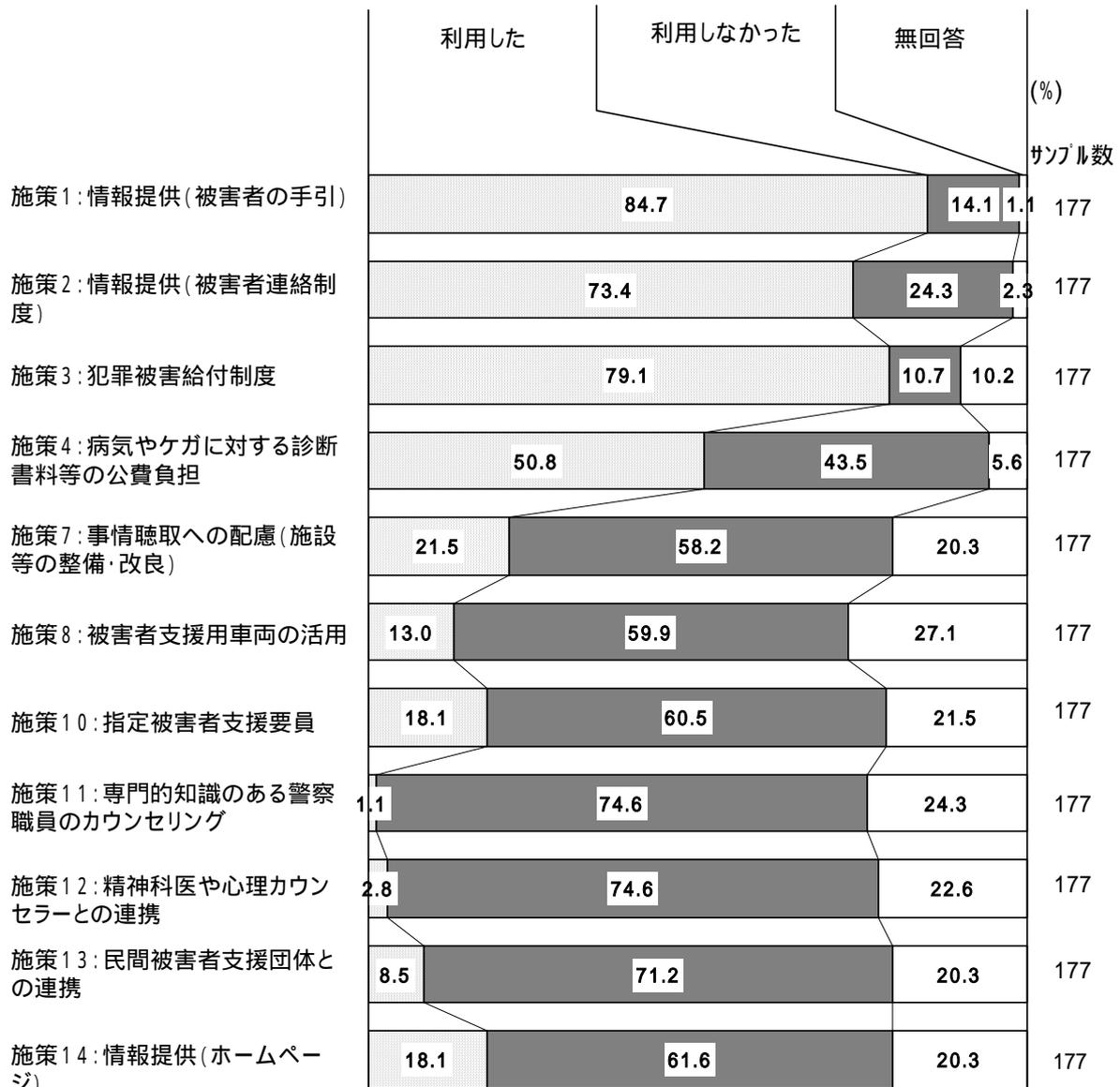
殺人による被害者等 n=188

図3 - 16 施策の利用有無【殺人による被害】

【暴力による被害】

「利用した」と回答した人が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」84.7%、「犯罪被害給付制度」79.1%、「情報提供（被害者連絡制度）」73.4%となっている。

また、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」が50.8%と高くなっている。



暴力による被害 n=177

図3 - 17 施策の利用有無【暴力による被害】

施策の利用有無【被害者との関係別】

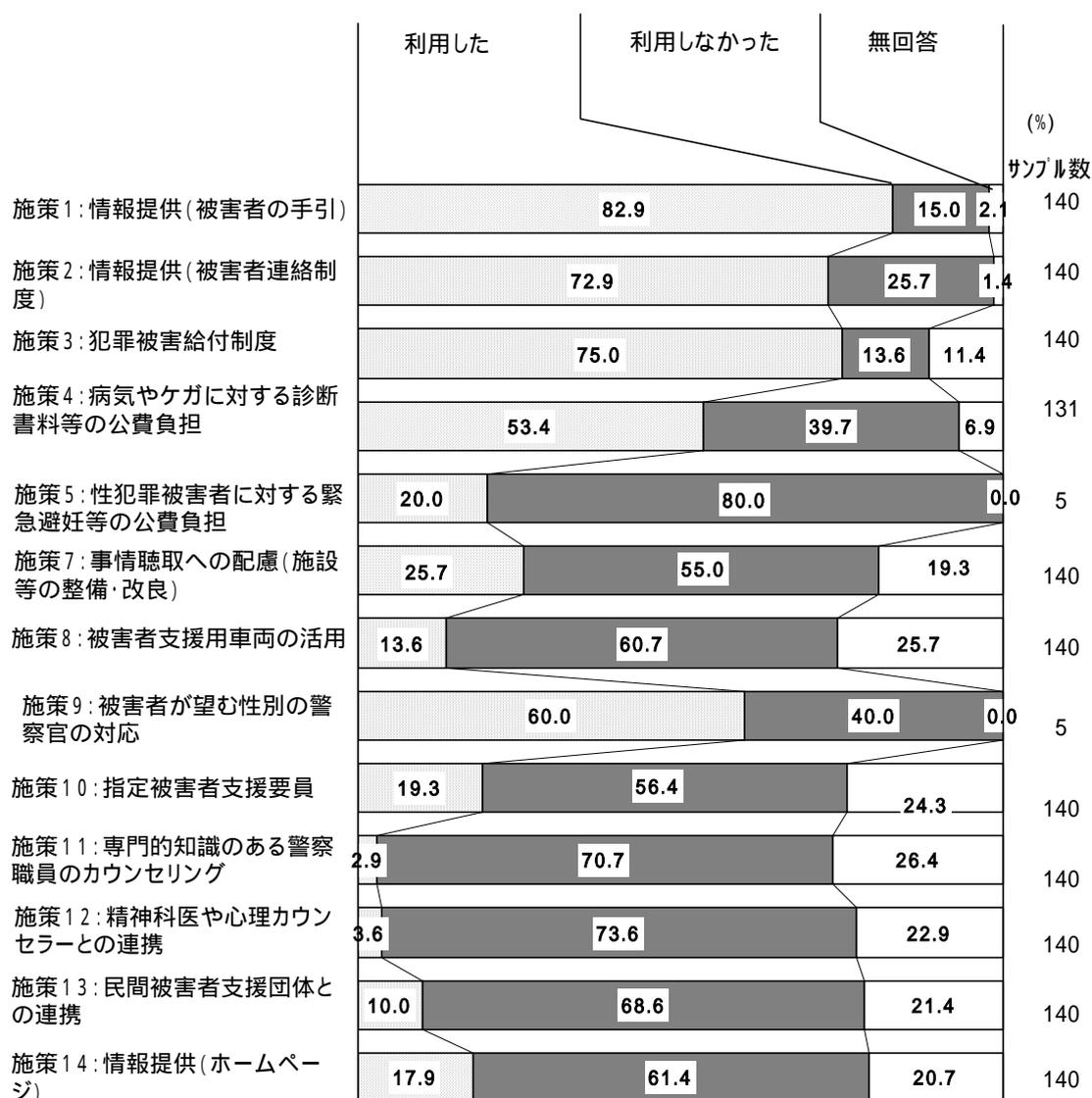
「利用した」と回答した人が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」で、7割から8割を占める。

また、「公費負担」（施策4及び6）について「利用した」と回答する人の割合が高くなっている。

【被害者本人】

「利用した」という回答が多い施策は、「情報提供（被害者の手引）」82.9%、「犯罪被害給付制度」75.0%、「情報提供（被害者連絡制度）」72.9%と割合が高くなっている。

また、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」を「必要とした」と回答した人が53.4%と半数以上を占めている。



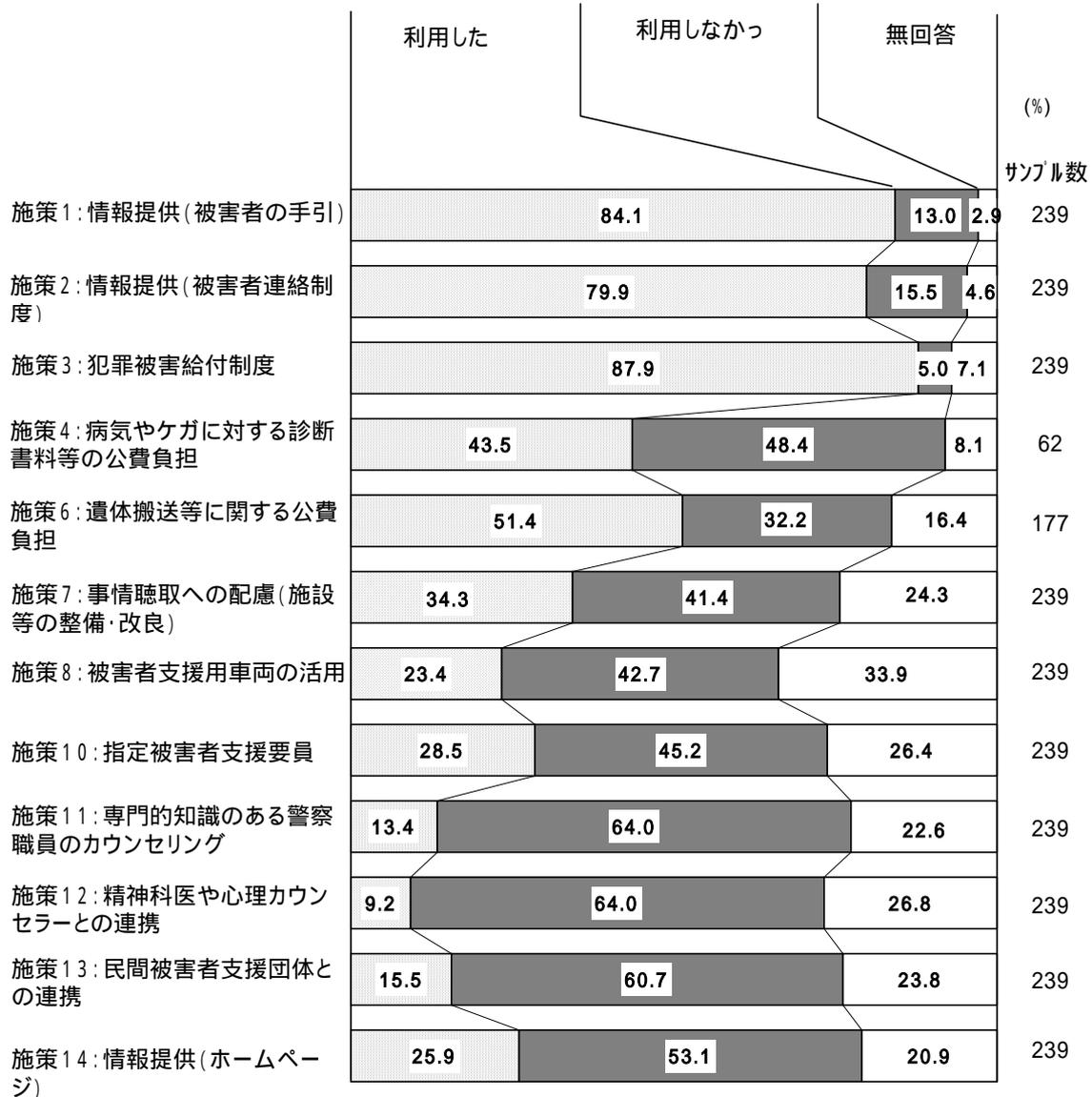
各サンプルは 被害者本人の人数

図3 - 18 施策利用有無【被害者本人】

【被害者の家族・遺族】

「利用した」という回答が多い施策は、「犯罪被害給付制度」87.9%、「情報提供（被害者の手引）」84.1%、「情報提供（被害者連絡制度）」79.9%となっている。

また、「遺体搬送等に関する公費負担」が51.4%、「病気やケガに対する診断書料等の公費負担」43.5%となっており、公費負担に対する利用の割合が高くなっている。



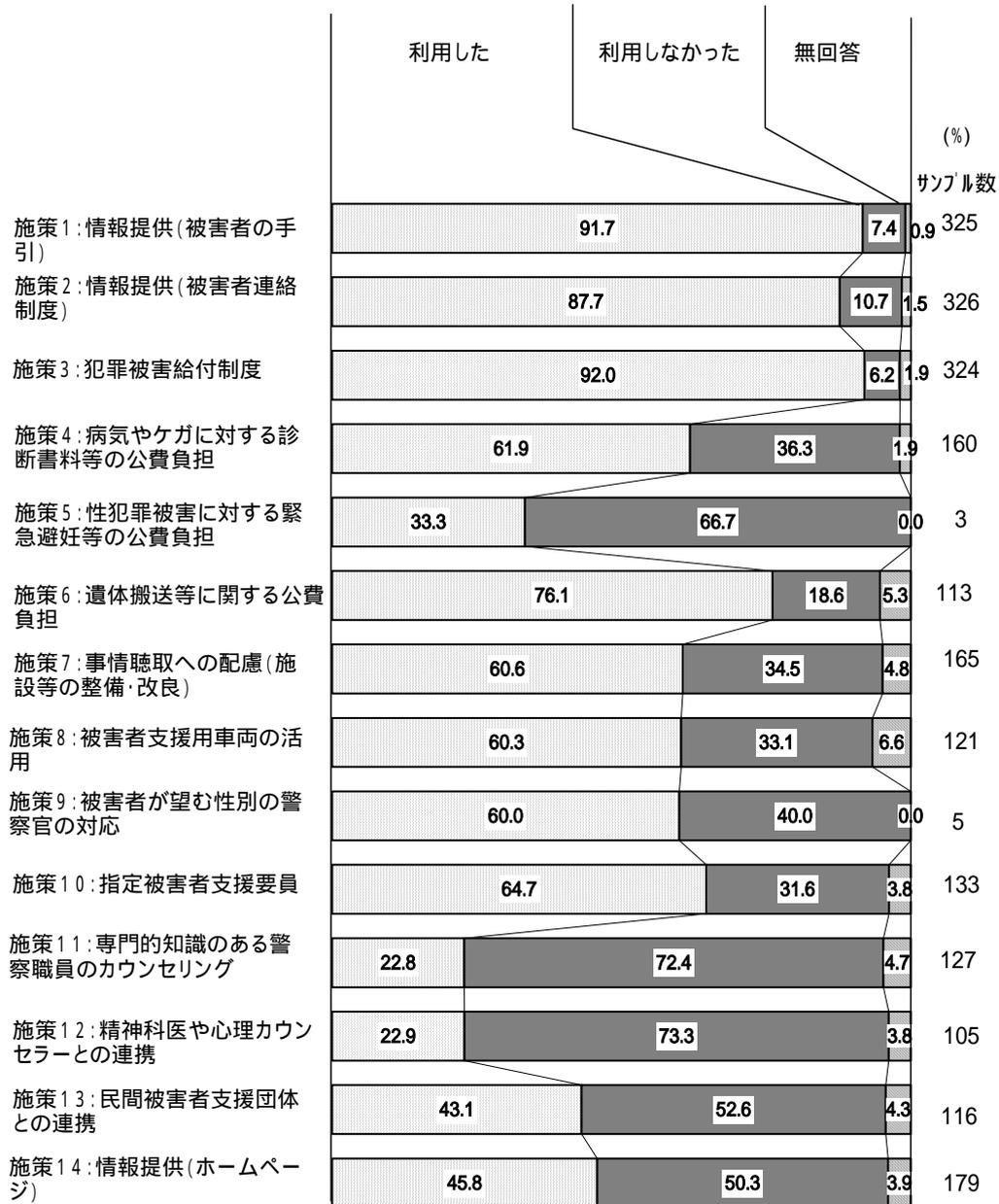
各サンプルは 被害者の家族・遺族の人数

図3 - 19 施策の利用有無【被害者の家族・遺族】

必要とされたが利用に至らなかった施策の被害者の属性

施策を「必要とした」、「やや必要とした」と回答した人の利用状況について以下に示す。

【全体】



サンプルは施策を「必要とした」、「やや必要とした」と回答した人

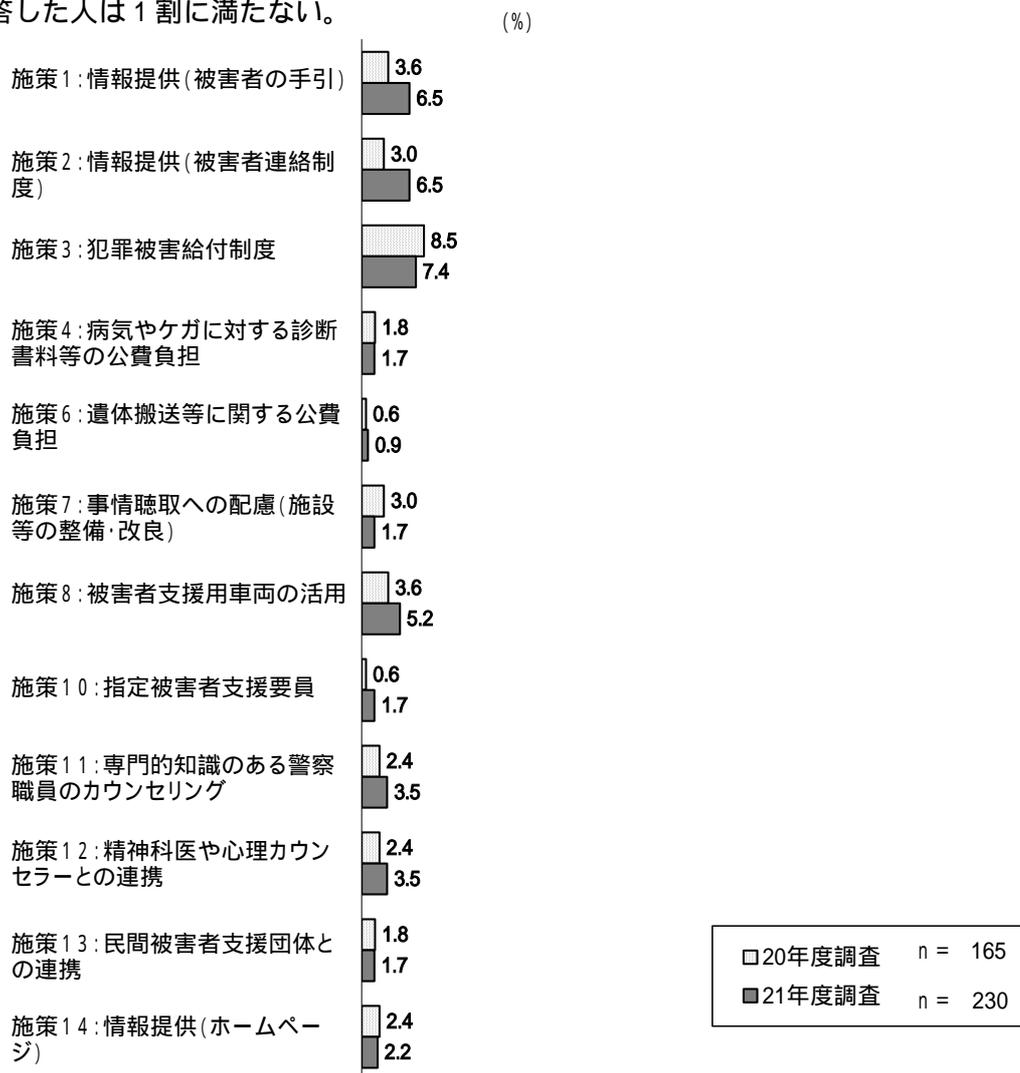
図3 - 20 「必要とした」、「やや必要とした」と回答した人の施策の利用有無

5) 時系列による施策普及状況の把握

施策の普及状況を年度別に見ると、全体的に平成20年度と21年度に大きな差は見られないが、施策1のように「現在まで知らなかった」と回答した割合が減少し、「被害に遭った後に知った」、「被害に遭う前から知っていた」と回答した割合が増加している施策も見られる。

【被害に遭う前から知っていた】

平成20年度、平成21年度ともに「犯罪被害給付制度」が最も高い割合で平成20年度で8.5%、平成21年度で7.4%となっているが、全ての施策において「被害に遭う前から知っていた」と回答した人は1割に満たない。

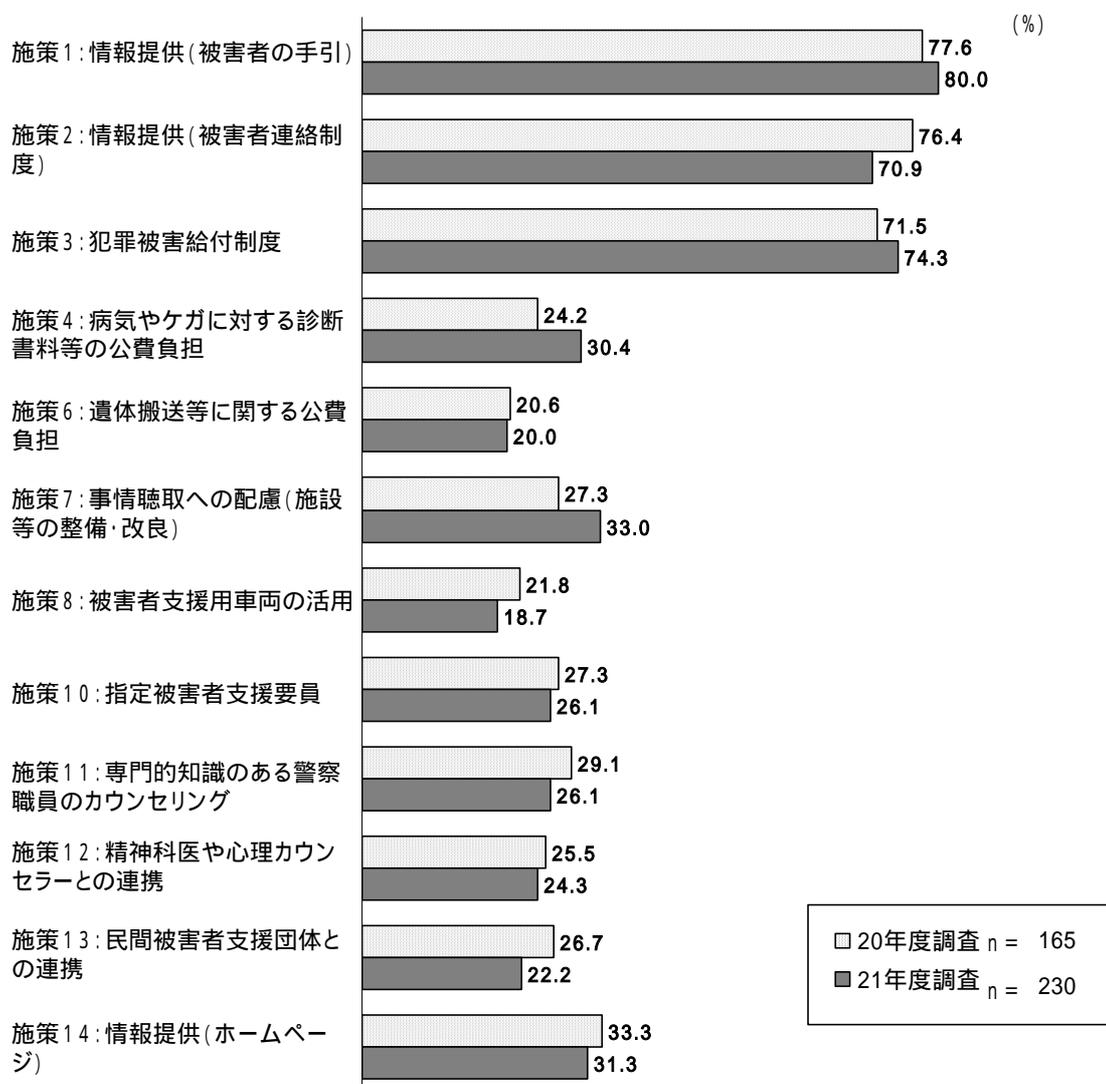


20年度調査 (n=165) については 19年度調査 (n=25) を含む

図3 - 2 1 各施策の年度別認知状況【被害に遭う前から知っていた】

【被害に遭った後に知った】

「情報提供（被害者の手引）」、「情報提供（被害者連絡制度）」、「犯罪被害給付制度」について、平成 20 年度、平成 21 年度ともに 7 割以上を占めている。

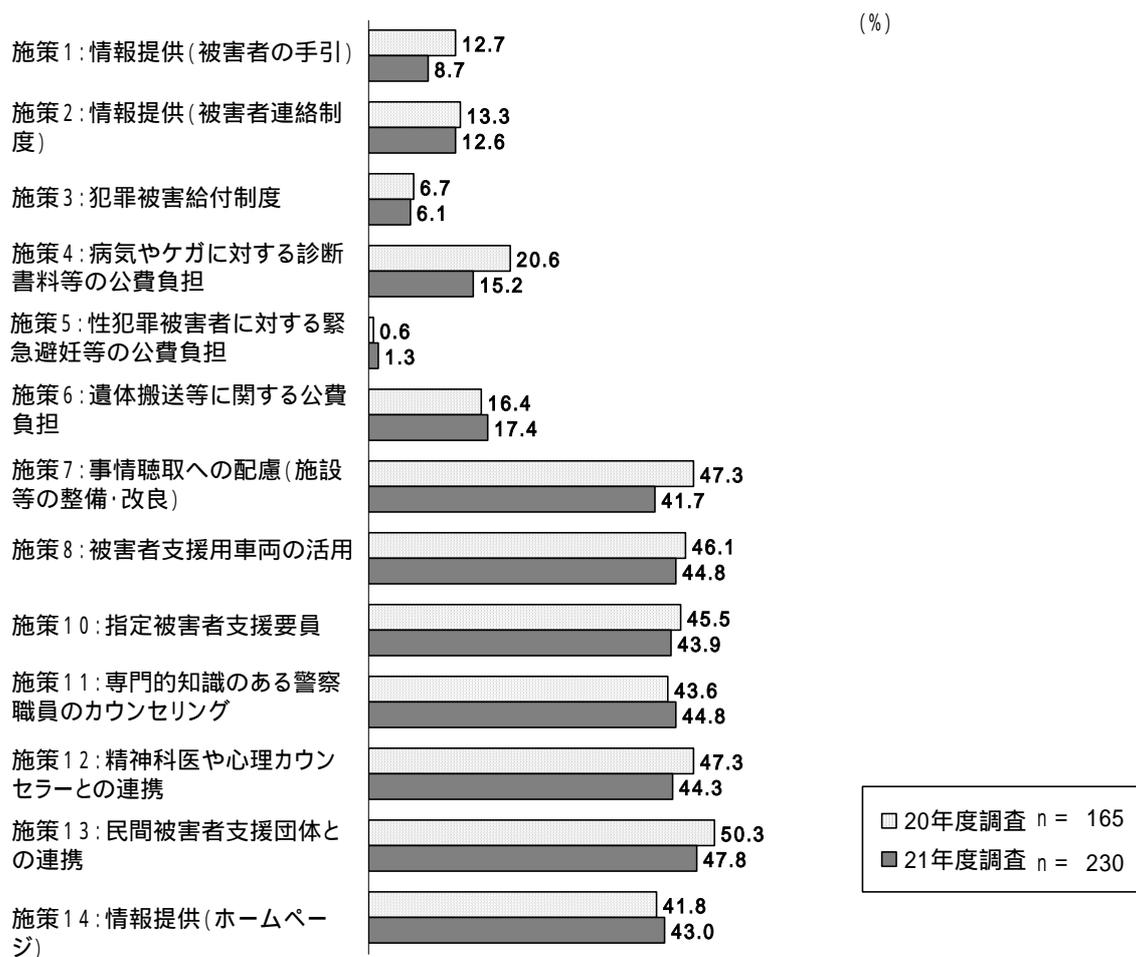


20年度調査 (n=165) については 19年度調査 (n=25) を含む

図3 - 2 2 各施策の年度別認知状況【被害に遭った後に知った】

【現在まで知らなかった】

「事情聴取への配慮（施設等の整備・改良）」、「被害者支援用車両の活用」、「指定被害者支援要員」、「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」、「精神科医や心理カウンセラーとの連携」、「民家被害者支援団体との連携」、「情報提供（ホームページ）」の7施策について「現在まで知らなかった」と回答した人が平成20年度、平成21年度ともに約4割以上を占めている。



20年度調査 (n=165) については19年度調査 (n=25) を含む

図3 - 23 各施策の年度別認知状況【現在まで知らなかった】

(2) 警察の施策への満足度

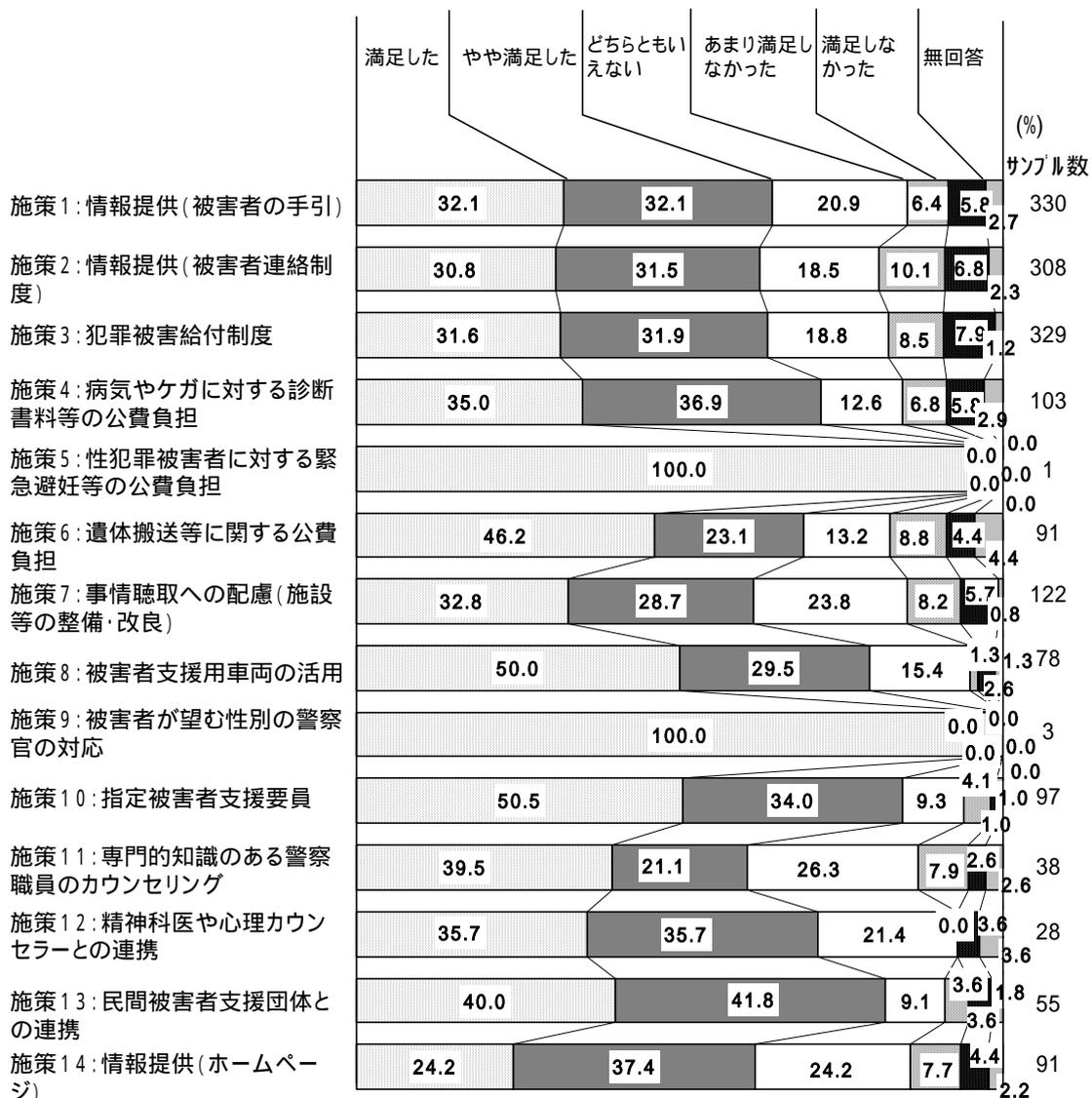
1) 警察の施策への満足度（施策利用者ベース）

警察の施策への満足度【全体】

全体傾向では、「満足した」と「やや満足した」までをあわせると、全ての施策で満足した人の割合が半数を超えている。

特に「満足した」と回答した人の割合が高いのは「指定被害者支援要員」が50.5%、「被害者支援用車両の活用」が50.0%、「遺体搬送等に関する公費負担」が46.2%、「民間被害者団体との連携」が40.0%、「専門的知識のある警察職員のカウンセリング」が35.7%となっている。

【全体】



サンプルは施策を利用した人数

図3 - 24 施策への満足度【全体】

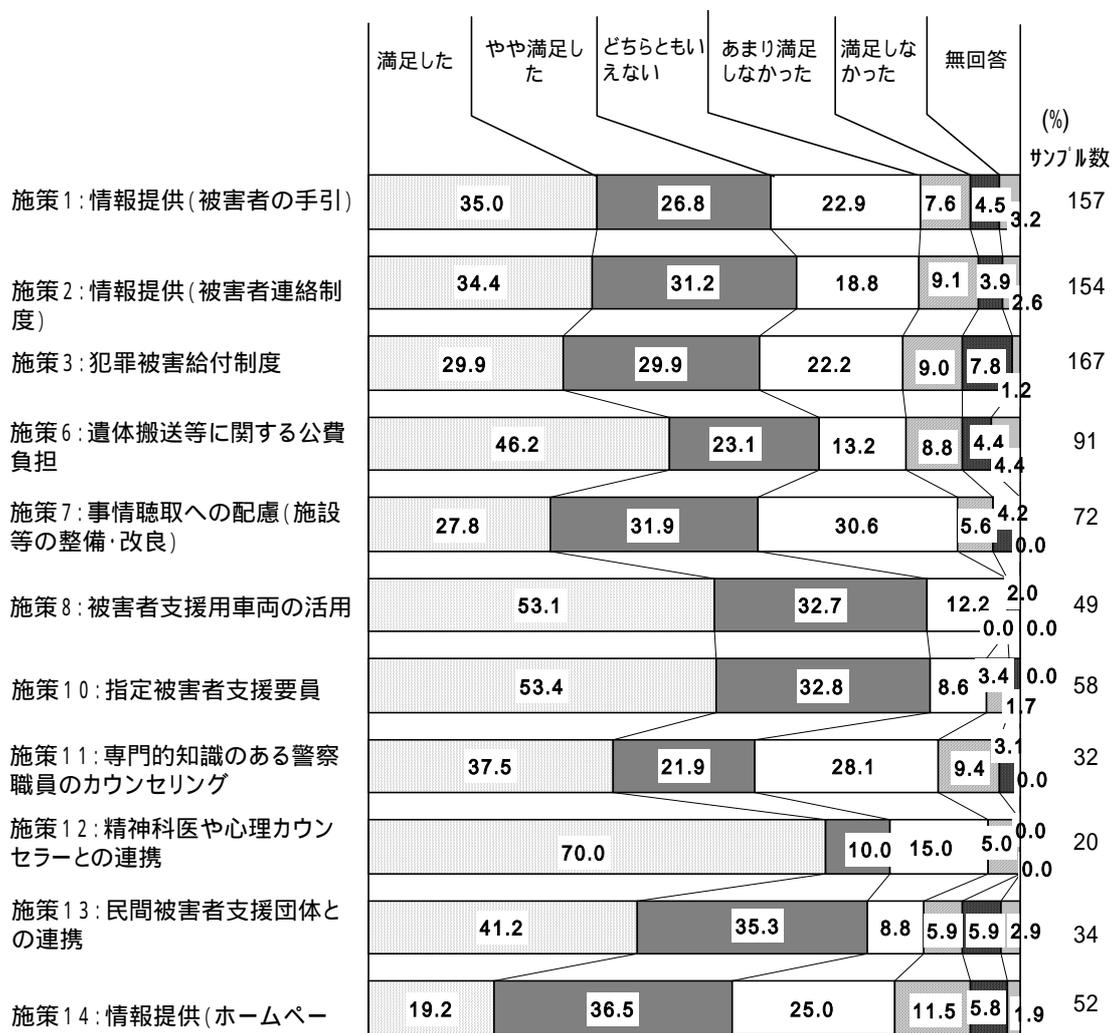
警察の施策への満足度【被害種別】

「満足した」と「やや満足した」をあわせると、被害種別を問わず、全ての施策で満足した人の割合が半数を超えている。

【殺人による被害】

「満足した」と「やや満足した」をあわせると、全ての施策で満足した人の割合が半数を超えている。

特に「満足した」と回答した人の割合が高いのは、「指定被害者支援要員」が53.4%、「被害者支援用車両の活用」が53.1%で半数を超えており、「遺体搬送に関する公費負担」46.2%、「民間被害者支援団体との連携」41.2%についても4割以上を占めている。



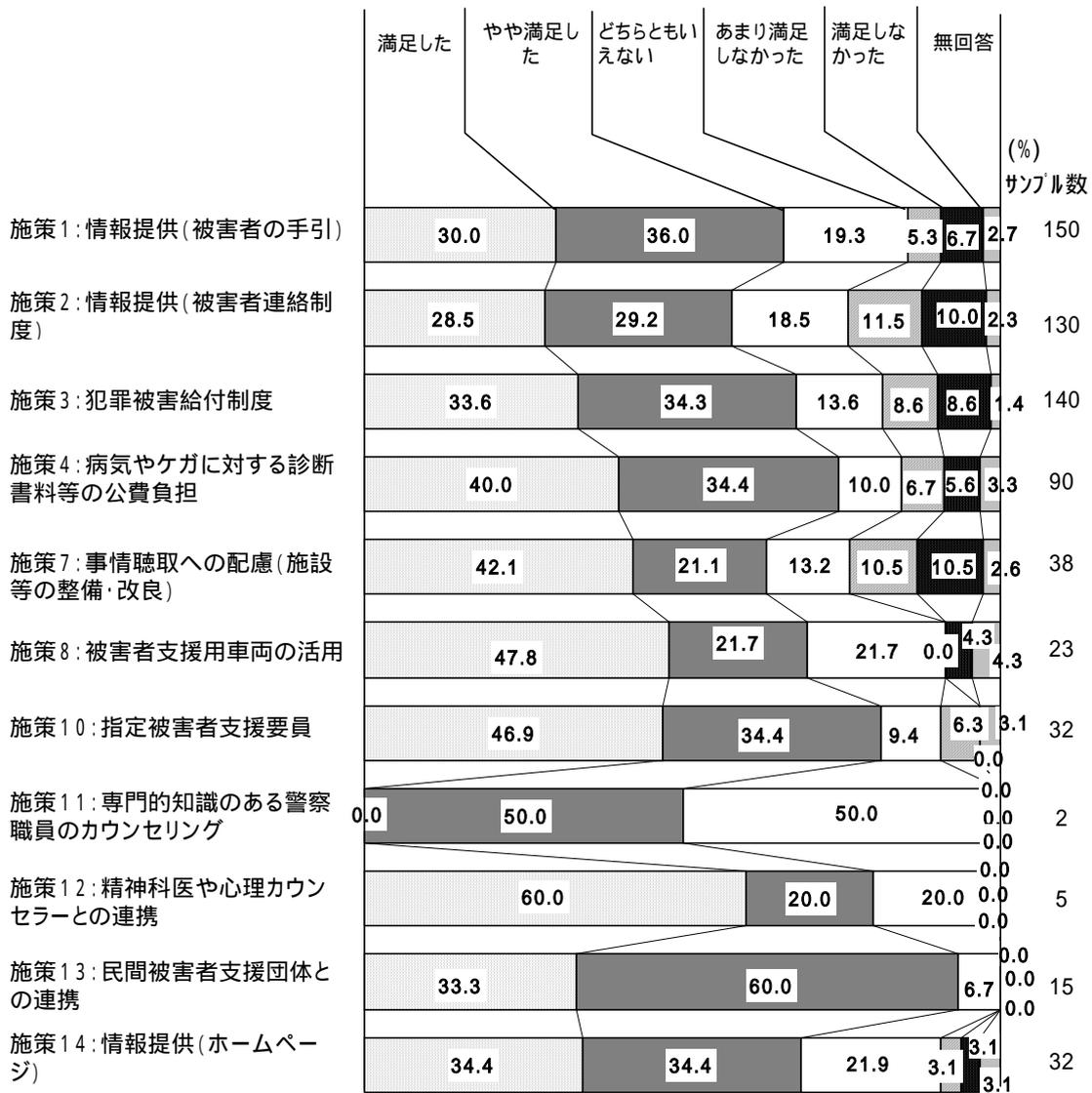
サンプルは施策を利用した人数(殺人)

図3 - 25 施策への満足度【殺人による被害】

【暴力による被害】

「満足した」と「やや満足した」をあわせると、全ての施策で満足した人の割合が半数を超えている。

特に「満足した」と回答した人の割合が高いのは、「被害者支援用車両の活用」が47.8%、「指定被害者支援要員」が46.9%となっている。



サンプルは施策を利用した人数(暴力)

図3 - 26 施策への満足度【暴力による被害】

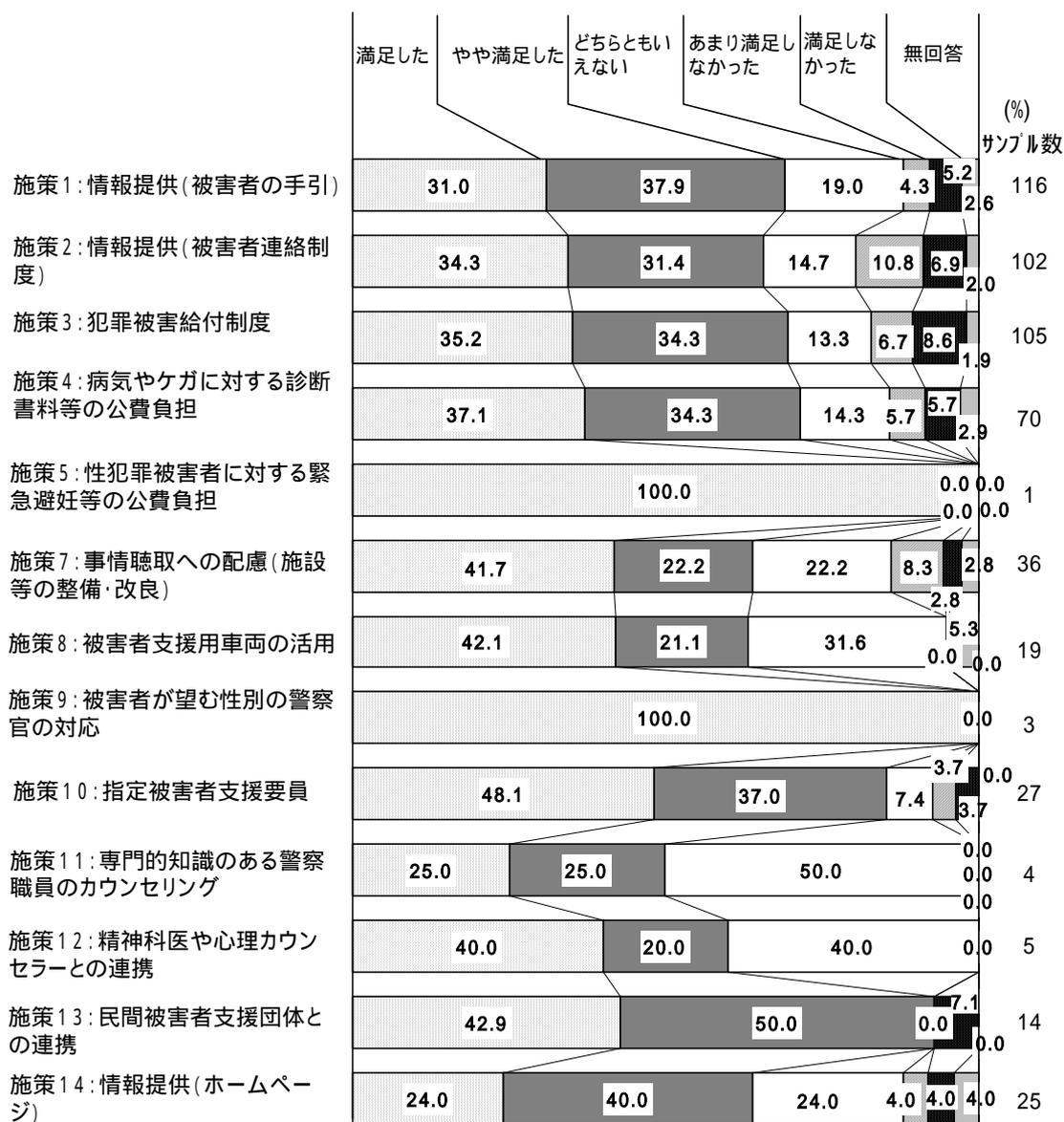
警察の施策への満足度【被害者との関係別】

「満足した」と「やや満足した」までをあわせると、被害者との関係を問わず、全ての施策で満足した人は半数を超えている。

【被害者本人】

「満足した」と「やや満足した」までをあわせると、全ての施策で満足した人は半数を超えている。

特に「満足した」と回答した人の割合が高いのは「指定被害者支援要員」で48.1%となっている。



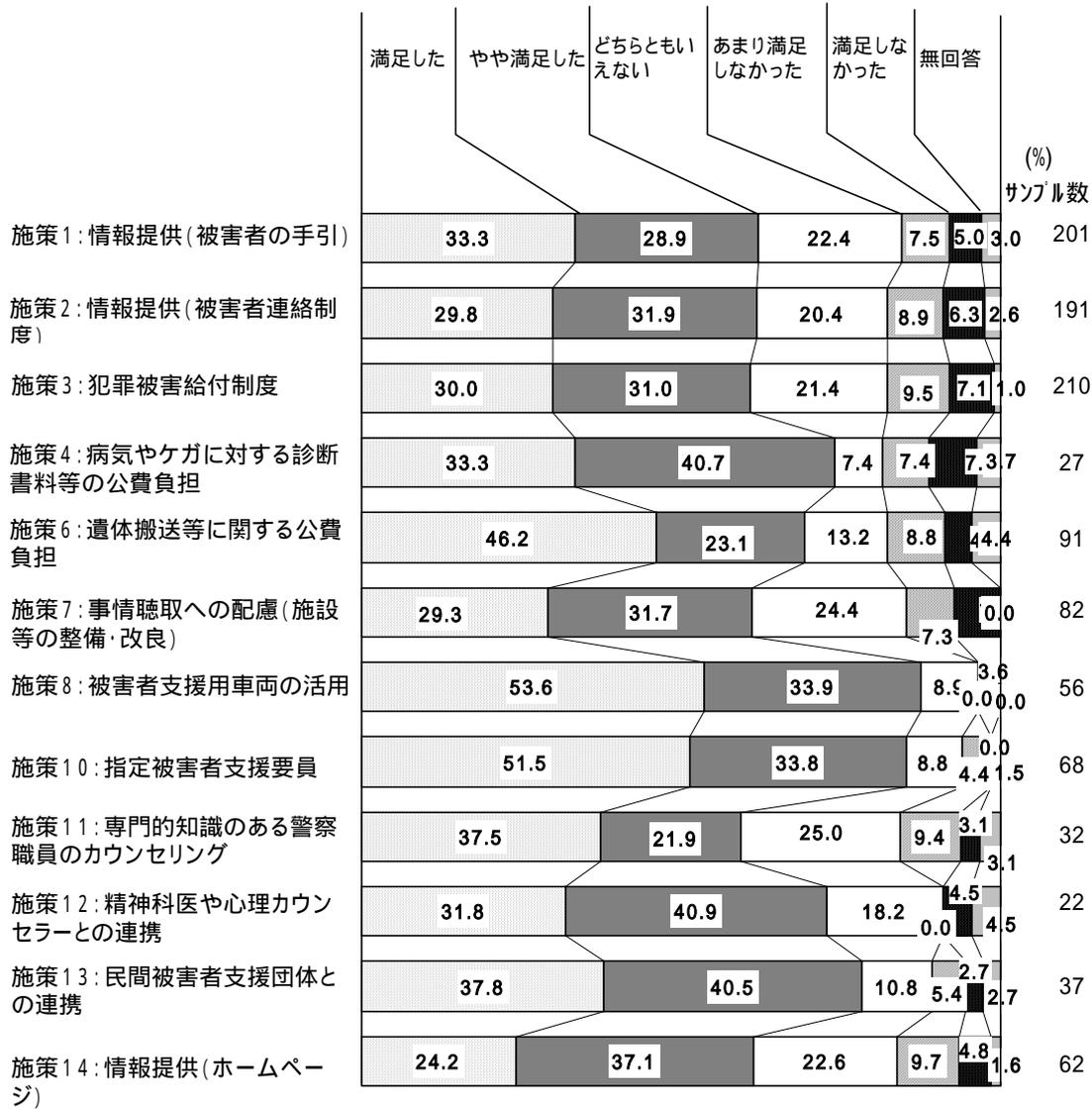
サンプルは施策を利用した人数(本人)

図3 - 27 施策への満足度【被害者本人】

【被害者の家族・遺族】

「満足した」と「やや満足した」までをあわせると、全ての施策で満足した人の割合が半数を超えている。

特に「満足した」と回答した人の割合が高いのは「被害者支援用車両の活用」が53.6%、「指定被害者支援要員」が51.5%となっている。



サンプルは施策を利用した人数(被害者の家族・遺族)

図3 - 28 施策への満足度【被害者の家族・遺族】

2) 被害直後から現在までの心境の変化

被害直後から現在までの心境の変化【全体】

被害直後から現在までの心境の変化について全体でみると、心境が改善している項目（「加害者への恐怖心が減った」、「安心感を抱いた」、「気が楽になった」、「混乱や恐怖がやわらいだ」、「自分を理解してくれていると感じた」、「自分に自信が持てるようになった」）が「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人があわせて1割から2割にとどまっている。

「警察への信頼感が高まった」（56.2%）、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」（48.8%）、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」（44.1%）、については約半数が「そう思う」または「ややそう思う」と回答している。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」（20.3%）など心境が改善していない項目についても「そう思う」と回答した人が一定の割合を占めている。

【全体】

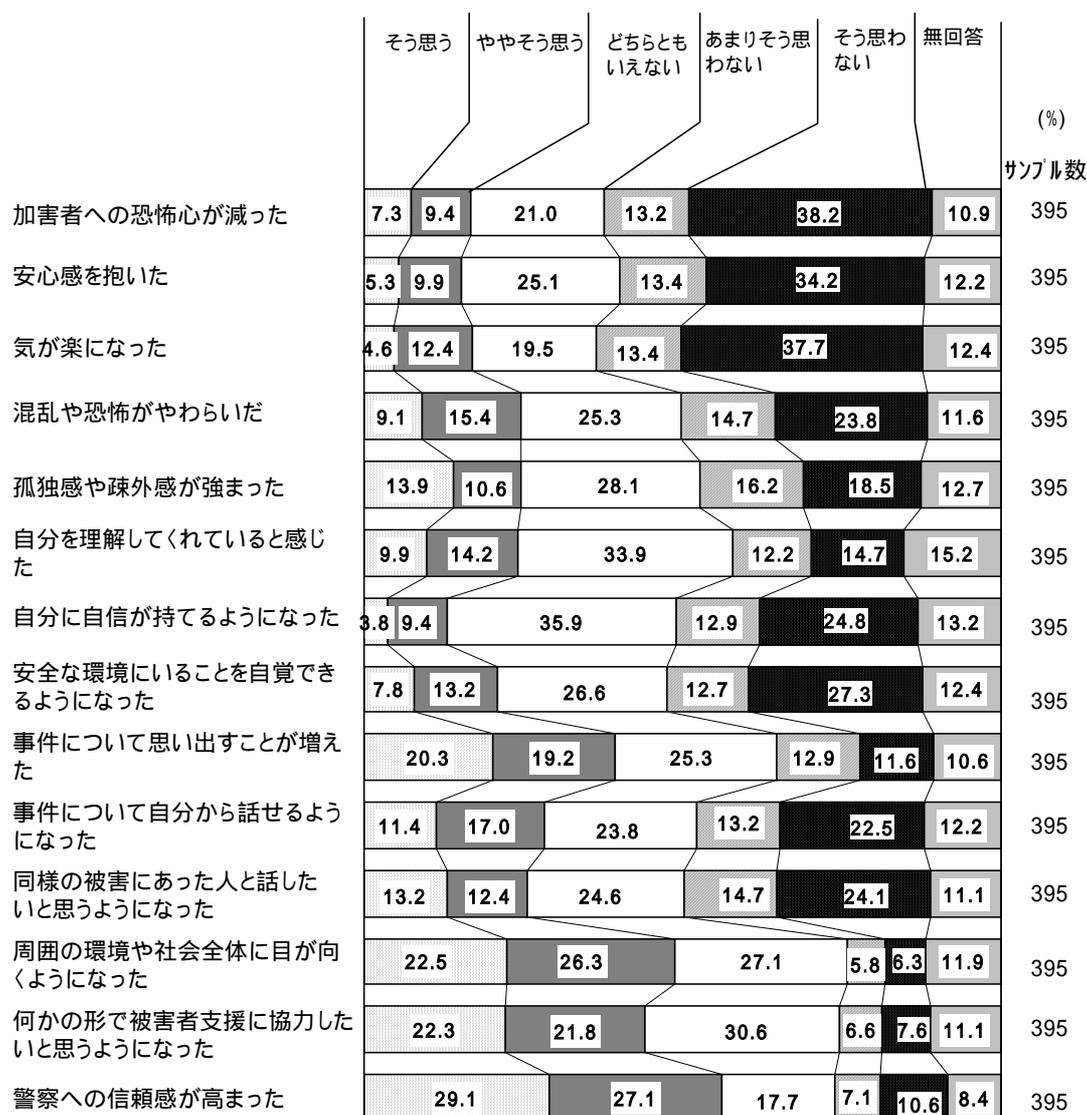


図3 - 29 被害直後から現在までの心境の変化【全体】

被害直後から現在までの心境変化【被害種別】

心境が改善したとする項目については、殺人による被害と暴力による被害では概ね同じ傾向が見られ、1割から2割が「そう思う」または「ややそう思う」と回答している。

心境が改善していない「孤独感や疎外感が強まった」、「事件について思い出すことが増えた」については、「暴力による被害」より「殺人による被害」の方が「そう思う」と回答した人の割合が高くなっている。

【殺人による被害】

被害直後から現在までの心境の変化については、「警察への信頼感が高まった」が31.9%、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が22.9%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が21.8%、と心境が改善している項目について「そう思う」と回答した人の割合が高い。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」が26.1%、「孤独感や疎外感が強まった」が16.5%、など心境が改善していない項目についても「そう思う」と回答した人が一定の割合を占めている。

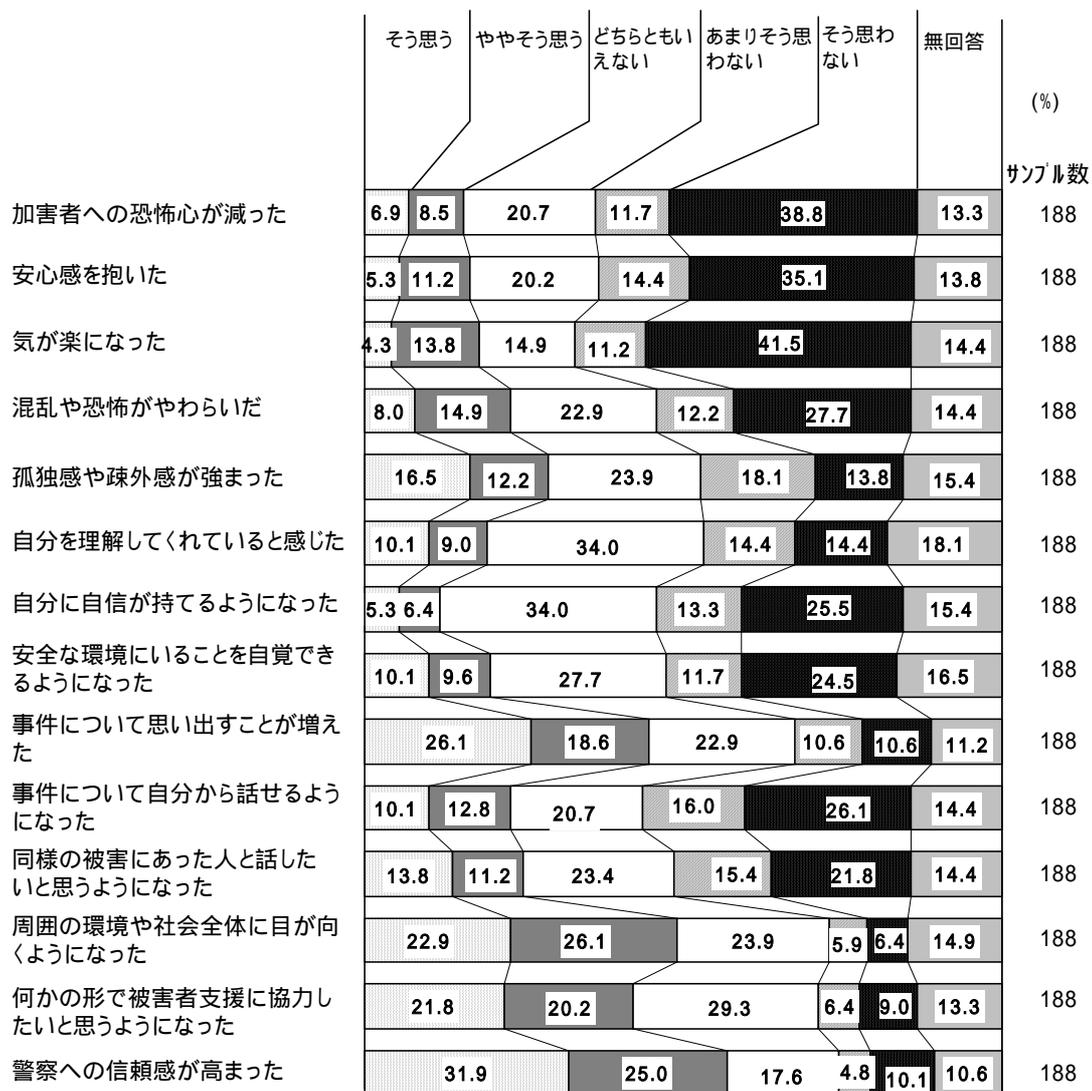
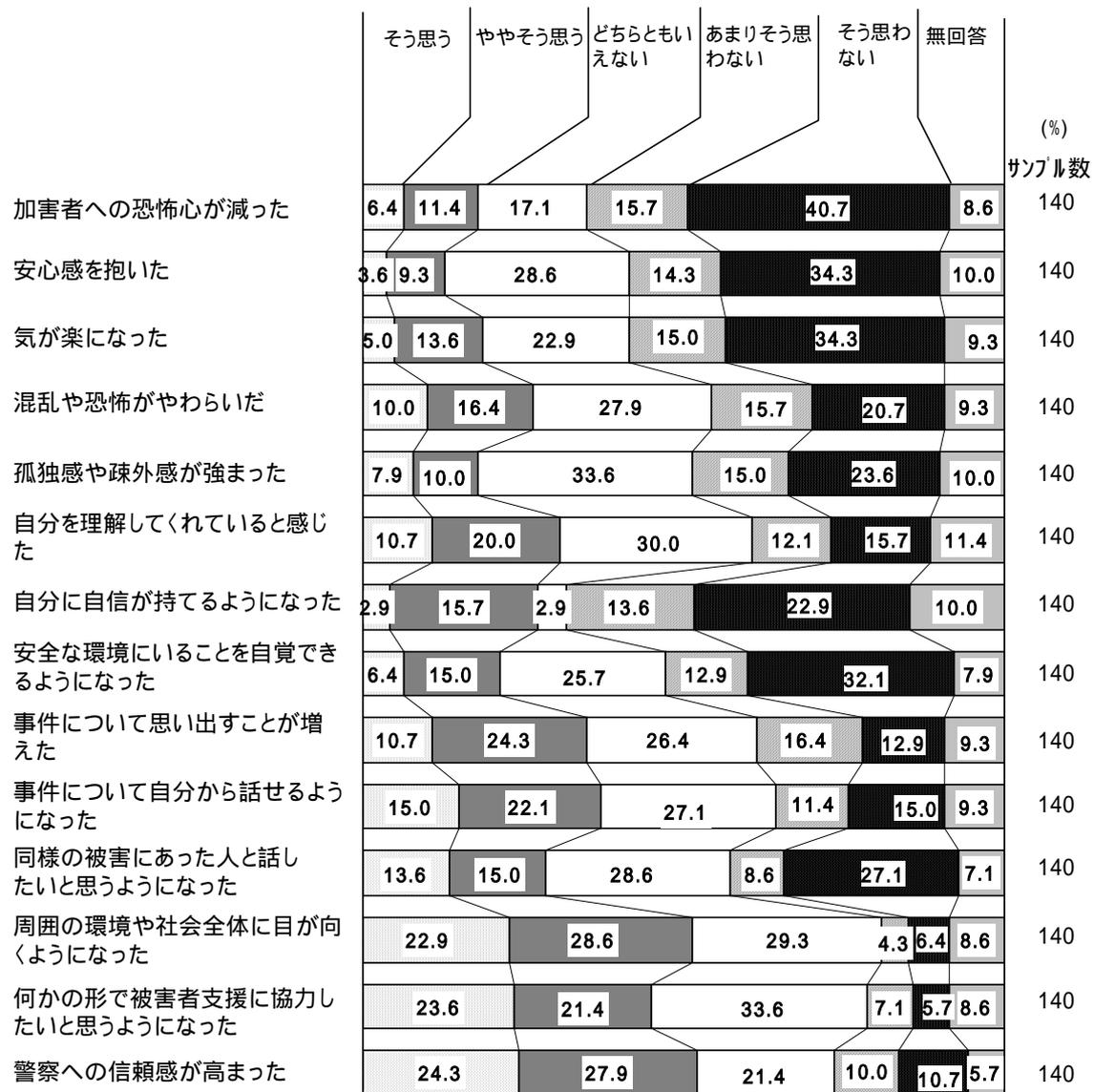


図3 - 30 被害直後から現在までの心境の変化【殺人による被害】 殺人による被害 n=188

【暴力による被害】

被害直後から現在までの心境の変化については、「警察への信頼感が高まった」が23.7%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が22.6%、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が20.9%、と心境が改善している項目について「そう思う」と回答した人の割合が高い。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」が13.6%、「孤独感や疎外感が強まった」が11.9%、など心境が改善していない項目についても「そう思う」と回答した人が一定の割合を占めている。



暴力による被害 n=177

図3 - 31 被害直後から現在までの心境の変化【暴力による被害】

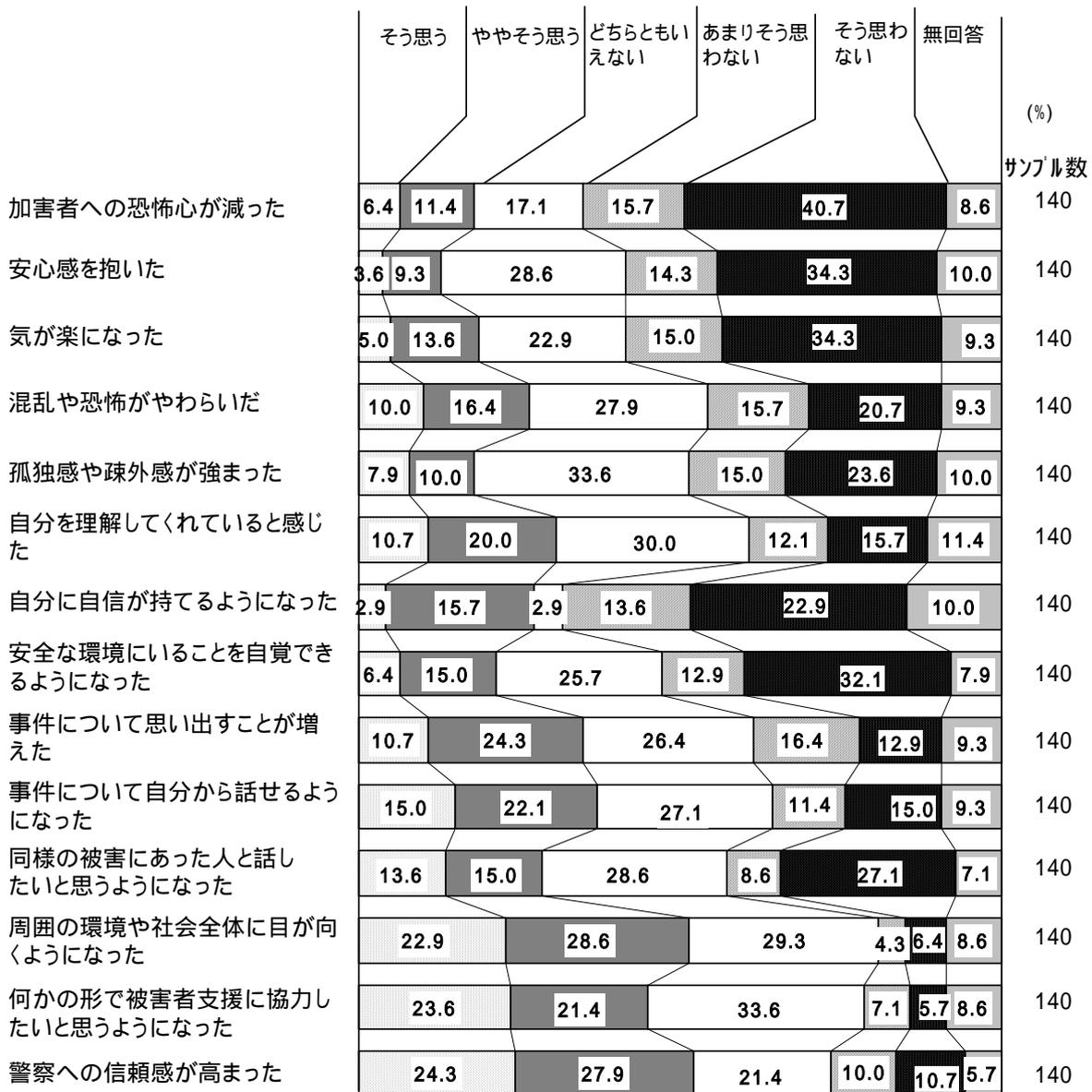
被害直後から現在までの心境の変化【被害者との関係別】

心境が改善していない「孤独感や疎外感が強まった」、「事件について思い出すことが増えた」については、被害者本人より被害者の家族・遺族の方が「そう思う」と回答した人の割合が高くなっている。

【被害者本人】

被害直後から現在までの心境の変化については、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は、「警察への信頼感が高まった」が 52.2%、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が 51.5%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が 45.0%、となっている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」と心境が改善していない項目についても 10.7%の人が「そう思う」と回答している。



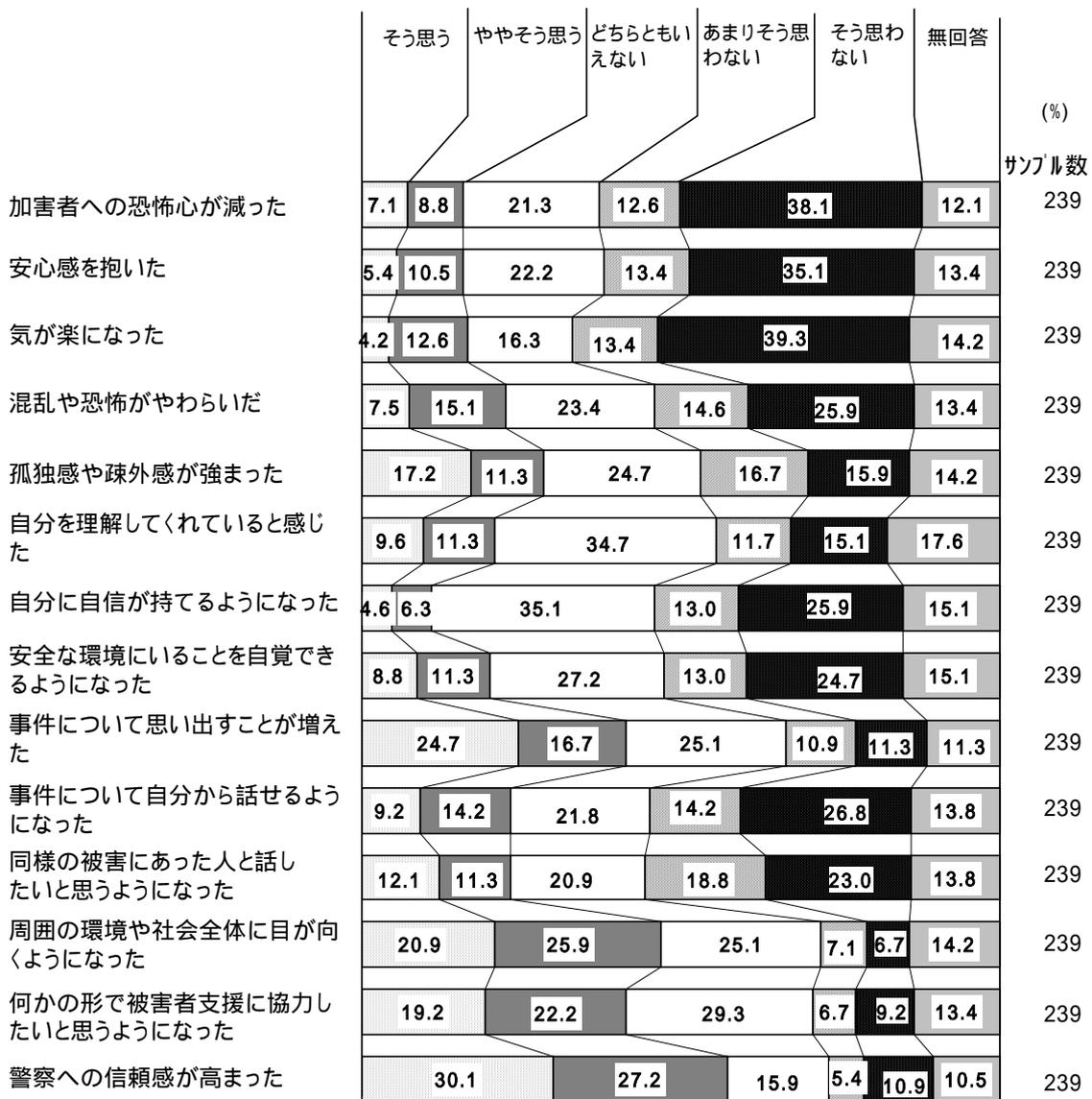
サンプル数は被害者本人の人数

図3 - 3 2 被害直後から現在までの心境の変化【被害者本人】

【被害者の家族・遺族】

被害直後から現在までの心境の変化については、「警察への信頼感が高まった」が 57.3%、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が 33.0%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が 46.8%、と心境が改善している項目について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人の割合が高い。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」についても 41.4%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答している。



サンプルは被害者の家族・遺族の人数

図3 - 33 被害直後から現在までの心境の変化【被害者の家族・遺族】

被害直後から現在までの心境の変化【被害から経過した時間別】

1)心境が改善している項目

「1.加害者への恐怖心が減った」、「2.安心感を抱いた」、「3.気が楽になった」、「4.混乱や恐怖がやわらいだ」、「7.自分に自信が持てるようになった」については、時間経過と共に、「思う」（「そう思う」と「ややそう思う」を合計）と回答する割合が高くなる傾向にある。

2)心境が改善していない項目

「5.孤独感や疎外感が深まった」、「9.事件について思い出すことが増えた」については、被害から3年以上では「思う」と回答する割合が減少しており、心境が改善されている傾向にあると考えられる。

3)その他の項目

「12.周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」、「13.何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」、「14.警察への信頼感が高まった」については、被害からの経過時間が長いほど「思う」（「そう思う」と「ややそう思う」を合計）と回答する割合が高くなる傾向にある。

【1.加害者への恐怖心が減った】

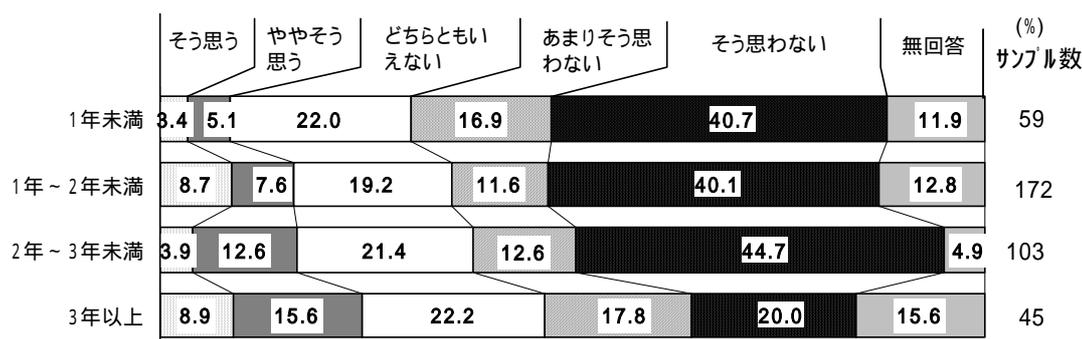


図3-34 被害直後から現在までの心境の変化【加害者への恐怖心が減った】

【2.安心感を抱いた】

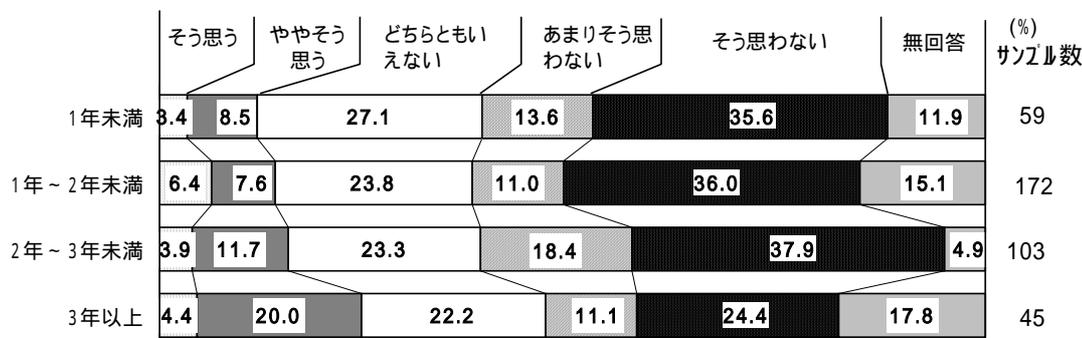


図3-35 被害直後から現在までの心境の変化【安心感を抱いた】

【 3 . 気が楽になった】

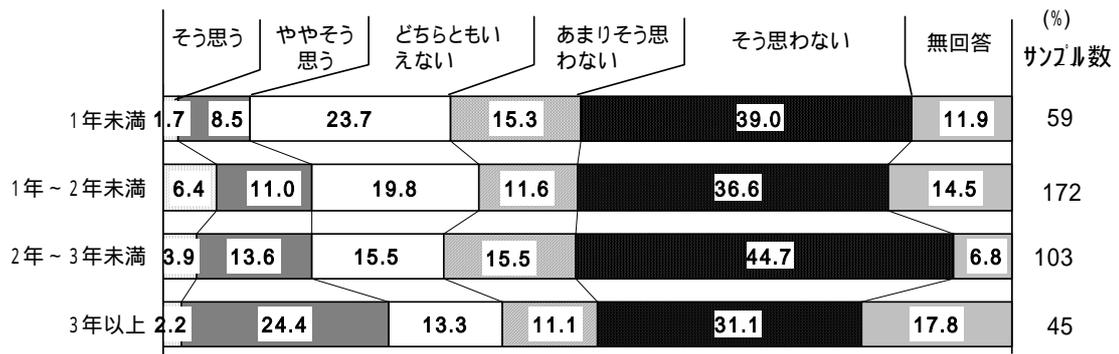


図 3 - 3 6 被害直後から現在までの心境の変化【気が楽になった】

【 4 . 混乱や恐怖がやわらいだ】

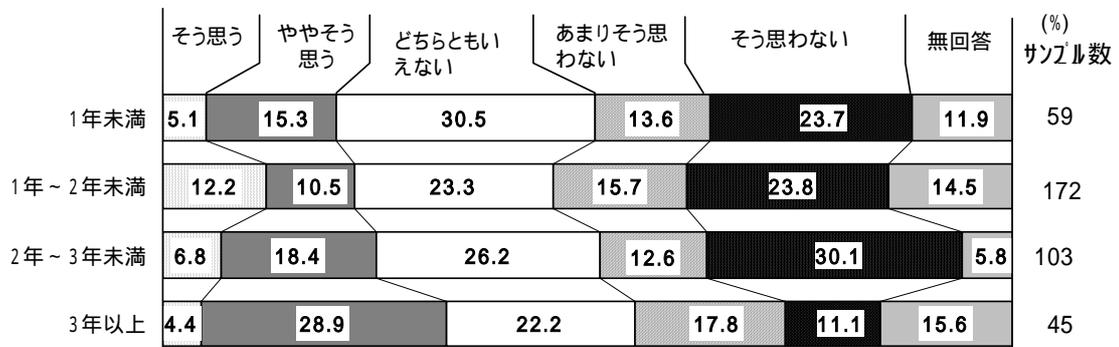


図 3 - 3 7 被害直後から現在までの心境の変化【混乱や恐怖がやわらいだ】

【 5 . 孤独感や疎外感が強まった】

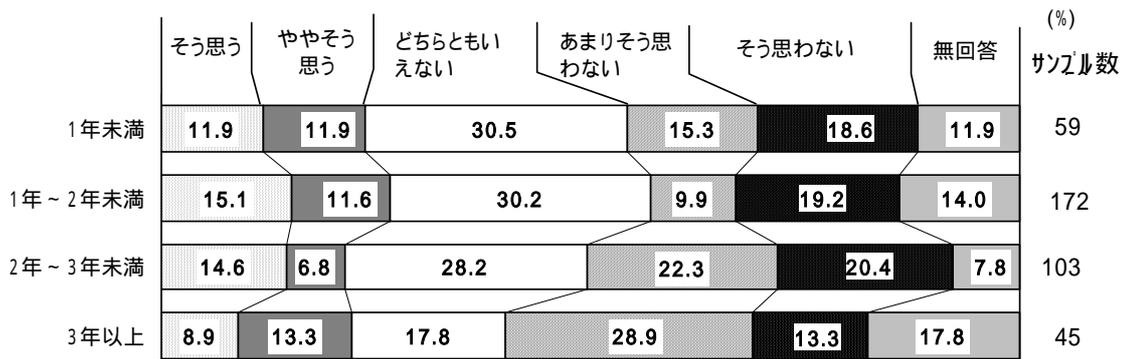


図 3 - 3 8 被害直後から現在までの心境の変化【孤独感や疎外感が強まった】

【 6 . 自分を理解してくれていると感じた】

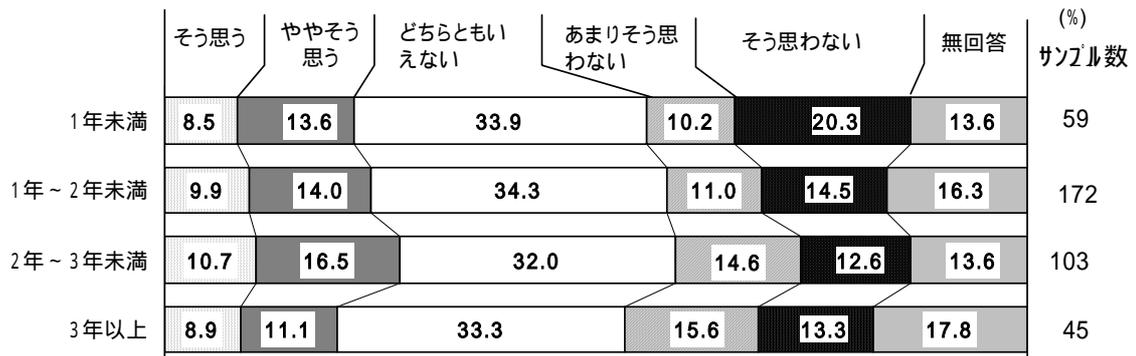


図 3 - 3 9 被害直後から現在までの心境の変化【自分を理解してくれていると感じた】

【 7 . 自分に自信が持てるようになった】

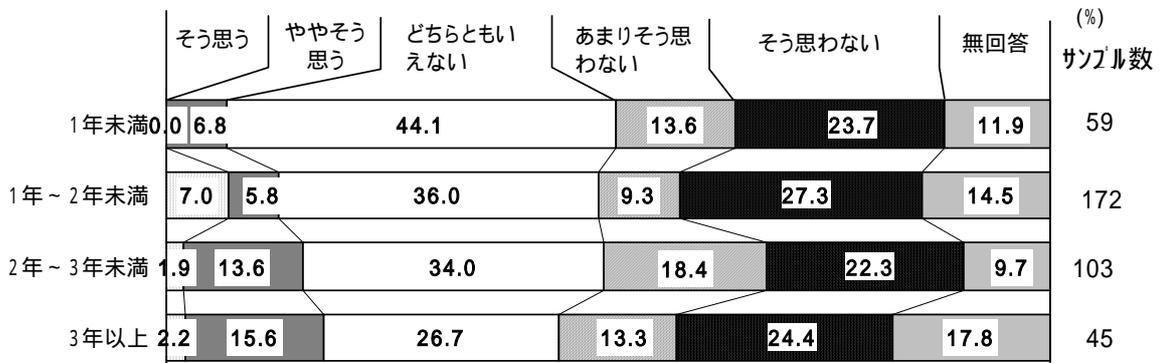


図 3 - 4 0 被害直後から現在までの心境の変化【自分に自信が持てるようになった】

【 8 . 安全な環境にいることを自覚できるようになった】

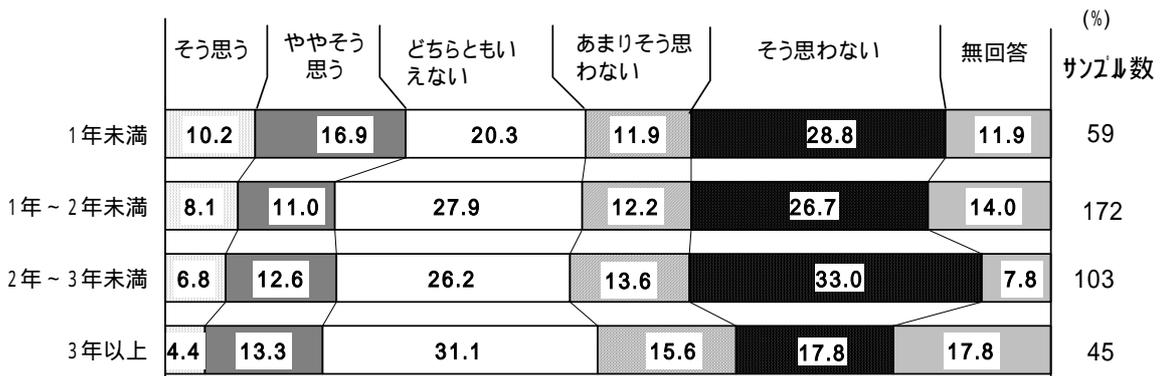


図 3 - 4 1 被害直後から現在までの心境の変化【安全な環境にいることを自覚できるようになった】

【 9 . 事件について思い出すことが増えた】

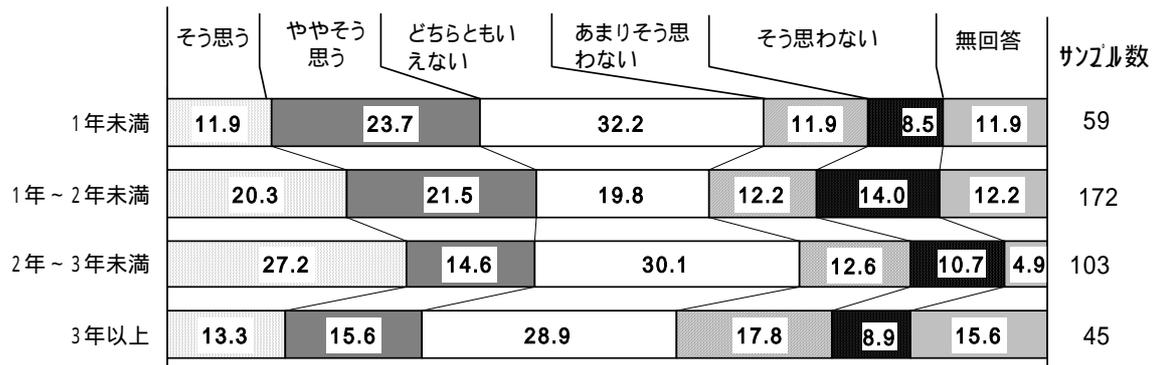


図3 - 4 2 被害直後から現在までの心境の変化【事件について思い出すことが増えた】

【 1 0 . 事件について自分から話せるようになった】

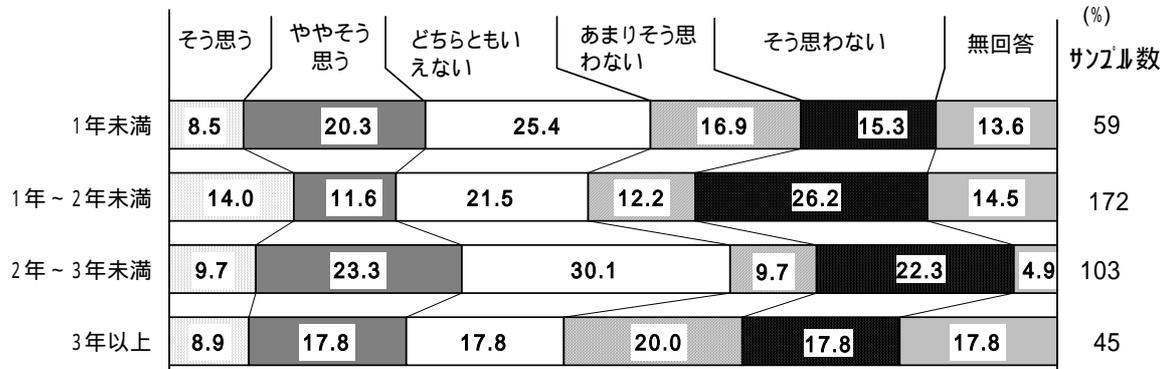


図3 - 4 3 被害直後から現在までの心境の変化【事件について自分から話せるようになった】

【 1 1 . 同様の被害にあった人と話したいと思うようになった】

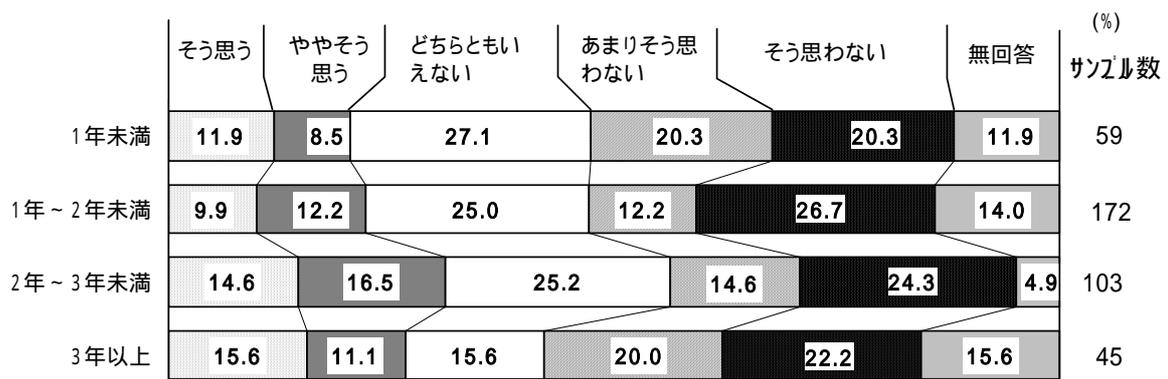


図3 - 4 4 被害直後から現在までの心境の変化【事件について自分から話せるようになった】

【12. 周囲の環境や社会全体に目が向くようになった】

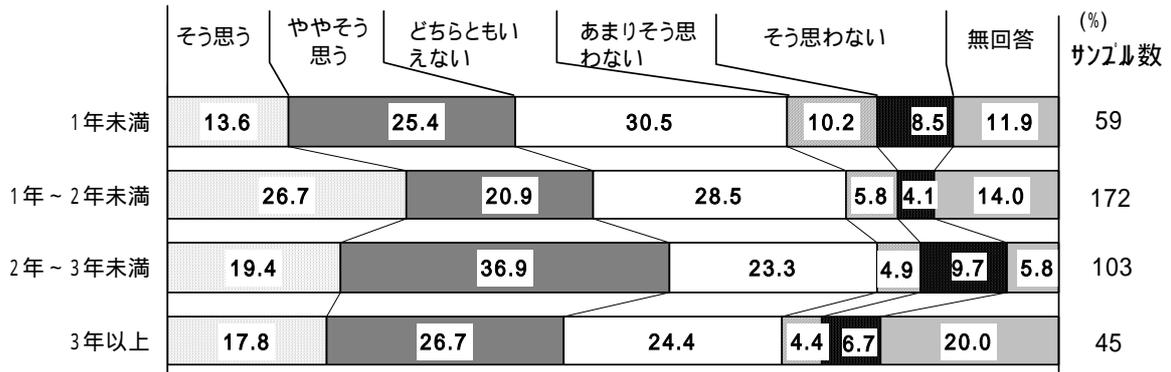


図3-45 被害直後から現在までの心境の変化
【周囲の環境や社会全体に目が向くようになった】

【13. 何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった】

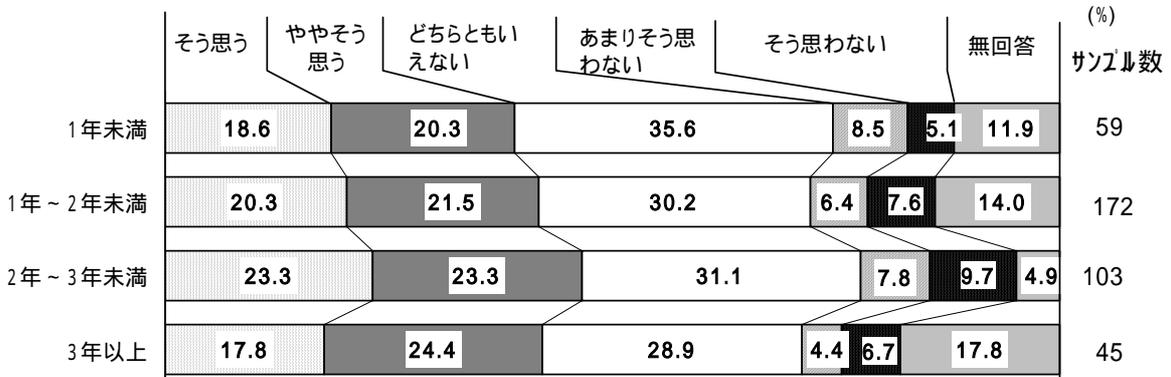


図3-46 被害直後から現在までの心境の変化
【何らかの形で被害者支援に協力したいと思うようになった】

【14. 警察への信頼感が高まった】

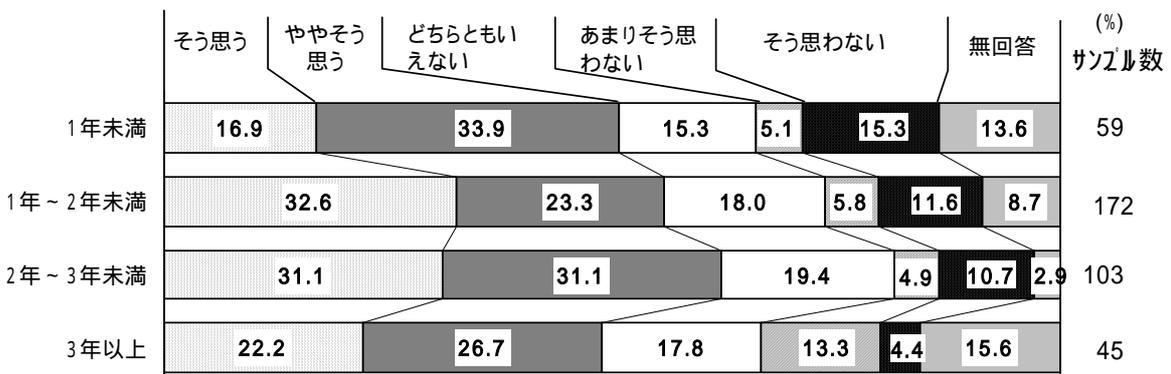


図3-47 被害直後から現在までの心境の変化【警察への信頼感が高まった】

【被害から1年未満】

「警察への信頼感が高まった」については、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて50.8%と半数以上を占めている。また、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が39.0%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が38.9%となっている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」についても35.6%の人が「そう思う」または「ややそう思う」と回答している。

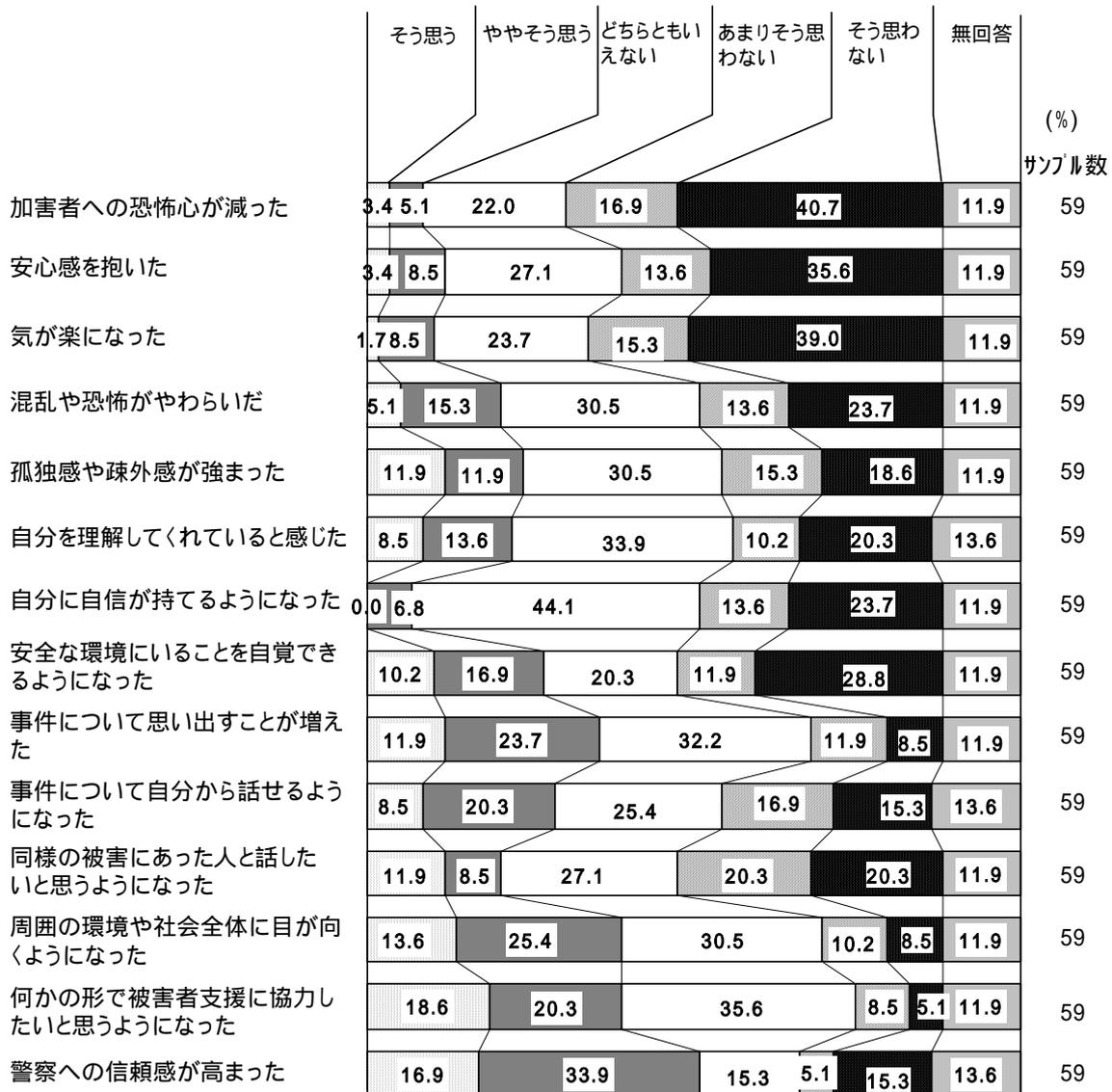


図3 - 48 被害から経過した時間別の心境の変化【被害から1年未満】

【被害から1年以上2年未満】

「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて55.9%と半数以上を占めている。また、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が47.6%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が41.8%となっており、「被害から1年未満」より割合が高くなっている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」についても「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人が41.8%と、「被害から1年未満」より割合が高くなっている。

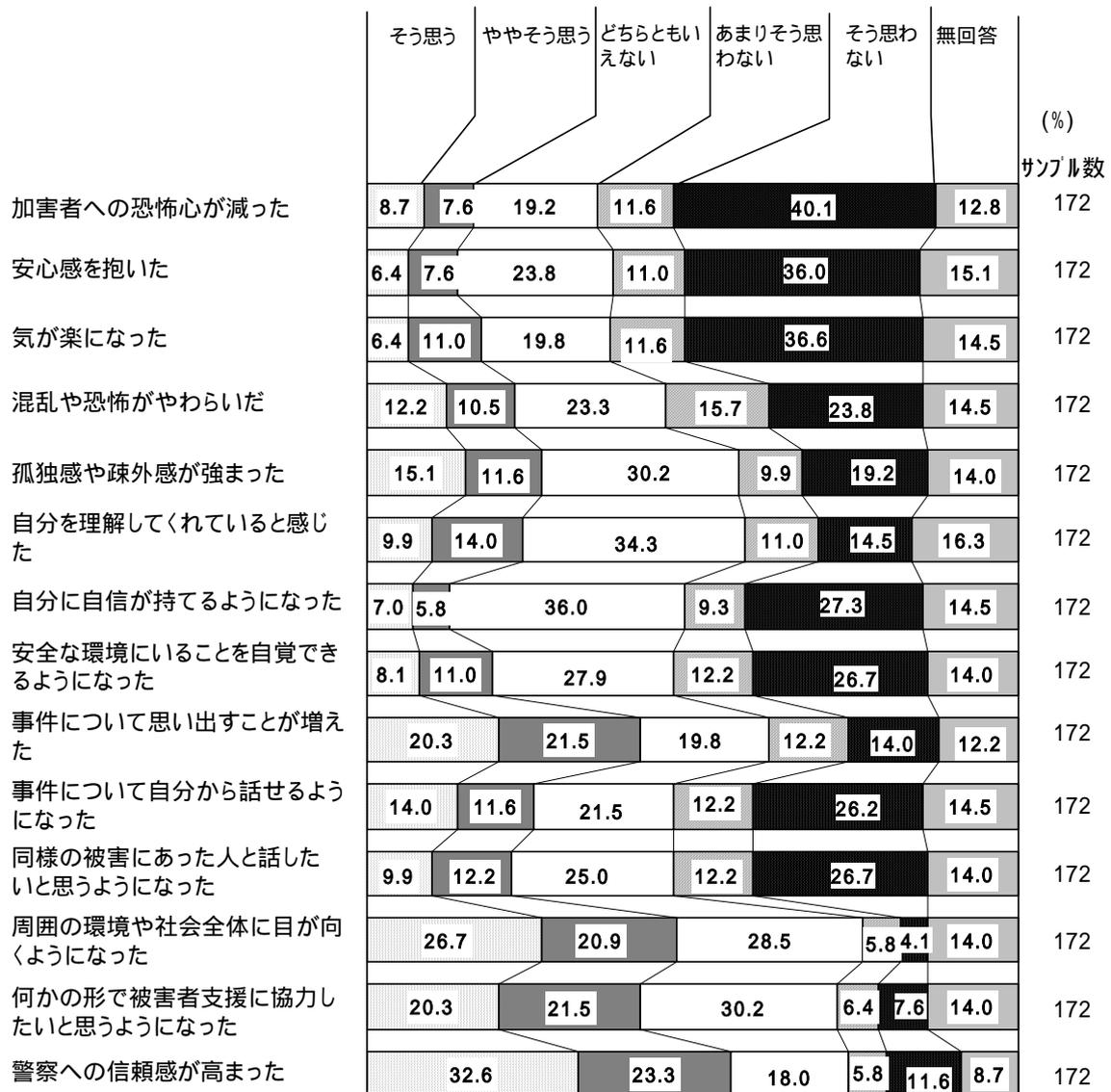


図3 - 49 被害から経過した時間別の心境の変化【被害から1年以上2年未満】

【被害から2年以上3年未満】

「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて62.2%を占め、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」についても56.3%、と半数以上を占めた。また、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が46.6%となっており、いずれも「被害から1年以上2年未満」より割合が高くなっている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」については「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人が41.8%で「被害から1年以上2年未満」とほぼ同じ割合である。

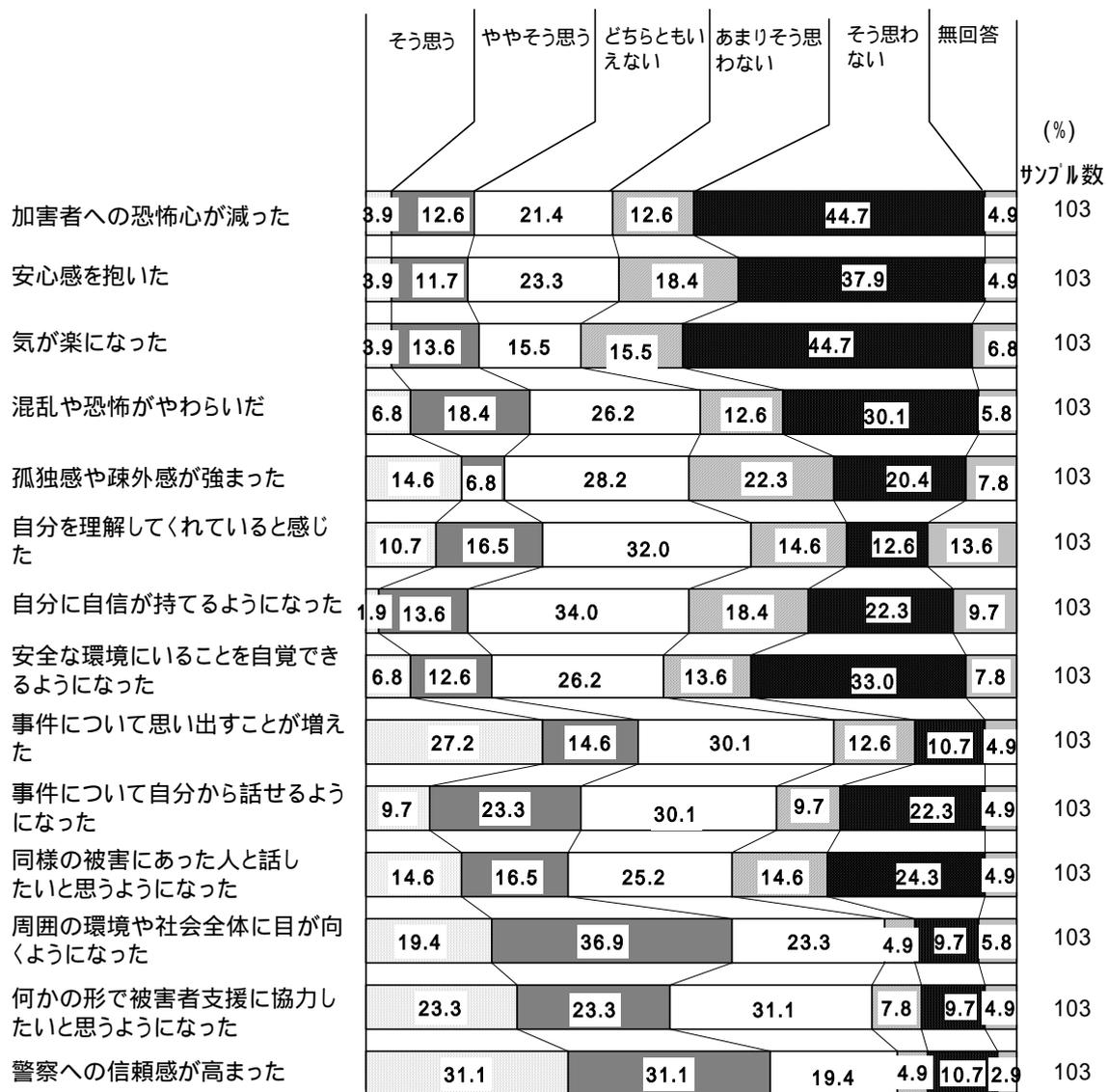


図3 - 50 被害から経過した時間別の心境の変化【被害から2年以上3年未満】

【被害から3年以上】

「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて48.9%、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」についても44.5%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」42.2%となっており、半数以下となっている。また、いずれも「被害から2年以上3年未満」より割合が低くなっている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」については「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人が28.9%と「被害から2年以上3年未満」より割合が低くなっている。

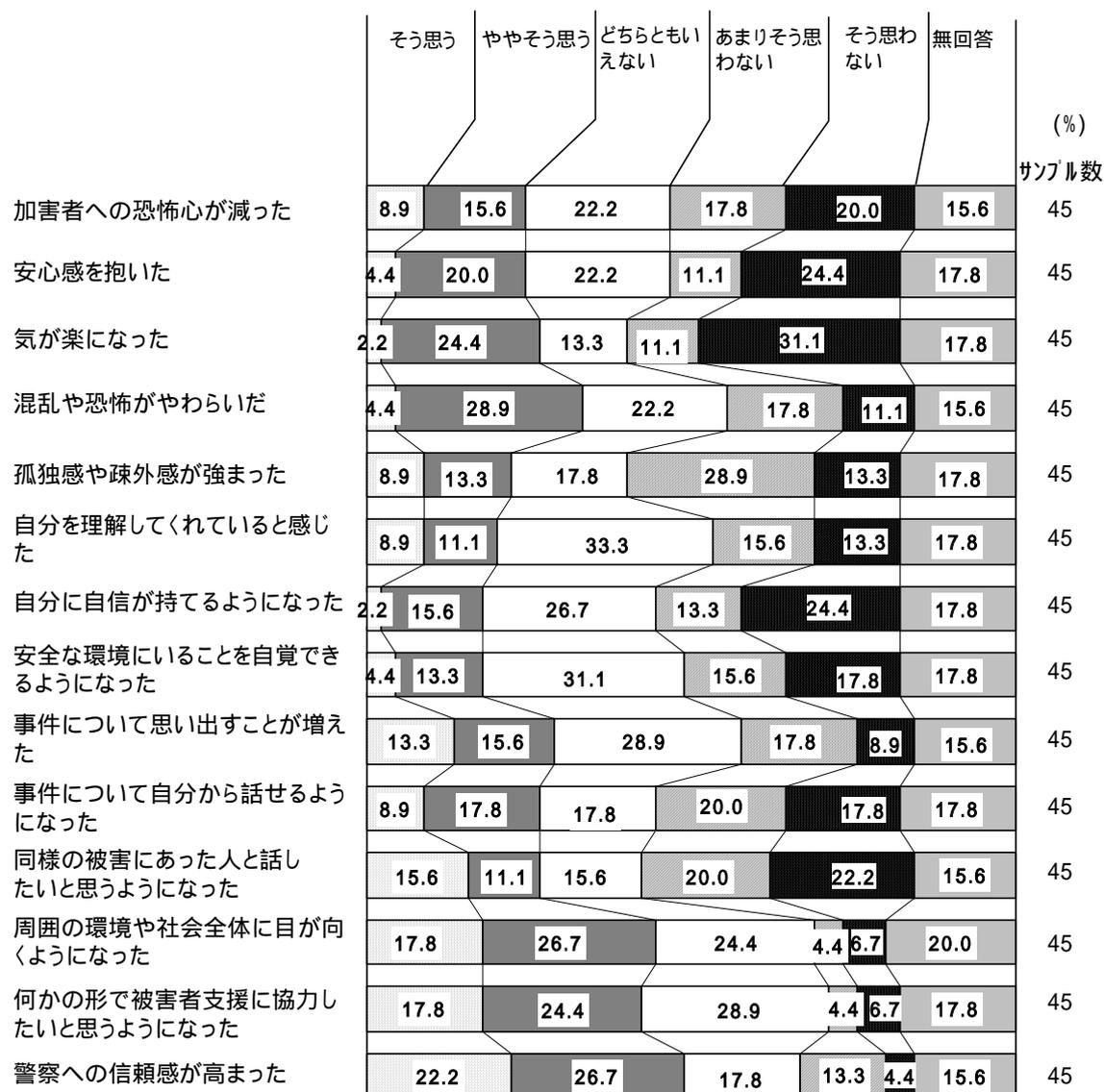


図3 - 5 1 被害から経過した時間別の心境の変化【被害から3年以上】

被害直後から現在までの心境の変化【施策利用数別】

施策利用数別にみると、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」、「警察への信頼感が高まった」では、4 施策以下利用者よりも5 施策以上利用者の方が「思う」（「そう思う」と「ややそう思う」を合計）と回答する割合が高い。

一方で「孤独感や疎外感が強まった」、「事件について思い出すことが増えた」についても4 施策以下よりも5 施策以上の方が「思う」と回答する割合が高い。

【利用施策数 4 施策以下】

「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて 49.5%と約半数を占めている。また、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が 43.9%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が 36.5%と約 4 割を占めている。

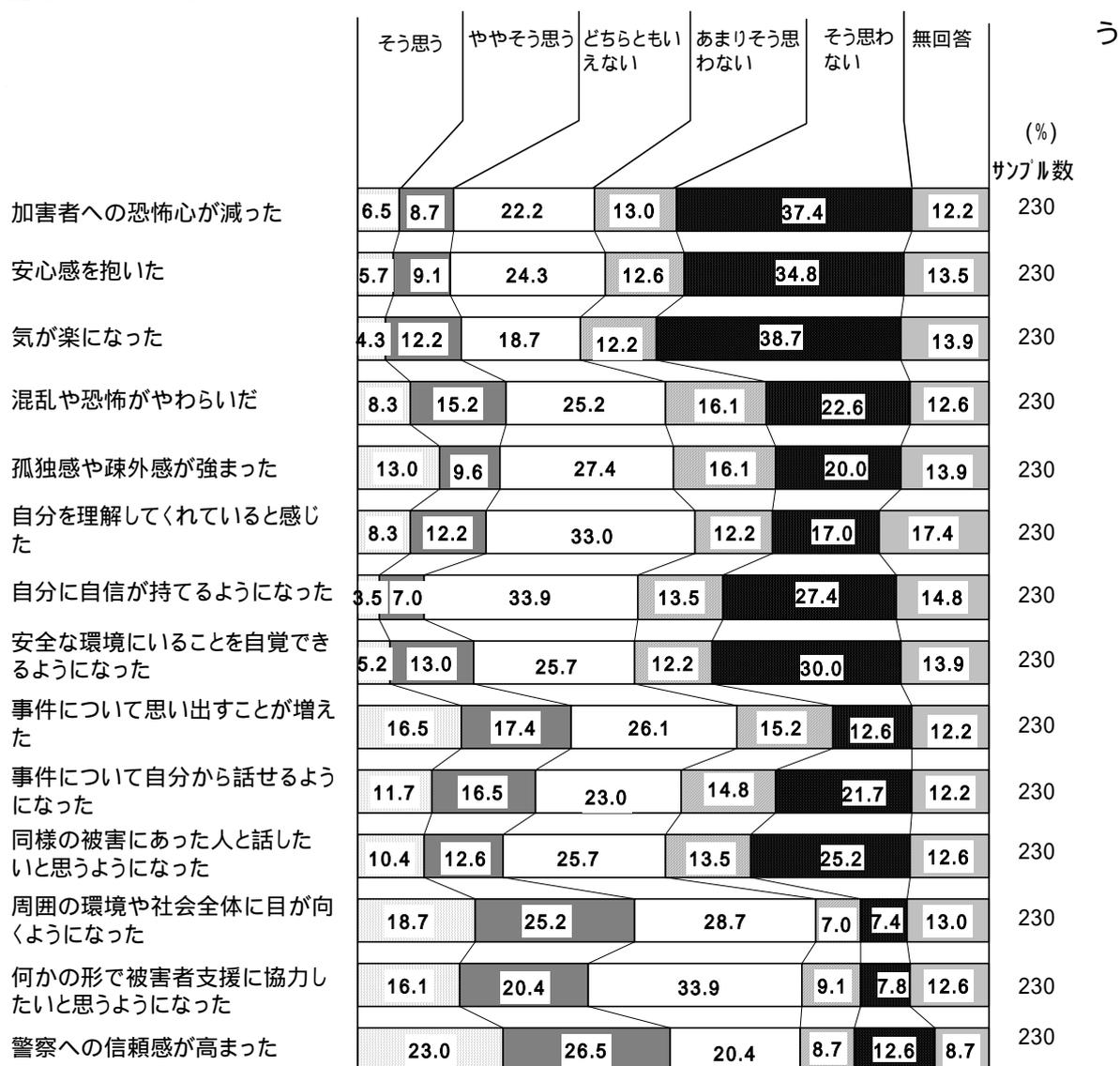


図3 - 5 2 利用施策数別の心境の変化【利用施策数 4 施策以下】

【利用施策数 5 施策以上】

「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて 65.8%と高い割合を占めている。また、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」が 57.2%、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が 54.6%と半数を占めている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」についても「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人が 48.7%となっている。

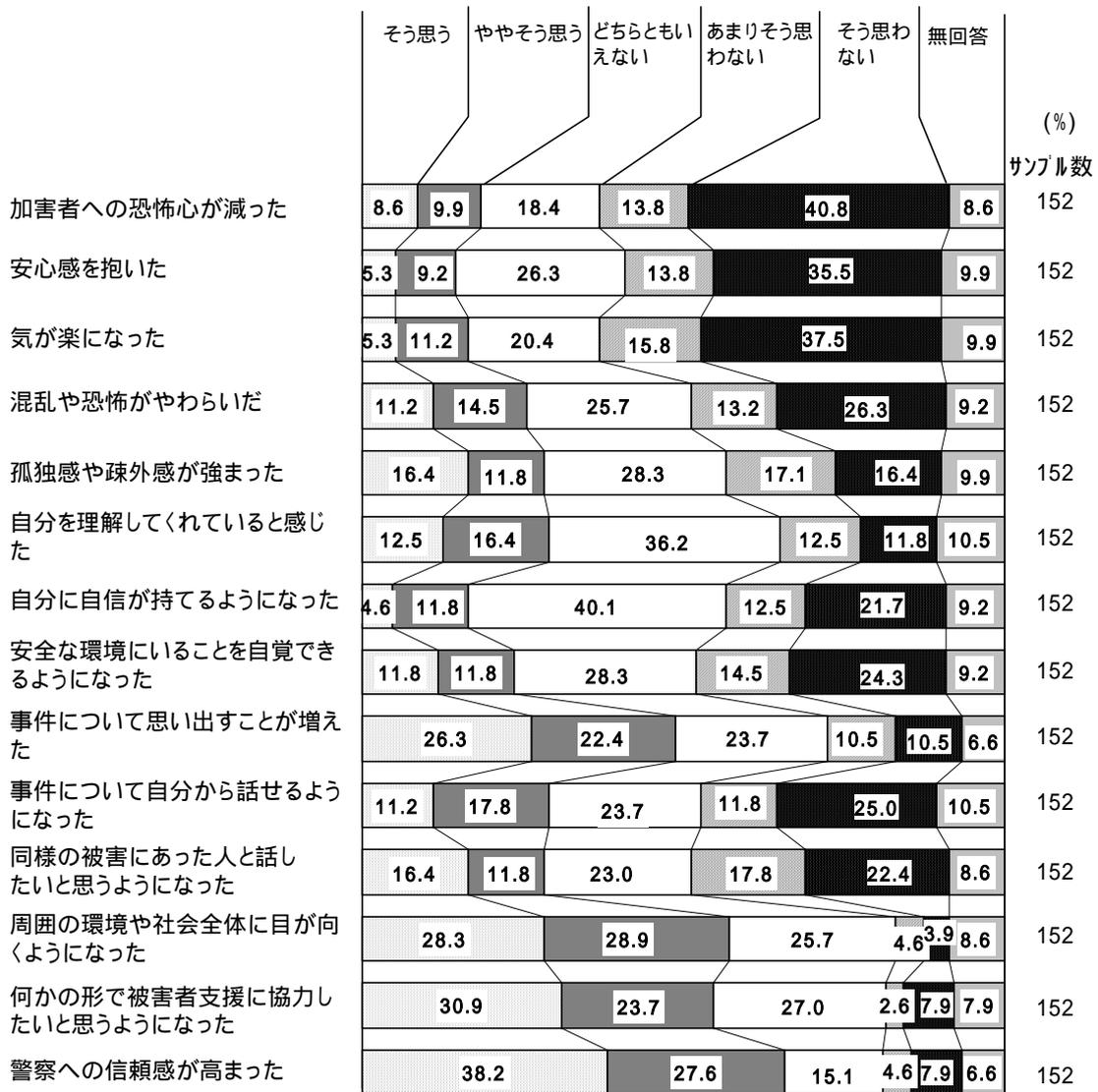


図3 - 5 3 利用施策数別の心境の変化【利用施策数 5 施策以上】

3) 施策満足状況(満足している人/していない人)と心境の変化との関連

施策に対して「満足している」(「満足した」と「やや満足した」を合計)と回答した人の心境の変化として「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」、「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」、「ややそう思う」と回答する人の割合が高くなっている。一方で、「加害者への恐怖心が減った」、「安心感を抱いた」、「気が楽になった」について「そう思わない」と回答している人の割合も高くなっている。

施策に対して「満足していない」(「あまり満足しなかった」と「満足しなかった」を合計)と回答した人の心境の変化を見ると、「そう思わない」と回答した人の割合の高い項目が多く、「安心感を抱いた」で57.7%、「気が楽になった」53.8%と5割を占めている。

(参考) 図3 - 5 3 被害直後から現在までの心境の変化【全体】(再掲)

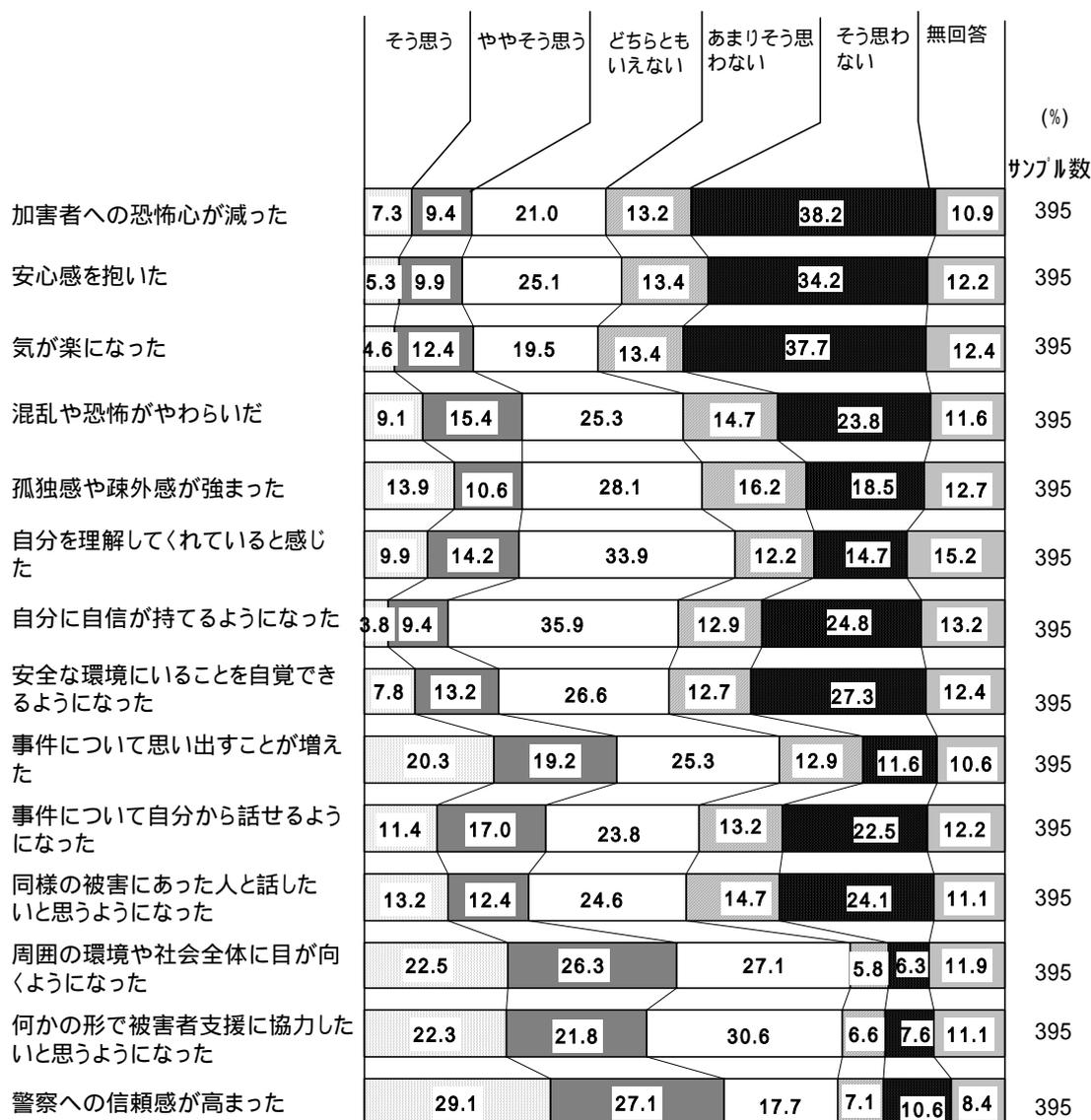
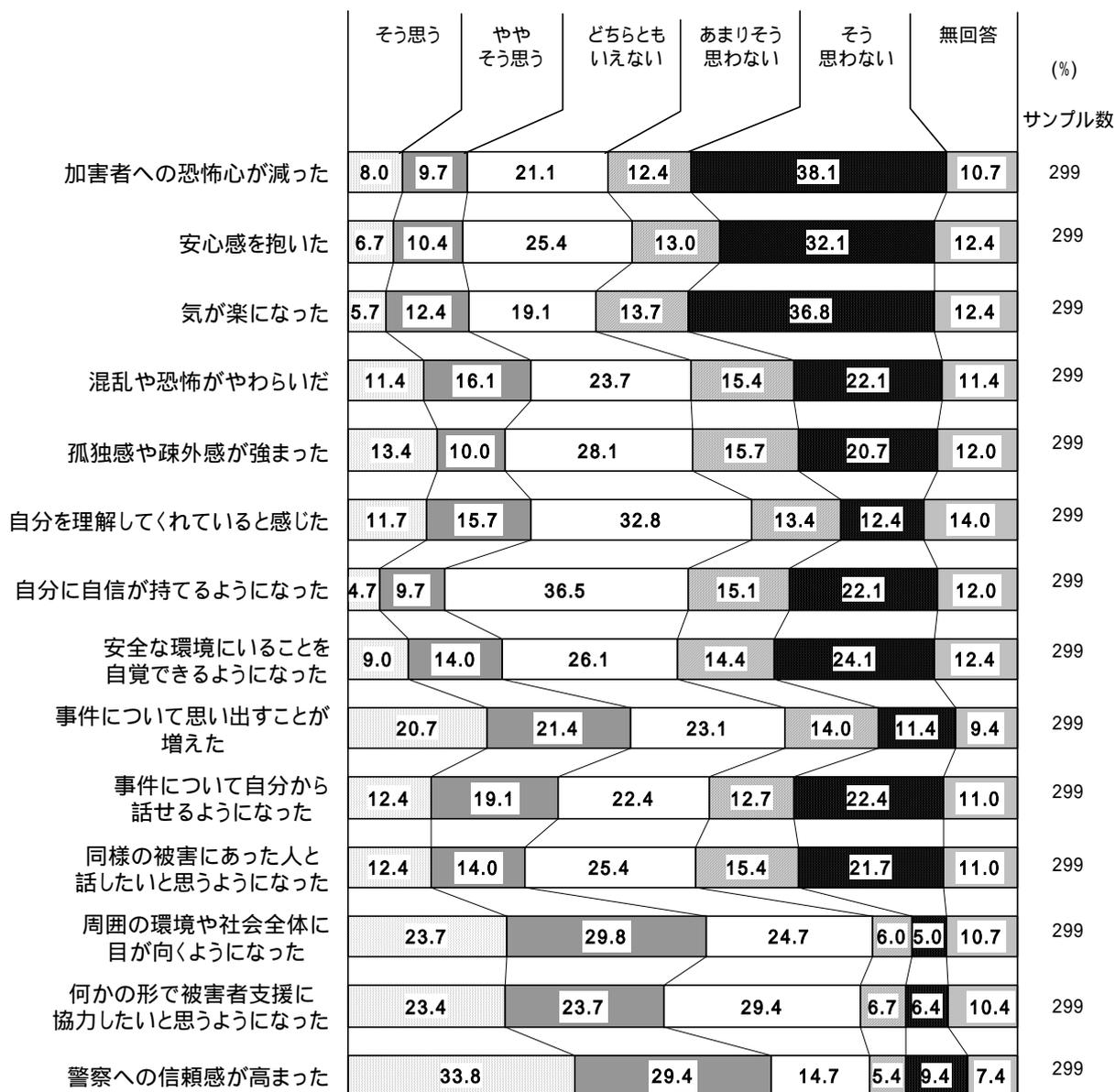


図3 - 5 4 被害直後から現在までの心境の変化【全体】 再掲

【満足している】

「警察への信頼感が高まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は合わせて63.2%を占め、「周囲の環境や社会全体に目が向くようになった」についても53.5%と半数以上を占めている。また、「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」が47.1%となっている。

一方で、「事件について思い出すことが増えた」についても「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人が42.1%となっている。



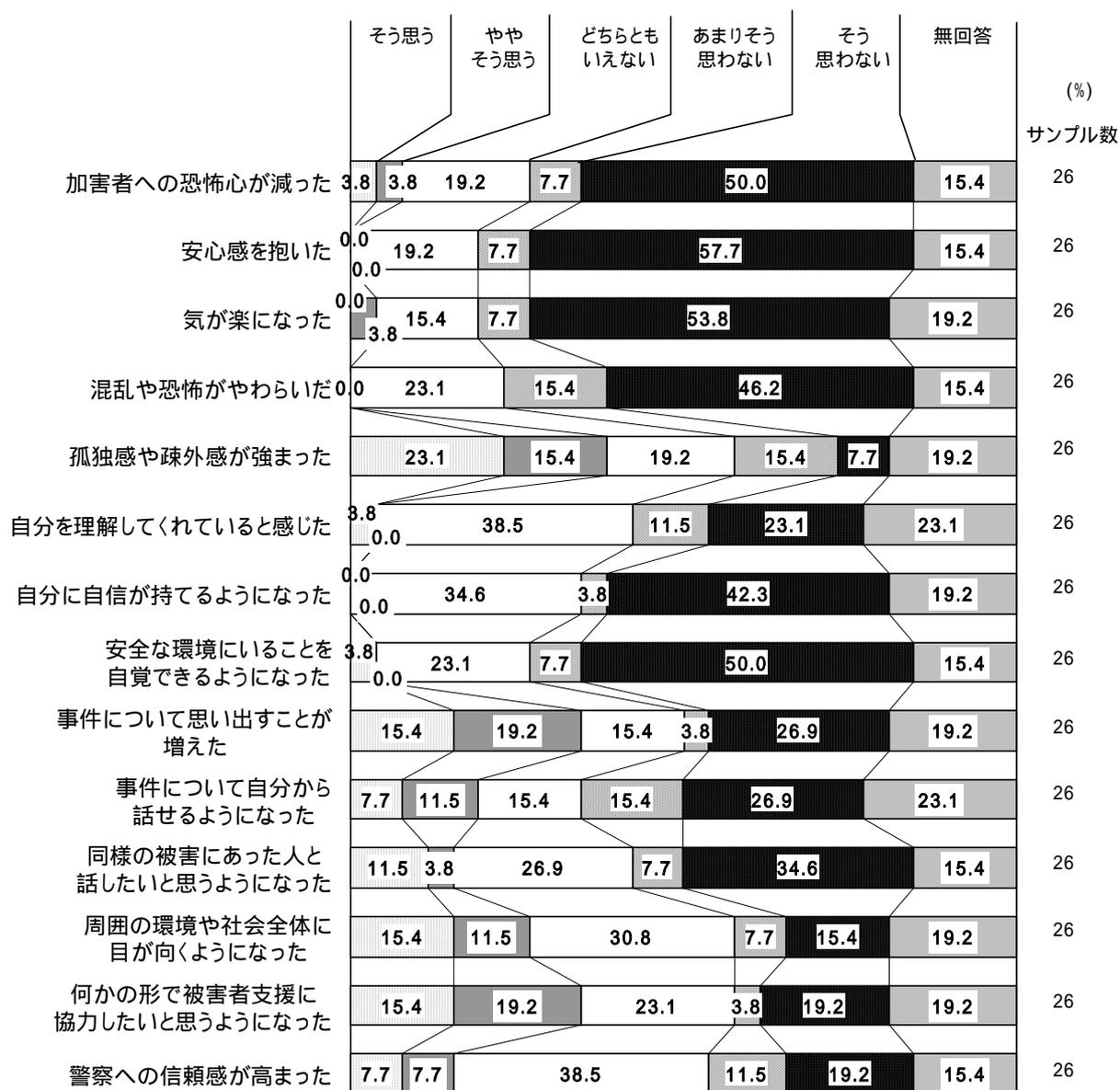
(複数回答 n=299 いずれかの施策で「満足した」又は「やや満足した」人)

図3 - 55 「満足している」と回答した人の心境変化

【満足していない】

「何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった」については、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人は34.6%となっている。

一方では、「孤独感や疎外感が強まった」について「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人が38.5%となり、「事件について思い出すことが増えた」についても34.6%と割合が高くなっている。



(複数回答 n=26 いずれの施策も「あまり満足しなかった」又は「満足しなかった」とした人)

図3 - 56 「満足していない」と回答した人の心境変化

(3) 警察による支援へのニーズ

被害者が被害から回復するために必要な支援について、全体でみると「給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和」が必要と回答した人が 58.7%で最も多い。次いで「支援内容についての情報提供」が 54.2%、「捜査や検挙状況についての情報提供」が 44.1%、「捜査や検挙状況についての情報提供」が 44.1%、と情報提供に関するニーズが高い結果となっている。

警察による支援へのニーズ【全体】 (再掲)

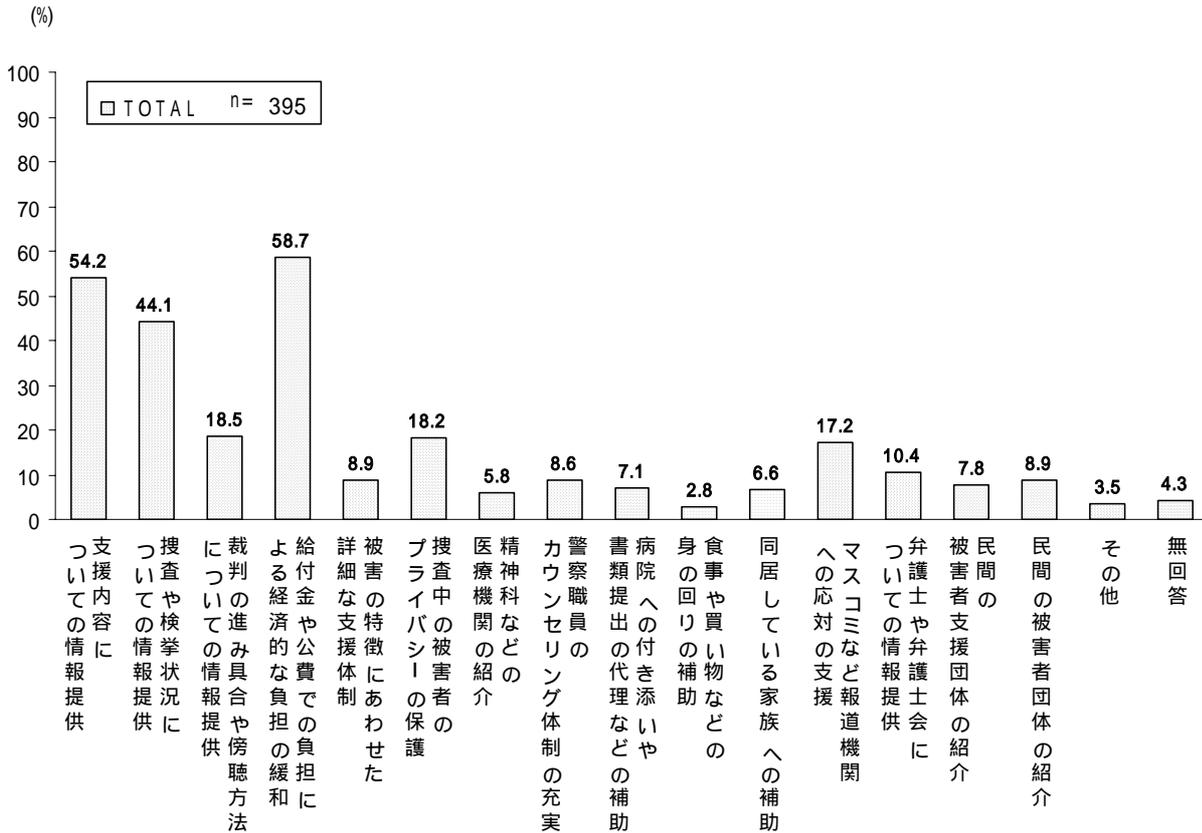


図3 - 57 警察による支援へのニーズ【全体】

警察による支援へのニーズ【被害種別】

被害種別にみると、暴力による被害者の方が、殺人による被害者よりも上位2つの支援（「給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和」、「支援内容についての情報提供」）に関してのニーズが高い。

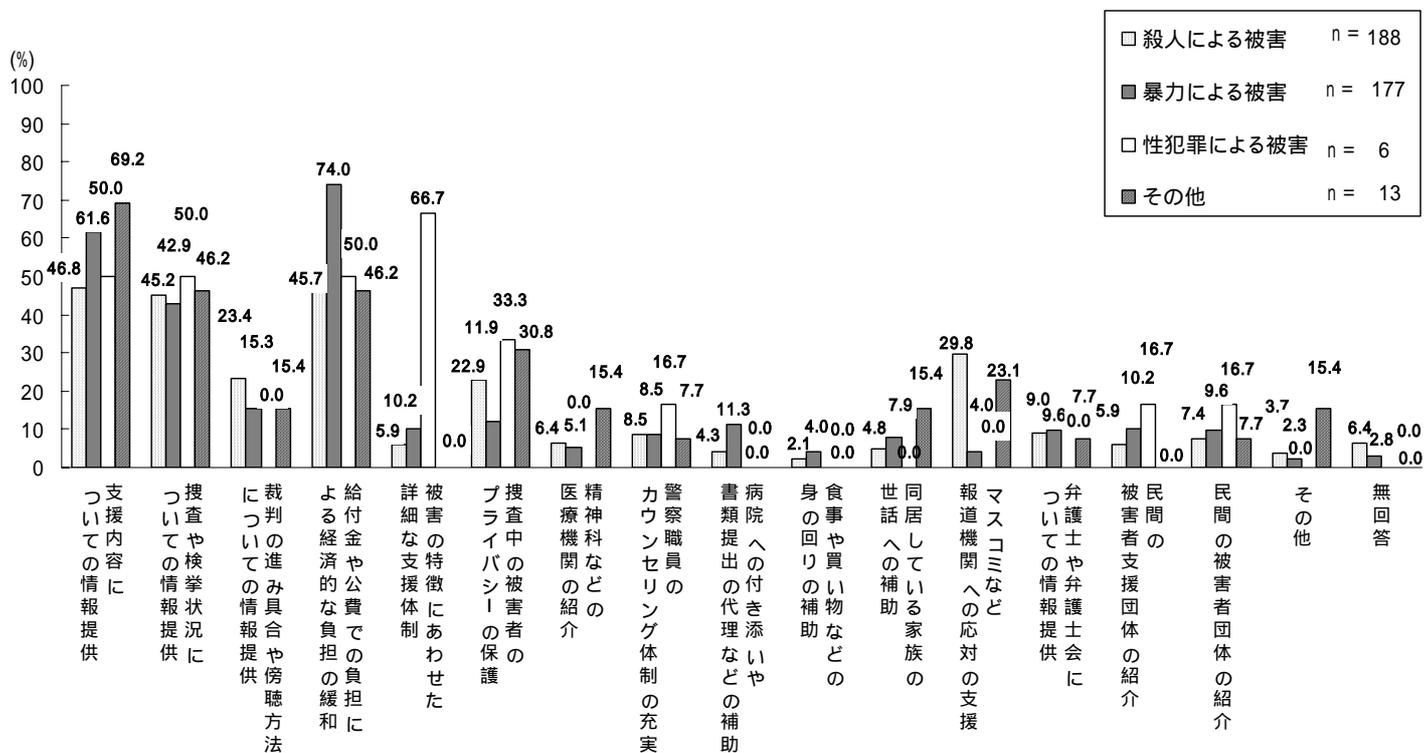


図3 - 5 8 警察による支援へのニーズ【被害種別】

警察による支援のニーズ【被害者との関係別】

被害者との関係別にみると、被害者本人の方が、被害者の家族・遺族よりも上位2つの支援（「給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和」、「支援内容についての情報提供」）に関してのニーズが高くなっている。一方で「捜査や検挙状況についての情報提供」、「裁判の進み具合や傍聴方法についての情報提供」、「捜査中の被害者のプライバシーの保障」、「マスコミなど報道機関への対応の支援」については、被害者の家族・遺族の方が、ニーズが高い。

【被害者との関係別】

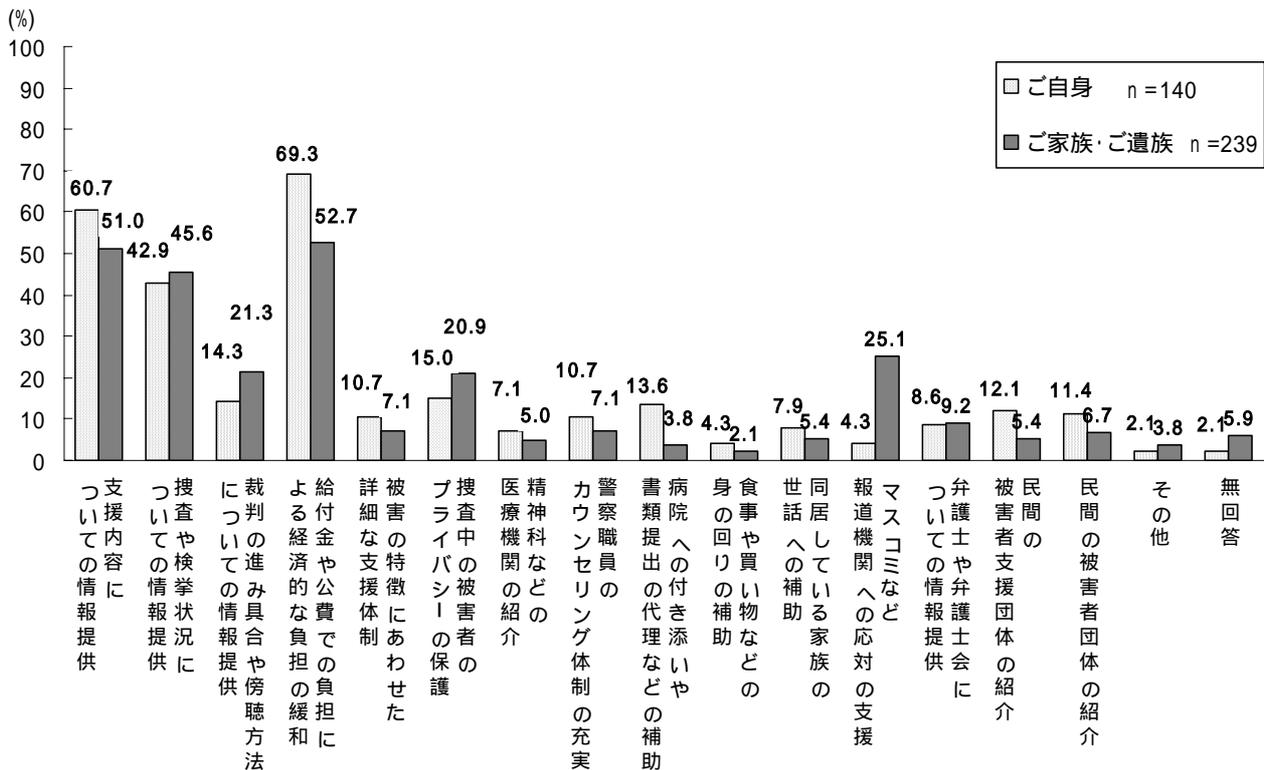


図3 - 5 9 警察による支援へのニーズ【被害者との関係別】

警察による支援のニーズ【被害経過年数別】

「支援内容についての情報提供」と「給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和」については、被害経過年数の長短にかかわらず支援ニーズが5割を超えている。

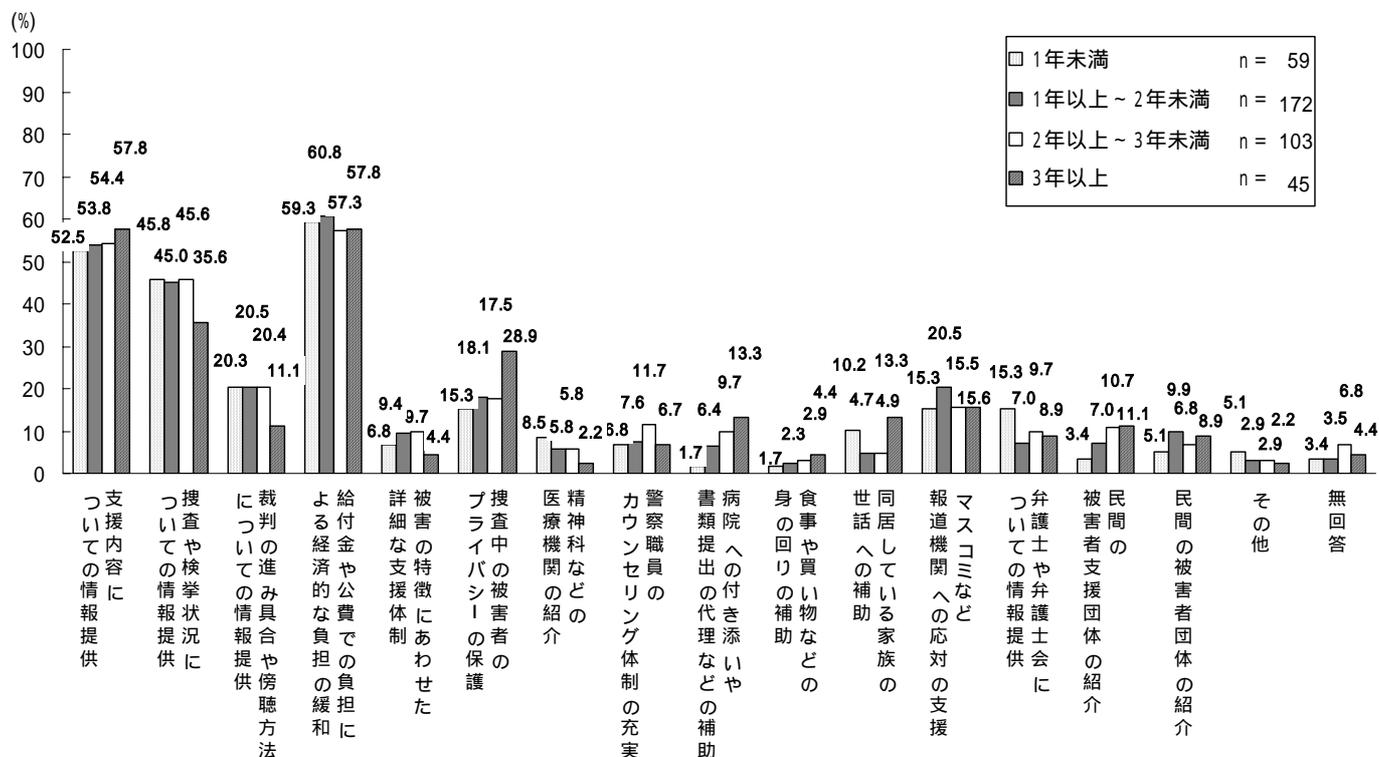


図3 - 60 警察による支援へのニーズ【被害経過年数別】

警察による支援へのニーズ【施策利用数別】

施策利用数別にみると、「マスコミなど報道機関への対応の支援」、「捜査中の被害者のプライバシーの保護」については、施策利用数が5施策以上の被害者の方が、利用数4施策以下の被害者よりもニーズが高い傾向にある。

【施策利用数別】

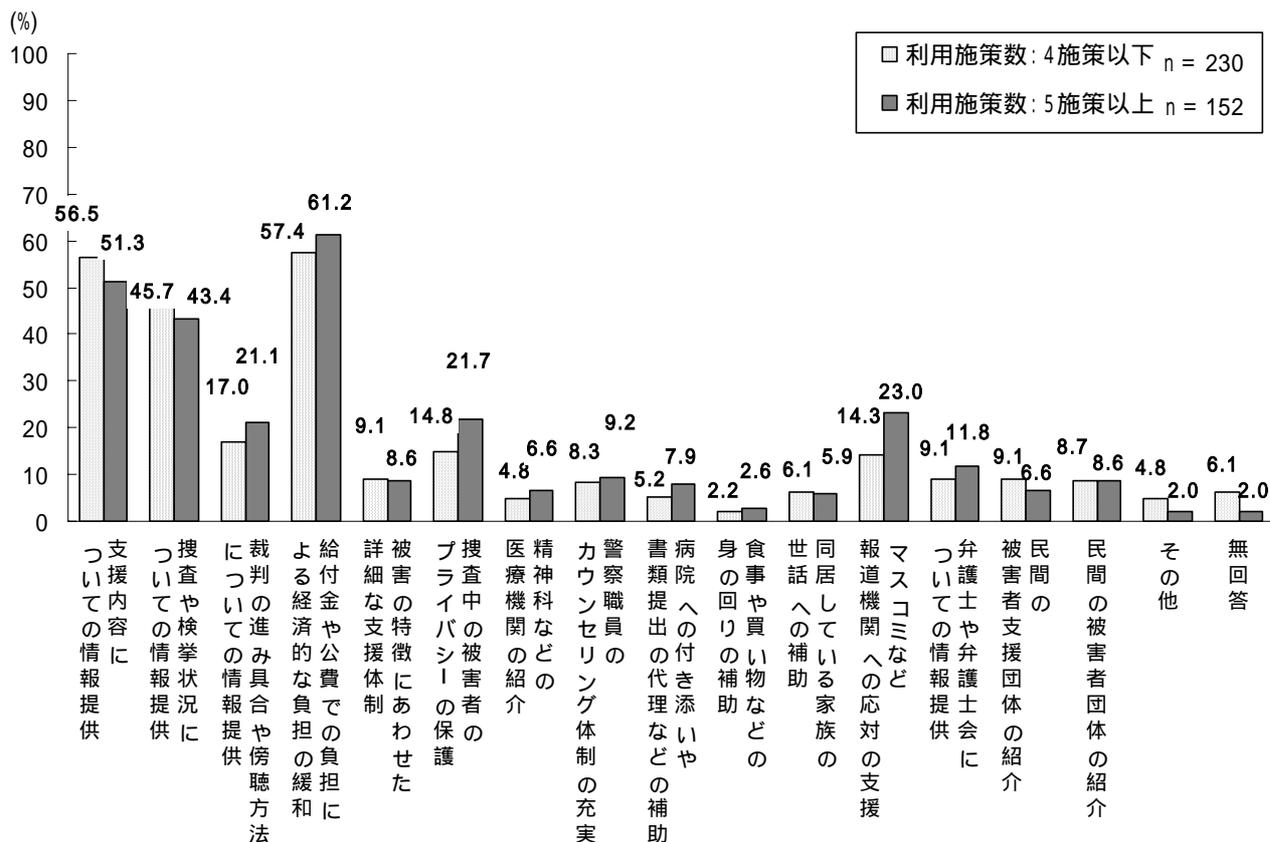


図3 - 6 1 警察による支援へのニーズ【利用施策数別】

4 . 自由意見

質問票中、対応、感想などについての自由意見を求めた。

警察の対応、被害者支援策などをキーとして、回答の傾向別に整理した。表現等はほぼ原文のままである。

< 警察の対応について >

もっと情報提供をしてほしい。被害者が何度も何度も捜査状況の確認の電話をしたりあおらないと親身にとりあってくれないのがとても残念でした。

時間がかかり過ぎる。手続きの手間がかかり過ぎる。診断書とるのにお金がかかりすぎた。親切に被害者支援に関する説明をいただき、非常に感謝しています。警察に対する信頼が一層強くなりました。

1 ヶ月間の間ほぼ毎日調べられ、又疑われて疲れました。今現在でも時々警察の人が来ます。毎日調べられた担当者の顔を見たくありません。早く犯人を捜して下さい。

私の場合金銭的な物は今からです。警察の方達は親切です。私は地元警察に感謝しています。でも死んだ人はもどってきません。大変ですが、犯罪を少なくする様お願いします。

の警察の方皆さんに良い感じを受けました。特に 刑事さんは話を良くまじめに聞いて下さいましたし、色々な手続きも電話して下さいました。感謝しています。それから被害者対策の さん、大変まじめな心の方で、本当にお世話して下さいのにいやな感じではなく親切に話して下さい感謝致してます。世間から聞いていたより警察の皆様、私が出会った方々は大変まじめな方々で、安心致しました。

私達家族が今穏やかに暮らしていられるのは、事件を支えて下さった警察の方々のお陰です。ありがとうございました。

大変有難く、感謝しております。被害者給付金請求手続きの折には、担当の刑事さんには、大変親切にして頂きました。有難うございました。

この度の件で永い間御親切なお心遣い頂き心より御礼申し上げます。有難うございました。また経済的な御支援も賜り感謝申し上げます。

事件の被害にあったのが 時で捜査が進んでいなく、その事について尋ねたら「僕らも休みたいんです」と言われたので警察を信用していません。

日頃、警察とは自分と無縁なものでしたが、自分の意志とは関係なく、刑事という職業を知る事になりました。私の場合犯人が でつかまり、枕を高くして眠れる事になりました。警察という機関が私を守ってくれたんだと思い担当刑事の方々は昼夜を問わず尽力して下さい事に感謝しています。しかし犯人が出所する時の事を考えると不安を禁じえません。なぜなら私は殺人予告を受けているからです。それも裁判所という場所で犯人に殺してやる、必ず殺しに行くと言われました。新たな不安が芽生え、その事を背負って生きる事になりました。これから犯人の出所までの 年で予防犯罪に関する法律が出来たり、アメリカの様に犯人を去勢する事が出来る様になれば、私は救われます。人の皮をかぶったケモノに対してあまりに世の中は甘過ぎます。

殺人事件などの大きな事件でなければ、なかなか捜査の継続がなされていないのでは...との疑問をもつ。警察官一人一人の対応が被害者のこれからの人生を左右するといっても過言ではない。ある警官の冷たい対応によって事件で傷ついた心がさらに深く傷ついた。また別の警官は同じ職場の人とは思えない対応で傷ついた心を癒してくれた。前者のような人の気持ちも察する事ができない警官がいる限り日本から犯罪はなくなる。親切な対応をしてくれた警察関係のみなさまありがとうございました。

県警からこられて親身になりていねいに説明していただきました（このような事件がおきるとは思ってもなかった）。それにしても私達はテレビのニュースなどで見て聞くだけで自分達には関係ない他人事のようにしてきたのが、まさか私の が事件にあい何がなんやら分かりませんでした。新聞記者、報道者の人々がたくさんこられ大変でした。母の事件はわりかし早く裁判が進んだ事を 警の方が言われておられました。その点は良かったです。

のことで色々とお世話になり、ありがとうございました。警察のかたに、こんなに、親切にいただいたことは、本当に、感謝の気持ちで、いっぱい、ほんとうに、ありがとうございました。

警の方にお世話になりました。さんと さんというおまわりさんでしたが、大変親切で親身になっていただき、うれしく思いました。私の仕事の都合に合わせ、訪問等も含めて、柔軟に対応していただいた上、大変わかりやすく、必要書類等についても「何枚必要か？」という所まで説明していただいて非常に安心感がありました。私も公務員なのですが、公務員には、自分達がわかっている事を、対象者も知っていて当然という態度の方が多いですが、そういうことありませんでした。制度自体については、私には責任が無いのに、今回の件によって金銭的な負担を強いられるのは納得がいかなかったので、とても良い制度だと思います。

1つだけ残念なのは、被害にあった時に、現場の刑事さんからは何のお話しもなく、職場の人にこの制度を教えてもらったことです。被害にあった時に周知して欲しかったです。

警察は被害者家族に説明の時でも、口はいつも罪人あつかいや。なんとかせーや。

警察の担当の方が、こまめにていねいに支援いただいたので、ある程度満足しています。

ぼくの場合 でしたので事件後の記憶がぜんぜんないのでよくわからないのですが、ある程度記憶ができるようになったころには何度も病院に来ていただいて、事情聴取だけでなく仕事のことやこれから先のことなどいろいろ相談にのっていただきました。それだけのことで、ずいぶん精神的に救われました。

事件直後より色々とお世話になり心強く感じました。

いきなり見ず知らずの人から暴行を受けてショックでした。思い出すたびに腹が立ちます。刑事さんから支援のはなしを聞いて、もやもやとした気持ちを払拭するためにもこの度申請させていただきました。 の上に が入り、 もーから出直しです。この支援を にとってターニングポイントとして新たな出発点にします。申請に際して、行き届いた説明且つ心温まる対応に私達 はとても感激しました。皆様には大変感謝致します。ありがとうございました。

(代筆)

事件をおこした時がいくら未成年でも、社会人として働いていれば大人と同じ。警察はもっときびしく取り調べをするべきだと思います。取り調べをうけた本人が言うのだからまちがいないでしょう。苛立ちを感じました。

色々相談など安心させてくれる環境を与えてくれてありがとうございます。たびたび電話などで「かわったことないか」、「大丈夫か」など連絡をくれてありがとうございました。

警察の　さん　さんはじめみなさんたいへんお世話になりました。

いろいろお世話になりありがとうございました。支援も大変ありがたかったです。警察に対する見方も変わりました。ただ、警察に呼ばれる回数がものすごく多くて、そのたび仕事を早退したり、休んだりして...その辺が残念でした。

親切で丁寧に説明してくださいました。

警察の方々、大変いろいろとお世話になり、今まで警察の方にお世話になるとは思ってもみませんでした。でも今回は、心やさしくお話を聞いて頂いたり、手続きの件など親切に教えてくださいました。全然わからないままでしたが、本当にありがとうございました。被害者支援の方々も忙しい中、ていねいに説明してくれて、ありがとうございました。

支援については大変ありがたい。警察は時間が経つと、逮捕をようせずに何の音沙汰もない。少しは現状の聞き取りぐらいしてもいいと思う。

国からの給付金が支給される旨警察の方より連絡があり、言葉の対応にもこちらの心情を察して頂ける様な話し方に、大変救われる思いでしたが申請後、担当者が変わり、その後連絡致しましたところ、忙しいのはわかりますが連絡した者が納得出来ない対応の言葉、給付されるのが当然だとは思いませんし、有難いことだと思い申請しましたが分かりかねました。その後担当された方は、大変丁寧に御気遣いも頂き今日に至りました。事件当初は地元の警察に御世話になりましたが、何が何だか、何が起きたのか訳分からずの日々、大変温かい言葉対応等頂き感謝しています。

事故現場を捜査していた警察官達が世間話をしながら、笑いながらしているのを見て余計に傷つけられました。警察庁では、被害者支援に力を入れているのに、現場の警官の遺族に対する思いやりの無さに怒りがこみ上げます。遺族として事情聴取を受けた場所も、警察署の、しかも取調室でした。どうして遺族である私がこんな仕打ちを受けなければならないのか、理解できません。

警察の方には本当にお礼が言いたいです。身寄りのない　が被害に遭い、　の私が途方に暮れている時、アドバイスをいただきました。入院費用の事や加害者に対する憎しみの気持ちなど、眠れない日々が続きましたが、次第に気持ちも和らぎ、費用も援助していただきました。今は感謝の気持ちで一杯です。

年前の　月の　い中、私達の為に、遠い所の　警の　さんと　警察の　さんが、お出でになりました。職務とは言え頭の下がる思いでした。その時はどうも有難う御座居ました。私がかかわった警察の方々、皆さん親身になって声をかけて頂いたのでとても感謝して居ります。被害者側の思いを少しでもわかってもらっているのが感じられると安らぐものです。大変、全てに理解できるように説明戴きました事を感謝致します。元気しております。

を亡くしてとつてもつらい時に裁判に約1時間半かけて出掛けて行かなくてはならない。でも裁判に行くと加害者にも逢わなくてはいけないという気持ちに、必ず警察の被害者支援の方がいてくれました。どれほど心強かったかわかりません。　年たった今でも、時々TELをもらい線香つけに来て頂きます。ありがたいと思っています。今後私達と同じ思いをする人がいなくなる事と警察の方にありがとうと言いたいです。

色々と言葉の多い中、私達に今回は良くして頂き感謝の気持ち一杯です。本当にありがとうございました。私達は年齢的に、本当に助かりました。世の中、平和で事件がなくなる事を祈っています。この度は本当に色々と言葉感謝と共に助かりました。お陰でも安らかにありがとうございました。

満足していません。犯人をつかまえたら事件は終わりです。後は勝手にして下さいみたいな感じでした。

時々、電話かけて頂き、励まして頂き、親切に相談にのって頂きました事にとっても感謝致しております。特に事件に関わって頂いた警察の方々に文面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました！！精神面・身体の不調はありますが前向きで生きて行こうと思っております。このような事件がない事を祈ります。

大変親切な対応は、どの方も同様で有り難く思います。今後も皆さんの期待に添えます様、ガンバッテ下さい。

私のためにいつも丁寧に対応して下さい下さった被害者支援室の方々には本当に心から感謝いたします。私の事件は私にとって非常に大きなダメージとなってしまいましたが皆様のおかげで相当救われたと思います。今日まで、本当に唯一の心の支えだったことは間違いありません。本当に本当にありがとうございました。

が殺害され、警察にご迷惑をかけ申し訳ない。一刻も早く犯人逮捕に全力をあげてほしい。どんな証拠があり、今どの段階まで来たのか何ら教えてくれなく、不安を感じる。もっと説明責任を果たしてほしい。第一線の人だけでなく、上司もたまには来て説明されたい。お世話をかけて、担当者の方々にいろいろ面倒を見てもらい、本当にありがとうございました。

、さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

警察は事件の原因や状況を調べるためにあるのに、その場の雰囲気や思い込みによって被害者にも非があると冷たい対応をとります。原因は何であれ、一方的に暴力を受けたことに対してのいたわりが感じられません。暴力に対する憎しみの気持ちをもっとしっかり持って欲しいと思います。（年配の方ほど、人に接する優しさが感じられません）

事件から一年以上経ったが、現在の状況についての報告がほしいと思っている。

時間はかかりましたが親切に色々ご指導頂き助かりました。ただ、家族がいる人はいいですが、一人だったら対応対処できただろうかと思えます。治安維持の大変さ、また感謝の思いで頑張りたいと思います。

今まで支えて頂きまして誠にありがとうございました。十分ご対応頂きまして心から感謝しております。ありがとうございます。

大変遅くなりました。やっとアンケートにお答えできる気持ちになって参りました。この度は最寄りの警察の方々に大変お世話になり感謝しております。

支援体制などについては私も聞こうとしなかったのもあって、この冊子で初めて知ったことも多かったですが、事情聴取の際は私を気遣ってくれているという警察の方々の気持ちが感じられて良くしていただきました。捜査状況の説明を、会ったときその都度していただけたら良かったなと思います。

内で事件にあい被害者になった時、このような支援がある事を教えてもらわなかった。伯父から聞きました。その後、県警察本部課の被害者対策室の対応のよさ、早さに大変ありがたく思いました。説明もわかりやすく親切で安心しました。本当にありがとうございました。

事件当時より警察の方には色々支援していただきとても感謝しております。あつてはならない事件だったので何もかもが初めて（裁判所）へ行くにしても、被害者への心配りがありがたかった。忘れられない事件から 年になろうとしています。少しづつ心穏やかになることに努力しています。

事件当時から今日まで、本当に応援していただいたと感じる。もし警察からの支援が無かったら・・・と考えると自分は今日みたいに立ち直っていないと思う。いなかっただろう。とにかく犯行後の対処の早さ、初公判、及び判決時の対応、そして今日まで支援、当家の処理に関しては警察の方々にただただ感謝しています。

回忌を済ませ少しづつですが心が穏やかになってきました。事件が起きた時は私は外出中でしたので、何がおきたのか信じられませんでした。「大きな事件です、捜査にご協力下さい」と警察の方からの言葉でしっかりしなくてはと思ったものでした。刑事さん、婦警さんと行動を共にして支えて頂きました。又、弁護士さんも紹介して頂きました。（略）特に警察の皆さんには大変お世話になり支えて頂きました。感謝の心でいっぱいです。給付金を頂きましたら有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

今回この様なシステムがあるとわかって本当に助かりました。ありがとうございました。捜査の為に必要だったかもしれないが、被害者である私の感情を逆なでされた。しかも入院中に。事件が暴力団の関係の可能性があるということで、「携帯メモリーを全て見せてくれ」と。私の友人知人に暴力団がいるということか、そんな人はいないといっても苦虫を噛み潰した様な顔。心配りが欲しい。事件について進行状況も教えてくれないし、安全安心メールで得た情報をこちらから教えるほど。正直言ってまともに捜査してくれているとは思えなかった。残念に思った。私が死んでいないのでちゃんと捜査してくれないのだろう。

のため多くの警察の方が働いて下さったことに感謝しています。ありがとうございました。被害直後のマスコミへの対応について迅速に対処していただき安心して葬儀が行えた。 の精神的被害に対処できずにいた私にとって電話相談に対応して頂き助かりました。

警察の方、知人、友人、親戚、とても心配りして下さりありがたいと思っています。支援（カウンセリング）の所へも一度行きましたが、何ともむなしさだけが残り得るものがありませんでした。（略）この気持ちは経験したものにしか絶対理解できないと思います。ただ周りの人たちの優しさだけが心の支えになって生きています。給付金の係りの方、お二人 さんと

さん大変親切にして下さいました。心より感謝しております。ありがとうございました。警察の方々からは被害者の家族として優しく接して頂いたが、加害者と思われる人間が特定された初期の段階での実際の加害者に対する対応が甘すぎて逮捕されるまでの間、自分及び家族に危害の可能性があり、大変だった。忙しいとは思いますが、自分が直接対決できないので捜査は徹底して調べて欲しい。事後支援よりも事前予防の方が大事なのだから。加害者は厳罰に、被害者の立場になった保護をしてもらいたい。

警察署の より入院中に「被害者の手引き」を渡して頂き、犯罪被害者給付金制度を教えてもらいました。また、実際の手続きの際は犯罪被害者支援室の さんより重傷病給付金だけでなく、傷害給付金についてもご説明頂き大変ありがたかったです。突然犯罪に巻き込まれ、何も分からないことだらけだと思うので今後もこの様な支援体制を維持されるよう期待します。

わずかな疑問にも1つ1つ丁寧に答えてくれた警察官の方に感謝しています。

かけがえの無い を殺害され数多くの人にご支援を受けたもので、事件後家族においても思いもかけない種々の問題を抱え何とか生活しています。最前線で働いている警察にはより深く信頼と高い職業的プロ意識を強化し励んでいただきたいの念が一層感じたと共に私どもと同じ思いをする人が早くなくなることを祈るだけです。

担当の警察の方が大変親身に担当してもらい助かりました。

調査内容を聞く為警察署に 週間に一度は行っていましたが、 の病院と忙しく心身とも限界の中、冷たくあしらわれ大変なショックで、娘と私は二度と警察に行けなくなりました。今はやっと一番上の が家まで来て下さって話を聞いてもらい、調査内容も聞くことが出来ています。一日も早く犯人逮捕にと願っています。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

お礼を申し上げます。有難うございました。

警察の方の捜査状況をもっと知りたい。定期的に進展等を知りたい。ネットなどで。

最寄りの交番に事件のことを 度聞きにいったら事件の事すら警官は把握しておらず、ショックを受けました。被害直後に「必ず犯人を捕まえます」と力強く言ってくれたのですが、裏切られた気持ちでいっぱいです。でも支援については感謝しております。

支援を受けることができ「ありがたいな」と喜んでおります。相当な時間がかかるので犯罪が非常に多いんだなと痛感しました。これで犯人が逮捕されれば気持ちが少しスッキリします。よろしく願います。

出来事の当初は警察署から連絡、支援を頂き、のち加えて警視庁のご紹介から被害者としての支援、加害者の処置についての最小必要限の状況のご報告を頂いた。すでに事件から 年 余り、警視庁から被害に 給付金のこと承り、感謝しています。いろいろとありがとうございます。

同性の警察の方が優しくかった。犯人は怖い。

被害にあったのに、最初は何回も警察の方から電話があったのに、加害者もなかなかつかまらず、そのうち連絡がなくなり、こっちのほうから電話して聞くようになった。家を出るのが怖い時期があった。

事件が発生する前の予防、地域の状況、問題点等に迅速に対応できる警察体制を早期に確立してほしい。

警察の方、初めから終わりまで優しく親切にいろいろ教えて下さり感謝の気持ちでいっぱいです。傷害給付金を思いがけず頂けた事で助かりました。ありがとうございます。

何にもならない被害者でした。こんな人間にも警察の方は親切に対応して下さいました。頭が下がります。給付金は母親の老後に使わせていただきます。ありがとうございました。

自分の知らなかった事を親切丁寧に教えて下さり、ゆき届いたお世話をして頂きましたことに、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

被害対策の担当していただいた方には大変良くしてもらいました。細かいところにも気を配ってもらい、負担を少なくしてくれました。かけてくれる言葉もとても温かく、救われました。突然の事で何もかもわからずにただけに担当して頂いた方にはとても感謝しています。

もう少し細かな説明、連絡が欲しい。

私たち夫婦は事件以来裁判所、警察へと足を運ぶことも多く、困惑する毎日でした。周囲から「こういう事もあるよ」と言われてもどこからどのように進めてよいのかわからない状況の中、月日だけが過ぎ去ってしまいました。警察の中に「被害者支援」を知り相談する機会ができました。期限が迫り諦めていた私達に担当の方は経理に連絡を取りあって進めて下さいました。お陰さまで受け取ることができました。そんな折、の成長を楽しみにしていたが病に倒れてしまい、途方に暮れていた私達を心配して電話をくださり、また病院に来ていただきなんとお礼を言ってよいかわかりません。警察の方の応援と愛情に励まされ今まで頑張ってきた。ありがとうございました。

自分の住んでいる地域とは別の地域で自分のケースと類似している事件があり、犯人も逮捕されたので犯人の顔写真を確認したいと地元の警察にお願いしたところ、なかなか行動に移してもらえず、こちらから何回か依頼してやっと動いてもらえた。同じ警察なのだから市や県をまたいでも連携をスムーズにしてほしい。

警察のみなさんには捜査ご尽力、又もろもろ親身にお世話いただき本当に心より感謝申し上げます。

今回の件で私たちが御世話になった方々に特に担当の警察の方には色々とお世話になり感謝しております。

事件後警察の方は誠心、誠意、雨の日もよくやってくれて心から感謝しております。また検察庁や裁判官なども同じくすべて親切にやってくれてこの人たちにも心から感謝しております。警察官の方々には本当にお世話になりました。ほんとうにありがとうございます。心のケアから何から何までこんなにもお力添えして頂けると正直思っていなかった。やはり警察官の方々は人間が出来ている人が多く、私は将来警察官の方と結婚したいと思えるくらい頼りある存在でしたよ。これからも世界の平和を守り続けて下さいね。もう二度とこんな悲しい事件が起きないように。

相談に乗って下さる警察官の方がコロコロ転勤してかわるので、支援が途切れ、むなしく感じる時がある。本当に信頼できる警察官の人は個人的に支援して下さい、ありがたいです。本当に困った時には相談に乗ってもらえると思うだけで助かります。

事件の後、犯人を見つけてほしいと警察に何度もお願いしましたが、「あなたの事件だけ捜査している訳ではありません。ほかにも事件は沢山あります。死亡事件も有ります。あなたの事件だけ捜査を行う訳ではないこと、理解して下さい。」と言われ、言葉通りの捜査だった。自分は が残り、歩くのも足を引きずり視力が落ちる状態ですが、警察は死亡事件でないと本気で捜査しない事がよくわかった。

被害者の立場になった献身的な対応に心より感謝しています。誠にありがとうございました。交通事故の目撃情報をつのる看板をたまに目にしていますが、どうして事件現場の立て看板はないのですか？事件が発生してすぐに現場付近に立て看板を立てて欲しかったです。発生からだいぶ経過しているし、担当してくれた警察署から捜査状況や連絡が未だにありません。被害を受けて精神的な負担を軽減するのに時間はかかりましたが、事件現場を通ると警察の対応に不満を感じます。

加害者がとなりの借家に引っ越してきてからの 年間、 が殺されるまで数えきれない
を受け、何度も 110 番通報し、警察に来てもらったがどうされたか？いつからか？といつも同じ事を長々と聞かれ結果何も解決しなく、 が殺されてしまいました。毎日息をこらし
ピリピリ時を使いながら生活をしていてこの結果です。なぜ警察は加害者に対して強く処置し
てもらえないのか、 に出で行ってもらうようお願いしても「うちは関係ない、警察に言
ってくれ」警察になんとか出で行ってもらう方法はないかと聞けばないといわれ、 さんに
頼んでみればと言われた。警察は悪い人に対していつもきつくマークし、きつく注意し、強く
対処して頂きたい。私達はやられ損で、誰も助けてくれませんでした。
あまりにも突然の出来事で、また初めての事なので今日にいたるまでまだ自分の中で整理でき
ません。色々お世話になったのですが、どれが支援だったのかよくわかりません。警察に対し
て一番悲しかったのは第一発見者であった私が容疑者扱いされて調書を取られた事でした。
警察職員からはほとんど支援について聞いてなく、弁護士さんも自分たちで探して支援の事は
弁護士さんがおしえてくれました。加害者が捕まった事は感謝していますが、現場検証時の警
察の人の対応は被害者にたいしての心配りがなく、反対に恐怖感がありました。事情聴取後も
声をかける事はなく、自分の仕事が終わったらよいという警察職員の態度に腹立たしさを感じ
ました。
今回の事件では目撃者もいた事から早期に検挙され感謝しています。しかしながら犯人の前科
「 による 」がありながら野放し状態であったというのが納得できない。今回、裁
判の事では検察官の方には途中経過など教えて頂き、ありがたかったです。被害者対策の方
にも色々相談でき、支援を受け助かりました。
この様な支援を警察から聞いて知り、ありがたく思いました。今後ともよろしく願います。
対応に時間がかかりすぎる。犯罪現場にくるまで遅い。
犯人捜査にもっと熱を入れて欲しい。被害者支援には満足した対応をしてもらった。
捜査状況や裁判の進み具合等は当初細かく連絡すると言われましたが、こちらより連絡確認し
ないと全くわからない状態でした。検挙までは力を入れているのですが、警察や検事に対
しては信頼を失いました。毎日不安を抱いていると思います。
担当して下さった警察の方がやさしく私達の話聞いて下さり、説明もわかりやすくとても
うれしかったです。
警察職員の支援はとてもよくして頂き、救われました。どうもありがとうございました。
被害にあって初めて知ることが多かったので、やはりしばらく経ってから警察の担当の方
から声をかけて頂いた事が一番うれしかったです。事件直後はやらなければならない事が
沢山あり何度説明されても覚えられない事が多かったので少し経過してから確認や様子
をうかがう連絡をくれると助かると思います。給付金があって本当に助かりました。
事件後、入院中は自宅まで来て頂き、種々お話を頂き、相手の事情等についても説明
され今後必要があれば犯罪被害者センターの利用を勧められ、相談する等また今回
犯罪被害者給付金制度を利用させていただき、大変感謝しております。
今回私共家族が接した警察の方々には本当に皆様親身になって私共を支えて下さい
ました。心から感謝しております。ありがとうございました。なお、捜査や検挙状況
についても比較的詳しい情報提供があったので被害者だけが取り残されるという
感じを抱かずに済んだ事も多かったです。

今回の事件にて、最初にお話しした警察官によってかなり信頼度（警察に対する）が違ってきます。私の場合は本当に親身になって最初の警察官が対応して頂きました。感謝申し上げます。延べ、7~8人の警察官とお話しましたが、最後まで信頼する事が出来ました。

今回が にあい、 か月の入院する傷でした。警察にはいろいろとお世話になったが、 歳の年よりから事件当日の夜 時頃から午前 時頃まで事情聴取されたことが大変こたえたようだった。事件処理を当日したいのはわかりますが、もう少し被害者の事を考えて対応して欲しかった。犯人も逮捕された事は大変良かったが、警察のペースで事務処理されるのはちょっと？でも今回の支援についての事務処理は大変お世話になりました。

担当の警察官が親切に対応してくれて感謝しています。

犯罪被害者給付金を頂く事が出来て担当して下さいました 警察本部の方に感謝しています。加害者が亡くなったので、事件の全容も全くわからず、加害者側より謝罪もなく、気持ちの整理もできず、今後カウンセリングを受けたく思う。

警察官の対応が悪い。

私に連絡して頂いた 警察本部の さんには本当に感謝しています。給付金の支援は から話を聞いていましたが、 とは金銭のトラブル続きだったので信用していませんでした。私を利用して全てを奪い取られると思っていました。しかし、 さんからのお手紙が届いたときは夫を近くに感じ涙が出てきました。夫が支えてくれている気がしてあれほど亡くなって近くに感じた事はありませんでした。 さんは私の話をしっかり聞いて下さりとても私自身勇気もできます。本当に感謝しています。ありがとうございます。

大事な家族を亡くして精神的に落ち込んでいる時に警察職員の方が電話や直接家に来て話しをよく聞いてくれたので精神的に楽になりました。ありがとうございました。

警察官にひどい対応をされ、 を亡くした事に加え精神的、身体的に大きなダメージを負いました。そのフォローが欲しいです。

給付金制度で相談にのってくれた、警察の方はとても対応がよく、信頼でき、安心できましたが、事件後に対応してくれた警察官は「犯人は捕まらない」と言ったので安心感も信頼感もなかったです。もうちょっと捜査等をしてくれてもよかったのではないのですか？捜査状況も聞かずに初めから諦めている感じがしました。

凶悪犯罪については捜査員が犯罪の実態的真実を究明すべきにも拘わらず、被害者から積極的に直接事情聴取することなく、被害届を出す事を無視するなどの行為は被害者の心情を無視された。最終的には被害者の聴取書を作成してくれたので満足している。刑事事件は生き物で日々変化する。警察の信頼を国民に得る為には犯罪の実態的真実を究明するとともに犯罪被害者の心情をつよく理解して欲しい。

この様な制度がある事を全く知らなかったのですが、事件後すぐに警察のかたから教えて頂き、その後もお忙しい中父の所にご足労頂き書類作成の時もご丁寧に説明して頂き、被害にあった を始め家族のみんなで警察の方々には大変感謝しています。ありがとうございました。

親切に教えて下さりありがとうございました。力が足りない事を反省しています。

警察本部 の さんという方には大変良くしてくれました、ありがとうございます。又よろしくお願ひします。

警察で色々お世話になり有りがたく思っています。 警察の皆様にも感謝しています。（特に相談室の方に）

警察の皆様にはすごく優しくして頂き、少し救われました。ありがとうございます。

犯罪被害者等給付金支給の申請手続きの際にはご面倒をおかけする事もあり大変お世話になりました。ありがとうございます。

色々説明して頂いたのかも知れませんが、その時はよく理解できなかったと思います。パンフレットを読む気になれませんでした。被害者ということで警察の方にはとても優しくして頂きました。有りがたかったです。

大変良くしてくれました。

<被害者支援策一般について>

警察の幅の広い支援を知る事ができました。

こういった支援がある事を全く知らずにいましたので、経済的には大変助かりました。ただ、この支援の事を先に被害者の身内に連絡が言った為。金銭的な事でもめてしまいました。支援の事がもっと広く一般的に知られていく事を願います。

犯人から受けた傷が常識外のひどいものだった為、本人の周りの、誰が悪人なのか信じられない気持ちとご近所等のうわさで、被害者なのに加害者と同類のような、悪い事をしていたような目を感じ、いやな思いでした。給付金を受けましたが、(略)。警察からの後遺障害診断書の等級欄は、誰が書くのか、病院側に説明するのに時間がかかり、直接警察と電話してもらい、やっと医師に書いて頂きました。

警察の人から「カウンセリング支援がありますよ」と言われてもなかなか「はい」とは言えません。何回か同行していただいた方が心理カウンセリングの出来る方なので、その方なら見ることができるのではないかと思います。そして定期的に連絡を取り合ってもらったらありがたいです。友達や世の中の人には同情でしか見てもらえない気がするので、万人には話す事はなかなか出来ません。まして子供は心の中で封印しようとしています。ぜひ定期的に話が出来方を作っていたきたいと思います。被害者は警察の方しか頼れる方がいません。それが難しいと思いますので、民間の支援団体の方をぜひ紹介してもらいたいと思います。よろしく願います。

私達家族が今穏やかに暮らしていられるのは、事件後支えて下さった警察の方々の御陰です。ありがとうございました。

大変助かりました。ありがとうございました、

私の事件の捜査を担当された刑事さんたちは、ジェントルマンでした。環境(聴取場所など)、プライバシー、送迎、捜査状況の報告など誠実に実行してくれました。これらのことが、被害者支援の一環であることはあとで(犯人の逮捕後)知りました。私は満足しています。

地位や名声、お金さえあれば何かが違うのではないかと何度思ったかしれません。少しでも被害に遭った人や家族に、詳しく、いろいろな制度をもっとわかりやすく提示していただきたい...と言うのが願いですし、少しでも早い解決こそが被害者・家族にはエールになります。よろしく願い致します。

犯人を見つける事ができなかった事に、くやしい思いは今でも残る。一時は死の覚悟もあったが、警察の支援に今は感謝している。事件の事を思うと、自分も家族も今でも思い出したくなく恐ろしく具合が悪くなる。今は(年経過)人並に生活できている事に感謝している。お世話になりました。ありがとうございました。

犯罪被害者等給付金制度の事を満期直前に聞いて申請したくらいで特に他の支援はなかった。警察の方々はどの人も親切で、いろいろお世話になりました。ただ感謝の気持ちで、いっぱいです。こういう制度があったことは、全く知りませんでした。或る日警察へ行った時(の月)廊下のベンチでつかれて座っていたら、見ず知らずの警官の方が近寄ってこられて「何か困っているか」ときかれて、話をしているうちに、この制度を教えていただきました。現在も 中ですが、これでずいぶんたすかります。有難うございました。

加害者への医療費請求が出来なかったので、国の支援があったので本当に助かります。ありがとうございました。同じ様な事件がない事を心から祈ります。

事件前の生活が出来る様に支援センターと協力して支えてくれていると感じました。

今回の事件について、は亡くなりましたが無保険だった為に大きな精神的不安、金銭的不安があり生活も不安定になりましたが、警察の方々の支援により、事件から一年、やっと少し生活が保ってこれたと、深く感謝しています。加害者への気持ちはまだまだ許せませんが、事件により身内、皆の生活全てがこんなに崩れるとは思いませんでした。支援により、少しでも癒された事に、感謝しています。ありがとうございました。

親切に説明してくれたので経済的にも助かって良かったです。犯人が捕まらなければかかった費用が全て自己負担というのは納得がいきません。被害者を助ける制度はとても良いと思います。

被害者の入院費など金額が高額で何度も警察の事務課の方に電話で相談したり、会社を休んで出向いたりしたが、犯人が見つからないので、対応出来ないと言われた。一番お金が必要だった時「警察による犯罪被害者支援」のパンフレットは、とても心強い事ばかり書かれていて、本当に有りがたいと思いましたが、子供を亡くして 年目に事務課の担当の方も違う方になりやっと支援して頂けたと感謝しております。

遺族としては事件直後は仕方ないにしても報道の度に住所・実名がでて当時がフラッシュバックされ、身のすくむ思いをまたくり返されとてもいたたまれない気持です。生存されている方の名前は報道されないのに、遺族としては、こちらの要望(住所・名前の報道)もきいてほしい。そっとしてほしい場合も多々あると思います。被害者の方はプライバシーを守って欲しい。

警の方、警察の方々に親切にして頂き、とてもうれしく、助かりました。ありがとうございました。ただ、支援のあり方が県によってバラツキがあるので統一してほしいです。刑事さんの方々から、支援の事を教えてもらった事は本当に良かったと思います。しかし、では小さな町の警察署などは、知らない様子なので、パンフレットや、支援があるという事を知ってほしかったです。

1.入院・手術した際の高額医療還付制度や高額医療貸付制度の事なども教えてもらえると助かったと思います。(かなり高額だったためあわてました。)2.加害者の事を知ったのは、テレビの報道とほぼ同じだったがそれでも先に知らせてもらったのでしょうか?3.裁判の事がとても気になりましたが、加害者や加害者家族やマスコミが居るのか?顔を合わせるのかどうか?わからず、行きたくても一度も行けませんでした。安全・安心して傍聴できるのなら家族だけでも行きたかった。4.加害者を見つけて下さった事、とても感謝しています。

年前 が事故死致し 才でしたから身内が亡くなると云う事は心より悲しいです。年齢にもよりますが生活がかかっている人 保護者などには支援を特にして頂いて助かると思います。(略)事件発生から裁判迄いろいろな面で細かい所まで支援して頂き、大変助かりました。まだ、完全とは言えませんが、一日も早く復帰できる様がんばります。この支援制度に感謝しています。

もっと色々な支援があることを知らせて欲しかったです。今でも事件のことが忘れられず、苦しんでいます。一人になってしまい家族がいない状態だと思うと辛いです。このような苦しさを緩和してもらえたであろうカウンセリングなどを受けたかったです。事情聴取も暗い部屋で、事件直後血がついたまま受けました。もっと安心して受けられたのであれば受けたいかったですし、血を流す時間くらい頂きたかったです。今後、同じような被害にあった方にはこのようなことがないようにして頂きたいと思います。

被害者家族であるのだが、警察署での説明時、職員に事柄の内容が知れ渡っている様子で、署内に入った時点での好奇の眼差しを感じました。職場、親戚、家族等それぞれある事を考えるともう少し、プライバシーの保護を考慮していただきたいと思います。

早く検挙してほしい。今の制度だけでは医療補助だけでは。後払いの制度は生活に余裕がない人達にとっては、効力が半減するのではないのでしょうか。

事件直後から 警の方がいろいろと面倒をみてくださって本当に助かりました。給付金が支給されるまで時間がかかり、その説明だとかちゃんとお話ししていただき感謝しています。でも、マスコミが間違った報道をした時の対応をちゃんとしてもらいたいと思いました。 を失ったうえに真実が伝えられていなく、面白おかしく、テレビや新聞で報道され、傷口に塩をつけられたようです。亡くなった も悔しいと思っているでしょう。それと加害者・その家族から何の謝りもなく、今現在も本当に反省しているのか？と疑問に思う日が続いています。本当に残された家族の悲しみと辛さを加害者に伝えたいし、同じ苦しみを味わって死んで欲しいというのが正直な気持です。自分の年齢からして を育てていく不安と が成長していくに従って親のいない悲しみと辛さを考えるといまだに眠れない日があります。

事件直後、犯人は食住が確保されているのに、被害者の遺族はマスコミにより自宅にも戻れませんでした。警察では、食事の時間もなく、のべ 時間くらい調書をとられ(続けて) 杯くらいのコーヒーであちこち行かされました。悲しみにくれる時間もとれず警察から帰宅し、食事をとっていても、あちこちと数名の警察の方からの電話(夜何度も)、ろくに休むこともできず、「少しでもいいから休ませて欲しい」旨のことを伝えると、「 のために・・・」と言われ、頑張っておりまして。精神的にもとても辛かったです。税金で犯人は、食事も住むところも確保されるのに、私たちは帰るところすらなかった。緊急を要することもあると思うが、遺族のことも考えて欲しい。「 のために・・・」 この言葉は遺族には大変きつかった。同じ思いをされる方がいると思うと、大変切ない。

事件当初は担当警察署から何の情報提供も受けられませんでした。悩み、苦しみ、病院を受診し被害者対策について教えていただき、その後、 の被害対策担当の方から様々教えていただき救われました。未だにあの当時、警察の方から言われた言葉や対応は忘れることは出来ませんが、今回の調査で書かれてある支援が、実際に現場で行われることを心から祈ります。現在どのように変化しているかわかりませんが、殺人等の被害に遭われた方の対策が主で、集まりもそういう方を対象にした被害者団体のみと言われました。私の長年の希望は、他の様々な被害者の方も救っていただける団体が出来ることです。自分を見失い、自分の弱さを責め、思い悩んでいる方がいつでも駆け込める場所を作っていただきたいと思います。また、私の様に一被害にあった直後、警察で傷口に塩を塗る様な対応をされることがない様に被害者の心理等々について、周知徹底していただけたら幸いです。

いろいろな支援があってもいざその支援を受けるための膨大な手続の手間、提出書類をそろえるための費用はたいへんなものです。（例えば、整形外科、呼吸器科など科がちがうたびに診断書や払込証明書の費用がかさみます。一ヶ月ごとというのもたいへんです）申請後支援してくれる場合でもすべて立替ですから、手持ちのない方にとっては本当に大変だと思われます。

いろいろな支援があってもその支援を受けやすくする方法を考えていかなくは「絵にかいたもち」になってしまうと思います。経済的支援のPRも大事ですが、警察官の資質向上への取り組みなどのPRなどをもっとやって一般庶民が接しやすくなるようにしてほしいと思います。請求するために必要な診断書等の提出書類をそろえるための費用が結構かかってしまった。地裁での公判の際の送迎は助かりました。自分の運転では気持ち的にこわかった。「困った事があったら電話を下さい」と言われてもなかなかできない。かえて定期的に連絡をもらった方がよかったかもしれない。

「犯罪被害者支援」の事は何も知らなかったけど警察職員の方からおしえていただき、今回は手続等、色々な面でお世話になりました。

事件後の事情聴取。ただでさえ混乱しているのに、刑事さんは声を荒げることもあり、被害者にとっても苦痛でした。こちらの事を聞くばかりで、事件の内容については聞いても教えてはくれませんでした。司法解剖代金を、被害者が支払うのはおかしいと思います。

がであるため、ヶ月の入院期間中どのように生活を守るかが最大の心配事でした。突然の事であったため、が泊まり世話をしてくれましたが、私との両方の世話をすることは容易ではありません。がの受け入れ施設を探したり、ケアマネージャーに相談するなどして何とか乗り切りました。その辺の支援があればよかったと思います。実際には体制は整っていたかも知れませんが。犯罪被害者という精神的に不安定な状況なので、病院の個室料金も加算して頂けることを望みます。

民事裁判をしたいのですが、お金がなく（弁護士費用）裁判できません。そういった支援があればと思うのですが。あるのでしょうか？

警察の方は親切だと初めて感じました。手続きが面倒なことが多かった。

この支援はあとで身内に聞いたのですが、亡くなった人の為の供養に（私は親、兄弟のお墓を守っているので）大変ありがたかったです。無くなった家族の悲しみは計り知れないですが。担当の方も不慣れなのか必要書類等について不明な点が多かった。民間の保健に準じた一定の様式を揃えて頂きたい。又、支援の条件も実態にそぐわないのでは？

警察の担当の方が親切でとても助かりました。丁寧に説明して下さい感謝しております。ただ身勝手だとお叱りを受けるかもしれませんが、事件のあった部屋は処分することが出来ない上に管理費等の諸経費や税金が掛かってきます。頂く給付金を当てますが、これからどのようにしていけばよいのか途方に控えています。不動産屋に頼むと好奇心目で見られるだけで一向に話が進みません。には申し訳ないが早く忘れたいのにこの先ずっと何年もと考えると絶望感でいっぱいです。こういう相談が出来る機関があればよいのにと切に希望しています。勝手なことは承知でお願いします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

支援(1)に対して、担当警察署から全く話が無かったことが不満。(加害者が だったので、何の保証も無く、泣き寝入りをせざる終えないという説明だった)支援(4)に対して、知らなかったことから、これから申告できないものなのですか?また同様に、重傷病給付金制度がありますが条件で犯罪行為により重傷病(加療1ヶ月以上かつ入院3日以上要する負傷または疾病負った者)とありますが私の場合は入院が2日で1日足りないため条件に満たないため給付できないと言われましたが、この制度の主旨から納得できません。なぜなら上記にもあるように保障問題また勤務などから生活上、やむ終えない選択だったにも関わらずこの条件は適していないのではないかと。人の前向きな心を否定され、この主旨最大の精神的経済的打撃の緩和を図ろうとするものがあるが、甚だ矛盾してないですか。

今回の事件にあって、初めて警察に被害者対策室というものがある事を知りました。被害者又、その家族は事件によってかなりの精神的ダメージが大きいので、カウンセリング心療内科等の紹介、日常生活の補助などとおしていただけると助かると思います。なかでも、弁護士の紹介をしてくれると大変助かると思います。今回うちの事件は勘違いによる によるものでした。全く とは関係がないのに、事件内容を(法テラス等)話しても「何でうちに電話してきたのですか?」と言われた。元でも というところまで取り合ってもらえませんでした。一般家庭からしてみたら、弁護士が見つからないのはかなりの心労です。どうかこの辺をもっとなんとかして下さい。

もうすぐ 年になります。がまだ自分の中の泥沼から出る事が出来ません。事件の真相を知らない人に最初から説明する気持ちなどもせず、分かってくれてる人が何か精神的なフォローをして頂けたら私自身救われるような気がします。仕事はしておりますが、何かある度に胸が締め付けられるように苦しくなります。夜は薬を服用して眠り、このまま目が覚めなければ楽になれるのにと毎日思います。こんな事には警察の手は貸してもらえないのでしょうか。生活の為にも仕事はしなくてはならず、気持ちの休まることはありません。

年 月に被害を受けました。その後似顔絵作成にも協力し、何回も事件の話させて頂きました。支援のパンフレットを頂きましたが簡単に説明されただけでよくわからなかったです。自身で電話で問い合わせしたりして給付金等の手続きをしました。もう少し警察の方から詳しい説明が受けたかったです。それに今、私の事件捜査がどうなっているのかとか本当に捜査されているのかとか全然わかりません。捜査されていないのならばそう言ってほしいし、早く解決してスッキリしたいのですがなかなかそうはいきません。私は被害にあうまでは元気に働いていたので現在病気になり無職になってしまったことは辛いです。

私としては の寮に世話になっておりましたので、 からの保障が多少あると思っていましたが、 も被害者でしたので保障もなく途方に暮れていました。そんな時警察の口から支援して下さいということではほんとに安心致しました。ですけど治療費だけということでした。でもこの保障がなかったらと思うとこれ以上の贅沢はできません。

私は犯罪者とは住居が で約 位のところにあります。犯罪者は裁判の法廷で刑期を終わったら今のところへ帰って住むと言った。また、罪に対して反省する態度は全くなく、再犯が心配です。犯罪者の身内は今後の対策をとる気持ちが全くありません。警察に何度か相談へ行っただが、弁護士に相談をと言われる。被害者の身になる対策内容が欲しかった。

事件があった場所と住んでいる場所が近い。できれば最初事件が起きた管轄で最初から最後まで行ってほしいと思いました。事件が起きた所のほうが事情がわかっており話しやすいけど、住んでいるところにいくとまた最初から説明しなければならない。また、事件になったら加害者には国選弁護士がつくのに、被害者には本人が相談しないと何も無いのはおかしい。

警察の方々はとても事件後親身になって下さりました。病院の方へも一日何回か来て下さり、
の容態等心配してくれました。精神的にも楽になりましたが、
が亡くなった後は裁判の進み方や弁護士さん等、市から自分自身で手探り状態で大変苦労しました。何よりも
が亡くなったことへのショックや、まわりの人々の目など精神的に落ち着かない状態では民事裁判まで時間がかかってしまいました。もう少し踏み込んだところまでサポートしてくれると助かります。

支援して頂き大変感謝しています。遺児に対し奨学金制度もあり助かりました。国の保護の基、毎日生活できる事を実感しております。今後残された遺児を人の役にたつ立派な人に育てていこうと思いました。頑張っ生きていこうと思います、ありがとうございました。

裁判が知らない間に終わっていた。(連絡がなかった)相手が死亡していてその場にはいないので加害者の意見だけで終わってしまった。犯罪被害による支援がある事を誰も教えてくれなかった。自分で調べてなんとか給付金を受け取る事が出来たが、
さんがとても心配してくれ、その方のお陰で今回給付金を受け取る事が出来たと思っている。

警察の方がいたから犯人を捕まえる事が出来た事に関しては感謝している。しかし被害者の遺族や被害者の恨みは絶対死ぬまで消えないと思う。もっと法を厳しくして欲しい。もっと厳罰を与えてほしい。警察からの支援で感じた事は、犯人を捕まえる事だけが仕事じゃないんだなとこの調査の内容で分かった。もっと積極的に被害者や遺族にこんな支援があるんだよと伝えるべき。

事件直後より月日又はこの被害者支援制度を紹介頂き、最近前向きに判断できるようになりました。

担当者には随分気を使って頂き、丁寧な対応をして頂いた。この点は感謝している。しかし、事件の詳細や犯人の供述内容については殆ど知らされてなかった。情報の漏れを防ぐためとは思いますが、被害者遺族にとっては蚊帳の外に置かれた気分だった。遺族に対してももっと情報を提供してもよいと思う。遺族を被害者に関する情報提供者としてのみ扱うのは問題である。

このアンケートそのものが無意味と思います。何故ならこれは被害者と遺族が同じ地域で生活し、事件が起こったと想定していると考えられるからです。私の事件は
でおこり、遺族の私は
に住んでいます。事件当時、
にて被害者の葬儀の間に検察官より調書をつくって下さいました。警察調書は
の警察署は借りて警視庁より刑事が出向いて来て作って下さいました。こんな中、どこの警察が支援など教えてくださいませんか？警察が支援をする気があるのなら警察庁が各県の縄張り意識をなくしてほしい。なぜ対応してくれなかったのか、このアンケートにはその様な事が考慮されているとは思えない。

私の場合は当面の生活や入院中の身の回りの世話等に関しては身内や貯えや保険もあり困りませんでした。老人等ではもっと大変だと思いますので、手続きの相談や代行をして頂ける方の派遣など、又支給されるまでの時期短縮や仮払い等も必要かもしれないと思います。

被害者支援室があるという事は知らなかったが、実際自分が被害者となった場合の安心感は想像以上のものがあった。今後同様の方が存在する場合、・マスコミ対応・経済支援 の充実があればさらによいものになると思う。

係りの方の対応が良好で被害者支援の施策を有りがたいと思った。

こんなに支援が有る事を全く知らなかった。自分の家にはPCがないから知人が色々な事を教えてくれた。もっと支援について知りたいと思いました。

加害者が生活保護などの場合、やられ損。給付金、公費で安心して入院通院等出来たらよいと思います。それでも家族に迷惑をかけるのですから。

臨床心理士の 先生を紹介して下さいまして、ありがとうございました。話しを聞いて頂いて心が少し落ち着きました。

今回犯罪被害者支援室の方々には大変お世話になり、感謝しております。私達の場合は、事件直後からマスコミでも大きく報道された事もあり、捜査状況を逐一知ることができ、警察の方にも手厚いご支援を頂くなど、犯罪被害者としては恵まれていたと思います。他の犯罪被害者の方々に対しても、私達と同じような支援が行き届くよう願っております。

<被害者支援策～犯罪被害者等給付金について>

給付金はありがたく感じました。

犯罪被害者等給付金をいただける事になりありがとうございます。お世話になりました。

特に給付金の申請の際、電話・面接にて何度かやりとりをしたのですが、もう少し配慮があればと感じました。書類など、いくつか求められたのですが、私に限らず被害者の状況（被害の大小問わず全ての方に同様の対応されるのであれば疑問ですし、逆に状況により対応が変わるのであればそれも疑問として残ります。支援していただく為に、今回やりとりも含め、少し負担が大きかったように思います。初診料負担等の制度を知りません。また、給付金支給に関する手続きに要する費用等、個人の負担に対する予めの説明、制度不足。結果、私の状況では多大な費用・時間を要しました。

本当に給付金の支給には感謝しております。ありがとうございました。ただ、ほとんどの支援の内容等を知らないでいました。被害に遭い、たまたま司法に明るい知人が居たからこそ、ねばり強く請求が出来たと言っているのが現実です。「何でも相談できて、弱い立場で助けてもらえる所」と思って頼った省察の門でしたが、現実とは違う事だらけでした。給付決定までに3年以上の年月がかかり、経済的にも精神的にも、正直限界の所までできていました。

相手側からの損害賠償など一切ない為、被害者給付金制度がある事を知れて良かった。

犯罪被害者等給付金支給が有り、とても助かりました。有難うございました。

にあって来月がくると、 年になります。 ヶ月間、 を一人にして、とても悲しく、長く感じました。 夫婦と 夫婦をまきこんで大変でした。「一生、杖をついていなさい」と院長先生の言葉を守っています。 のきずなを強くして、地域の皆様の優しさも知り、頑張っています。警察の方たちも、親切にして戴いて感謝しています。又、この度は沢山の給付金を戴くことになり、真にありがとうございます。昔の明るい元気な私になれそうです。犯罪被害者等給付金制度など、おしえてもらい、ほんとうに助かりました。障害が残ったため、これからの生活の費用が少しでも楽になります。 しかし色々な支援があるのに、知らない方が多いので、もっと積極的におしえてほしいです。

申請の書類について。何度も訂正及び補足する書類の提出を求められた。仕事を割いて手続きをした後に、何度も手を"わずらわせる"結果となり、一度は「申請を取り下げます」と担当者に伝えた程である。厳正な審査の上で必要なこととは思いますが、なるべく簡便な申請方法の再考を期待している。

犯罪被害給付制度によって経済的負担が軽くなりました。精神的に立ち直るには、まだ時間がかかりそうですが、前向きに頑張っていこうと思っています。経済的な苦しさは続くと思いますが、支給裁定していただいた給付金を大切に使いながら、一步一步前に進んでいきます。有難うございました。

増加する凶悪かつ無差別な犯罪で現状の給付金制度では将来的に財政を圧迫するのでは？被害者・遺族へのメンタル面の長期的サポートなど給付金以外の支援を充実してほしい。申請から裁決までにかかる時間が長い。

申請から給付金の支給までの期間が長い。(月に申請～ 月に裁定結果) 警察のほうで用意してくれていた、社会保険事務所に記入してもらうように言われた「高額療養費等の支給状況調査票」は社会保険事務所では認知されておらず、別の申請用紙を送ってもらい、記入して送り返して...など手間がかかり、地元の警察署にも何度も足を運び、この制度の「被害を受けたことによる経済的・精神的な負担を軽減する」に反すると思う。被害者やその家族にしてみれば、事件の事は忘れたいし、思い出したくないものです。被害者やその家族がこの制度をいくら知っていても、各省庁、病院、その他関係機関に認知されていなければ、手続きがスムーズに進みません。これからの「警察」の努力に期待します。

事件は 内で発生しましたが の警察の方々、地元、 警の方々も非常に親切に接していただき、心より感謝致しております。ただ、一つだけ申し上げたい事は今般犯罪被害者等給付金支給裁定通知書を本日いただきましたが、事件発生より約 年近く経過致しております。あまりにも長いと思います。もう少し早く処理していただければ良かったのにと感じております。

私は給付金を申し込みましたが、判決までに長い期間待ちました。私達のように、急に家族が亡くなってしまった家庭のためにも、早めに判決して頂ければ...と思います。何の事件であっても、残された方々のためにも、給付金を減らしたりと、一定の金額にした方がイイと思います。今回担当して頂いた方は、とても素晴らしいと思います。私達のために動いて頂き感謝しています。

給付金の支援はとてもありがたいが手続きに手間と時間がかかりすぎる。支援の事なども警察の人は何も教えてくれなかったしちょっとその点が不親切。裁定審査がすんでからはとてもよかった。担当の方がとても親切だった。事件担当の刑事は最悪だったけど給付担当の方はよかった。

被害者支援について、よもや自分がその立場に立つとは全く思っていなかったもので、事件の性質上、金銭的な援助を頂いたことは、本当に有難かった。(金額の多寡は別として)警察の対応も十分満足している。

犯罪被害者等給付金をもらうのに時間がかかる。すぐに支払わないなら何らかの形で支援をしてほしかった。一人で生計維持するのはたいへんです。

もう少し支援の手続きが簡単で、給付金の支給がもう少し早いと助かる。

給付金がもう少し早く認定され、給付されると良いと思います。傷害にあってから病院、施設と日々お金のかかる事ばかりで体の心配やお金の心配、裁判の心配と心労が重なります。被害者にとっては切実な思いです。

今回 が亡くなりました。 とは が 歳のときに離婚し、それ以降は一切の養育費もなく、一人で育ててきました。困ったときもなんの手助けも無く。この度遺族給付金を頂ける事になりとてもありがたく思っています。ただ、これを何もしてもらってない と半分づつであるのは納得がいきません。いくら血がつながっているとは言え、葬式、お墓の一切を私が行い、葬式へ親面とし顔を出すものの一切何もなく、一円もしてくれる事は無い上に給付金が相手にはいるのは本当に腹立たしく思います。こんな思いをされている方は多いと思います。もう少し給付金のあり方を考えて欲しいです。今後もこの様な思いの方はいると思います。給付金の判定を兄弟が別れて住んでいる場合、それぞれの件の公安委員会が別々に検討するのは無駄ではないですか？被害者の住所か事件のあった県の公安委員会でまとめて判定した方が無駄が無いと思います。

今回被害者給付金を受けて故人を墓に埋葬する事が出来、昔からの荒れ放題の墓も新しくすることができ、大変感謝しています。ありがとうございました。

病院代（犯罪被害者等給付金の額）のみ支払裁定されました。後遺傷害の請求しましたができないとのこと。民間関係の保険会社からは後遺障害の認定を受けました。残念です。

給付金、時間かかりすぎる。説明不足。

事件にあって初めて刑事・検事と接点を持ちましたが、本当に親切丁寧な対応には感謝しました。しかし、給付金が下りるまでの約 年半は長すぎると思います。その間何度も何度も事件の事を思い出してしまいます。

が 事件に遭遇し、仕事ができなくなり住宅ローンが支払えなくなりました。そして入院費も払えませんでした。加害者とは連絡が取れず、その家族からも逆に文句を言われ、精神的にかなりのダメージを受けましたが、今回被害者給付金をただけて生活ができるようになりました。

私は初めて顔も知らない人に暴行を受けました。その後、病院に入院し、手術までに至りました。今でも暴行を受けた顔が痛くて眠れない日が続いています。一度給付金を支給されると後遺症が発生しても給付金が支給されません。その本人はその痛みと悲しい思いを再び感じなければなりません。

事件が起きて、 年以上給付金が出ないのは遅すぎる。何の為の給付金かわからない。事件の内容もこちらから聞かなければわからないのはおかしい。せめて被害者側には連絡して欲しいと思う。

警察の方には大変お世話になりました。遺族給付金の手続きがあまりに長くてもう少し早くできないのですか。支給が忘れかける位長いにはびっくりしました。遺族としては1日でもすっきりさせ様と思いながら毎日暮らしています。国の方でも少し考えて頂きたいです。

「犯罪被害者給付金」について。今回実際に裁判所や警察等への手続きや全て事件に関わる事項を行ったのは被害者の ですが、申請順位が被害者の が上で放棄して へ権利が移る事はないとのことなので別居してかなり時間がたった現在は全く別々の生活をしている が申請せざるを得なくなった。今回は憔悴きった の姿に少しでも力になればと思ったうえで申請でしたが、離婚率があがっている現在、この制度を本当に必要としている方々に直接きちんと届くように出来ないのでしょうか。

犯罪被害者支援の事を担当の警察官から教えて頂き、やられ損ではなく重傷給付金を頂き、非常に助かりました。

お役所仕事なので致し方ないが時間があまりにもかかり過ぎる。事件直後に金銭的に一時的に保障する等スピードが必要。保障されないよりは良いが忘れかける程時間が過ぎた後に金銭的保証が有るのは・・・

時間がかかりすぎる。私の場合 年半もかかった。

「犯罪被害者給付金制度」を見ますと、「申請の手続き」の段階で例えば被害を負った地と給付申請者の住居地について両者に隔離があった場合、被害地での事件処理警察署が当時の事件について当時の状況を詳しく知っている立場でありますので、申請の受付等は申請者の住居地管轄の地元警察でもよいと思われそうですが、その確認等を行う行為につきましては被害地を管轄する警察や公安委員会で実施されますといわゆる裁定までの時間の短縮、見落としの減少ひいては事務が円滑に進むと思いますので、検討していただけるような機会がありましたらよろしくをお願いします。

手続きが面倒である。もっと簡素化して欲しい。何度も足を運ばねばならない。加害者の罪をもっと重く、2度と起こさせない様にしてもらいたい。

<その他>

この度は沢山の方にご面倒おかけしました。ありがとうございました。

この様なことが家族・姉妹・親戚等にならない様に祈っています。

事件の場所より自宅が遠方のため内容がいまいち伝わらないので親類の方でいろいろ教えてもらった。

お世話をして頂いたことを感謝しています。

心強かったです。

こんな事件がないように願っています。おそろしいです。

このアンケートで初めて知った事もあるけれど、当時の刑事さん方にはとても感謝している。何から何まで気遣ってくれていた。もしこのアンケートが今後、何らかの被害に遭われた方の役に立つなら本当にうれしい。今、思い返してみても、あの刑事さん方の気遣いや支援がなかったら、今の自分はなかったと思う。本当に全力投球してくれていたように思う...他にも色々な事件を抱えていたであろうに...。もし今後何かの被害に遭われた方には、怯えずに警察に届け出をする事を、出来るなら警察側からTVのCM等を使ってアピールして欲しい。HPや冊子では、子供やお年寄りが見にくい媒体だと思うから。それに、ただでさえ、「警察」という機構自体に不信感や恐怖心を持っている人が多いと思うから。

突然のことでパニックってしまいました。主人が近くの病院に連れて行ってくれました。110番、119番に電話をかけることもできなかった。

犯人が現在どの様な心境にいるのか？なぜ殺人を起こさなければならなかったのか真実が知りたい。裁判で真実がわからなかったのが非常に不満です。被害者の人権（元にもどらない）を最優先すべきである。

今後の捜査や検挙状況など、今後も知りたい。

私の が殺人事件に巻き込まれ殺されました。 も 年前に他界しましたので、身内が誰もいなく住んでいた借家も立ち退くはめになりました。犯人は親の知り合いで、 である私には何の責任も無いのに、なぜ憎しみや苦しみ、それに借金などを背負わなくてはいけないのか。私生活全てが変わってしまった現状、残されたのは犯人に対する憎しみだけでした。もちろん警察の方に何度も相談しましたが、自分の気持ちが押さえきれない毎日を送っています。今回、犯罪被害者給付金を頂く事が決まり多少なりとも心の痛みは和らぐかも知れませんが、憎悪や孤独感は生涯抜けません。事件が解決した後でも警察の方と容易に話し合いの場があれば被害者側も気持ちの整理が楽になると思います。(いくら警察の方に相談しても私の不幸が解らない方は、業務上聞いているのだとしか思えません。)最後に私が立ち直れたのも親密になって支えてくれました 警察署の のおかげです。

市や県の県警の方には、お世話になり、ありがとうございました。今、治安が悪くなって来ているのに、現場の警察の人員等不足しているのも大きな問題です。被害者支援も、もちろんですが、普段からの予防的な対策がもっと必要と思います。人権・法運用等の問題もあるとは思いますが、本来、日本はもっと安心して住める国ではなかったでしょうか。

いろんな意味で残念です。

事件後、まだまだ不審者を見受けます。ご多忙で大変な事と存じますが、パトロール(パトカー)が時々通るだけで不審者が減って参りますので、パトロールの出動をお願い致します。

私は過去に置引きに遭い、キャッシュカードで 万円ほど盗まれました。キャッシュディスプレイの防犯カメラに犯人が映っているのに犯人は捕まっています！警察で無理なら私立探偵等に頼むから、防犯カメラのビデオをダビングして渡して欲しいとお願いしたのですが、それは出来ないと言われました。どういう事でしょうか！早く捕まえる！

被害にあったのは で 才でした。何の保障も謝罪もありません。後 ヶ月で時効です！

事件当時は、気が混乱してしまい何をどうしていいのかわからずにいましたが、警察の方のお陰で少しずつ気持ちも治まる事が出来ました。あれから何年か経ちますが、まだ犯人に対しての懲役刑に納得が出来ません。私たちの一生の心の苦しみ、そして人の命の尊さを、罪を犯した人に思い知らせて下さい。お願い致します。

早急な対応をして欲しいです。加害者は社会に出てきてはいけません。保障は加害者がするようして下さい。全ての加害者に人として扱うのはおかしいです。加害者は死んでください。こんな社会では事件は今後も必ず増えますよ。

警察はよくやってくれたと思っています。でも今もこれからもただただ残念で悔しいだけです。

が不憫で可哀想で。私たちの心の傷は永久に癒えません。殺した犯人も自殺してしまった以上、どこに怒りの矛先を持って行けばいいのでしょうか。生きていれば死刑にして欲しい。死刑廃止など論外です。最近凶悪犯罪が増えています。ただただ犯罪が無くなることを祈るだけです。

支援についてはただ一言。「国民の血税から支払われているので、即、支給というものではありませんので・・・」との言葉がありました。「うちだって税金を払っている！一度だって滞納なんかしていない！」と心の中で叫んだ。支援とは関係ないのですが、自分が被害者遺族となり、今までとは違う観点で事件を捉えるようになりました。ブログの「2チャンネル」とやらは悪質極まりないもので、被害者側にとっては許しがたい第2の心の犯罪とも言え、厳しく取り締まって欲しい。それと、「仏の顔も三度」という言葉があるように、「前科3犯＝無期懲役」、「終身刑」という制度でもない限り、同様の犯行が減らないのではと感じながら毎日事件報道を見えています。

親切に接していただいた警察の方ばかりでしたが事件の事を思い出したくないので偶然出会った時に息が苦しくなりました。

この度の ですが、世間では珍しくない事でも私には という事故で犯人がわからないうえ、又どこかでこの様な事何回も引き起こしてくれたら困ります。手に持つか肩からさげていたら事故にならなかったでしょうが、たすき掛けにしていたばっかりに引き倒されました。残念です。いつかどこかで捕まる事のみお祈りしています。

未来ある若くして障害残る大けがを負わせられてしまったのに、当然加害者が保障すべき事をしないのうのうと生活していると思うと、許せない気持ちでいっぱいです。大切な国のお金を頂き、すごく感謝していますがこれから先の生活が心配でたまりません。

に傷跡が残り、不運の思いは消える事がありません。相手の はおそらく働く場もなく、家庭もなく、生活しているのではないかと思います。なんとか正しく生きれるようご指導くださる事を望みます。

1、判決から見ますとどうして被害者の命より加害者の命の方が重いのでしょうか。いまだに理解できません。2、警察等から郵便物が届きます。周囲の方々に神経を使っていますのでさらに気が滅入りました。

事件から 年経つが犯人は私の家を知っているので気が気でない。実刑で 年 力月の刑が下がっているのは知っているが、いつからいつまで入所したのかも、また今どこで何をしているのかも知らないで怖くて仕方がない。犯人が保護されて守られている、というのはどう考えても不条理で に説明も出来ない。犯人を恐れている はひきこもったままで私から離れない。色んな支援がHPで知らされているのも今初めて知り、腹が立っている。もし犯人が目の前に現れたら即刻殺してやるつもり。

初めての経験なので、戸惑う事が多かった。警察の方と家族が話し合って支援策を進めてくれて助かった。事件前は一人暮らしだったが、今は家族と同じ屋根の下で安心して暮らせるようになった。事件を防ぐ体制を地域と警察で協力しあって安全な生活環境を作る事が犯罪を防ぐ。事件後鍵はしっかりかけるようになった。防犯ライトを自宅の暗い場所に付けたが犯人に狙われたらどうにも逃げ切れないと思う事がある。

突然の災難で を失い、頭がパニックになり状況を判断する事もできませんでした。また、多くのマスコミが家まで押し掛けて2重の災難でした。(マスコミ取材という名目のあつかましさは、まさに凶器のようでした。)

警察では親切に接して下さいました。事件の後は被害者家族である私達がどう行動していったらいいのか、何か事件のことでできる事はないのか、ただ何もしないでいいのかと、そればかり感じてストレスとなっていました。私達は自分たちの判断で法テラスを利用しました。

色々お世話になりましたありがとうございました。

【別添】使用調査票

別添 1 使用調査票

「犯罪被害者支援に関する調査」についてのご説明

この調査は無記名で行われます。したがって、回答内容から個人を特定することはできませんし、事件を担当した警察署にその内容が伝わることはありませんので、安心してご回答ください。

回答結果は専門の学者と警察庁及び科学警察研究所が共同で行う研究分析と今後の被害者支援の施策の向上のためにのみ使われ、その他の用途に用いられることはありません。

被害者の方々には辛い体験についてお聞きすることになりますが、被害者の立場を踏まえた支援のあり方などを考え、改善方法を探るための調査ですので、是非ご協力のほどお願い申し上げます。

回答は自発的な意思に基づくものです。回答したくない場合や、調査の趣旨に同意していただけない場合は、回答しなくても構いません。また、回答できる部分のみ回答していただいても構いません。回答しないことにより、今後の警察との対応などで不利益を受けることは一切ございませんので、無理のない範囲でご回答ください。返信をもって、調査への同意とさせていただきます。

また、この調査は3か年継続して実施されるため、調査結果公表時期等は平成21年度末を予定しています。

犯罪被害者支援に関する調査研究

調査企画会議座長 常磐大学教授 富田信穂

アンケートのご記入と返送方法について

アンケートの記入の仕方

- ◇ アンケートは全部で18ページあります。最初のページから順番にお答えください。
- ◇ 各設問について、あてはまる番号に をつけてください。設問によって、1つだけ をつけていただくものと、あてはまる番号(記号)すべてに をつけていただくものがあります。
- ◇ 設問によっては、()内や 内に数字や回答のご記入をお願いする部分があります。
- ◇ 途中、回答によって次にお進みいただく設問が変わる所がございます。矢印等の指示にしたがってお進みください。

調査票の返送について

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**お受け取りになってから一か月以内をめぐにご投函くださいますようお願い申し上げます。**

ご不明の点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

調査についての質問がある方はこちらまでお問い合わせください

東京都千代田区霞ヶ関2 - 1 - 2

警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者対策室

電話 03 - 3581 - 0141 内線2821又は2826

FAX 03 - 3580 - 1009

まずあなたまたはご家族が遭われた被害のことについておたずねします

以下の質問については、あなたまたはご家族が犯罪被害者等給付金を請求する原因となった犯罪被害についてお答えください。

F 1 あなたまたはご家族が遭われたのはどのような被害でしたか。(は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1 殺人による被害 |
| 2 暴力による被害(強盗・傷害等) |
| 3 性犯罪による被害(強姦・強制わいせつ等) |
| 4 その他(具体的に: _____) |

F 2 犯罪に遭われたのはあなたご自身ですか、それともご家族の方ですか。(は1つ)

- | | | | |
|-------|-------------|--------------|-------------|
| 1 ご自身 | F 4へお進みください | 2 <u>ご家族</u> | F 3へお進みください |
|-------|-------------|--------------|-------------|

【F 2で「2.ご家族」を選んだ方のみお答えください】

F 3 あなたは、今回犯罪に遭われた方から見て、どのような関係ですか。(は1つ)

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 配偶者 | 5 祖父母 |
| 2 父母 | 6 孫 |
| 3 兄弟姉妹 | 7 その他(具体的に: _____) |
| 4 子 | |

【F 4～F 6は全員お答えください】

F 4 被害に遭われた方と加害者は面識がありましたか。(は1つ)

- | |
|--------------------|
| 1 まったく面識がなかった |
| 2 顔見知り程度 |
| 3 よく知っていた |
| 4 わからない |
| 5 その他(具体的に: _____) |

F 5 被害に遭われた方と加害者はどのような関係でしたか。(は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 まったく無関係の人 | 5 家族、親族 |
| 2 同じ職場、学校等に通っている人 | 6 わからない |
| 3 近所、地域の人 | 7 その他(具体的に: _____) |
| 4 友人、知人 | |

F 6 あなたまたはご家族が被害に遭われてからどれくらい経ちましたか。

枠内に数字をご記入ください。

□	□	年	□	□	ヶ月
---	---	---	---	---	----

警察が行っている主な支援についておたずねします

以下の(1)～(14)は警察が行っている主な支援です。
それぞれの支援に関しておたずねします。

(1) 刑事手続(事件の捜査、裁判など)がどう進められていくのか、どのような支援を受けられるのかなど、犯罪被害に遭った被害者や遺族の方が必要とする情報をパンフレット(被害者の手引)にまとめています。

(1-1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(1-2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

<p>1 利用した</p> <p style="text-align: center;">↓ 利用した方におたずねします(1-3, 1-4)</p> <p>(1-3) どのくらい満足しましたか (は1つ)</p> <p>ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった</p> <p>(1-4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)</p> <p>ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に:) シ おぼえていない</p>	<p>2 利用しなかった</p> <p style="text-align: center;">↓ 利用しなかった方におたずねします(1-5)</p> <p>(1-5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)</p> <p>ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから オ 自分の力で回復できと思ったから カ 特に理由はない キ その他(具体的に:)</p>
---	---

(1-6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(2) 事件の捜査の進み具合や加害者を逮捕したか、裁判にかかるか、などについて、警察職員が被害者やご遺族の方へ説明、連絡しています。

(2 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした 1	やや必要とした 2	どちらともいえない 3	あまり必要とし なかった 4	必要としなかった 5
------------	--------------	----------------	----------------------	---------------

(2 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

<p>1 利用した</p> <p>↓ 利用した方におたずねします(2 - 3 , 2 - 4)</p> <p>(2 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)</p> <p>ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった</p> <p>(2 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)</p> <p>ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない</p>	<p>2 利用しなかった</p> <p>↓ 利用しなかった方におたずねします(2 - 5)</p> <p>(2 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)</p> <p>ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用にかかる時間が負担に感じたから カ 被害について何度も説明したくなかったから キ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから ク 自分の力で回復できと思ったから ケ 特に理由はない コ その他(具体的に：)</p>
--	--

(2 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(3) 殺人等の故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた方のご遺族や、障害が残った被害者の方、重大な傷病を受けた方に対し、一定の場合に、国から給付金が支給されます。

(3 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした 1	やや必要とした 2	どちらともいえない 3	あまり必要とし なかった 4	必要としなかった 5
------------	--------------	----------------	----------------------	---------------

(3 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

<p>1 利用した</p> <p>↓ 利用した方におたずねします(3 - 3 , 3 - 4)</p> <p>(3 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)</p> <p>ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった</p> <p>(3 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)</p> <p>ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない</p>	<p>2 利用しなかった</p> <p>↓ 利用しなかった方におたずねします(3 - 5)</p> <p>(3 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)</p> <p>ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる時間が負担と感じたから キ 被害について何度も説明したくなかったから ク 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから ケ お金で回復することではないと思ったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に：)</p>
--	---

(3 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(4) 犯罪に遭われて病気やケガをされた方に対して、診断書料や初診料などを公費で負担する制度を進めています。

(4 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした 1	やや必要とした 2	どちらともいえない 3	あまり必要とし なかった 4	必要としなかった 5
------------	--------------	----------------	----------------------	---------------

(4 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

<p>1 利用した</p> <p style="text-align: center;">↓ 利用した方におたずねします(4 - 3 , 4 - 4)</p> <p>(4 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)</p> <p>ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった</p> <p>(4 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)</p> <p>ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない</p>	<p>2 利用しなかった</p> <p style="text-align: center;">↓ 利用しなかった方におたずねします(4 - 5)</p> <p>(4 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)</p> <p>ア 自分の被害と支援内容と関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる時間が負担と感じたから キ 被害について何度も説明したくなかったから ク 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから ケ お金で回復することではないと思ったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に：)</p>
--	--

(4 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(5) 性犯罪の被害に遭われた方に対して、緊急に避妊する費用等を公費で負担する制度を進めています。

(5 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(5 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(5 - 3 , 5 - 4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(5 - 5)
(5 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(5 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる時間が負担と感じたから キ 被害について何度も説明したくなかったから ク 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから ケ お金で回復することではないと思ったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に :)
(5 - 4) その支援を誰から(何から) 知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に :) シ おぼえていない	

(5 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(6) 犯罪被害に遭われて亡くなられた方のご遺族に対して、司法解剖後のご遺体を搬送する費用や司法解剖の傷跡を目立たないようにする費用を公費で負担する制度を進めています。

(6 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(6 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(6 - 3 , 6 - 4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(6 - 5)
(6 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(6 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる時間が負担と感じたから キ 被害について何度も説明したくなかったから ク 被害について他人にはできるだけ知られなくなかったから ケ 亡くなられた方の姿を他人にできるだけ見せたくなかったから コ お金で回復することではないと思ったから サ 自分達で対処できると思ったから シ 特に理由はない ス その他(具体的に :)
(6 - 4) その支援を誰から(何から) 知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に :) シ おぼえていない	

(6 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(7) 被害者の方が安心できるような内装の部屋で、事情聴取などを行うよう努めています。

(7 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした 1	やや必要とした 2	どちらともいえない 3	あまり必要とし なかった 4	必要としなかった 5
------------	--------------	----------------	----------------------	---------------

(7 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した ↓ 利用した方におたずねします(7 - 3 , 7 - 4) ↓ (7 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	2 利用しなかった ↓ 利用しなかった方におたずねします(7 - 5) ↓ (7 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる費用が負担と感じたから キ 利用にかかる時間が負担と感じたから ク 被害について何度も説明したくなかったから ケ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に :)
(7 - 4) その支援を誰から(何から) 知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に :) シ おぼえていない	

(7 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(8) 現場では、外から中の様子が分からないようにしたワゴン車を活用するなどして、被害者の方のプライバシーに配慮した事情聴取等を行うよう努めています。

(8 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(8 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(8 - 3 , 8 - 4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(8 - 5)
(8 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(8 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる費用が負担と感じたから キ 利用にかかる時間が負担と感じたから ク 被害について何度も説明したくなかったから ケ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に：)
(8 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない	

(8 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(9) 性犯罪の被害に遭われた方に対して、被害者の方が望む性別の警察官が、事情聴取や被害者の方への連絡などを行っています。

(9 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(9 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(9 - 3 , 9 - 4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(9 - 5)
(9 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(9 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる時間が負担と感じたから キ 被害について何度も説明したくなかったから ク 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから ケ 自分の力で回復できと思ったから コ 特に理由はない サ その他(具体的に：)
(9 - 4) その支援を誰から(何から) 知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない	

(9 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(1 0) 捜査の担当とは別の警察職員が、事件発生直後から、身の回りの世話や病院、実況見分等への付き添いなどを行っています。

(1 0 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(1 0 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(10-3, 10-4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(10-5)
(1 0 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(1 0 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる費用が負担と感じたから キ 利用にかかる時間が負担と感じたから ク 被害について何度も説明したくなかったから ケ 被害について他人にはできるだけ知られたいくなかったから コ 警察の人とできるだけ接触したくなかったから サ 自分の力で回復できると思ったから シ 特に理由はない ス その他(具体的に：)
(1 0 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない	

(1 0 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(1 1) 大きな精神的被害を受けて、専門的なカウンセリングが必要なときに、専門的知識のある警察職員がカウンセリングを行っています。

(1 1 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(1 1 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(11-3, 11-4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(11-5)
(1 1 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(1 1 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる費用が負担と感じたから キ 利用にかかる時間が負担と感じたから ク 被害について何度も説明したくなかったから ケ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから コ 警察の人とできるだけ接触したくなかったから サ 自分の力で回復できと思ったから シ 特に理由はない ス その他(具体的に：)
(1 1 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない	

(1 1 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(1 2) 専門的な精神療法や心理カウンセリングの必要があると思われる場合に、警察が精神科医や心理カウンセラーを紹介しています。

(1 2 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(1 2 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(12-3,12-4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(12-5)
(1 2 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(1 2 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる費用が負担と感じたから キ 利用にかかる時間が負担と感じたから ク 被害について何度も説明したくなかったから ケ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に：)
(1 2 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない	

(1 2 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(1 3) 電話や面接による相談、病院や裁判所等への付き添いといった支援を行う民間被害者支援団体を、警察は紹介しています。

(1 3 - 1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(1 3 - 2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(13-3,13-4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(13-5)
(1 3 - 3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(1 3 - 5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気力がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 手続きが面倒だったから オ 利用のための移動が負担と感じたから カ 利用にかかる費用が負担と感じたから キ 利用にかかる時間が負担と感じたから ク 被害について何度も説明したくなかったから ケ 被害について他人にはできるだけ知られたいくなかったから コ 自分の力で回復できると思ったから サ 特に理由はない シ その他(具体的に：)
(1 3 - 4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に：) シ おぼえていない	

(1 3 - 6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

(14) 警察のホームページで情報提供を行っています。具体的には、犯罪被害に遭われたときに、被害者やご遺族の方がどのような支援を受けることができるかなどを、広く知らせています。

(14-1) 被害後、あなたはこの支援を必要としましたか。現在から振り返ってお考えになり、必要としたかどうかをお答えください。(は1つ)

必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった
1	2	3	4	5

(14-2) 被害後から現在までの間に、あなたはこの支援を利用しましたか。(は1つ)

1 利用した	2 利用しなかった
↓ 利用した方におたずねします(14-3,14-4)	↓ 利用しなかった方におたずねします(14-5)
(14-3) どのくらい満足しましたか (は1つ)	(14-5) 利用しなかったのはなぜですか (はいくつでも)
ア 満足した イ やや満足した ウ どちらともいえない エ あまり満足しなかった オ 満足しなかった	ア 自分の被害と支援内容が関係なかったから イ 利用する気がなかったから ウ 教えてくれる人がいなかったから エ 利用にかかる時間が負担に感じたから オ 被害について何度も思い出したくなかったから カ 被害について他人にはできるだけ知られたくなかったから キ 自分の力で回復できると思ったから ク 特に理由はない ケ その他(具体的に:)
(14-4) その支援を誰から(何から)知りましたか (はいくつでも)	
ア 警察職員から イ 「被害者の手引」から ウ 警察のホームページから エ 検察官・弁護士から オ 家族・親族から カ 友人・知人から キ 新聞・テレビ・ラジオから ク 本・雑誌から ケ インターネットから コ 被害者支援団体の人から サ その他から(具体的に:) シ おぼえていない	

(14-6) あなたはこの支援について知っていましたか。(は1つ)

1 被害に遭う前から知っていた	2 被害に遭った後に知った	3 現在まで知らなかった
-----------------	---------------	--------------

今後必要だと思われる警察の支援についておたずねします

- (1 5) ご自分の経験から考えて、これから他の被害者の方が被害から回復するためには、警察からのどのような支援が必要だと思いますか。以下の支援から特に必要だと思うものを3つまでお答えください。(は3つまで)

1 支援内容についての情報提供
2 捜査や検挙状況についての情報提供
3 裁判の進み具合や傍聴方法についての情報提供
4 給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和
5 性犯罪や交通事故、少年犯罪など、被害の特徴にあわせた詳細な支援体制
6 捜査中の被害者のプライバシーの保護
7 精神科などの医療機関の紹介
8 警察職員のカウンセリング体制の充実
9 病院への付き添いや書類提出の代理などの補助
10 食事や買い物などの身の回りの補助
11 家族の介護、子どもの世話等、同居している家族の世話への補助
12 マスコミなど報道機関への対応の支援
13 弁護士や弁護士会についての情報提供
14 民間の被害者支援団体（被害者を支援する機関）の紹介
15 民間の被害者団体（同じ犯罪に遭った被害者が集まる場を提供する機関）の紹介
16 その他（具体的に： _____ ）

最後にあなたご自身のことについておたずねします

F 7 事件の直後と比較して、あなたの今のお気持ちがどの程度あてはまるかをお答えください。
(それぞれ は1つ)

		そう 思う	う や や そう 思	い え な い	ど ち ら と も	あ ま り そ う 思 わ な い	い そ う 思 わ な い
(それぞれ は1つ)							
1 加害者への恐怖心が減った	1	2	3	4	5		
2 安心感を抱いた	1	2	3	4	5		
3 気が楽になった	1	2	3	4	5		
4 混乱や恐怖がやわらいだ	1	2	3	4	5		
5 孤独感や疎外感が強まった	1	2	3	4	5		
6 自分を理解してくれていると感じた	1	2	3	4	5		
7 自分に自信が持てるようになった	1	2	3	4	5		
8 安全な環境にいることを自覚できるようになった	1	2	3	4	5		
9 事件について思い出すことが増えた	1	2	3	4	5		
10 事件について自分から話せるようになった	1	2	3	4	5		
11 同じような被害にあった人達と話したいと思うようになった	1	2	3	4	5		
12 周囲の環境や社会全体に目が向くようになった	1	2	3	4	5		
13 何かの形で被害者支援に協力したいと思うようになった	1	2	3	4	5		
14 警察への信頼感が高まった	1	2	3	4	5		

F 8 あなたの性別についてお答えください。(は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F 9 あなたの年齢について満年齢でお答えください。

		歳
--	--	---

F 1 0 あなたの職業についてお答えください。(は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 自営業 | 5 学生 |
| 2 被雇用者(会社員、公務員) | 6 無職(浪人中、求職中含む) |
| 3 専業主婦・専業主夫 | 7 その他(具体的に:) |
| 4 パート・アルバイト・フリーター | |

F 1 1 あなたが同居しているご家族は、あなたも含めて何人ですか。(は1つ)

- | | |
|-------------|--------|
| 1 1人(1人暮らし) | 5 5人 |
| 2 2人 | 6 6人 |
| 3 3人 | 7 7人以上 |
| 4 4人 | |

最後に、あなたご自身やご家族が利用された警察からの支援について、お感じになられたことやご意見などがございましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
最後に記入もれがないかご確認ください。
同封の返信用封筒に入れ一か月以内をめぐにご投函ください。

【別添 2】集計結果（数表）

別添2 単純集計結果(数表)
 ※表番号は報告書内の図番号と対応

2-1 本人または家族が遭った被害種

上段:度数 下段:%	n=	殺人による被害	暴力による被害	性犯罪による被害	その他	無回答
回答者総数	395 100	188 47.6	177 44.8	6 1.5	13 3.3	11 2.8

2-2 被害者との関係(本人または家族・遺族)

上段:度数 下段:%	n=	本人	家族・遺族	無回答
回答者総数	395 100	140 35.4	239 60.5	16 4.1
殺人による被害	188 100	9 4.8	177 94.1	2 1.1
暴力による被害	177 100	121 68.4	53 29.9	3 1.7
性犯罪による被害	6 100	5 83.3	0 0.0	1 16.7
その他	13 100	5 38.5	7 53.8	1 7.7

2-3 被害者との関係(家族が被害に遭われた方ベース)

上段:度数 下段:%	n=	配偶者	父母	兄弟姉妹	子	祖父母	孫	その他	無回答
回答者総数	239 100	51 21.4	66 27.7	46 19.3	65 27.3	2 0.8	0 0.0	6 2.5	3 0.8
殺人による被害	176 100	31 17.6	51 29.0	38 21.6	49 27.8	1 0.6	0 0.0	4 2.3	2 1.1
暴力による被害	53 100	16 30.2	14 26.4	5 9.4	16 30.2	0 0.0	0 0.0	2 3.8	0 0.0
性犯罪による被害	0 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	7 100	3 42.9	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-4 加害者との面識の有無

上段:度数 下段:%	n=	まったく面識 がなかった	顔見知り程 度	よく知ってい た	わからない	その他	無回答
回答者総数	395 100	189 47.8	56 14.2	81 20.5	33 8.4	22 5.6	14 3.5
殺人による被害	188 100	57 30.3	39 20.7	54 28.7	18 9.6	17 9.0	3 1.6
暴力による被害	177 100	121 68.4	15 8.5	23 13.0	11 6.2	5 2.8	2 1.1
性犯罪による被害	6 100	4 66.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
その他	13 100	6 46.2	2 15.4	3 23.1	2 15.4	0 0.0	0 0.0

2-5 加害者との関係

上段:度数 下段:%	n=	まったく無関 係の人	同じ職場、学 校等に通っ ている人	近所、地域 の人	友人、知人	家族、親族	わからない	その他	無回答
回答者総数	395 100	177 44.8	24 6.1	25 6.3	43 10.9	9 2.3	42 10.6	60 15.2	15 3.8
殺人による被害	188 100	52 27.7	16 8.5	13 6.9	29 15.4	8 4.3	22 11.7	45 23.9	3 1.6
暴力による被害	177 100	116 65.5	6 3.4	10 5.6	14 7.9	1 0.6	16 9.0	11 6.2	3 1.7
性犯罪による被害	6 100	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0
その他	13 100	7 53.8	2 15.4	2 15.4	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0

2-6 被害からの経過年数 ※平均値は月数表記

上段:度数 下段:%	n=	1年未満	1年以上～ 2年未満	2年以上～ 3年未満	3年以上	無回答	平均
回答者総数	395 100	59 14.9	172 43.5	103 26.1	45 11.4	16 4.1	21.9
殺人による被害	188 100	33 17.6	84 44.7	48 25.5	19 10.1	4 2.1	21.1
暴力による被害	177 100	26 14.7	74 41.8	51 28.8	22 12.4	4 2.3	21.7
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	26.0
その他	13 100	0 0.0	9 69.2	1 7.7	3 23.1	0 0.0	51.3

2-7 性別

上段:度数 下段:%	n=	男性	女性	無回答
回答者総数	395	188	200	7
	100	47.6	50.6	1.8
殺人による被害	188	80	103	5
	100	42.6	54.8	2.7
暴力による被害	177	95	80	2
	100	53.7	45.2	1.1
性犯罪による被害	6	0	6	0
	100	0.0	100.0	0.0
その他	13	7	6	0
	100	53.8	46.2	0.0

2-8 年代

上段:度数 下段:%	n=	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	無回答	平均
回答者総数	395	6	33	60	56	85	143	12	52.6
	100	1.5	8.4	15.2	14.2	21.5	36.2	3.0	
殺人による被害	188	2	5	23	26	49	77	6	55.6
	100	1.1	2.7	12.2	13.8	26.1	41.0	3.2	
暴力による被害	177	4	24	32	29	27	55	6	49.5
	100	2.3	13.6	18.1	16.4	15.3	31.1	3.4	
性犯罪による被害	6	0	4	2	0	0	0	0	26.5
	100	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	13	0	0	2	0	3	8	0	59.3
	100	0.0	0.0	15.4	0.0	23.1	61.5	0.0	

2-9 職業

上段:度数 下段:%	n=	自営業	被雇用者 (会社員、公務員)	専業主婦、 専業主夫	パート・アル バイト・フ リーター	学生	無職(浪人 中、求職中 含む)	その他	無回答
回答者総数	395	64	95	70	52	9	59	25	21
	100	16.2	24.1	17.7	13.2	2.3	14.9	6.3	5.3
殺人による被害	188	31	46	37	24	2	25	13	10
	100	16.5	24.5	19.7	12.8	1.1	13.3	6.9	5.3
暴力による被害	177	31	44	28	24	6	26	8	10
	100	17.5	24.9	15.8	13.6	3.4	14.7	4.5	5.6
性犯罪による被害	6	1	2	0	0	1	2	0	0
	100	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0
その他	13	0	1	4	1	0	4	2	1
	100	0.0	7.7	30.8	7.7	0.0	30.8	15.4	7.7

2-10 同居人数

上段:度数 下段:%	n=	1人(1人暮らし)	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
回答者総数	395	72	118	78	60	29	11	8	19
	100	18.2	29.9	19.7	15.2	7.3	2.8	2.0	4.8
殺人による被害	188	34	55	35	29	16	3	7	9
	100	18.1	29.3	18.6	15.4	8.5	1.6	3.7	4.8
暴力による被害	177	28	54	39	28	12	6	1	9
	100	15.8	30.5	22.0	15.8	6.8	3.4	0.6	5.1
性犯罪による被害	6	3	2	0	1	0	0	0	0
	100	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	5	4	1	0	1	1	0	1
	100	38.5	30.8	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7

2-11 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395	287	38	42	9	13	6
	100	72.7	9.6	10.6	2.3	3.3	1.5
殺人による被害	188	132	19	21	4	9	3
	100	70.2	10.1	11.2	2.1	4.8	1.6
暴力による被害	177	133	16	20	3	4	1
	100	75.1	9.0	11.3	1.7	2.3	0.6
性犯罪による被害	6	5	1	0	0	0	0
	100	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	10	0	0	2	0	1
	100	76.9	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7

2-12 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつた	無回答
回答者総数	395	330	54	11
	100	83.5	13.7	2.8
殺人による被害	188	157	24	7
	100	83.5	12.8	3.7
暴力による被害	177	150	25	2
	100	84.7	14.1	1.1
性犯罪による被害	6	4	2	0
	100	66.7	33.3	0.0
その他	13	10	2	1
	100	76.9	15.4	7.7

2-13 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかつた	満足しなかつた	無回答
回答者総数	330	106	106	69	21	19	9
	100	32.1	32.1	20.9	6.4	5.8	2.7
殺人による被害	157	55	42	36	12	7	5
	100	35.0	26.8	22.9	7.6	4.5	3.2
暴力による被害	150	45	54	29	8	10	4
	100	30.0	36.0	19.3	5.3	6.7	2.7
性犯罪による被害	4	1	3	0	0	0	0
	100	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10	3	5	2	0	0	0
	100	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0

2-14 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から	無回答
回答者総数	330	253	68	11	44	22	22	22
	100	76.7	20.6	3.3	13.3	6.7	6.7	6.7
殺人による被害	157	130	30	5	24	7	8	8
	100	82.8	19.1	3.2	15.3	4.5	5.1	5.1
暴力による被害	150	107	35	4	19	14	13	13
	100	71.3	23.3	2.7	12.7	9.3	8.7	8.7
性犯罪による被害	4	1	0	0	0	1	1	1
	100	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
その他	10	8	3	2	0	0	0	0
	100	80.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	6	1	8	14	4	2	2
	1.8	0.3	2.4	4.2	1.2	0.6	0.6
殺人による被害	4	0	2	7	1	1	1
	2.5	0.0	1.3	4.5	0.6	0.6	0.6
暴力による被害	2	1	6	5	2	1	1
	1.3	0.7	4.0	3.3	1.3	0.7	0.7
性犯罪による被害	0	0	0	1	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

2-15 利用しなかつた理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかつたから	利用する気がなかつたから	教えてくれる人がいなかつたから	他人にはできるだけ知られたくなかつたから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はな	その他	無回答
回答者総数	54	4	3	27	4	3	9	10	3
	100	7.4	5.6	50.0	7.4	5.6	16.7	18.5	5.6
殺人による被害	24	2	2	11	2	2	5	3	2
	100	8.3	8.3	45.8	8.3	8.3	20.8	12.5	8.3
暴力による被害	25	2	1	16	2	1	2	4	1
	100	8.0	4.0	64.0	8.0	4.0	8.0	16.0	4.0
性犯罪による被害	2	0	0	0	0	0	1	1	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
その他	2	0	0	0	0	0	0	2	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

2-16 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかつた	無回答
回答者総数	395	21	312	41	21
	100	5.3	79.0	10.4	5.3
殺人による被害	188	13	144	18	13
	100	6.9	76.6	9.6	6.9
暴力による被害	177	6	144	21	6
	100	3.4	81.4	11.9	3.4
性犯罪による被害	6	0	6	0	0
	100	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	13	2	9	2	0
	100	15.4	69.2	15.4	0.0

2-17 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395	287	39	36	11	9	13
	100	72.7	9.9	9.1	2.8	2.3	3.3
殺人による被害	188	135	21	12	8	6	6
	100	71.8	11.2	6.4	4.3	3.2	3.2
暴力による被害	177	131	15	19	2	3	7
	100	74.0	8.5	10.7	1.1	1.7	4.0
性犯罪による被害	6	5	1	0	0	0	0
	100	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	11	0	2	0	0	0
	100	84.6	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0

2-18 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	395	308	74	13
	100	78.0	18.7	3.3
殺人による被害	188	154	25	9
	100	81.9	13.3	4.8
暴力による被害	177	130	43	4
	100	73.4	24.3	2.3
性犯罪による被害	6	4	2	0
	100	66.7	33.3	0.0
その他	13	11	2	0
	100	84.6	15.4	0.0

2-19 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	308	95	97	57	31	21	7
	100	30.8	31.5	18.5	10.1	6.8	2.3
殺人による被害	154	53	48	29	14	6	4
	100	34.4	31.2	18.8	9.1	3.9	2.6
暴力による被害	130	37	38	24	15	13	3
	100	28.5	29.2	18.5	11.5	10.0	2.3
性犯罪による被害	4	2	1	0	1	0	0
	100	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
その他	11	2	6	3	0	0	0
	100	18.2	54.5	27.3	0.0	0.0	0.0

2-20 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員か ら	「被害者の 手引」から	警察のホー ムページか ら	検察官・弁 護士から	家族・親族 から	友人・知人 から	無回答
回答者総数	308	241	42	7	63	17	10	
	100	78.2	13.6	2.3	20.5	5.5	3.2	
殺人による被害	154	127	21	5	36	7	2	
	100	82.5	13.6	3.2	23.4	4.5	1.3	
暴力による被害	130	97	20	1	23	9	7	
	100	74.6	15.4	0.8	17.7	6.9	5.4	
性犯罪による被害	4	1	0	0	1	1	1	
	100	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	
その他	11	8	1	1	2	0	0	
	100	72.7	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	
上段:度数 下段:%	n=	新聞・テレ ビ・ラジオか ら	本・雑誌か ら	インターネッ トから	被害者支援 団体の人か ら	その他から	おぼえてい ない	無回答
回答者総数	7	1	6	12	3	6	5	
	2.3	0.3	1.9	3.9	1.0	1.9	1.6	
殺人による被害	4	0	3	6	1	3	4	
	2.6	0.0	1.9	3.9	0.6	1.9	2.6	
暴力による被害	3	1	3	4	1	3	1	
	2.3	0.8	2.3	3.1	0.8	2.3	0.8	
性犯罪による被害	0	0	0	1	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0	0	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	

2-21 利用しなかった理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害 と支援内容 が関係な かったから	利用する気 力がなかつ たから	教えてくれる 人がいな かったから	手続きが面 倒だったか ら	利用にかか る時間が負 担に感じた から	
回答者総数	74 100	8 10.8	5 6.8	31 41.9	2 2.7	3 4.1	
殺人による被害	25 100	4 16.0	3 12.0	7 28.0	0 0.0	1 4.0	
暴力による被害	43 100	4 9.3	2 4.7	23 53.5	2 4.7	1 2.3	
性犯罪による被害	2 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
その他	2 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
上段:度数 下段:%	n=	被害について 何度も説明 したくな かったから	他人にはで きるだけ知 られたくな かったから	自分の力で 回復できると 思ったから	特に理由は ない	その他	無回答
回答者総数	6 100	6 8.1	6 8.1	3 4.1	8 11	16 21.6	5 6.8
殺人による被害	1 100	3 4.0	3 12.0	2 8.0	6 24	4 16.0	1 4.0
暴力による被害	4 100	3 9.3	3 7.0	1 2.3	1 2	10 23.3	3 7.0
性犯罪による被害	1 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
その他	0 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

2-22 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う 前から知っ ていた	被害に遭っ た後に知っ た	現在まで知 らなかった	無回答
回答者総数	395 100	20 5.1	289 73.2	51 12.9	35 8.9
殺人による被害	188 100	9 4.8	139 73.9	19 10.1	21 11.2
暴力による被害	177 100	7 4.0	127 71.8	29 16.4	14 7.9
性犯罪による被害	6 100	1 16.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0
その他	13 100	2 15.4	9 69.2	2 15.4	0 0.0

2-23 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395 100	287 72.7	37 9.4	29 7.3	3 0.8	11 2.8	28 7.1
殺人による被害	188 100	134 71.3	22 11.7	17 9.0	3 1.6	3 1.6	9 4.8
暴力による被害	177 100	128 72.3	14 7.9	10 5.6	0 0.0	8 4.5	17 9.6
性犯罪による被害	6 100	5 83.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	13 100	10 76.9	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4

2-24 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	395 100	329 83.3	33 8.4	33 8.4
殺人による被害	188 100	167 88.8	10 5.3	11 5.9
暴力による被害	177 100	140 79.1	19 10.7	18 10.2
性犯罪による被害	6 100	5 83.3	1 16.7	0 0.0
その他	13 100	10 76.9	0 0.0	3 23.1

2-25 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	329 100	104 31.6	105 31.9	62 18.8	28 8.5	26 7.9	4 1.2
殺人による被害	167 100	50 29.9	50 29.9	37 22.2	15 9.0	13 7.8	2 1.2
暴力による被害	140 100	47 33.6	48 34.3	19 13.6	12 8.6	12 8.6	2 1.4
性犯罪による被害	5 100	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	10 100	3 30.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-26 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から
回答者総数	329	265	64	8	37	25	18
	100	80.5	19.5	2.4	11.2	7.6	5.5
殺人による被害	167	144	30	4	18	11	4
	100	86.2	18.0	2.4	10.8	6.6	2.4
暴力による被害	140	104	30	3	18	13	13
	100	74.3	21.4	2.1	12.9	9.3	9.3
性犯罪による被害	5	3	1	0	0	1	1
	100	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
その他	10	8	3	1	0	0	0
	100	80.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	10	2	7	13	4	1	3
	3.0	0.6	2.1	4.0	1.2	0.3	0.9
殺人による被害	8	1	2	8	1	1	1
	4.8	0.6	1.2	4.8	0.6	0.6	0.6
暴力による被害	2	1	5	4	2	0	2
	1.4	0.7	3.6	2.9	1.4	0.0	1.4
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

2-27 利用しなかった理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる時間が負担に感じたから
回答者総数	33	10	1	11	0	1	2
	100	30.3	3.0	33.3	0.0	3.0	6.1
殺人による被害	10	1	0	3	0	0	1
	100	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0
暴力による被害	19	8	1	7	0	1	1
	100	42.1	5.3	36.8	0.0	5.3	5.3
性犯罪による被害	1	1	0	0	0	0	0
	100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	被害について何度も説明しにくかったから	他人にはできるだけ知られたくなかったから	お金で回復することではないと思ったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	0	1	3	3	5	3	0
	0.0	3.0	9.1	9.1	15.2	9.1	0.0
殺人による被害	0	1	3	2	3	1	0
	0.0	10.0	30.0	20.0	30.0	10.0	0.0
暴力による被害	0	0	0	1	1	1	0
	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-28 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかった	無回答
回答者総数	395	31	289	25	50
	100	7.8	73.2	6.3	12.7
殺人による被害	188	18	142	10	18
	100	9.6	75.5	5.3	9.6
暴力による被害	177	9	126	15	27
	100	5.1	71.2	8.5	15.3
性犯罪による被害	6	1	5	0	0
	100	16.7	83.3	0.0	0.0
その他	13	2	7	0	4
	100	15.4	53.8	0.0	30.8

2-29 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった	無回答
回答者総数	207	143	17	14	1	18	14
	100	69.1	8.2	6.8	0.5	8.7	6.8
殺人による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	177	127	15	13	0	14	8
	100	71.8	8.5	7.3	0.0	7.9	4.5
性犯罪による被害	6	4	1	1	0	0	0
	100	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	13	6	1	0	0	3	3
	100	46.2	7.7	0.0	0.0	23.1	23.1

2-30 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつた	無回答
回答者総数	207	103	87	17
	100	49.8	42.0	8.2
殺人による被害	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	177	90	77	10
	100	50.8	43.5	5.6
性犯罪による被害	6	3	3	0
	100	50.0	50.0	0.0
その他	13	6	3	4
	100	46.2	23.1	30.8

2-31 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかつた	満足しなかつた	無回答
回答者総数	103	36	38	13	7	6	3
	100	35.0	36.9	12.6	6.8	5.8	2.9
殺人による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	90	36	31	9	6	5	3
	100	40.0	34.4	10.0	6.7	5.6	3.3
性犯罪による被害	3	0	0	2	0	1	0
	100	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
その他	6	0	5	1	0	0	0
	100	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0

2-32 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から
回答者総数	103	80	21	2	10	11	4
	100	77.7	20.4	1.9	9.7	10.7	3.9
殺人による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	89	72	17	1	9	10	4
	100	80.9	19.1	1.1	10.1	11.2	4.5
性犯罪による被害	3	1	1	0	0	1	0
	100	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
その他	6	3	2	1	0	0	0
	100	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	2	0	2	4	3	1	0
	1.9	0.0	1.9	3.9	2.9	1.0	0.0
殺人による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	2	0	2	3	2	1	0
	2.2	0.0	2.2	3.4	2.2	1.1	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	1	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

2-33 利用しなかつた理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかつたから	利用する気がなかつたから	教えてくれる人がいなかつたから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる時間が負担に感じたから
回答者総数	87	11	0	61	3	5	6
	100	12.6	0.0	70.1	3.4	5.7	6.9
殺人による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	76	7	1	56	3	4	5
	100	9.2	1.3	73.7	3.9	5.3	6.6
性犯罪による被害	3	0	0	1	0	1	1
	100	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
その他	3	2	0	0	0	0	0
	100	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	被害について何度も説明したくなかつたから	他人にはできるだけ知られたくなかつたから	お金で回復することではなかつたから	自分の力で回復できると思つたから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	4	3	1	2	8	8	4
	4.6	3.4	1.1	2.3	9.2	9.2	4.6
殺人による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	4	3	1	2	5	6	4
	5.3	3.9	1.3	2.6	6.6	7.9	5.3
性犯罪による被害	0	0	0	0	2	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

2-34 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う 前から知っ ていた	被害に遭っ た後に知っ た	現在まで知 らなかった	無回答
回答者総数	207	7	110	69	21
	100	3.4	53.1	33.3	10.1
殺人による被害	0	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	177	4	97	61	15
	100	2.3	54.8	34.5	8.5
性犯罪による被害	6	0	4	2	0
	100	0.0	66.7	33.3	0.0
その他	13	2	5	3	3
	100	15.4	38.5	23.1	23.1

2-35 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	188	107	6	22	1	19	33
	100	56.9	3.2	11.7	0.5	10.1	17.6
殺人による被害	188	107	6	22	1	19	33
	100	56.9	3.2	11.7	0.5	10.1	17.6
暴力による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-36 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	188	91	60	37
	100	48.4	31.9	19.7
殺人による被害	188	91	60	37
	100	48.4	31.9	19.7
暴力による被害	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0
	0	0.0	0.0	0.0

2-37 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	91	42	21	12	8	4	4
	100	46.2	23.1	13.2	8.8	4.4	4.4
殺人による被害	91	42	21	12	8	4	4
	100	46.2	23.1	13.2	8.8	4.4	4.4
暴力による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-38 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員か ら	「被害者の 手引」から	警察のホー ムページか ら	検察官・弁 護士から	家族・親族 から	友人・知人 から	無回答
回答者総数	91	69	4	2	4	1	2	4
	100	75.8	4.4	2.2	4.4	1.1	2.2	4.4
殺人による被害	87	65	4	2	4	1	2	4
	100	74.7	4.6	2.3	4.6	1.1	2.3	4.6
暴力による被害	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上段:度数 下段:%	n=	新聞・テレ ビ・ラジオか ら	本・雑誌か ら	インターネッ トから	被害者支援 団体の人か ら	その他から	おぼえてい ない	無回答
回答者総数	1	0	1	0	2	12	4	4
	1.1	0.0	1.1	0.0	2.2	13.2	4.4	4.4
殺人による被害	0	0	1	0	2	12	4	4
	0.0	0.0	1.1	0.0	2.3	13.8	4.6	4.6
暴力による被害	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-39 利用しなかった理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる時間が負担に感じたから	被害について何度も説明したくなかったから
回答者総数	60 100	10 16.7	0 0.0	35 58.3	2 3.3	0 0.0	1 1.7	2 3.3
殺人による被害	59 100	10 16.9	0 0.0	35 59.3	2 3.4	0 0.0	1 1.7	2 3.4
暴力による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:度数 下段:%	他人にはできるだけ知られたくなかったから	亡くなられた方の姿を他人に見せたくなかったから	お金で回復することではないと思ったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答	
回答者総数	2 3.3	2 3.3	2 3.3	2 3.3	4 6.7	11 18.3	3 5.0	
殺人による被害	2 3.4	2 3.4	2 3.4	2 3.4	4 6.8	11 18.6	2 3.4	
暴力による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

2-40 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかった	無回答
回答者総数	188 100	4 2.1	80 42.6	67 35.6	37 19.7
殺人による被害	188 100	4 2.1	80 42.6	67 35.6	37 19.7
暴力による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-41 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった	無回答
回答者総数	395 100	127 32.2	38 9.6	86 21.8	12 3.0	55 13.9	77 19.5
殺人による被害	188 100	60 31.9	20 10.6	41 21.8	4 2.1	24 12.8	39 20.7
暴力による被害	177 100	54 30.5	13 7.3	40 22.6	7 4.0	30 16.9	33 18.6
性犯罪による被害	6 100	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	13 100	6 46.2	3 23.1	2 15.4	1 7.7	0 0.0	1 7.7

2-42 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかった	無回答
回答者総数	395 100	122 30.9	183 46.3	90 22.8
殺人による被害	188 100	72 38.3	68 36.2	48 25.5
暴力による被害	177 100	38 21.5	103 58.2	36 20.3
性犯罪による被害	6 100	3 50.0	3 50.0	0 0.0
その他	13 100	4 30.8	7 53.8	2 15.4

2-43 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	無回答
回答者総数	122	40	35	29	10	7	1
	100	32.8	28.7	23.8	8.2	5.7	0.8
殺人による被害	72	20	23	22	4	3	0
	100	27.8	31.9	30.6	5.6	4.2	0.0
暴力による被害	38	16	8	5	4	4	1
	100	42.1	21.1	13.2	10.5	10.5	2.6
性犯罪による被害	3	1	0	1	1	0	0
	100	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
その他	4	2	2	0	0	0	0
	100	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-44 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から	無回答
回答者総数	122	91	3	1	8	4	4	4
	100	74.6	2.5	0.8	6.6	3.3	3.3	3.3
殺人による被害	72	54	2	1	6	1	1	1
	100	75.0	2.8	1.4	8.3	1.4	1.4	1.4
暴力による被害	38	27	1	0	2	2	3	3
	100	71.1	2.6	0.0	5.3	5.3	7.9	7.9
性犯罪による被害	3	2	0	0	0	1	0	0
	100	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	4	3	0	0	0	0	0	0
	100	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	n=	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	2	0	1	1	4	13	5	5
	100	0.0	0.8	0.8	3.3	10.7	4.1	4.1
殺人による被害	2	0	0	0	2	8	3	3
	100	0.0	0.0	0.0	2.8	11.1	4.2	4.2
暴力による被害	0	0	1	1	1	4	2	2
	100	0.0	2.6	2.6	2.6	10.5	5.3	5.3
性犯罪による被害	0	0	0	0	0	1	0	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0
	100	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

2-45 利用しなかった理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる費用が負担と感じたから	無回答
回答者総数	183	37	6	65	1	3	2	2
	100	20.2	3.3	35.5	0.5	1.6	1.1	1.1
殺人による被害	68	14	3	26	0	0	0	0
	100	20.6	4.4	38.2	0.0	0.0	0.0	0.0
暴力による被害	103	22	2	35	1	3	2	2
	100	21.4	1.9	34.0	1.0	2.9	1.9	1.9
性犯罪による被害	3	0	0	1	0	0	0	0
	100	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	1	1	3	0	0	0	0
	100	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	n=	利用にかかる時間が負担に感じたから	被害について何度も説明したくなかったから	他人にはできるだけ知られたくなかったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	5	4	6	4	38	27	7	7
	100	2.7	2.2	3.3	2.2	20.8	14.8	3.8
殺人による被害	3	2	4	2	15	5	3	3
	100	4.4	2.9	5.9	2.9	22.1	7.4	4.4
暴力による被害	2	2	2	2	18	20	3	3
	100	1.9	1.9	1.9	1.9	17.5	19.4	2.9
性犯罪による被害	0	0	0	0	2	0	0	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	1	2	1	1
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3

2-46 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う 前から知っ ていた	被害に遭っ た後に知っ た	現在まで知 らなかった	無回答
回答者総数	395 100	9 2.3	121 30.6	174 44.1	91 23.0
殺人による被害	188 100	6 3.2	74 39.4	63 33.5	45 23.9
暴力による被害	177 100	1 0.6	35 19.8	100 56.5	41 23.2
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0
その他	13 100	1 7.7	4 30.8	7 53.8	1 7.7

2-47 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395 100	95 24.1	26 6.6	46 11.6	11 2.8	107 27.1	110 27.8
殺人による被害	188 100	55 29.3	12 6.4	19 10.1	3 1.6	44 23.4	55 29.3
暴力による被害	177 100	33 18.6	12 6.8	24 13.6	8 4.5	54 30.5	46 26.0
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	4 66.7	1 16.7
その他	13 100	5 38.5	1 7.7	2 15.4	0 0.0	3 23.1	2 15.4

2-48 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	395 100	78 19.7	194 49.1	123 31.1
殺人による被害	188 100	49 26.1	74 39.4	65 34.6
暴力による被害	177 100	23 13.0	106 59.9	48 27.1
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	5 83.3	1 16.7
その他	13 100	3 23.1	7 53.8	3 23.1

2-49 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	78 100	39 50.0	23 29.5	12 15.4	1 1.3	2 2.6	1 1.3
殺人による被害	49 100	26 53.1	16 32.7	6 12.2	0 0.0	1 2.0	0 0.0
暴力による被害	23 100	11 47.8	5 21.7	5 21.7	0 0.0	1 4.3	1 4.3
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	3 100	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-50 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員か ら	「被害者の 手引」から	警察のホーム ページから	検察官・弁 護士から	家族・親族 から	友人・知人 から	無回答
回答者総数	78 100	59 75.6	3 3.8	1 1.3	6 7.7	4 5.1	2 2.6	2 2.6
殺人による被害	49 100	39 79.6	2 4.1	1 2.0	3 6.1	2 4.1	1 2.0	1 2.0
暴力による被害	23 100	16 69.6	1 4.3	0 0.0	3 13.0	2 8.7	1 4.3	1 4.3
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	3 100	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:度数 下段:%	n=	新聞・テレ ビ・ラジオか ら	本・雑誌から	インターネッ トから	被害者支援 団体の人か ら	その他から	おぼえてい ない	無回答
回答者総数	3 3.8	1 1.3	0 0.0	2 2.6	4 5.1	4 5.1	4 5.1	5 6.4
殺人による被害	2 4.1	1 2.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0	1 2.0	4 8.2	2 4.1
暴力による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	2 8.7	0 0.0	0 0.0	3 13.0
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-51 利用しなかった理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害 と支援内容 が関係な かったから	利用する気 力がなかつ たから	教えてくれる 人がいな かったから	手続きが面 倒だったか ら	利用のため の移動が負 担と感じたか ら	利用にかか る費用が負 担に感じたか ら	
回答者総数	194 100	77 39.7	5 2.6	55 28.4	1 0.5	3 1.5	1 0.5	
殺人による被害	74 100	29 39.2	3 4.1	17 23.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	
暴力による被害	106 100	45 42.5	2 1.9	32 30.2	1 0.9	2 1.9	1 0.9	
性犯罪による被害	5 100	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他	7 100	2 28.6	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
上段:度数 下段:%	n=	利用にかか る時間が負 担に感じた から	被害につい て何度も説 明したくな かったから	他人にはで きるだけ知 れたくなかつ たから	自分の力で 回復できると 思ったから	特に理由は ない	その他	無回答
回答者総数	5 2.6	3 1.5	7 3.6	1 0.5	34 17.5	21 10.8	8 4.1	
殺人による被害	1 1.4	2 2.7	6 8.1	0 0.0	14 18.9	6 8.1	4 5.4	
暴力による被害	4 3.8	1 0.9	1 0.9	1 0.9	16 15.1	13 12.3	4 3.8	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	

2-52 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う 前から知っ ていた	被害に遭っ た後に知っ た	現在まで知 らなかった	無回答
回答者総数	395 100	18 4.6	79 20.0	179 45.3	119 30.1
殺人による被害	188 100	9 4.8	46 24.5	72 38.3	61 32.4
暴力による被害	177 100	6 3.4	26 14.7	96 54.2	49 27.7
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7
その他	13 100	1 7.7	3 23.1	7 53.8	2 15.4

2-53 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395 100	111 28.1	22 5.6	56 14.2	23 5.8	84 21.3	99 25.1
殺人による被害	188 100	59 31.4	9 4.8	23 12.2	8 4.3	37 19.7	52 27.7
暴力による被害	177 100	41 23.2	12 6.8	30 16.9	13 7.3	40 22.6	41 23.2
性犯罪による被害	6 100	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
その他	13 100	5 38.5	1 7.7	3 23.1	0 0.0	2 15.4	2 15.4

2-54 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	395 100	97 24.6	196 49.6	102 25.8
殺人による被害	188 100	58 30.9	73 38.8	57 30.3
暴力による被害	177 100	32 18.1	107 60.5	38 21.5
性犯罪による被害	6 100	2 33.3	4 66.7	0 0.0
その他	13 100	3 23.1	7 53.8	3 23.1

2-55 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	97 100	49 50.5	33 34.0	9 9.3	4 4.1	1 1.0	1 1.0
殺人による被害	58 100	31 53.4	19 32.8	5 8.6	2 3.4	1 1.7	0 0.0
暴力による被害	32 100	15 46.9	11 34.4	3 9.4	2 6.3	0 0.0	1 3.1
性犯罪による被害	2 100	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	3 100	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-56 認知媒体（施策利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から	
回答者総数	97 100	81 83.5	4 4.1	1 1.0	5 5.2	1 1.0	1 1.0	
殺人による被害	58 100	53 91.4	4 6.9	1 1.7	3 5.2	0 0.0	0 0.0	
暴力による被害	32 100	22 68.8	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	1 3.1	
性犯罪による被害	2 100	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	
その他	3 100	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
上段：度数 下段：%	n=	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4 4.1	1 1.0	9 9.3	4 4.1	
殺人による被害	1 1.7	0 0.0	0 0.0	3 5.2	0 0.0	4 6.9	1 1.7	
暴力による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	4 12.5	3 9.4	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

2-57 利用しなかった理由（施策未利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる費用が負担と感じたから	利用にかかる時間が負担と感じたから
回答者総数	196 100	60 30.6	9 4.6	74 37.8	2 1.0	1 0.5	3 1.5	2 1.0
殺人による被害	73 100	28 38.4	7 9.6	22 30.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
暴力による被害	107 100	29 27.1	2 1.9	46 43.0	2 1.9	1 0.9	3 2.8	2 1.9
性犯罪による被害	4 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	7 100	1 14.3	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段：度数 下段：%	n=	被害について何度も説明したくなかったから	他人にはできるだけ知られたくなかったから	警察の人とできるだけ接触したくなかったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	4 2.0	7 3.6	2 1.0	11 5.6	22 11.2	25 12.8	8 4.1	
殺人による被害	1 1.4	4 5.5	1 1.4	5 6.8	9 12.3	8 11.0	1 1.4	
暴力による被害	3 2.8	3 2.8	1 0.9	5 4.7	10 9.3	13 12.1	6 5.6	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	

2-58 認知状況

上段：度数 下段：%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかった	無回答
回答者総数	395 100	5 1.3	105 26.6	176 44.6	109 27.6
殺人による被害	188 100	3 1.6	66 35.1	59 31.4	60 31.9
暴力による被害	177 100	0 0.0	30 16.9	107 60.5	40 22.6
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0
その他	13 100	1 7.7	3 23.1	5 38.5	4 30.8

2-59 必要度

上段：度数 下段：%	n=	必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった	無回答
回答者総数	395 100	95 24.1	32 8.1	59 14.9	28 7.1	100 25.3	81 20.5
殺人による被害	188 100	48 25.5	15 8.0	31 16.5	13 6.9	45 23.9	36 19.1
暴力による被害	177 100	36 20.3	15 8.5	24 13.6	11 6.2	51 28.8	40 22.6
性犯罪による被害	6 100	4 66.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
その他	13 100	3 23.1	1 7.7	3 23.1	1 7.7	2 15.4	3 23.1

2-60 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつた	無回答
回答者総数	395	38	263	94
	100	9.6	66.6	23.8
殺人による被害	188	32	111	45
	100	17.0	59.0	23.9
暴力による被害	177	2	132	43
	100	1.1	74.6	24.3
性犯罪による被害	6	1	5	0
	100	16.7	83.3	0.0
その他	13	0	9	4
	100	0.0	69.2	30.8

2-61 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかつた	満足しなかつた	無回答
回答者総数	38	15	8	10	3	1	1
	100	39.5	21.1	26.3	7.9	2.6	2.6
殺人による被害	32	12	7	9	3	1	0
	100	37.5	21.9	28.1	9.4	3.1	0.0
暴力による被害	2	0	1	1	0	0	0
	100	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	1	1	0	0	0	0	0
	100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-62 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から
回答者総数	38	31	6	0	2	0	1
	100	81.6	15.8	0.0	5.3	0.0	2.6
殺人による被害	32	27	6	0	1	0	0
	100	84.4	18.8	0.0	3.1	0.0	0.0
暴力による被害	2	1	0	0	1	0	1
	100	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
性犯罪による被害	1	0	0	0	0	0	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	0	0	0	3	1	1	0
	0.0	0.0	0.0	7.9	2.6	2.6	0.0
殺人による被害	0	0	0	1	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0
暴力による被害	0	0	0	1	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	0	1	1	0	0
	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-63 利用しなかつた理由(施策未利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかつたから	利用する気がなかつたから	教えてくれる人がいなかつたから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる費用が負担と感じたから	利用にかかる時間が負担と感じたから
回答者総数	263	47	43	97	6	11	9	11
	100	17.9	16.3	36.9	2.3	4.2	3.4	4.2
殺人による被害	111	16	25	33	1	6	2	4
	100	14.4	22.5	29.7	0.9	5.4	1.8	3.6
暴力による被害	132	28	16	58	4	5	6	7
	100	21.2	12.1	43.9	3.0	3.8	4.5	5.3
性犯罪による被害	5	1	0	0	0	0	0	0
	100	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9	1	2	5	0	0	0	0
	100	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	被害について何度も説明したくなかつたから	他人にはできるだけ知られたくなかつたから	警察の人とできるだけ接触したくなかつたから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	27	16	6	44	21	24	7
	10.3	6.1	2.3	16.7	8.0	9.1	2.7
殺人による被害	13	9	3	24	11	11	4
	11.7	8.1	2.7	21.6	9.9	9.9	3.6
暴力による被害	14	6	3	18	9	9	3
	10.6	4.5	2.3	13.6	6.8	6.8	2.3
性犯罪による被害	0	1	0	1	0	2	0
	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0

2-64 認知状況

上段:度数 下段:%	n=	被害に遭う 前から知っ ていた	被害に遭っ た後に知っ た	現在まで知 らなかった	無回答
回答者総数	395 100	12 3.0	108 27.3	175 44.3	100 25.3
殺人による被害	188 100	7 3.7	68 36.2	64 34.0	49 26.1
暴力による被害	177 100	3 1.7	30 16.9	100 56.5	44 24.9
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
その他	13 100	1 7.7	1 7.7	6 46.2	5 38.5

2-65 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395 100	78 19.7	27 6.8	49 12.4	34 8.6	118 29.9	89 22.5
殺人による被害	188 100	40 21.3	14 7.4	21 11.2	15 8.0	56 29.8	42 22.3
暴力による被害	177 100	26 14.7	13 7.3	26 14.7	16 9.0	56 31.6	40 22.6
性犯罪による被害	6 100	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0
その他	13 100	5 38.5	0 0.0	2 15.4	0 0.0	3 23.1	3 23.1

2-66 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	395 100	28 7.1	266 67.3	101 25.6
殺人による被害	188 100	20 10.6	115 61.2	53 28.2
暴力による被害	177 100	5 2.8	132 74.6	40 22.6
性犯罪による被害	6 100	2 33.3	4 66.7	0 0.0
その他	13 100	0 0.0	9 69.2	4 30.8

2-67 満足度（施策利用者ベース）

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	28 100	10 35.7	10 35.7	6 21.4	0 0.0	1 3.6	1 3.6
殺人による被害	20 100	5 25.0	8 40.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0
暴力による被害	5 100	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性犯罪による被害	2 100	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-68 認知媒体（施策利用者ベース）

上段:度数 下段:%	n=	警察職員か ら	「被害者の 手引」から	警察のホーム ページから	検察官・弁 護士から	家族・親族 から	友人・知人 から	無回答
回答者総数	28 100	21 75.0	6 21.4	0 0.0	4 14.3	0 0.0	1 3.6	1 3.6
殺人による被害	20 100	16 80.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
暴力による被害	5 100	3 60.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
性犯罪による被害	2 100	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:度数 下段:%	n=	新聞・テレ ビ・ラジオか ら	本・雑誌から	インターネッ トから	被害者支援 団体の人か ら	その他から	おぼえてい ない	無回答
回答者総数	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6
殺人による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0
暴力による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-69 利用しなかった理由（施策未利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる費用が負担と感じたから	
回答者総数	266 100	49 18.4	38 14.3	96 36.1	6 2.3	10 3.8	6 2.3	
殺人による被害	115 100	17 14.8	23 20.0	28 24.3	1 0.9	6 5.2	2 1.7	
暴力による被害	132 100	29 22.0	13 9.8	60 45.5	5 3.8	4 3.0	4 3.0	
性犯罪による被害	4 100	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他	9 100	2 22.2	1 11.1	5 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
上段：度数 下段：%	n=	利用にかかる時間が負担に感じたから	被害について何度も説明したくなかったから	他人にはできるだけ知られたくなかったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	10 3.8	22 8.3	14 5.3	48 18.0	28 10.5	20 7.5	8 3.0	
殺人による被害	4 3.5	11 9.6	9 7.8	29 25.2	15 13.0	12 10.4	4 3.5	
暴力による被害	6 4.5	11 8.3	5 3.8	17 12.9	11 8.3	6 4.5	4 3.0	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	

2-70 認知状況

上段：度数 下段：%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかった	無回答
回答者総数	395 100	12 3.0	98 24.8	180 45.6	105 26.6
殺人による被害	188 100	8 4.3	62 33.0	63 33.5	55 29.3
暴力による被害	177 100	2 1.1	29 16.4	103 58.2	43 24.3
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
その他	13 100	1 7.7	1 7.7	8 61.5	3 23.1

2-71 必要度

上段：度数 下段：%	n=	必要とした	やや必要とした	どちらともいえない	あまり必要としなかった	必要としなかった	無回答
回答者総数	395 100	95 24.1	21 5.3	56 14.2	30 7.6	117 29.6	76 19.2
殺人による被害	188 100	48 25.5	11 5.9	25 13.3	10 5.3	54 28.7	40 21.3
暴力による被害	177 100	36 20.3	10 5.6	27 15.3	18 10.2	55 31.1	31 17.5
性犯罪による被害	6 100	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
その他	13 100	3 23.1	0 0.0	3 23.1	0 0.0	4 30.8	3 23.1

2-72 利用の有無

上段：度数 下段：%	n=	利用した	利用しなかった	無回答
回答者総数	395 100	55 13.9	250 63.3	90 22.8
殺人による被害	188 100	34 18.1	106 56.4	48 25.5
暴力による被害	177 100	15 8.5	126 71.2	36 20.3
性犯罪による被害	6 100	1 16.7	5 83.3	0 0.0
その他	13 100	0 0.0	9 69.2	4 30.8

2-73 満足度（施策利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	無回答
回答者総数	55 100	22 40.0	23 41.8	5 9.1	2 3.6	2 3.6	1 1.8
殺人による被害	34 100	14 41.2	12 35.3	3 8.8	2 5.9	2 5.9	1 2.9
暴力による被害	15 100	5 33.3	9 60.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性犯罪による被害	1 100	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-74 認知媒体（施策利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	警察職員から	「被害者の手引」から	警察のホームページから	検察官・弁護士から	家族・親族から	友人・知人から	
回答者総数	55 100	43 78.2	12 21.8	2 3.6	6 10.9	1 1.8	1 1.8	
殺人による被害	34 100	29 85.3	8 23.5	2 5.9	5 14.7	0 0.0	0 0.0	
暴力による被害	15 100	10 66.7	4 26.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7	
性犯罪による被害	1 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
上段：度数 下段：%	n=	新聞・テレビ・ラジオから	本・雑誌から	インターネットから	被害者支援団体の人から	その他から	おぼえていない	無回答
回答者総数	2 3.6	0 0.0	2 3.6	9 16.4	1 1.8	1 1.8	1 1.8	1 1.8
殺人による被害	1 2.9	0 0.0	1 2.9	3 8.8	1 2.9	1 2.9	1 2.9	1 2.9
暴力による被害	1 6.7	0 0.0	1 6.7	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-75 利用しなかった理由（施策未利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	手続きが面倒だったから	利用のための移動が負担と感じたから	利用にかかる費用が負担と感じたから	
回答者総数	250 100	49 19.6	26 10.4	96 38.4	6 2.4	7 2.8	5 2.0	
殺人による被害	106 100	20 18.9	14 13.2	33 31.1	0 0.0	3 2.8	1 0.9	
暴力による被害	126 100	27 21.4	12 9.5	53 42.1	6 4.8	4 3.2	4 3.2	
性犯罪による被害	5 100	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他	9 100	2 22.2	0 0.0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
上段：度数 下段：%	n=	利用にかかる時間が負担に感じたから	被害について何度も説明したくなかったから	他人にはできるだけ知られたくなかったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答
回答者総数	6 2.4	17 6.8	11 4.4	23 9.2	31 12.4	15 6.0	11 4.4	
殺人による被害	3 2.8	7 6.6	7 6.6	13 12.3	17 16.0	4 3.8	6 5.7	
暴力による被害	3 2.4	10 7.9	4 3.2	9 7.1	11 8.7	9 7.1	5 4.0	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	

2-76 認知状況

上段：度数 下段：%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかった	無回答
回答者総数	395 100	7 1.8	95 24.1	193 48.9	100 25.3
殺人による被害	188 100	3 1.6	56 29.8	76 40.4	53 28.2
暴力による被害	177 100	2 1.1	32 18.1	104 58.8	39 22.0
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0
その他	13 100	1 7.7	1 7.7	8 61.5	3 23.1

2-77 必要度

上段:度数 下段:%	n=	必要とした	やや必要と した	どちらともい えない	あまり必要と しなかった	必要としな かった	無回答
回答者総数	395	141	38	57	19	62	78
	100	35.7	9.6	14.4	4.8	15.7	19.7
殺人による被害	188	65	20	23	8	35	37
	100	34.6	10.6	12.2	4.3	18.6	19.7
暴力による被害	177	62	16	30	9	23	37
	100	35.0	9.0	16.9	5.1	13.0	20.9
性犯罪による被害	6	3	1	0	1	1	0
	100	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
その他	13	6	1	2	0	2	2
	100	46.2	7.7	15.4	0.0	15.4	15.4

2-78 利用の有無

上段:度数 下段:%	n=	利用した	利用しなかつ た	無回答
回答者総数	395	91	222	82
	100	23.0	56.2	20.8
殺人による被害	188	52	94	42
	100	27.7	50.0	22.3
暴力による被害	177	32	109	36
	100	18.1	61.6	20.3
性犯罪による被害	6	1	5	0
	100	16.7	83.3	0.0
その他	13	2	9	2
	100	15.4	69.2	15.4

2-79 満足度(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	満足した	やや満足し た	どちらともい えない	あまり満足し なかった	満足しなかつ た	無回答
回答者総数	91	22	34	22	7	4	2
	100	24.2	37.4	24.2	7.7	4.4	2.2
殺人による被害	52	10	19	13	6	3	1
	100	19.2	36.5	25.0	11.5	5.8	1.9
暴力による被害	32	11	11	7	1	1	1
	100	34.4	34.4	21.9	3.1	3.1	3.1
性犯罪による被害	1	0	0	1	0	0	0
	100	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0	2	0	0	0	0
	100	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-80 認知媒体(施策利用者ベース)

上段:度数 下段:%	n=	警察職員か ら	「被害者の 手引」から	警察のホー ムページか ら	検察官・弁 護士から	家族・親族 から	友人・知人 から	無回答
回答者総数	91	51	18	14	7	4	5	5
	100	56.0	19.8	15.4	7.7	4.4	5.5	5.5
殺人による被害	52	34	10	6	4	3	0	0
	100	65.4	19.2	11.5	7.7	5.8	0.0	0.0
暴力による被害	32	14	8	7	3	1	5	5
	100	43.8	25.0	21.9	9.4	3.1	15.6	15.6
性犯罪による被害	1	0	0	0	0	0	0	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0	0	1	0	0	0	0
	100	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上段:度数 下段:%	n=	新聞・テレ ビ・ラジオか ら	本・雑誌か ら	インターネッ トから	被害者支援 団体の人か ら	その他から	おぼえてい ない	無回答
回答者総数	2	0	17	3	1	0	1	1
	2.2	0.0	18.7	3.3	1.1	0.0	1.1	1.1
殺人による被害	1	0	9	1	0	0	1	1
	1.9	0.0	17.3	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9
暴力による被害	0	0	7	2	0	0	0	0
	0.0	0.0	21.9	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
性犯罪による被害	0	0	1	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

2-81 利用しなかった理由（施策未利用者ベース）

上段：度数 下段：%	n=	自分の被害と支援内容が関係なかったから	利用する気がなかったから	教えてくれる人がいなかったから	利用にかかると時間が負担に感じたから	被害について何度も思い出したかったから
回答者総数	222 100	19 8.6	24 10.8	107 48.2	3 1.4	11 5.0
殺人による被害	94 100	8 8.5	9 9.6	39 41.5	1 1.1	6 6.4
暴力による被害	109 100	10 9.2	13 11.9	60 55.0	1 0.9	5 4.6
性犯罪による被害	5 100	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
その他	9 100	1 11.1	2 22.2	5 55.6	1 11.1	0 0.0
上段：度数 下段：%	他人にはできるだけ知られたくなかったから	自分の力で回復できると思ったから	特に理由はない	その他	無回答	
回答者総数	6 2.7	6 2.7	33 14.9	34 15.3	12 5	
殺人による被害	3 3.2	3 3.2	17 18.1	16 17.0	5 5	
暴力による被害	2 1.8	2 1.8	10 9.2	16 14.7	7 6	
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	
その他	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	

2-82 認知状況

上段：度数 下段：%	n=	被害に遭う前から知っていた	被害に遭った後に知った	現在まで知らなかった	無回答
回答者総数	395 100	9 2.3	127 32.2	168 42.5	91 23.0
殺人による被害	188 100	3 1.6	73 38.8	65 34.6	47 25.0
暴力による被害	177 100	4 2.3	44 24.9	90 50.8	39 22.0
性犯罪による被害	6 100	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0
その他	13 100	1 7.7	2 15.4	8 61.5	2 15.4

2-83 被害者が回復するために特に必要だと思う支援（3つまで回答）

上段：度数 下段：%	n=	1	2	3	4	5	6	7	8
		支援内容についての情報提供	捜査や検挙状況についての情報提供	裁判の進み具合や傍聴方法についての情報提供	給付金や公費での負担による経済的な負担の緩和	被害の特徴にあわせた詳細な支援体制	捜査中の被害者のプライバシーの保護	精神科などの医療機関の紹介	警察職員のカウンセリング体制の充実
回答者総数	384 100	214 54.2	174 44.1	73 18.5	232 58.7	35 8.9	72 18.2	23 5.8	34 8.6
殺人による被害	188 100	88 46.8	85 45.2	44 23.4	86 45.7	11 5.9	43 22.9	12 6.4	16 8.5
暴力による被害	177 100	109 61.6	76 42.9	27 15.3	131 74.0	18 10.2	21 11.9	9 5.1	15 8.5
性犯罪による被害	6 100	3 50.0	3 50.0	0 0.0	3 50.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7
その他	13 100	9 69.2	6 46.2	2 15.4	6 46.2	0 0.0	4 30.8	2 15.4	1 7.7
上段：度数 下段：%	9	10	11	12	13	14	15	16	
	病院への付き添いや書類提出の代理などの補助	食事や買い物などの身の回りの補助	同居している家族への補助	マスコミなど報道機関への対応の支援	弁護士や弁護士会についての情報提供	民間の被害者支援団体の紹介	民間の被害者団体の紹介	その他	無回答
回答者総数	28 7.1	11 2.8	26 6.6	68 17.2	41 10.4	31 7.8	35 8.9	14 3.5	17 4.3
殺人による被害	8 4.3	4 2.1	9 4.8	56 29.8	17 9.0	11 5.9	14 7.4	7 3.7	12 6.4
暴力による被害	20 11.3	7 4.0	14 7.9	7 4.0	17 9.6	18 10.2	17 9.6	4 2.3	5 2.8
性犯罪による被害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	2 15.4	3 23.1	1 7.7	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0